

14. 2□-261



1200501168050

14.2□

261

穀資料第五號

昭和七年九月刊行

主要國ノ食糧政策ニ關スル資料

農林省米穀部

代印寫



始



14.20-26/

# 主要國ノ食糧政策ニ關スル資料

## 目次

第一	北米合衆國ニ於ケル農業救濟法	一
目 概	的 要	一
一	農業救濟ノ方法	一
二	農業救濟ノ機關	五
三	農業救濟ヲ受クル農民ノ機關	七
四	農務院ノ運轉資金及其ノ貸付	七
五	價格保險	七
六	農產品交換所組合	八
七	農務院ノ活動	八



(一) 小麥ノ買上策……………八

(二) 同政策ニ對スル批評……………九

(三) 運用資金……………一一

一〇 本法ニ對スル米國內ノ總合的觀察……………一二

(一) 農務院ノ信用條件……………一三

(二) 農產品市場販賣法……………一三

(三) 農務院ノ貸付政策……………一五

(四) 追加貸付……………一六

(五) 貸付ハドウ働クカ……………一八

(六) 穀物會社……………一九

(七) 棉 花……………二〇

(八) 酪產物……………二〇

(九) 其ノ他ノ農產品……………二一

(十) 附隨セル結果……………二一

(十一) 農民ノ爲ニスル一層多額ノ資金……………二三

(十二) 現在ノ協同組合……………二三

一一 安定策ヲ含メル過剩管理ノ諸施設……………二三

第二 英國ニ於ケル食糧政策……………三六

一 概 況……………三六

二 農產物市場販賣法案……………三七

(一) 法案ノ概略……………三七

(二) 同法案ニ對スル農業會議常設委員會ノ報告摘要……………四二

(三) 同法案ニ對スルエコノミスト誌ノ批評……………四四

三 土地法案……………四六

四 英國ニ於ケル下院提出當初ノ小麥法案……………四七

五 小 麥 法……………六〇

六 附 錄……………九一

(一) 英國穀物法ノ沿革及效果……………九一

(二) 英國穀物生産法ノ制定事情……………一二六

(三) 英國穀物生産法……………一二二

(四) 英國ニ於ケル小麥輸入局ノ設立ニ關スル所說……………一八九

第三 獨逸ニ於ケル食糧政策

四

二〇五

一 獨逸ニ於ケル食糧政策其ノ一

二〇五

二 獨逸ニ於ケル食糧政策其ノ二

二〇五

三 一九三〇年玉蜀黍法竝同施行令

二〇六

四 一九三〇年七月十七日パンニ關スル法律

二〇三

第四 佛國ニ於ケル食糧政策

二四九

一 佛國ノ戰後ニ於ケル食糧政策

二四九

概 說

二四九

(二) 食糧政策ニ關スル法律及大統領令

二六一

二 最近ニ於ケル食糧政策ノ大要

二七六

(一) 附 錄

二八一

第五 加奈陀ニ於ケル小麥プール

二八五

一 成立事情

二八五

二 プール契約ノ内容

二八五

三 プールノ組織

二八六

四 中央販賣部

二八七

五 賣上金ノ分配

二八七

六 プールノ現況及サスカチエワン洲ニ於ケル強制的

二八八

小麥プール組織運動並是等ニ對スル反對論

二八八

(一) プールノ現在ノ組織

二八八

(イ) 名稱及組織

二八八

(ロ) 目的及運用

二八九

(ハ) 成 績

二九〇

(二) 一〇〇%小麥プール運動ノ經過

二九一

(三) カナダ小麥プール及強制プールニ對スル反對論

二九四

第六 伊國政府ノ食糧政策

二九九

第七 諾威及瑞西ニ於ケル食糧政策

三〇六

一 諾威ニ於ケル穀物專賣

三〇六

(一) 概 說

三〇七

(二) 諾威ニ於ケル國內穀物供給ニ關スル法律……………三二〇

二 瑞西ノ食糧政策……………三三三

第八 ラトヴィヤニ於ケル食糧政策……………三三四

一 概 說……………三四

二 輸入穀物國營專賣竝ニ國內穀物市場調節ニ關スル規定……………三三五

三 本制度實施ノ理由……………三三六

四 本制度發展後ノ情勢……………三三八

第九 濠州ニユーサウスウエールス米穀販賣局……………三三八

# 主要國ノ食糧政策ニ關スル資料

## 第一

### 北米合衆國ニ於ケル農業救濟法

#### 一 概要

米國ニ於ケル農業救濟法ニ關シテハ一九二三年以來多少其ノ内容ト名稱トヲ變更セル法案ガ追次議會ニ提出セラレタガ或ハ通過セズ或ハ通過シテモ大統領ノ拒否スル所トナツタ其ノ内最モ有名ナルハ所謂マクネリト、ホーゲン法案デアツテ一時世論ノ焦點トナリ盛ニ論議セラレタガ是亦法律トナルニ至ラズシテトリスチ大統領ノ退職ヲ見タ然シ一九二九年初メ新ニフーヴァー大統領就職スルニ及ビ同案ハ更ニ改修提出セラレ茲ニ農産品市場販賣法トシテ遂ニ可決裁可ヲ得タ次第デアル同法ノ大要ハ政府部内ニ聯邦農務院ナル合議制ノ獨立官廳ヲ設ケ農業ニ關スル練達堪能ナル技能者ヲ役員ニ任命シ之ニ附與セル廣汎ナル權限ト五億弗ノ資金トニ依リテ農産品市場販賣ニ關スル獎勵保護ヲ爲シ且ツ金融ヲ圖リ以テ農業ヲシテ他ノ諸産業ト均シク利益アル企業タラシメントスルノ趣旨デアル

#### 二 目的

農産品市場販賣法ノ目的ハ前記ノ如ク農業ヲ他ノ産業ト同等ノ經濟的基礎ニ置カンガ爲ニ各州間及外

國間ノ取引ニ於テ農産品ノ有效ナル賣買ヲ促進シ且ツ左ノ方法ニ依リ農産品及食料生産物ノ市場販賣ニ於ケル各州間及外國間ノ取引ノ進路ヲ保護管理及安定スルノニ在ル

(一) 投機ヲ極減スルコト

(二) 無效且ツ無駄多キ分配ノ方法ヲ防止スルコト

(三) 市場販賣ニ於テ一層大ナル協力ヲ爲サンガ爲生産者ノ團體ヲシテ生産者自ラノ管理スル協同組合其ノ他ノ機關ニ於ケル農産品市場販賣制度ノ設立及其ノ金融ヲ促進スルコト

(四) 内國市場ヲ有利ニ維持シ且ツ各種農産品ノ過剰ガ同品價格ノ不當且ツ過度ノ變動又ハ下落ヲ起スヲ防止スル爲秩序的生産及分配ノ方法ニ依リテ各種農産品ノ過剰ノ豫防及管理ヲ援助スルコト

### 三 農業救済ノ方法

同法ニ依リ農務院ノ實行スベキ農業救済ノ方法ハ大體知識的援助ト財政的援助トノ二ツニ分チ得

ル  
(一) 智識的援助

(イ) 農産品及同食料品ノ協同市場販賣ノ理論ト實際ニ關スル智識ヲ農民ニ普及スルコト

(ロ) 有效ナル農民協同組合ノ設立發達及事業方法ノ改善ヲ獎勵スルコト

(ハ) 内國及外國ノ諸種ノ情報ヲ蒐集シ各種ノ調査研究ヲ爲シ以テ農産物生産過剰ノ状態ヲ調査シ之ニ依リテ當業者ニ適當ナル勸告ヲ與フルコト

(二) 財政的援助

(イ) 農民協同組合ニ對シテ貸付ヲ爲スコト

(ロ) 價格安定會社ニ對シテ貸付ヲ爲スコト

(ハ) 農民協同組合ニ對シテ價格ノ保險ヲ爲スコト

### 四 農業救済ノ機關

上述ノ農業救済方法ヲ實行スル主タル機關トシテハ聯邦農務院其ノ補助機關トシテハ農産品諮問委員會ヲ設置ス

(一) 聯邦農務院

イ 役員ノ任命

同院ハ九名ノ役員ヨリ成リ其ノ中ノ一名ハ職權ニ依ル役員ニシテ農務卿ヲ以テ之ニ充テ他ノ八名ハ上院ノ推薦ニ依リ大統領之ヲ任命シ大統領ハ其ノ任命ニ當リテハ米國ノ各主要農業ガ皆能ク農務院ニ於テ代表セラルル様考慮シナケレバナラヌ

ロ 農務院ノ權限

農務院ハ廣大ナル權限ヲ有スルモ其ノ主要ナルモノヲ舉グレバ

(イ) 本法ノ執行及其他第一條宣言政策ノ實行ヲ益々有効ナラシムルガ如キ事項ニ關シ毎年議會ニ報告ヲ爲シ併セテ立法ニ對スル進言ヲ爲スコト

- (ロ) 農産品及同食料品ノ協同市場販賣ノ理論ト實際トニ關スル教育ヲ助成スルコト
- (ハ) 有效ナル協同組合ノ組織發達及事業方法等ノ改善ヲ獎勵スルコト
- (ニ) 内外ニ於ケル農産品價格從來ノ成績將來ノ見込需要供給等ニ關スル報告ヲ作成スルコト
- (ホ) 農産物生産過剰ノ狀況ヲ調査シテ生産過剰豫防ノ警告ヲ發スルコト
- (ヘ) 左記事項ノ調査報告ヲナスコト

農業ノ目的ニ供スル土地利用

耕境ニ達セル耕地面積ノ増減

内外ニ於ケル農産品及同食料品市場ノ擴張方法

輸送機關ノ狀況並其ノ農産物市場販賣ニ及ボス影響

農業副産物及其ノ新用途ヲ發達セシムル方法

諮問委員會ノ設置ヲ懲慫スルコト

價格安定會社ノ資格承認及監督ヲ爲スコト

農産品交換所組合ノ設立援助及監督ヲ爲スコト

協同組合及價格安定會社ニ對スル資金ノ貸付ヲ爲スコト

協同組合ニ對スル價格ノ保險ヲ爲スコト

(二) 農産品諮問委員會

農務院ハ各種農産品ニ付其ノ農産品ヲ取扱フ協同組合ニ對シ農産品諮問委員會ヲ設クルコトヲ懲慫

スル例ヘバ棉花諮問委員會ノ如ク其ノ取扱フ物品ニ依リテ名稱ヲ附スルノデアアル

イ 委員

委員ノ數ハ七名トシ其ノ中少クトモ二名ハ其ノ農産品ノ生産又ハ販賣ニ經驗アル者タルコトヲ要

スル

ロ 權 限

(イ) 本委員會ノ代表スル農産品ニ關シ農務院ト交渉會議シ之ニ必要ノ情報ヲ要求シ又ハ意見ヲ提

出シ得ルコト

(ロ) 協同組合ヲ通ジテ生産者ニ助言ヲ與フルコト

(ハ) 農務院ハ本委員會ノ申請ニ依リ始メテ價格安定會社ノ資格承認ヲ爲シ又同委員會ノ依頼ニ依

リ始メテ價格安定會社ニ對シ活動資金ヲ貸付クルコトヲ得ルモノニシテ即チ農務院ト價格安定

會社トノ間ノ重要事項ハ常ニ諮問委員會ヲ通ジテ爲スベキコト

### 五 農業救済ヲ受クル農民ノ機關

本救済法ノ基調ヲ爲ス根本政策ハ農民自身ノ自助的協同活動ニ依テ農業ヲ他ノ諸産業ト均等ノ經濟的地位ニ到達セシメ政府ハ終始其ノ智識的及財政的援助者タル地位ニ止ラントスルモノデアアル隨テ政府ハ其ノ救済援助ヲ與フルニ際シテハ決シテ個々ノ農民ヲ相手トスルコトナク必ズ農民ノ協同團體タル農民協同組合及農民協同組合ノ團結タル價格安定會社等ヲ相手トスルモノデアアル

(一) 農民協同組合

本法ニ所謂農民協同組合トハ一九二二年二月裁可ノ「農産物生産者ノ組合ヲ認ムル法律」ニ依テ其ノ資格ヲ認メラレタ組合ヲ指スモノデアツテ同法ニ依レバ

イ 農産物ノ生産ニ従事スル者ハ自己ノ生産セル農産物ノ加工荷造取扱及販賣ヲ他ノ同業者ト協同シテ行フ爲ニ組合ヲ組織シ得ルコト

ロ 同組合ハ法人組織タルト否ト又資本株式ヲ有スルト否トヲ問ハザルコト

ハ 同組合ハ共同代理機關ヲ設ケ得ルコト又同組合及組合員ハ其ノ目的遂行ノ爲ニ諸種ノ契約ヲ締結シ得ルコト

斯ル協同組合ガ農業救済ニ關スル活動ノ中心ヲ爲シ

(イ) 農産物ノ市場販賣ヲ經營シ

(ロ) 農務院ヨリ資金ノ貸付ヲ受クル當事者トナリ

(ハ) 價格安定會社ノ構成單位ヲ爲シ又農産物交換所組合ノ主タル組合員トナルノデアアル

(二) 價格安定會社

農務院ハ左記ノ場合ニ於テハ各農産品諮問委員會ノ申請アルトキハ如何ナル會社ヲモ之ヲ該農産品ノ價格安定會社トシテ認メ得ル而シテ同會社ハ株主タル協同組合ノ代理機關トシテノ活動ト會社獨自ノ活動トノ二ツノ機能ヲ持つテキル

イ 農務院ニ於テ該農産物ノ市場販賣情況ヨリ見テ第一條宣言ノ政策ヲ有效ニ遂行スル爲價格安定

會社ノ設立ヲ必要トシ又ハ必要タルベシト認定シタルトキ

ロ 農務院ニ於テ會社ノ投票權アル株式又ハ會員ノ資格ガ該農産物ヲ取扱フ協同組合ニ依リテノミ所有サレ或ハ所有サレ得ルコトヲ認メタルトキ

ハ 會社ガ農務院ノ時々要求スルコトアルベキ細則ヲ採用スルコトヲ約シタルトキ

六 農務院ノ運轉資金及其ノ貸付

農務院ハ其ノ救済方法實行ノ爲ニ必要ナル運轉資金トシテ五億弗迄充當スルコトヲ得ルモノニシテ同資金ハ左ノ目的ノ爲ニ使用スルノデアアル

(一) 協同組合ニ對スル貸付

(二) 價格安定會社ニ對スル貸付

(三) 價格保險契約ニ基ク債務履行ノ爲ニスル農務院ノ一時的借入

七 價格保險

農務院ハ協同組合ノ申込ニ依ツテ組合ノ取扱フ農産物ノ價格下落ノ爲ニ組合ノ蒙ルコトアルベキ損失ヲ保險スルヲ得ルノデアアルガ其ノ保險契約ハ左ノ要件ヲ満足スルモノデナケレバナラス

(一) 通常ノ料金ヲ以テシテハ私設會社ヨリ保險ヲ受ケ得ザルコト

(二) 保險ガ第一條宣言ノ政策ヲ促進スベキコト



- (三) 該農産物が相當多量且ツ規則的ニ市場ニ於テ取引セラレ尙其ノ各品等ニ付公定相場ノ存在スルコト
- (四) 該農産物ニ對スル危険計算及保險料決定ノ基礎トナスニ足ルベキ長年月間ニ互ル正確ナル價格記錄ヲ求メ得ルコト

## 八 農産品交換所組合

交換所組合トハ各市場間ニ經濟的ニ農産物ヲ配分スルコトニ依ツテ市場販賣ニ於ケル冗費ト損失トヲ最少ナラシムル目的ヲ以テ該農産物ノ生産者ニ於テ組織スル組合デアアル

## 九 農務院ノ活動

### (一) 小麥買上策

一九三〇年(昭和五年)十一月中旬農務院ノ支配ヲ受ケル諸會社ハ市俄古市場ニ買出動ヲ爲シ古小麥十二月物ヲ七三仙五月物ヲ七六仙ニテ凡ソ二千萬ブツシエルヲ買占メ大戰以來初メテノ價格維持ヲ行ツタ當時米國政府ノ小麥ハ手持及先物ヲ併セテ一億四百萬ブツシエルニ上リ之ニ依ツテ市場ノ恐慌ヲ喰止メ得タト云ハレテキルガ同數量ハ事實米國ノ全輸出過剩高ニ當ルモノデアアル

右ニ依テ米國諸市場ハ好況ヲ現ハシ前週ヨリモ八仙四分ノ三方上騰シタ政府ノ代理機關ハ高値ニハ賣出シ下値ニハ買入レテ市場賣買ノ流通ヲ促進シ居ルトノ風評ガアル同院議長(同院ハ合議制)アレ

クサンダト、レッグ氏ハ同院ノ計畫トシテ小麥ヲバ全ク内國的ノ基礎ニ重キヲ置キ且ツ輸出過剩高ヲ除去スルコトハ今後二ケ年以内ニ實現セシムル而シテ之ガ爲ニ小麥ヲ自由ニ家畜ノ飼料ニ供スルコト及作付反別ノ二割減ヲ以テ必要事トスルコトヲ説ケリト言ハレル尙先週議會ニ對スル同院ノ報告中ニハ調査ノ結果來ル數年間ノ小麥平準値ハ前二三年ノ平均値ヨリモ著シク安カルベシ然シテ一九二三年——一九三七年ノ小麥値ノ趨勢ハ下向ニ在ルベキコト明カナリト記載シテラル

斯テ十二月中旬渡シノ小麥値ハ農務院ノ活動ニ依リテ安定ヲ得タルガ尙先物ハ下落ノ傾向ニ在リ市俄古五月物ハ八十一仙ナルガ十二月物ハ七十七仙位デアアル此ノ際小麥事情ニ特記スベキ事情ハ加奈陀小麥ブールニ於ケル除外事情ニシテ新ニ販賣支配人ヲ置キ今後ハブール計畫ノ代リニ平均賣リヲナスベキヲ言明シタコトデアアル十二月物及五月物ニ對シテハ前月ト同値ヲ支持シ得タ一九三一年一月下旬ノ報道ニ依レバ穀物安定會社ハ製粉業者ト契約ヲ結ビテ政府ノ小麥ヲ後者ニ貸付ケ之ヲ九月十五日迄ニ返濟ノコト、シ右ニ依リ政府ハ製粉業者ヲシテ輸出小麥粉ノ注文ニ應ズルコトヲ得シメタト云フガ然シ之ハ政府ガ小麥ヲ投賣スル一種ノ行爲ニシテ製粉業者ヲシテ他國ノ同業者ト競争セシムルモノトノ批評ガアル

### (二) 同政策ニ對スル批評

一九三一年二月末ノ米國ブラットストリート經濟雜誌ニハ左ノ記事ガアル

近來農務院ノ小麥政策ニ對シテ酷評ガ流布サレテアリ之ヲ約言セバ物價ナルモノハ結局需給ノ法則ニ從ハネバナラスト謂フ穩健ナ經濟的根據ニ基クヤウニ見エル現ニ英國ハ護謨デ伯國ハ加啡デ加奈

陀ハ卒先小麥デ學ビ得タ如ク人爲的ノ價格公定ハ粗雜且ツ危險デアル一九二九年七月農務院ノ業務開始當時ハ同院ノ成功期待デ小麥ハ每ブツシエル一弗五十仙以上ニ賣レタガ其ノ後ハ下落ノ一方デ同十月ニハ一弗二十四仙ニ傾キ農務院ハ世界ノ需給上此ノ値ハ低キニ過グルモノトシテ之ガ價格維持ヲ行ツタ結果ハ一九三〇年六月ノ年度末ニ於テ六千萬ブツシエルノ手持ヲ存シタ近ク將ニ退職セントスル同院議長レツグ氏ハ新穀ノ出廻ハル以前ニ於ケル本年ノ古小麥所持高ハ二億ブツシエルノ巨額ニ達セント云フテアル農務院ハ此ノ小麥過剩ノ買上策ニ依テ現在國內ノ小麥値ヲ世界ノ市價ヨリモ二十五仙方吊上ゲタガ抑モ此ノ過剩高ヲ如何ニ處理セントスルカ小麥ハ長キ貯藏ニ堪ヘザレバ腐敗サセルカ他ヘ讓渡スルカ又ハ市場ニ放賣シテ値崩シヲ餘儀ナクスルカ外ハナカラウ其ノ孰レニシテモ納稅者ニハ恐ルベキ出費デアルソシテ今後僅ニ頼ルハ凶作ノ來ルコトデアラウ同院ノ方針タル生産ヲ内國ノ需要丈ニ減少スルコトハ理論上ニ於テハ穩健ナルベキモ農民ニハ單ニ作付面積減少ノ警告ノミデハ事足ラヌ生産費ノ點ニ就テモ色々事情ニ依リテ大ナル相違ガアル例ヘバ農場ノ位置地味大小其ノ他現在ノ状態ニ於テ尙且ツ能ク小麥作ノ利益ヲ舉ゲ得ルモノアラバ之ヲ耕作セシムルハ至極肝要ノ事デアル今小麥値ガ僅々五十仙程ニテモ大農經營ニシテ其ノ宜シキヲ得バ利益ヲ舉ゲ得ルトハ相當權威者ノ言デアアルガ確ニ多クノ地方ニ於テ斯ノ如キ安値ニ對シテハ生産費ノ低廉ナルコトヲ必要トシテ而シテ低廉ナル生産費ヲ得ルニ必要ナルハ大規模ノ經營方法デアアル然カモ他ノ産業ハ農業ヨリモ時間ト労働ト生産費トヲ節約スル點ニ於テ遙ニ進ンデアルノデ之ニ對シ今日農業ノ要スルモノハ肥料機械一般的ニ能率高キ農法及市場販賣ノ方法ヲ從來ヨリモ一層能ク利用スルノ

智識デアアル農務院ハ世界市場ニ於テ世界ニ普ネキ農産品ノ價格安定ヲ實驗スルヨリモ拿口如上ノ知識普及ニ其ノ力ヲ集注セバ一層大ナル任務ヲ遂行スルコト、ナルデアラウト

### (三) 運用資金

農務院ノ運用資金ニ就テハ法ノ規定ニ依リテ五億弗迄充當スルノ權限ヲ有シ既ニ事實上ノ支出ヲ爲セルハ一九二九年六月ニ一億五千萬弗一九三〇年三月ニ一億弗計二億五千萬弗デアツタガ最近在米大使館ヨリノ報告ニ依レバ今回更ニ一億五千萬弗支出ノ件ヲ議會ニ諮リ多少ノ議論ハアツタガ充當資金ノ範圍内デアアリ結局原案通り上下兩院ノ承認ヲ得タト云フコトデアアル(尙一九三二年度豫算中ニハ最後ノ一億弗丈ヲ計上シテアル)一方農務院ノ買上小麥ハ前記ノ如ク一億ブツシエル以上ニ達シテアルガ他方資金ノ借入申込金額ハ既ニ昨年六月迄ニ二百件四億六千萬弗ニ上レル状態デアアル

## 一〇 本法ニ對スル米國內ノ總合的觀察

米國ノ農産品市場販賣法ハ今日迄同國ニ於テ制定セル法律ノ内デ最モ根本的ナモノデアツテ各種農産品ノ市場販賣機關ヲ立直ス爲ニ政府ハ幾億ト云フ補助金ヲ準備シテ居ル此ノ法律ニ掲ゲタル計畫ヲ實際ニ開展セシムルニハ五年十年十五年或ハ其レ以上ノ歲月ヲ要スルデアラウガ今其ノ計畫ヲ實體化スル方針テ取ツテ居ル第一ノ手段ハ各種ノ農産品取引業者及此等ト間接ニ携ハレル利害關係者ニ取テハ痛手デアアル其ノ故ハ民間ノ代理業ヲ直接攪亂スルノハ大シタコトハナイガ近キ將來ニ於テ農務院ガ何事ヲ仕出カスカ測ラレヌノヲ恐レルカラデアアル

此ノ法律ヲ運用スルノ責任ヲ有スル聯邦農務院ナルモノハ根本的ナ委任命令ト民間ノ利害關係者ニ寄  
スル大切ナ同情トノ間ニ板挾ミトナツタ截然タル保守團體デアアル同院ノ取ル政策ハ全國民ノ事業社會  
ニ對シテハ實際法律其物ヨリモ、ツト重大デアアル

同院ハ前途ニ幾多ノ重要ナ仕事ヲ持ツケレドモ差當リノ大事業ハ單純ナ農村ノ協同組合トハ異ル所ノ  
中央協同市場販賣ノ代理機關ヲ設立スルコトデアアル次年度ニ於ケル同院政策ノ全體的傾向ハ此等ノ中  
央(又ハ全國的)代理機關ヲ農民ノ所有スルソシテ農民ノ監督スルモノニ仕上ゲル方面ニ進ムデアラウ  
或種ノ民間取引會社ナドハ漸次存在シ得ヌ様ニサレルダラウ又サナクトモ著シク其ノ業務ヲ縮少スル  
様ニサレルダラウシカシ之ニハ多分長キ時日ヲ要シ短期間ニ出來ル事柄デハナカラウガ多數商人特ニ  
小麥商ハ昨今其ノ當然患フベキノ程度ヲ超エテ恐怖シテキル有様デアアル左ニ各項別ニ其ノ觀察ヲ掲グ  
レバ

### (一) 農務院ノ信用條件

實際無限ナル政府ノ資金ハ民間ノ代理業者ガ拂フ六分内外ノ利率トハ比較ニナラヌ三分半位ノ利率  
デ協同市場販賣制ノ爲ニ利用ガ出來ルモノデアアル是レガ農務院ニ對シ民間事業家等ガ現ニ心痛スル  
要點デアアル之ニ對スル責任ハ勿論法律ニアツテ農務院ニハナイシカシ斯ク低利ナ政府ノ資金モ地方  
ノ商人ト競争場裡ニ立テル農民自身又ハ農村ノ協同組合デハ之ヲ利用スルコトニナラヌデアラウ政  
府ノ信用資金ガ中央協同組合ノ動脈ヲ通ジテ地方及農村ノ協同組合ノ毛細管ニ流レ込ム頃ニハ其ノ  
貸付金ニハ種々ノ費用ガ積ミ重ナルガ故ニ結局其ノ利率ハ民間ノ金利ト大差ナキモノトナルデアラ

ウケレドモ現存ノ民間市場販賣制ト異ナレル此ノ協同組合制ニ對シテ惠マレタル低利ノ潤澤ナル資  
金ハ此等ノ組合ニ對シテハ確ニ民間競争者ニ優レル大キナ利便ヲ與ヘルモノデアアル

尤モ右ハ銀行業ヤ銀行業者ニハ甚シイ影響ハナカラウ何トナレバ此等カラ利用ノ出來ル信用ハ最大  
限度ニ使用セラレソシテ政府ノ信用ハ主トシテ補充的ニナルダラウカデアアル是ハ特ニ法律ノ要求  
スル所デハナク農務院ノ保守主義ノ現ハレデアリ又同院ノ方針タル一ノ重要ナル點デモアル  
秩序の市場販賣ハ農務院ノ標語デアアル此ノ意味ハ需給自然ノ法則ニ依ル分配機關ヲ完成スルノ義デ  
アル尤モ是ニハ二三ノ要件ヤ例外ヲ置クモ同院ハ俗ニ人爲的ト呼バレル便宜ノ方法ヲ喜バヌ例  
ヘバ安定會社ハ同院ノ好マヌ所デ將來限リナク之ヲ支持スルモノデハナカラウ此ノ事ハ均等賦課金  
ヤ輸出債券等ノ說ニ與ミスル一派ノ農民ニハ喜バレヌガ保守的方面ノ民間利害關係者ニ取テハ安全  
トスル所デアアル

差當リ農務院ハ第一農民ノ生産物ヲ分配スル爲新規ノ共同的機關ヲ設立スルコトニ携ハリソシテ次  
ニハ如何ニセバ農民ヲシテ全國的ニ過剩ナル農産物ヲ減産セシムルカノ問題ニ注意ヲ向ケルダラウ  
シカシ是ハ心理的經濟的統計的社會的哲學的及教育的ナ問題デアツテ十年或ハ二三十年以上モ經テ  
バ極ラヌモノデアラウ兎モ角此ノ新國策ハ疑モナク今迄米國ニ於ケルモノ、内デ最モ大ナル經濟的  
實驗デアアル

### (二) 農產品市場販賣法

農務院其物ト其ノ政策トヲ理解スル爲ニハ第一ニ農產品市場販賣法ナル法律ヲ考察スルコトガ必要

デアアル此ノ政策タルヤ農民ガ經濟的平等ヲ求ムル爲ニ八ケ年間ノ苦心ヲ經テ漸ク議會ヲ通過セシメ  
タモノデ前法案ノ要點タル均等賦課金制ノ原則ニ代ハリテ制定サレタモノデアアル

農產品市場販賣法ハ直接政府ニ對シテ農產品ヲ取扱フノ業務ハ課セナイガシカシ農民ノ協同市場販  
賣機關(終局ニ於テ農民等ガ生産品市場ヲ占領スルノ望ミヲ有スル機關)ノ設立此等機關ニ對スル金  
融及農民ガ借手トナル場合ニ於テ總テ彼等ノ行動ヲ監督スルノ任務ヲバ政府ニ課セルモノデアアル政  
府ハ農務院ヲ通ジテ働キツ、共同的分配團體ノ全群ヲ其ノ翼下ニ收メ以テ一種ノ支持者兼團體管理  
者トナルモノデアアル政府ハ箇々ノ行爲ハ指圖セヌガ監督及指導ノ役目ヲ取ルデアラウ凡ソ金ヲ貸ス  
者ガ推舉スルトキハ其ノ進言ハ承諾サレ易イモノデアアルガ政府ハ事實ニ於テ此ノ如キ言ヲ述ブルノ  
地位ニ居ルデアラウ即チ是ハ買入ルベキ價格デアアル是ハ賣ルベキ價格デアアル是ハ擴張スベキ業務デ  
アル此ノ民間ノ物的設備ハ買入レ又ハ借入ルベキモノデアアル是ハ公平ナ價格デアアル是ハ適當ナ契約  
デアアルンシテ總テ此等ノ事ヲ爲サムトスルノ資金ハ此處ニ在ルト

農產品市場販賣法ヲ法律的ニ解剖スル者ハ聯邦農務院ガ農産物ノ市場販賣制度ヲ立直ス筋ナラバ殆  
ンド何事ヲモ爲シ得ベキ包括的權限ト之ニ伴フ一定ノ制限カ資格及條件ヲ此ノ法律中ニ發見スルデ  
アラウ是ハ多クハ政治的修辭デアアルガソレデモ尙此ノ修辭ガ立法上本來ノ意思ニ依テ解釋セラル、  
時ガ來ルデアラウ

今差當リ考慮スベキ農務院ノ主要機能ハ一投機ヲ極限スルコト二分配上ノ無駄ヲ防グコト三過剰品  
ノ防遏及管理ヲ援助スルコト四生産者ノ所有シ生産者ノ管理スル協同組合ノ設立ヲ獎勵スルコトデ

アル

第一ノ機能タル投機ノ極限ニ就テハ準備ナクシテ之ヲ試ミントスルニハ餘リニ大キナ仕事デアアルノ  
デ同院ハ單ニ市場販賣組合ノ機關ヲ通ジ此ノ事柄ニ接近シツ、アルンシテ同組合自身モ亦投機ガ農  
民ニ及ボス理論上ノ惡結果ヲバ極限センコトヲ期待シテ居ル

第二ノ機能タル無駄ヲ防グコトハ矢張り大キナ永引ク仕事デアツテ是亦協同組合ヲ通ジテ接近シツ  
、アル

第三ノ機能タル過剰品ノ防遏及管理ニハ二ツノ事項ヲ含ム即チ耕作反別ノ制限(之ニ對スル現在ノ  
計畫ハ極メテ漠然タルモノデアアル)及全國的過剰品ノ人爲的調節(此ハ内國ノ價格ガ世界的價格ヨ  
リモ高クナル様ニスル)デアアル是レガ安定會社ト結付ケラレテアルンシテ多數農民ノ各種團體ハ此  
等ヲ必要トシテ農務院ノ緩漫ナル態度ヲ非難スルケレドモ反對ニ同院ハ此等ノ爲ニ一般カラハ痛ク  
反對ヲ受ケテ居ルノデアアル

第四ノ機能タル協同組合ノ設立ヲ獎勵スルコトハ差當リ現在計畫ノ重要點デアアル  
農務院ガ大ナル中央機關ニ其ノ注意ヲ集注スルノハ強調スベキ點デ此ノ中央機關ハ農村地方ノ小組  
合ナドヨリモ各種ノ農產品ヲ支配スルノ力ガ強イモノデアアル同院ガ特ニ其ノ注意ヲ專ラニスルノハ  
終端市場ノ代理機關デアアル奥地ノ共同的代理機關ハ相當ノ期間中ニハ計畫通りニナツテ來ルコトヲ  
見越シテアルノデアアル

### (三) 農務院ノ貸付政策

農務院ガ其ノ目的ヲ達スル爲ニハ種々ノ權能ヲ有スルモ茲ニハ專ラ政府資金ノ貸出ニ注意ヲ拂ツテ見ヤウ先ヅ議會ノ付與セル權限中ニ五億弗ノ資金ガアル此ノ内一億五千萬弗ハ現ニ利用シ得ルモノデ是ヨリ五千三百萬弗ノ金額ハ既ニ貸付契約済ミデアアルガ今日ノ處實際ノ支出高ハ一千二百萬弗ニ過ギヌ

貸付方針ハ目下考案中デアアルガ凡ソ左ノ四種類ニ分ツコトガ出來ル

- (イ) 交換所組合ニ貸付クルモノ 是ハ主トシテ果實ヤ蔬菜類デアアルガ未ダ何等ノ計畫モ貸付モ考ヘラレテハ居ラヌ
- (ロ) 農民間ニ協同組合ノ組合員ヲ擴張スル運動ニ資金ヲ供給スルモノ 此ノ目的ノ爲ニハ未ダ貸付ケラレナイケレドモ第四項ニ記セル追加貸付ニ依ルモノト察セラレル
- (ハ) 協同組合ニ倉庫加工場等ノ物的設備ヲ得シムル爲ニ貸付クルモノ 目下ノ處其ノ貸出ハ少數且少金額ニ過ギヌガ二十箇年ノ年賦償還金デアアル
- (ニ) 協同組合ヲシテ其ノ組合員ガ組合ニ引渡セル農産物ノ市價ニ對シ民間金融業者ノ貸付クル割合ヨリモヨリ大ナル貸出ヲ爲サシムルモノ 此等ノ貸出ハ即チ追加貸付デアツテ昨今議論ノ焦點タルモノデアアル特ニ小麥ノ場合ハソウデアアルガ是レハ詳細ナル説明ヲ要スルモノデアアル

#### (四) 追加貸付

協同組合ガ常ニ民間ノ農産物買手ト競争スル上ニ困難トスル所ハ農民タル組合員ニ對シテ民間商人ガ農民ノ即賣ニ支拂得ル様ナ多イ割合デ農産物價格ノ大部分ヲ貸出スコトガ出來ヌコトデアアル其レ

故ニ農民達ハ協同組合ト取引スレバ組合ハ其ノ農産物ヲ手持シテアルノデ結局ニ於テハヨリ高値ヲ得ルノ望ミガアルトシテモ寧ロ直ニ民間商人共ニ其ノ作物ヲ賣リ現金ヲ受取ツテ販賣ヲ濟マスノヲ選ンデアル

ソコデ此ノ困難ニ打勝ツ爲ニ彼ノ民間銀行或ハ仲介信用銀行等ヨリ得タル信用高ノ上ニ更ニ農務院ノ貸出ヲ積ミ重ネルコトガ考案サレタ斯克テ政府ノ貸付ハ他ノ筋ノ貸付ニ追加スルコトトナルノデアアル

此等ノ對農産品追加貸付ハ農務院ガ割合ニ大キイ協同組合ニ對シ三分五厘カラ三分六厘位ノ利率デ貸出シテアル此ノ大キイ組合ハ之ニ從屬セル農村地方ノ協同組合ニ幾分割高ノ利率即チ三分五厘ヨリモ二分高ノ五分五厘所デ貸出スモノト思ハル、ソシテ農村組合ハ此ノ資金ヲバ其ノ組合員タル箇々ノ農民ニ對スル貸付高ヲ増加スルニ用キル

地方ノ獨立商人ハ其ノ資金ヲ得ルニハ六分内外ヲ拂ハネバナラヌガ農村組合ト其ノ競争者タル民間商人トノ金利ニ付テハ大差ガナイヤウニナル勿論地方又ハ中央ノ協同組合ガ利子負擔ヲ輕減スルコトニナレバ農村ノ組合ハ此等組合ノ組合員デアアルカラツマリ其ノ輕減分丈ケガ農村組合ニ戻ツテ來テ浮ブコト、ナルダラウ

要スルニ民間商人ト競争ニ立テル農村ノ協同組合ガ政府ノ安イ金ヨリ受クル利益ハ穀物商人ガ喧シク抗議ヲ申込シテアル様ナ具體的ナモノデハナイ既ニ此ノ問題デ農務院議長ト米國商業會議所會頭トノ間ニ起レル先頃ノ紛議ハ終了シタガ此ノ情勢ハ尙未ダ多ク誤解サレテアルノデアアル

## (五) 追加貸付ハドウ働クカ

此ノ制度ガ實際如何ニ働クカハ小麥ノ例デ最モ善ク示サレル農民タル協同組合員ガ其ノ穀物ヲ組合ニ持込ムトキハ三方法ノ一ヲ選ブコト、ナル即チ直ニ之ヲ市價デ賣ルカ協同販賣ニ附スルカ又ハ先物デ賣ル爲ニ入庫ノ上現金貸出ヲ得テ現在ノ市價ヲ受取ルカデアアル此ノ現金貸出ノ最高層ヲ爲スモノガ即チ政府ノ追加貸付デアアル

茲ニ俗ニ小麥ノ支ヘ値ト呼バル、モノガ起ルノデアアル當季節ノ初ニ於テ農務院ハ世界的供給ノ基準ヨリセバ小麥ノ値段ガ安過ギルコト及若シ農民ガ當時荷凭ノ終端市場カラ各自ニ小麥ヲ手控フルナラバ小麥値ハ上ルダラウト云フコトヲ公言シタ農務院ハ農民ニ之ヲ行ハシムルト同時ニ其ノ穀物ト引換ヒニ現金ヲ得シムル爲ニ十箇所ノ重要ナ終端市場デ市加古値ノ一弗一八仙ニ基ク貸付ヲ爲ヌ旨發表シタ之ハ農民ガ他ノ筋カラ借り得ル丈借入レタ後更ニ組合ハ農務院ノ金ヲ利用シテ一弗一八仙ニ達スル迄ハ農民ニ支出スルコトガ出來ルコトヲ意味スル理論上カラ言フト是ハ値支ヘデハナイガ實際ノ效果ハ小麥ノ持主ガ出來得ル限其ノ生産物ノ販賣ヲ手控エテ其レ等ノ市價ガ貸付ノ基準値ト全ク接近セル所デ手放スコト、ナルノデアアル

實際ニ於テハ此等ノ追加貸付高ハ極メテ僅少デアツタ農民ヤ協同組合ハ一弗一八仙(他ノ市場デハ別ノ値段)トナル迄手控エタノハ單ニ農務院ノ最低價格ノ公示カラ來タ人氣の結果ニ外ナラヌソシテ是ガ價格ニ對スル農務院ノ恐ルベキ威力ヲ示セル最初ノ例ノ一ツデアアル

其レハ金力ハ常ニ必シモ金ヲ貸サズトモ行使ガ出來ルト云フコトヲ示スモノデアアル昨今ノ小麥時價

カラ見レバ農務院ガ二箇月以前ニ於テ一弗一八仙ヲ以テ經濟上當然ナリトスル小麥ノ最低價格ナリト云フタノガ正シイ様ニ思ハレルケレドモ果シテ農務院ノ考ガ正シキカ正シカラザルカハ殘サレタル試験問題デアアル

## (六) 穀物會社

農務院ハ一千萬圓ノ資本デ全國農民穀物會社ヲ設立セシメ本店ヲ市俄古ニ其ノ支店ヲ各重要ナル穀物終端市場ニ置カシメタ同會社ノ使命トスル所ハ農民ガ所有シ管理シシカモ政府ノ監督ヲ受クル中央機關トシテ米國ノ小麥市場ヲ管理スルモノデアアル政府ノ穀物資金ハ先ヅ此ノ機關ニ對シテ三分五厘乃至三分六厘ノ利率ヲ以テ貸付ケラレ之ヲ經由シテ其ノ貸付ガ農民ニ行キ渡ルコト、ナル尙理想トシテハ此ノ會社ガ終局ニ於テ實際上大部分ノ穀物ヲ取扱フヤウニナルコトデアラウ其ノ將來ノ取扱高ハ全體ノ四割ト云フ人モアルガ是ハ時日ト發達振リト實驗トノ問題デアアル此ノ穀物會社ハ今後各種ノ農產品ニ就テ一箇宛設立セラルベキ他ノ中央市場販賣機關ノ標準トナルモノデアアル

穀物會社ガ穀物管理ヲ其ノ手中ニ收ムル迄ニハ何程永キ日月ヲ要スルヤハ誰シモ知ルコトガ出來ヌガ五箇年位ト云フ人モアル其ノ主トシテ問題トナルノハ地方ノ協同組合ガ全國農民穀物會社ヲ各自ノ最後ノ代理機關トシテ之ト取引ヲ行フコトニナルヤ否ヤニアル

今穀物ノ事情ヲ研究スルニ當ツテハ農務院ノ全制度ガ生産ノ刺戟トナルヤ否ヤノ點ガ共通ノ問題デアアル多クノ眞面目ナ思想家ハ同制度ガ生産ノ刺戟ヲ來サンコトヲ恐レテアルガ農務院ノ性質上今後或時機ニ試ミラルベキ耕作反別ノ制限ヲ伴ヘル保守的管理ト其ノ方策トニ依テ獨リ穀物ニ限ラズ他

ノ作物モ亦生産擴張ノ傾向ヲ矯正セラル、ダラウト思ハレル

(七) 棉花

棉花ニ對スル市場販賣設備ノ立直シハ稍ヤ單純ナルモ穀物ノ場合ト比スベキモノデアリ棉花ノ中央販賣機關モ亦全國農民穀物會社ノヤウニ設立セラル、デアラウ聯邦農務院ハ既ニ三千萬弗ノ全國棉花會社設立案ノ計畫ヲ認可シタ此ノ機關ハ直ニ大量ノ棉花ヲ買入レルコトガ出來得ル故ニ州法ヲ以テ之ヲ禁ジラレテヤル農村ノ組合ヨリハ一段ノ便益ヲ有スルコト、ナル此等農村組合ハ唯其ノ農民タル組合員ノ爲ニ市場販賣ヲ爲シ得ルニ過ギヌノデアアル

棉花ニ對シテモ亦小麥同様最低貸付基準價格ガ設ケラレタノデ之ニ依リテ農務院ハ又棉花ノ値支ハヲ爲スベキ理由ノ根據ヲ得ルコト、ナル其ノ値段ハニューオールリアンズデ毎斤一六・五九仙デアアルガ市場ガ異ナレバ其ノ値モ異ナルケレドモ棉花ハ當分此ノ附近デ上下シテキルデアラウ

(八) 酪産物

農務院ノ先見越シ政策ハ之ヲ酪産物ニ適用サレルトキハトラスト呼バレル種々ノ大ナル全國酪産物組合ニ打撃ヲ與フルコト、ナル其ノ故意ト無意トヲ問ハズ此ノ新制度ガ果シテ此等ノ民間會社ヲ陷レルデアラウカ之ニ就テハ農務院ノ推定ニ基クモノデアアルガ其ノ答ハ否定的デアアル  
酪産物トラストハ強固ナル牆壁ヲ繞ラシ且有力ナル分配制度ヲ持テタル之ニ對シテハ政府ノ補助金ヲ受ケル協同組合ト雖實際目立ツ程ノ下枝ヲ刈取ルコトガ出來ナイヤウナ感ヲ強フスル小サナ箇々ノ分配業者ノ運命ハ明カデナイガ其ノ多數ハ時ニ或ハ仕事カラ押出サレ又ハ協同組合ノ代理業者

トシテ使用サレルコトハアリ得ベキモ然シ何等速斷ヲ下スニハ早過ギル

酪業ニ於テハ單一ナ全國協同組合的ノ販賣機關ガ設立サル、コトハ疑ハシイ寧ロ地方ノ協同組合ガ酪産物全國交換所ト協同シテ其ノ發達ヲ圖ルコト、思ハル、ノデアアル

(九) 其ノ他ノ農産品

家畜ニ就テハ中央販賣機關ガ設立サレツ、アルガ組合ノ内情ガ其ノ設立ヲ恐シク遷延サセタ羊毛及山羊毛ニ就テモ亦中央共同機關ガ組織サレツ、アルガ毛價ニハ多分影響ガナイダラウ果實蔬菜類ニ就テハ込入ツタ産業丈ニ其ノ種類毎ニ若クハ類似品毎ニ別箇ノ會社ガ設立セラルベキヤ否ヤ又一大全國的組織體ガ總テノ物品ヲ取扱フヤウニナルカ若ハ交換所ガ之ニ當ルヤウニナルカハ問題デアアルガ恐ラクハ交換所ガ結局必要トセラル、デアラウ

果實ニモ蔬菜ニモ多數ノ小賣商人ヤ問屋ガアルガ其ノ多クハ將來驅逐セラルベキコトハ避ケ難タカラウ是迄農務院ガ率先共同組織ヲ取ルベキ産業トシテ列舉セル十種ノ農産品ハ即チ穀物家畜羊毛及山羊毛棉花酪産物米穀煙草家禽及産卵種子並馬鈴薯等デアアル

(十) 附隨セル結果

農務院ノ根本原則及其ノ制度ノ一部カラ觀ルトキハ政府ノ援助ヲ受クル協同組合等カラ侵入サレントスル脅威ノ下ニ働キ居ル民間ノ代理業者等ガ取扱ヒツ、アル農産物ノ市場販賣方法ニハ二三年内ニ多クノ改革ガ行ハル、ダラウト思ハレル疑ヒ深ク且遠慮勝ナ民間商人ガ協同組合ト任意的ニ協同ヲ爲スヤウナ氣運ニ向フダラウトハ思フガ當分斯ル模様ハ確カデナイ

農產品市場販賣法が農務院ヲ指圖シテ何か見込アル方法ニ依リ市場販賣上ニ改革ヲ遂行セシムベキコトヤソシテ其レガ單ニ共同的制度ノミニ限ラヌコトナドハ記憶スベキコトデアラウ

農務院ガ銀行家ノ資格ニ於テハ協同組合ニ對シテ嚴重ナ監督ヲ行フベキコトハ直ニ首肯出來ルガ然シ政府ノ借入金ヲ必要トスル協同組合デサヘモ快シトセヌ様ナ監督振リガ豫見サレルノデヨリ善イ組織ノ協同組合ナドハ借入金ノ申込ミヲ爲スニ慊焉タラヌ有様デアアル

(十) 農民ノ爲ニスル一層多額ノ資金

分配改善ノ方法及手段ニ就テハ理論ニ走ル内ニモ新制度ノ素直ナ目的ハ農民ニ平等ノ待遇ヲ與ヘテ其ノ懷中ニヨリ多クノ金ヲ收メシムルニ在ルコトヲ忘レテハナラヌ

多クノ方面ニ於テハ市場販賣上又ハ分配上ノ實際利潤ハ大キクナイソシテ生産者ハ此ノ分配ノ利潤ヲ自ラ獲得シテモ其ノ收入ハ異狀ナ膨脹ヲ來スモノデナイ新制度ノ效果ハ農務院ノ増益見込ミ通リ寧ロ其ノ秩序ノ市場販賣ヨリ來ルベキコトガ期待セラレル現在主トシテ民間ノ代理業者ガ管理スル市場販賣制度ハ或産業ニ於テハ或程度迄無秩序デアアル此ノ無秩序ハ民間代理業者ノ適當ナル全國的機關全國的協同組合ガ缺ケテ居ルコトカラ來ルモノデアアル協同組合ハ民間デ所有シ民間デ立働ク所ノ制度ニ導カル、コトガ出來統一的努力トハ其ノ標語デアアル

(十一) 現在ノ協同組合

協同組合ノ歴史ハ變遷ニ富ンデアル十年前ニハ全般ノ協同的運動ガ根本的ニ且社會的ニ考ヘラレタソシテ政府ハ此等ヲ獎勵スルコトヲ危險ト見做シタ彼等ハ急速ナル發達ヲ經來ツテ多クハ下カラ上

ヘノ代リニ上カラ下ニ向テ組織サレタ年カラ年ニ手持チシテ市場ニ思惑ヲ試ミタ多數ノ人々ハ何かノ途デ失敗シタソシテ其ノ失敗ノ共通的理由ハ生産ガ分配ノ常道ヲ通ル際ニ溢レ出ル迄ニ刺戟ヲ受ケタコトニアル

現在米國ニハ一一、四〇〇個ノ農民協同組合ガアルガ其ノ多クハ農村的デ小サク地方ノ大團體ハ極メテ少イソシテ其ノ全國的ト考ヘラル、モノニ至ツテハ僅々一・二ニ過ギナイ

米國ニ於ケル一九二八年ノ作物總體ノ價格ハ九十億弗デアツタガ其ノ内デ僅ニ二十三億弗ガ協同組合ノ市場販賣ヲ經タモノデ實ニ協同組合ノ取扱高ハ農産物ノ總高ニ對シテハ比較ニナラヌ程小サイコトヲ示スモノデアアル

右ハ農產品市場販賣法ニ對スル批判ノ大様デアアル

米國ノ農業救濟法ニ關シテハ之ヲ十二項ニ別ケ上來陳述シ來リタル所ナルガ要スルニ當初世人ガ農務院ニ對スル期待ノ大ナルニ比シ爾來其ノ活動ノ效果ガ甚ダ思ハシカラザル感アルハ蓋シ農業救濟ガ一面ニ於テ如何ニ艱難ノ事業ナルカヲ思ハシムルモノデアラウ

一一 安定策ヲ含メル過剩管理ノ諸施設

(米國聯邦農務院第一回年報ヨリ採萃)  
一九二九年七月十五日設立以來  
一九三〇年六月三十日ニ至ルモノ

農產品市場販賣法中所謂安定策ヲ含ム所ノ過剩管理及其ノ防止ニ對スル諸施設ハ其ノ重要味ニ於テハ唯有效ナル協同市場販賣組合ノ建設ニ次グベキモノデ而モ此等ト密接ニ結付ケラレタルモノデアアル

本法ノ主要ナル目的ノ一ハ農産及其ノ食料生産品ノ市場販賣ニ於ケル州際及國際取引ノ流通ヲ保護シ



管理シ安定スルニアル聯邦農務院ハ秩序の生産及分配ノ方法ニ依テ各種農産品ノ過剰ノ防止及管理ヲ援助スル任務ヲ課セラレテリ即チ之ニ依テ内國市場ヲ有利ニ維持シ且ツ農産品價格ノ不當過度ノ變動又ハ下落ヲ惹起セントスルガ如キ過剰ヲ防止セントスルモノデアラサレバ當院及農産品諮問委員會ガ安定會社ナル特別機關ノ必要ヲ認ムル場合ニハ之ヲ利用シ得ルノ規定ガアル尙其ノ第五條ニ於テ當院ハ農産品ノ生産過剰ノ状態ヲ調査シ且ツ斯ル生産過剰ノ防止ニ關スル勸告ヲ爲スノ權限ト指圖トヲ委任サレテアル

農産品ノ過剰ト價格ノ不安トハ新シイ問題デハナイ近年絶エズ議題トナリ且ツ其ノ解決ノ爲ニハ多クノ計畫ガ考案サレ來ツタモノデアアル

當院ノ解釋ニ依レバ議會ノ要求スル目的ハ農民タル生産者ニ損害ヲ與ヘントスル不當且ツ過度ノ價格變動ヲ緩和若クハ除去シ又斯ル不當且ツ過度ノ變動ノ原因ヲ緩和若クハ除去スルニ在ル即チ其ノ目的ハ變動ノ制限及激シキ變動ノ衝動ヲ和ゲル意味ノ安定デアツテ價格ノ嚴格ナル公定又ハ平準ヲ圖ルベキ意味ノ安定デハナイ而モ此ノ目的デサヘモ唯々農民ノ眞ノ利益ヲ期スル限りハ獨リ現在ノミナラズ亦將來ニ亘リテ求メラルベキモノデアアル

議會ハ當院ニ課スルニ何等特別ノ計畫ヲ以テスルコトヲ避ケタ否ナ寧ロ當院ニ委スルニ或種ノ方策及機關ヲ使用スルノ權限ヲ以テシタノデアアルケレドモ議會ガ當院ニ期待スル所ハ當院ニ其ノ問題ヲ研究スルノミナラズ若シモ事情ガ行動ヲ要求スルガ如ク見エタ場合ニハ則チ力強キ行動ヲ取り假令運用資金ニ損失ヲ及ボスノ危險ヲ冒スモ敢テ辭セズ且ツ經驗ニ依テ本法ノ目的ヲ達成スベキ最善ノ方法ヲ廣ク

行フニ在ルモノト當院ハ本法ヲ解釋スルモノデアアル

當院ハ茲ニ安定諸施設ノ四大部分類ヲ認メル

第一ニ當院ハ協同市場販賣組合ノ常規的發達ガ農産物ノ市場販賣及生産ヲ安定スルノ方途ニ寄與スル所大ナルベク且ツ之ニ依テ農産物價格ト農業收入トヲ安定スベキコトヲ企圖スルモノデアアル組合ヲ建シ其ノ財政的地位ヲ強メ其ノ活動範圍ヲ擴メ其ノ能力ヲ改善スル一切ノ努力ハ單ニ比較的新型ノ組合ヲ擴張スルヨリモ更ニ廣キ目的ニ資スル所アリト思考サル、ノデアアル若シ協同組合ニシテ彼等ノ爲ニ盡セル此等公共的努力ヲ至當ト爲スベキナラバ彼等ハ宜シク生産ノ調節及秩序的市場販賣ヲ援助スルコトニ依ツテ相當重キヲ爲スベキ安定ノ要素タル迄ニ發達スルデアラウ

當院ノ所信ニ依レバ生産過剰ガ農民自身ノ代理業者ニ貽ス所ノ市場販賣問題ニ就テハ農民ハ益自覺シ來ルガ故ニ其ノ有效ナル市場需要ニ對シ出來得ル限り彼等ノ生産ヲ調節スル必要ノ全威力ヲ感得スルデアラウ然シ本問題ニ就キ此ノ初年度中ニ於ケル協同市場販賣ノ進展セル結果ヲ是非スルハ早キニ過グルヲ以テ此ノ關係ハ本報告ニ於テハ多言セヌコト、シタ

第二ニ當院ハ組合自身ガ當院ノ援助ヲ得テ又ハ援助ナクシテ過剰管理又ハ價格安定ニ對シ特定セル緊急ノ處置ヲ行フコトガ出來ルト認ムルモノデアアル過去ニ於テ企テラレタル斯ル行動ニ時々ハ成功シタガ然シ屢々失敗ニ終ツタ當院ノ意見ニ依レバ斯ル行動ニハ一定ノ限界ガアル然シ昨年中ノ經驗ノ示フ所デハ斯ル處置ハ輕々シク行フベキモノデハナイ其ハ當院ニ公金ヲ失フ過度ノ危險ヲ含ムノミデナク亦組合自身ニ取テモ慘害ヲ及ボスベキ重大ナル危險ヲ孕ムベキモノデアアル

第三ニ當院ハ安定會社ヲシテ援助セシムルガ如キ大規模ノ安定行爲ヲ緊要ナリト認メル昨年中事情急迫ノ爲ニ取ツタ二ツノ處置ハ初メハ唯小規模ニスル希望デアツタガ遂ニ大規模ノ安定行爲ニ迄進展シタコトハ以下ニ記スル小麥ノ章ニ説クガ如クデアル

第四ニ當院ハ過剩防止ノ處置ハ過剩生産ノ管理ニ依ル方法ヲ以テ農産物價格及農業收入ヲ安定スベキ絶體ノ要素ト認ムベキモノデアアル協同組合及安定會社ハ他ノ施設ノ補充ヲ以テセバ一時的又ハ時々起ル過剩ヲ處理スルノ能力ヲ有スルコトハ立證シ得ル然シナガラ此等ハ一ツデモ亦總テガ共同シテモ若クハ政府ノ如何ナル機關ト雖モ市場ノ需要ニ超過シテ繰返ヘシ起リ又ハ繼續的ニ生ズル生産ノ結果カラハ農民ヲ保護スルコトハ出來ヌ市場ノ需要ニ對シテ生産ヲ調節スルコトハ農業ニ於テモ工業ニ於テモ過剩問題ノ解決上必要避ケ難キ所デアアル然シ農産過剩ノ管理及防止問題ハ廣汎ニシテ複雑デアアル當院ハ勇氣ヲ以テ其ノ仕事ニ接近シタガ然シ巨額ノ公金ト經濟的威力トヲ用キテ輕々シキ實驗ヲ爲スノ態度ニ出デズシテ是等ノ問題ニ對スル有效ナル解決ヲ得ルニハ經驗ト研究トガ大切デアアルコトヲ認ムルモノデアアル若シ夫レ健全ナル進歩ヲ爲スベキデアラバ唯一ケ年ニ得タル經驗ト雖モ次ノ行動ヲ取ル爲ニハ充分之ヲモ利用セネバナラヌ今此ノ見地カラシテ一九三〇年六月三十日ニ至ル安定上ノ努力ヲ次ニ摘要セントスルモノデアアル

#### 小麥ノ安定施設

小麥價格ノ不當且ツ不安ナル低落ヲ防止スル爲ニハ當年度中ニ於テ種々ノ手段ガ取ラレタ今茲ニハ其ノ繁ヲ避ケ要ヲ摘シテ此等活動ノ梗概ト其ノ理由トヲ述ベントスル

第一ノ手段ヲ取リシハ一九二九年八月上旬デアツタ當時穀物ノ現物値ガ先物値以下トナリテ異狀ナ下落ヲ來シシテ八月二三日頃ニハ現物先物共ニ暴落ヲ演ジタ是ハ主トシテ硬質冬小麥デ當米國ニ於ケル小麥空前ノ市場賣出シト終端市場ノ荷凭ヨリ來タコトガ明カニ思ハレタソコデ當院ハ八月三日ト七日ノ兩度ニ警告ヲ發シテ農民ガ市場ニ其ノ小麥ヲ急送セヌコトヲ力説シタ其ノ結果ニヤ小麥ノ移動ガ其後大ニ緩和サレテ價格ノ下向キガ防止サレタ

八月下旬當院ハ世界的需給ノ好況觀カラ協同組合ガ好值得チニ小麥賣控ヘノ希望ヲ有スルコトニ同感ヲ表シタ協同組合ノ中央販賣機關ヲ組織スルコトハ出來得ル丈ケ急速ニ爲サレタガ其ノ組織中當院ハ一九二九年九月五日告示ヲ爲シテ相當ノ資格アル穀物協同組合ニハ當院ヨリ農産品ノ追加的貸付ヲ爲スベク其ノ基礎ハ未販賣小麥ハ一ブツシエルニ付キ十仙又販賣若クハ賣繋ニ依リテ定メラレタル値段ノ九掛デアツタソシテ此ノ貸付ヲ利用シ得ル地位ニアル組合ノ數ニハ限りガアツタ

其ノ内ニ穀物市場ニハ重大ナル恐慌ガ進展シ來ツタソシテ此ノ進展ニ伴ヒ小麥値ガ尖銳的的反動ヲ捲キ起シタ十月十五日カラ同二十五日迄下落ガ一ブツシエルニ付十五仙デ十月二十四日ニハ唯一日デ小麥ガ九仙ヨリ十仙ノ下落ヲ見セタガ然シ之ハ單純ナ一時的的原因ニ歸シ一ケ年全體ノ需給狀況トハ無關係ノヤウニ思ハレタ

サレドモ此ノ狀態ハ小麥(苧ニ綿花)ニ關シテハ應急策ヲ要スルヤウニ見エタ尤モ是ニハ外界ノ原因ガ小麥市場ヲ壓迫シテ小麥値ノ激落ヲ脅シテラルヤウニハ思ハレタガ小麥値(及綿花値)ノ軟弱甚シキコトハ農民ニ取リテハ直接ニモ亦間接ニモ重大ナル不利ノ結果ヲ持チ來ルヤウニ思ハレタノデアアル要ス

ルニ總テノ事情ニ於テ斯ル事態ノ進展ニ對シテハ之ヲ防遏スベキ實際的努力ヲ爲スベキ價值ハ明カニ存在スルヤウニ見エタノデアアル

依テ當院ハ十月二十六日ニ主ナル終端市場ニ於ケル種々ノ等級ニ對シ前記ノ價格迄協同組合ニ貸付ヲ爲スベキ申入ニ付徹底的手段ヲ取ツタ右貸付價格ハ前記ノ等級ニ對スル十月二十五日ノ後場値ニ近キモノデアツタ

當時此ノ運動ハ成功スルヤウニ見エタソシテ小麥値ハ十月末ニハ著シク恢復シタ然シ十二月中旬更ニ値段ハ軟弱トナツタノテ全國農民穀物會社ハ同月十九日ニ於テ貸付金額ニテ小麥買入方ノ申込ミヲ爲スニ至ツタ

今ヤ事態ハ特別手段ヲ正當トスル許リテナク亦最モ信賴スベキ世界的小麥ノ情勢カラ觀察シテ公表價格迄貸出ヲ行フノ政策ハ採用サレルコト、ナツタ蓋シ一九二九年度ノ世界收穫高ハ前年ノ豐作ヨリモ五億ブツシエルノ減少ト見積ラレンソシテ輸出諸國ノ持越高ハ相當ニ多イケレドモ他方歐洲ノ輸入諸國ハ小麥ノ需要多クシテ大量ヲ買取ルベシト期待サレタノデアアルカラ獨リ米國農務省及聯邦農務院ノミテナク内外ニ於ケル穀物取引業者ノ過半(最モ經驗アル穀物商ヲモ含メル)ハ今ヨリモ將來ノ高値ヲ豫期シタ譯デアツタ當院ノ取リシ行動ハ即チ世界的狀況ヲ斯ク解釋セシニ基ケルモノデ之ニ依レバ小麥値ノ下落ハ根據ガナイト思ハレタノデアアル然シ此ノ意見ハ實際的進展ニ依ツテ遂ニ其ノ誤リデアルコトガ證明サレタ其ノ主タル誤謬ハ歐洲ニ於ケル輸入購買豫想高ノ違算ニアツタ而モ其ノ主要事項ハ左ノ三箇デアアル

一 歐洲ノ小麥持越高ハ實際非常ニ多カツタ

二 歐洲ノ小麥及他穀物ノ豐作ガ事實ニ於テ小麥ノ輸入ヲ減縮セシメタ

三 歐洲諸國ハ製粉規定關稅增加其他ノ方法(二三ノ場合ニ於テハ特ニ佛國ニ於テハ小麥ノ輸出サヘ獎勵シタ)ニ依テ小麥ノ輸入ヲ制限スルノ處置ニ出デタ

加フルニ支那ノ内亂及銀ノ下落ガ支那ヘノ輸入減少シ又亞爾然丁ハ一九二八年度ノ内輸ニ見タル收穫豫想ノ示セル所ヨリモ輸出向小麥量ガ遙カニ多カツタノデアアル此等ノ事實ハ徐々ニ明白トナツタガ事後ニ於テハ如何トモ爲シ難キ所デアツタ一九二九年ノ世界小麥作ハ一九二八年ヨリモ五億ブツシエル方少キニ拘ラズ國際小麥ノ取引高ハ三億ブツシエル以上モ減ジ而モ一九二九年七月一日ト一九三〇年七月一日トノ間ニ於ケル世界ノ持越高ノ減少ハ僅ニ一億ブツシエル程ニ過ギナカツタコトハ顯著ナル事實デアアル即チ前記ノ小麥對策ガ講セラレタ當時ニ於テ何レノ觀察者モ豫見セザリシ程度迄小麥ノ輸入購買力ガ非常ナル縮小ヲ爲シタモノデアアル

斯テ記録的ナ供給可能量ノ影響ト引續ケル輸出業ノ不振トニ依テ一二月中ノ小麥値ハ軟弱デアツタ然シ此ノ傾向ハ一時的ト信セラレタノデ之ニ對抗スルヲ適當ト認メテ全國農民穀物會社ガ貸付値デ地方ニアル小麥ノ買上ヲ爲セルコトガ一時農家ニ對シ小麥値ヲ支持スルニ役立ツタケレドモ後ニ是ガ不適當ナルコトヲ實證サレタノデ農務院ハ二月早々小麥諮問委員會ノ勸告ニ從ヒ穀物安定會社ヲ一ノ小麥安定會社ト認定シ前者ニ次デ小麥ノ買上ヲ爲サシメタノデアアル

以上買上ノ根據ハ次ノ如キ結果ヲ望ンデ行ハレタ即チ第一ニハ市場安定ノ爲竝ニ其ノ過程ニ於テ小麥

ノヨリ善キ等級品ヲ得ンガ爲第二ニハ有資格ノ組合ヲ通ジテ借入ヲ爲スノ地位ニ居ラス農民ニ對シテ貸付支持ノ便益ヲ與フル爲デアツタ然シ此ノ過程ニ於テ生産者以外ノ者ガ此ノ買上ノ形式ヲ悪用シツ、アツタソシテ農民カラ早期小麥ヲ買入レテ賣繋イダ者ノ内ニハ其レヲ不當ノ値デ穀物安定會社ニ賣リツ、アツタソコデ斯ル一般の買上ハ之ヲ打テ切ツテ地方ニアル小麥ノ買上ハ三月一日迄一時有資格ノ協同組合及其ノ組合員カラノ分ノミニ之ヲ決行シタ同時ニ安定會社ハ市價デ小麥ノ現物及五月先物ヲ買入レテ市場ノ支持ヲ企圖シタ此等ノ行動ヲ釋明スル爲ニ三月六日農務員ハ次ノ告示ヲ爲シタ

穀物安定會社ハ市場ニ於テ小麥ヲ買上ゲ其ノ壓迫ヲ除クニ必要ナ數量ヲ市場ヨリ取去ラントス農務員ハ農民ノ組織團體ニ對シ此ノ目的ノ爲必要ナル資金貸出ノ準備ヲ有スルモノナリ

安定會社ハ穀物市場ニ於テ投機ヲ爲ストノ非難アルモ事實スル根據無シ同會社ハ先物契約デ購入セラル一切ノ穀物ノ引渡ヲ受ケ且ツ市場ノ情況ノ許ス限り之ヲ販賣スルノ準備ヲ有シ又斯ク期待サル、モノナリ

此等ノ行爲ハ二月及三月ニ於ケル米國內小麥價值低落ノ一大脅威ヲ防止スルニ役立ツタガ同期間中リダアブールノ小麥値ハ三月中旬ニ於テ其ノ底値ニ落込ダノデアアルサレドモ此等ノ行爲ハ同時ニ賣繋ギ買繋ギノ爲ニスル先物市場ノ利用ニ干涉シテ各所ニ於ケル小麥値開ノ慣例的關係ヲ攪亂シタ更ニ尙穀物安定會社ハ五月先物ノ引渡ニ關聯シテ著シキ難局ニ直面セントシタ

此等諸問題ノ對策トシテ安定會社ハ製粉業者ト協力スルノ望マシキコトヲ見出シタソコデ同會社ハ箇々ノ製粉業者ト爲スベキ契約ヲ起案シ其ノ契約調印ノ日ヨリ四十五日間ニ於テ會社ハ製粉業者ガ特定

セル等級品種及品質ノ小麥ヲ製粉業者ガ後日其ノ需要ヲ充タス爲ニ買入レントスル最高數量迄貯藏用トシテ製粉業者ニ引渡スコトガ出來ルトノ規定ヲ設ケタ又製粉業者ハ公開市場ニ於テ同上小麥最高ノ約定數量ヲ超過セザルモノダケハ安定會社ノ承認ヲ經テ買入レ且ツ直ニ之ヲ會社ニ轉買スルコトガ出來タ同上小麥ハ製粉業者ガ無料ニテ貯藏シ保險ハ會社ガ附スル筈デアツタ

此ノ協定ノ目的ハ製粉業者ヲシテ賣リ繋ギノ手段ヲ取ル必要ナクシテ其ノ需要ヲ充タサシメ又穀物安定會社ヲシテ市俄古ノ如キ終端市場ニ小麥ヲ集中セシムルヨリモ寧ロ之ヲ豫メ使用シ得ベキ位置ニ置カシムル爲デアツタ此ノ契約ニ依ル協力ハ小麥ノ數量ヲ減少スルニ必要ナル事項デアツテ而モ小麥ノ不經濟ナル移動ヲ防ギ且ツ市俄古ニ於ケル荷凭ノ脅威ヲ避クル爲デアツタ

農務院ガ小麥價格安定ノ爲ニ取ツタ處置ニ就テハ種々ノ批評モアツタガ若シ此ノ小麥下落ノ應急策トシテ機宜ノ方法ヲ取ラナカツタナラバ世間ノ非難ハ更ニ峻烈ナモノデアツタラウト思ハレル尤モ其ノ結果ハ所期シタ通りデハナカツタ種々ノ名目デ少ナカラヌ出費ヲ負ヒ小麥價格ノ安定ニ盡シタケレドモ小麥其他農産物ノ下落ヲ一時喰止メタノミデ永ク防ギ得ナカツタ且又市場カラ取去ツタ小麥全部ヲ其年内ニ市場販賣ニ附シナケレバナラナイコトガ明ニナツタノデ早賣リヲ自制シテ持越スコト、ナツタノデアアル

以上ノ經驗カラ次ノ如キ結論ガ引出サレル

一 小麥ノ如キ農産品ニ對シ一大安定行爲ヲ行ヒテ市場ニ實質的效果ヲ致ス爲ニハ同品ノ一大數量ヲ買取ルヲ要スルハ避ケ難キコトデアアル然モ大部分供給可能ノ状態ニアルベキ大量ノ集中ハ多少共市

價ヲ壓迫スルノ結果トナルスル手持數量ハ需要ニ相當スル供給ノ買付ヲ困難ナラシメザル限り唯此ノ集積ヲ賣ラストノ意思表示丈ケデハ買手ヲ保證スルニ充分デナイ又假令需要ニ對スル供給ガ困難ナリトスルモ其ノ時ハ需要ヲ當座ノ分丈ニ縮メ又ハ狹メテヲケバ將來ノ需要ニ對スル見越買ヒハ減少スル譯デアアル

二 現物取引市場丈ケデスル買上ハ價格ヲ維持スルニハ不適當デアアル又是ハ先物取引トノ關係ヲ破ツテ現物取引ノ價格ヲ作ル爲ニ先物市場ニ於ケル合法的取引ニ大害ヲ與フルニ至ル事實斯クノ如クナルガ故ニ安定ノ爲ニスル活動ハ全取引ニ通ジテ行ハナケレバナラヌ其ノ避ケ難キ結果トシテ又先物引渡ノ大量買付ガ行ハレナケレバナラヌ斯クテ先物取引ノ受渡ニ依テ得タル小麥ハ約定ノ等級品デアアルカラ其ノ實價ニ於テハ地方ニアル小麥ヨリハ二仙乃至五仙方ノ變動ガアルコト、ナル

三 一度先物市場ノ取引ニ立入ツタ以上ハ單ニ一收穫物ノ市場販賣期間内ニ於テサヘモ其ノ取引ヲ止メルニ程善イ時期ガナイ先物價格ハ六ヶ月カラ九ヶ月先キノ期間ニ亘リテ發表サレルソコデ或先物取引ガ放棄セラル、カ又勢力ヲ得ルヤ否ヤ其ノ先物取引ハ現物市場及其他ノ先物取引ノ圏外ニ出テ了フノデアアル是ガ其ノ買入品ノ賣繋又ハ保險ヲ先物市場デ行フノ常習アル加工業者等ニ可也大ナル困難ヲ課スルモノデアアル

四 貯藏問題ハ如何ナル安定的活動ニ於テモ重大ナル問題デアアル穀物安定會社ハ農產品ノ安全引渡ヲ保證スルノ一方法トシテ倉庫證券ヲ發行シ得ルノ状態ニアラネバナラヌ是ヲ行フベキ施設ハ制限サレテ居リ而モ多クハ各種穀物ノ普通貯藏及取引ノ爲ニ是等ノ施設ガ必要トサレテアルソコデ今大量ノ小麥ガ買上ラレテ終端市場又ハ公設倉庫ニ保管セラル、場合ニハ其レハ管ニ供給可能量ノ一部トナルノミデナク更ニ又此ノ施設ヲシテ栽培者商人及加工業者等ノ穀物ヲ取扱フニ不適タラシムルニ至ルモノデアアル斯クテ安定會社ノ或ル穀物中ニハ最モ經濟的ノ利用又ハ販賣用タルコトカラ必然除外トナルモノガ生ズルノデアアル

五 安定會社ノ活動ハ普通者ヘラル、通り主トシテ賣拂ヒニアラズシテ買上ヲ意味スル是ハ價格ガ低ク市場ガ軟弱ナル場合ニ於テ殊ニ事實デアアル安定會社ノ賣出シハ直ニ市場ヲ下押シノ方ニ變ヘル傾向ガアルノデ其ノ當時尙穀物ヲ持ツテアル生産者カラノ不平ガ多イ今價格ガ栽培者ニ満足ナ平準ニアルナラバ小麥ハ支障ナキ限リ終端市場ニ轉ゲ込ムンシテ終端市場ガ充滿スルトキハ之ニ賣込ミ得ザル農民ハ痛ク不平ヲ鳴ラス斯テ供給可能量ハ増加シ新穀物年度ノ上半期中ニ於ケル我々ノ輸出最好期間ガ經過シンシテ安定會社ハ總テノ輸出諸國ト競争的ニ市場販賣ヲ爲スベキ供給ガ澤山アルコトヲ自ラ見出スニ至ル小麥ヲ持テ續ケル負擔ハ毎月毎ブツシエル約一仙二分ノ一ニ見積ルンシテ穀物ガ賣レ行ク場合ニ是等ノ負擔ハ作業費中ニ含マセネバナラヌノデアアル

安定ノ方法ヲ行フニハ一ノ範圍ガアルガ其ノ經路ニハ實驗上或程度迄困難ト危險トガ伴フモノデアアル一九三〇年ノ初夏ニ於テ直面セル状態ガ一九三〇——三一年(穀物年度)ノ當初ニ於テ更ニ同様ノ行動ヲ取ルコトノ保證トハナラヌ當國ニ於テハ農場地方製粉所及倉庫其他判明シ得ベキ場所ニアル在荷ハ記錄的數量ニ上ツタガ世界ノ供給可能量モ亦一九二九年ノ不作後ト雖モ同様デアツテ世界在荷ハ一九

二九年ニハ及バヌ迄モ全體トシテハ非常ノ多額ニ上ツタ然ルニ歐洲ノ制限ハ持續サレ又ハ更ニ節約サレタ

事業界ノ不況ハ世界的ナルニ而モ一九三〇年度ノ小麥收穫ハ前年度ヨリモ餘程大量ノ見込デ尙支那モ印度モ小麥ノ收穫ガ多ク要スルニ小麥輸入諸國ノ輸入需要ヲ充スニハ困難ナキ見込デアツタ此ノ異狀ナ情態ガ廣ク存在シタノデ小麥ノ眞價ニ就キ信賴スベキ見積リガ出來ナカツタノデアルソコデ穀物安定會社ガ是レ以上ノ實量買上ヲ爲サバ終端市場ノ荷凭ヲ起シ且ツ輸出及飼料向キ小麥ノ處分ヲ制肘スルコトニナツタノデアラウ當時存在セル事情デハ當然ト認メラレタ此ノ値下リハ單ニ市場カラヨリ多クノ小麥ヲ引取テ之ヲ保持スル丈ノコトデハ元ヨリ長ク此ノ下落ヲ防止スルヲ得ナカツタラウシ又其ノ在荷ヲ一層集積シテ恐ク國庫ニ損失ヲ與フルガ如キ幾多望マシカラヌ結果ヲ招徠シタデアラウ農務院ガ經營ノ當初カラ既ニ明カナリシコトハ農民自ラガ前途ノ需要ニ對シテ生産ヲ調節スルニアラザレバ如何ニ重要ナル安定的努力ト雖モ奏功セザルベキコトデアツタ其故ニ過去數年間ニ於ケル小麥ノ展開ト二三年以來ノ世界小麥ノ概況トヲ廣ク世界的ニ又特ニ米國ノ爲ニスル精細ノ研究ガ農產品市場販賣法ニ依リ且ツ米國農務省トノ協力ヲ以テ行ハレタノデアアル

此ノ調査ニ依レバ世界小麥ノ生産ハ數年間ニ亘リテ小麥ノ消費ヲ凌駕セシコト及五六年此ノ方ノ持越數量ガ米國內ニ於テモ廣ク世界トシテモ年々堆積シツ、アツタ尙一九二九——三〇年ノ世界的小麥ノ不作(一九二八年度ヨリモ五億ブツシエル以上ノ不足)ニ當リテハ過多ノ持越量ニモ一大減少ヲ見ルベシト期待サレタガ事實ハ驚クベキ少額ノ減少ニ止リ米國加奈陀ハ勿論廣ク世界ノ供給可能量ハ實際一

九二九年ノ記錄的在高ヲ破ツテ増加セル情況デ唯亞爾然丁ノ供給減ト歐洲ノ持越不足トヲ算入セバ一九三〇年七月一日ノ在荷ニ於テ初メテ前年同期ヨリモ少ナカラウト斷定シ得ルニ過ギナカツタ

斯テ小麥生産諸國ノ耕作反別ト其ノ生産及消費ノ傾向カラ見レバ依然トシテ小麥價格ノ繼續的不況ヲ脅カス様ニ思ハレタ尤モ年々需給狀態ニハ變化ガアリ又消長ノアルコトハ明カナコトデアアルガ同上ノ研究ハ將來數年間ニ於ケル小麥價格ノ一般平準ガ過去二三年ノ平均平準ヨリモ著シク下ルベシト理論的判斷ニ導キ且ツ一九二三年——一九三七年間ニ於ケル世界的小麥價格ノ大勢ハ矢張下向キタルヲ證スベキノ說ニ引入レタノデアアル

農務院ハ斯ノ如キ農產品市場販賣法ヤ是迄用ヒラレタル安定方法ニ依ルモ又ハ生産過剩ヲ内國ノ平準以下ノ價格ニテ外國ニ向ケ處分セントスル提案中ノ如何ナルモノヲ取入レテモ斯ル小麥下落ノ大勢ヲ阻止シ又ハ米國ノ小麥農ニ與フル重大ナ結果ヲ防遏セントスルノ望ハ一ツモ見出スコトガ出來ナカツタ小麥ノ生産過剩ニ對スル明カナル且ツ經濟的ナル救済ハ産額減少ノ目的ヲ以テスル生産ノ縮少ニシテ又若シ出來得ベクンバ其ノ結果トシテ我々ノ輸出過剩ヲ除去シ以テ關稅ガ米國ノ價格上ニ有效ナルト同様ニスルコトデアアル

此ノ研究ガ完成スル以前デサヘモ農務院ハ西北部ノ春蒔小麥栽培業者ニ對シ同小麥特ニデュラム小麥ノ一割減少ヲ説イタガ此ノ努力ニハ著シキ反響ガアツテ其ノ作付反別ハ實際ニ減少ヲ見タノデ同種ノ小麥價ハ好況ヲ呈シ來ツタガ然シ春蒔小麥全體デハ四分方ノ減少ニ過ギナカツタ更ニ此ノ政策ヲ作付反別ノ最モ多キ硬質冬蒔小麥ノ面積ニ普及センガ爲ニ農務院ハ農務省及關係各州ノ農業經濟學者並ニ

擴張委員等ノ地方會議ニ參加シタ  
 小麥其他各種農產物生産ノ有效且ツ適切ナル調節ヲ行ハンガ爲ニ爲スベキ事業ガ非常ニ複雑ナルハ農務院ノ認ムル所デアル最モ有益ナル調節ハ其ノ區域ヲ異ニスルニ從テ異ナルガ小麥其他ノ生産物ノ概況ニ關スル廣汎ナル事實竝ニ是等事實ノ地方的應用ニ關スル特殊ノ知識ハ之ヲ發達普及セシメテ箇々ノ農民ガ之ニ通曉スル様ニナラネバナラヌ農科大學聯邦及各州ノ擴張委員其ノ教職ニアル人々竝ニ銀行家實業者等ハ極力協同シテ事實上其ノ勞ヲ取ラネバナラヌ此ノ事業ヲ遂行スルニ大ニ與テ力アルハ協同市場販賣組合其他農民ノ團體デアル終リニ農務院ガ昨年中取レル方策ハ過剩農產品ノ防遏及管理ニ關シ此ノ重要ナル活動ノ舞臺ニ於ケル手始メノ仕事ヲ構成スルニ過ギザルモノト認ムルモノデアル

## 第二 英國ニ於ケル食糧政策

### 一 概 況

從來英國ノ農業政策ニハ系統的ノ施設極メテ少ク特ニ食糧ニ關スルモノハ其ノ時ニ應ジテ個々斷片的ノ策ニ出ヅルヲ常トスルノ状態デアツタガ唯穀物法ノ制度ハ遠ク中世紀ニ其ノ端ヲ發シ凡ソ十九世紀ノ後半迄六世紀間ニ互ツテ其ノ政策ハ繼續サレタ又歐洲大戰當時ハ穀物生産法發布セラレ王國防禦法ト相待テ國家非常時ニ於ケル生産ノ増加ガ激勵サレタコトハ英國ノ食糧政策上特筆スベキコトデア  
 アル

扱テ英國ニ於ケル輒近ノ政策トシテハ農產物市場販賣法案及土地利用法案ヲ舉ゲ得ル一九三〇年八月一日大藏卿スノーデン氏ガ下院ニ於テ政府ノ農業政策ヲ述ベタル中ニ農產物市場販賣法案ヲ説明スルニ先チ穀物栽培農ノ状態ヲ舉ゲ速ニ相當ノ考慮ヲ加フル必要アリトシ來ルベキ帝國會議ニ於テハ帝國各部ニ於ケル穀物農ノ状態ヲ議題トシテ其ノ真相ヲ研究シ尙特ニ大量ノ購入輸入局ノ設立及價格安定ノ方法等ニ力ヲ注グベキコトヲ說キ然モ此ノ農業状態ニ對シテハ政府ハ目下ノ處耕作方法ノ改善生産組織及市場販賣方法ノ改良教育並研究及信用設備ノ改善以外ニ於テハ別段具體的提案ヲ爲シ難キ立場ニアルコトヲ告ゲ執レ帝國會議ノ決議判明次第ハ英國ノ穀物栽培ヲ經濟的基礎ニ立タシムル様實行の方策ヲ探ルデアラウト結ンダ合穀物法及ビ穀物生産法ニ關スル概要竝ニ小麥輸入局ノ設立ニ關スル所說等ハ別項附録中ニ之ヲ掲ゲ左ニハ主トシテ市場販賣法案ノ内容及ビ其ノ批判ヲ記載シ尙土地利用法案及小麥法案ヲ略說スルコト、シタ

## 二 農產物市場販賣法案

### (一) 法案ノ概略

今日英國ニ於ケル内國農產物處理上ノ一大缺陷ハ大規模ノ市場販賣組織ヲ有セザルコトデア  
 ル農產物市場販賣法案ノ趣旨ハ産業ノ合理化ト共同作業ノ見地ヨリ英國内ノ生産者ヲシテ内國市場ニ於テ秩序的且ツ向上的ニ市場販賣ノ機會ヲ得シムルヲ以テ喫緊ノ必要ト爲シ其ノ方法ヲ講ズルニ在ルンシテ之ガ爲先ヅ其ノ根據ヲ生産者ノ自發的意志ニ置キ大規模ノ農產物組合ニ特權ヲ與ヘテ内國農

産物ノ市場販賣ヲ行ハシメ且ツ少數派ノ分離的行爲ニ妨ゲラレザル様之ニ對シテ相當ノ保護ヲ加フルニアル

本法案中ノ組合ニハ截然タル二種類ノ型ガアル然シ此ノ兩者ハ結合ガ出來ルモノデアアル

第一種ハ稍ヤ古ク且ツ一般ニ知リ渡レル販賣組合(プール)型ヲ第二種ハ供給ノ調節ヲ行フベキ組合型デアアル此等ノ組合ニハ政府ヨリノ長期及短期ノ資金貸付ヲ以テ財政的援助ヲ與フルモノデアアルガ本案ニハ別ニ消費者團體ノ利益ヲ保護スル爲ニモ亦相當ノ考慮ヲ加ヘテアル

從來英國ニ於ケル内國産農産物ノ市場販賣ハ極端ナル個人主義ニ依ルモノデアアル其ノ數量ト品質トニツナガラ一般ノ供給ト市場ノ需要間ニ調和ヲ缺クコトガ目立ツテアルサレバ内國農業ニ於ケル市場販賣組合ノ終局ノ目的ハ他ノ産業ト同様市場ノ需要ニ對シテ數量的又ハ品質的或ハ兩方面共ニ其ノ供給ヲ有效ニ調節セネバナラヌコトデアアル右ノ爲ニハ必然内容ノ充實セル計畫ト統一的ナ實行力ヲ要スルガ如キコトハ内國産ノ各種農産物又ハ類似品ノ場合ニ於テノミ行ハレルモノデアアル且ツ其ノ任ニ當ル者ハ商業團體ト非商業團體トヲ問ハズ特定面積ヨリ來ル内國供給ニ就キ全體トシテ又ハ其ノ事情ニ從ツテ之ガ市場販賣ヲ調節シ且ツ地元産地ニ於テ自覺的ニ監督ヲ行フノ能力ヲ有スル者タルヲ要スルノデアアル

本法案ハ一九三〇年七月三十一日下院ニ提出セラレ同日國王ノ裁可ヲ經テ法律トシテ公布セラレタガ其ノ起案ニ際シテハ農家ガ直接國家ノ監督ヲ受クルガ如キ救濟法ヲ求メザルノ意嚮ニ鑑ミ政府ハ専ラ市場販賣上農産業ノ必要トスル機關ノ設立ニ重キヲ置キ且ツ農民ガ各其ノ事情ニ從ツテ自發的

ニ之ヲ利用シ得ルノ方法ヲ取ツタスノ如ク農家ハ各々其ノ自由意志ニ從ツテ申合セラ爲シ以テ農産物ノ市場販賣計畫ヲ樹テソシテ申合セノ規約ガ一旦認可セラレタ以上ハ關係生産者ハ同規約ノ拘束ヲ受クルノデアアル然シ是レハ前記ノ如ク農民ガ各自自主ノ精神ニ基キ相互ニ其ノ規約ヲ守ルノデアアル

前述ノ如ク本法案ノ規定ハ規約加入ノ農民間ニノミ適用セラレルモノデアアルガ勿論外部ニ對シテモ無影響デハナイ故ニ公共ノ利益特ニ消費者ノ大團體ノ利益ヲ保護スル點ニハ充分ニ留意シ又同時ニ生産者ノ少數派ヲモ除外セヌ様ニ努メテアル

政府ハ援助ヲ與フル爲市場販賣基金六十二萬五千磅(後ニ六十五萬磅ト改ム)ヲ支出シ之ヲ以テ農産物ノ市場販賣計畫ヲ管理スル爲生産者ノ組織スル理事會ニ對シテ長期又ハ短期ノ貸付ヲ爲スコトヲ規定シテアル又此等理事會ガ焦眉ノ急トスル所ハ差當リ事業ノ着手ニ要スル基金ナルガ故ニ本法案ニハ又短期無利子ノ貸付ヲ規定シタ

政府ハ内國産農産物ノ統一計畫ヲ以テ一般經濟上ノ必要事ト爲シタガ之ハ一九二八年ノ農産物(等級及記號別)法デ其ノ統一ヲ圖ルコトガ出來ル然シ統一事業ハ組織體デナケレバ充分ノ效果ヲ得難ク統一ト組織トハ離シ難キモノデアアル今ヤ農産物市場販賣法案ハ有效ナル市場販賣方法ノ目的ヲ達セントスル一大前進運動ノ範圍ヲ廣メ且ツ其ノ道程ヲ準備スルコトヲ求メテアル

次ニ本法案ノ逐條摘要ヲ爲セバ左ノ通りデアアル



提出シテ許可ヲ得ベキコトヲ規定シテアル木條ハ計畫ノ提出許可修正及廢止ノ規定ヲ記載セル本法案附屬第一表ト相待テ作用スルモノデアル

第二條 計畫ヲ行フベキ登録生産者ノ代表ヨリ成ル理事會ノ構成ヲ取扱ツテアル

第三條 大臣ノ認可スル處ニ從テ理事會ガ取扱フベキ事項ヲ定メ且ツ左ノ行爲ガ許サレル

一 調節スベキ農産物ノ賣買等級別荷造貯藏賣出準備保險廣告又ハ荷送同上農産物ヨリスル各種物品ノ製造及同上製品ノ販賣ヲ爲シ得ル

二 登録生産者ハ調節スベキ農産物又ハ其ノ各種類品種又ハ等級別品ヲハ唯理事會又ハ其ノ代理者ヲ經由シテノミ販賣スル様要求セラル、

三 各登録生産者ハ左ノ諸項ヲ決定シテ調節スベキ農産物ノ販賣調節ヲ爲スベキコト

(一) 販賣スル農産物ノ種類品種又ハ等級

(二) 農産物ノ數量又ハ其ノ各種類品種若ハ等級

(三) 農産物又ハ其ノ各種類品種等級若ハ數量ヲ販賣スベキ價格其ノ上値又ハ下値及販賣ノ條件

(四) 農産物又ハ其ノ各種類品種等級若ハ數量ヲ賣渡スベキ人名又ハ仲介人名

四 登録生産者ニ於テ又ハ同生産者ノ爲ニ調節スベキ農産物ノ等級別荷造貯藏賣出準備保險廣告

又ハ荷造ヲ爲スベキ方法ヲ規定スルコト

五 或ル事故又ハ成行ノ結果ニ關スル規定ヲ設ケ且ツ理事會ヲシテ農事教育及研究ノ獎勵ヲ爲スコトヲ得シムルコト

第四條 各計畫ニ於テハ左ノ雜則ヲ規定スベキコトヲ定メテアル

一 計畫ノ規定ニ依リ登録生産者又ハ登録免除者ニ非ザル生産者ニ對シテハ調節スベキ農産物ヲ販賣セザルベキコトヲ要求スルコト

二 特ニ定メタル階級又ハ事情ニアル生産者ヲ計畫ノ全部又ハ一部ヨリ除外スルコト

三 計畫ニ違反スル生産者ニ對シテハ特ニ定ムル罰金ヲ課スルコトヲ理事會ニ要求スルコト

四 理事會ノ行爲又ハ不行爲ニ依リ損害ヲ受クタル生産者ヲ保護スルコト

五 帳簿ノ記載ヲ爲スコト並ニ帳簿ノ提出及豫算報告計算其ノ他登録生産者ノ提出スベキ報告ヲ請求スルコト及本法案第三表中ニ掲ゲタル立入並ニ檢査ノ權限ヲ定ムルコト

第五條 各計畫毎ニ基金ヲ設定シテ之ヲ理事會ノ處理及管理ニ附シ且ツ理事會ニ出資ノ割當及徵收並ニ借入ニ關スル或種ノ權限ヲ與フルコトヲ要求シテアル尙各計畫ニ於テハ理事會ニ權限ヲ與ヘ理事會ハ登録生産者ニ對シ計畫參加ノ程度ニ應ジテ金員ノ貸付ヲ爲シ得ル理事會ハ銀行ノ爲之ニ交附スル農業證券上ニ流動債權ヲ設定スル爲ニ一ノ債券ヲ發行スルコトガ出來ル

第六條 或種ノ事情ニ於テハ登記ヲ爲セル現行契約ノ繼續ヲ當然許シテアル

第七條 消費者委員會及調査委員會ノ任命ヲ規定シテアル

第八條 大臣ガ議會ニ年報ヲ提出スベキコトヲ要求シテアル

第九條乃至第十二條 農産物市場販賣基金ノ規定ニ關スルモノデアアル先ヅ理事會ニ金融ヲ圖ルノ目的ヲ以テ議會ノ定メタル金員中ヨリ五十萬磅ヲ英蘭基金ニ十二萬五千磅ヲ蘇蘭基金ニ支出スベキ

デアアル此等基金中ヨリ理事會ニ短期貸付ガ出來ルガ無利子ノトキハ二ヶ年ノ期限ヲ更新ナキ限リハ同期間内ニ償還ヲ要スル長期貸付ハ隨時隨意ノ期間理事會ニ貸付ガ出來ルガ斯ル貸付中ニ固定セシムベキ資金高ニハ制限ヲ附スル尙貸付ハ本法ニ依リ任命スル特別委員會ノ推薦アルモノニ限ル

第十三條 本法ニ依リ任命セル委員會ニ關スル大臣ノ負擔トナル一切ノ出費ハ議會ノ定メタル金員中ヨリ支辨スルコトヲ規定シテ居ル

第十四條 議會ニ對シ省令案提出ニ關スル手續ヲ定メ且ツ之ヲ官報ヲ以テ公布スルコトヲ定ムル

第十五條 本法ハ第四表ニ掲ゲタル物品即チ乳汁馬鈴薯バツプ羊毛穀物乾酪及家畜ニ適用セシムル

第十六條 語句ノ解釋ノ規定

第十七條 本法ヲ蘇蘭ニ適用スル爲之ヲ變更スルコトヲ規定シテキル

第十八條 本法ハ之ヲ愛蘭ニ適用スベキコトヲ規定シテキル

(二) 同法案ニ對スル農業會議常設委員會ノ報告摘要

英國ニ於ケル共同の市場販賣ガ兎角生産者側ノ小數派ニ妨ゲラレテ供給上ノ調節ヲ完フシ難キコトハ屢々實例ノ示セル所デ之ニ對シテハ何カ強制的方法ヲ講ズルノ必要ガアル又自由市場ニ農産物ヲ販賣スル場合ニ於テ往々市場ニ滞貨ヲ來ス爲生産者ハ好値ヲ賣リ崩スノ事實ガアル故ニ法案ニ示セルガ如キ農産物ニ就テハ秩序的市場販賣ヲ爲サンガ爲生産者ノ結合ヲ可トスルハ何人モ疑ハヌ所デアアル今販賣組合其ノ他ノ團體ニシテ效果ヲ舉ゲントスルナラバ市場ニ販賣セラル、農産物ノ生産者

全部ヲ之ニ包括セネバナラヌサレドモ本法案ニ於テハ其ノ計畫ヲ適用スベキ地域内ニ耕作セル生産物ヲ處理セントスル生産者ヲ事實ニ於テ代表スベキ團體ノ發達ニ依ルノ外ハ何等生産者ニ對シテ義務ヲ負ハスモノデナイ故ニ本法案ハ全ク農民團體ノ自由意思ニ基クモノデ其ノ規定モ亦任意ニ農民ガ其ノ農産物ヲ有效ニ市場販賣ヲ爲サントスル場合ニ於テ之ヲ援助スルコトヲ定ムルモノデアアル本法案ハ海外ヨリノ競争ガ目立タナイ農産物ニモ之ヲ必要トスルナラバ況シテ海外ヨリノ競争ニ依リ外國農産物ヲ國內ニ輸入スルノ結果內國ニ於ケル豐作以上ニ其ノ供給ガ廣ガルモノニ對シテハ一層ノ必要ヲ感ズルデアラウ

今共同のニ市場販賣ヲ行ハシメ又ハ小數派ノ濫賣ヲ取締ル強制方法ヲ設クルトモ若シ內國市場ガ英國ヨリモ勞銀ノ安キ諸國ヨリ輸入スル農産物ノ爲ニ又ハ補助金其ノ他ノ獎勵ニ依リテ割安ニ輸入サレル農産物ノ爲ニ賣崩サル、ナラバ此等ノ施設ハ何ノ役ニモ立タヌコト、ナル故ニ斯ル場合ニハ本案ニ於ケル内部の組織以上ニ必要ナル者ガアル即チ委員會ハ本案ニ配スルニ斯ル輸入ヲ取締ルノ方法ヲ講ジ以テ內國市場ニ對スル賣崩競争ヲ爲サシメザルコトヲ公平ニ確保スルガ如キ方策ヲ行ハザレバ本案ハ充分ノ效果ヲ舉ゲ難イト思考スルモノデアアル

外國ノ原產地ヨリ其ノ生産費以下ニ於テ英國ニ向ケ投資シ來ル農産物ニ對シ關稅特許制又ハ國ノ購入若ハ此等ノ結合的手段ニ依テ之ヲ管理スルノ方法ニ就テハ委員會ノ關セザル所デアリ尙又其ノ實行シ得ベキ方法ニ就テモ重大ナル障害ガアラウ然シ英國現在ノ市場販賣制ハ前記外國品ノ輸入ニ依リ內國ノ農産物市場ガ絶エズ値崩シサレルニ對シ直ニ之ガ防止方法ヲ取ルベキ程重大ナル状態ニア

ル既ニ或種ノ農業ハ此ノ害ヲ蒙ムリ全ク破滅ノ脅威ヲ受ケタ特ニ穀物ノ場合ハ市場販賣ノ状態ハ最大ノ危機ニ立ツモノデアルガ是レハ製パンニ内國製粉ノ一定量ヲ使用スベキ割當制（クオォーターシステム）ニ依テ幾分ノ緩和改善ハ確保サレヤウ然シ並々ノ割當制デハ一朝前記ノ如キ外國農産物ノ投資値崩シガ大量ニ於テ行ハル、トキハ到底耕作上ノ收支ヲ償フベキ效果ハ得難タカラウ尙又牛乳馬鈴薯ハツブノ如キ獨占的ノ農産物ト雖現在ノ如ク如何ナル事情ニ於テモ輸入食糧ニ對スル無管理制度ヲ存續スルニ於テハ何時デモ輸送ノ改良ヤ値下ゲヤ冷蔵設備ノ進歩等ニ依テ内國生産費以下ノ外國品ノ輸入ガ出來ルヤウニナルヤモ知レヌ斯クテハ臨時ニ保護ヲ得タ市場モ將來ハ一掃サレルデアラウ

故ニ本案ガ近ク法律トナル場合ニ於テハ本委員會ハ前述ノ如キ輸入管理方策ノ實行ヲ其ノ必要ナル傍策トシテ熱望スルト同時ニ農民ガ其ノ業務ヲ奪ハレザルガ如キ農産物ノ市場販賣制ヲ組織的ニ設ケ農民ノ援助ニ於テ顯著ナル效果ヲ舉グルヤウ本案ヲ作成スベキコト竝ニ本法案ガ建設セントスル新状態ハ現在ノ如キ殆ンド無統制ノ状態ヲ確カニ改善スベキモノナルコトニ意見ノ一致ヲ來セル次第デアアル

### (三) 同法案ニ對スルエコノミスト誌ノ批評

以上述べタル法案ハ其後多少ノ修正ヲ加ヘ一九三〇年十二月下旬再ビ農務大臣アヂサン博士ヨリ提出サレタガ之ニ對スルエコノミスト誌ノ概評ハ左ノ如クデアアル

英國ノ農産物市場販賣法案ハ元ト共同市場販賣方法ノ原理ヲ擴張シ且ツ生産者ニ政府基金ノ貸付援

助ヲ與ヘテ英國ガ直面シツ、アル難關ノ解決ヲ圖ラントスルモノデアアル同法案ガ農事ニ立入ルノ計畫ハ恰モ米國ノ農産品市場販賣法ト併立スルガ英國案ノ内容ハ無害性ヲ帯ビ其大半ハ單純ナル許容主義ニ出デ英國内ニ一定ノ土地ヲ有スル生産者ガ一種ノ協同組合ヲ作り特ニ法案ニ掲ゲタル農産物中ヨリ其ノ好ム所ヲ選ンデ栽培生産シタル農産物ノ市場販賣ヲ行フニ當リ自ラ進ンデ之ガ販賣調節ヲ行ハシムルノデアアル

各調節計畫ニ於テハ之ニ參加希望ノ生産者ノ登録ヲ爲スコト及右登録生産者ヲ代表スベキ理事會ヲ組織スルノ規定ヲ設クベク又此計畫ハ農務大臣ニ提出シテ其許可ヲ得ベキデアアルガ大臣ハ其發起人ノ資格代表者及計畫内容等ノ調査ヲ行ヒ且ツ彼等耕地面積ノ擴張トナラザル限リハ其適當ト考フル變更ヲ爲スコトガ出來ル次ニ計畫中ニハ登録ヲ爲サザル生産者ガ調節スベキ農産物ヲ販賣シタルトキハ之ニ罰金ヲ課スルノ規定ヲ設クベク又計畫ノ平等施行ヲ保證スルト共ニ登録生産者ニ貸付及保證ノ援助ヲ與フル爲生産者タル組合員ヨリ基金ヲ徵收シテ理事會ノ管理ニ付スルノ規定ヲ設クベキデアアル他方ニ於テ農務大臣ハ各計畫毎ニ消費者側ヨリ委員ヲ任命シ又消費者委員會ノ報告其ノ外不

平アル事柄ヲ取調ブル爲ニ調査委員會ヲ任命スル  
尙調査委員會ガ計畫ノ一部ヲ以テ公益ニ反スルモノト認ムルノ報告アリタルトキハ大臣ハ商務院ト協議ノ上其ノ計畫ヲ撤廢又ハ變更若ハ其他匡正ノ爲必要ノ方法ヲ採ルコトガ出來ル  
法案中ニハ六十五萬磅ノ基金ヲ設ケ其ノ内ヨリ理事會ニ貸付ヲ爲シ得ルノ規定ガアル  
斯クテ同法案ノ精神ハ許容的デアアルケレドモ亦強制的ノ要素ヲ含ンデアル而シテ市場販賣上特ニ協

同作業ヲ獎勵スルノハ誠ニ結構デアアル然シ本案ニハ諸種ノ委員會ヲ設ケタル爲ニ其ノ動作ヲ妨ゲラ  
ル、ノ恐レアルト且又農民ノ自發的意思ニ基クモノナルガ故ニ現在産業中最モ悲境ニアル農業ニ對  
シ果シテ迅速且事實上ノ救濟ヲ爲シ得ベキヤ否ヤハ問題デアアル

### 三 土地法案

農業土地(利用)法案ハ一九三〇年十一月十八日英國下院ニ於テ二一六票ニ對スル二九七票ヲ以テ第二  
讀會ヲ通過シタ當時農務大臣アヂサン博士ノ政策ハ自由黨首ロイドジョーシ氏ヨリ多大ノ支持ヲ得タ  
ケレドモ保守黨ヨリハ強力ナル反對ヲ試ミラレ爲ニ委員會ノ進行頗ル困難ナルヲ思ハセタ尙上院モ亦  
反對ノ氣勢ヲ示シタガ其ノ反對理由ノ當否ハ容易ニ識別シ難イ有様デアッタ  
本法案ノ骨子ヲ約言スレバ

- (一) 先ヅ農業土地會社ヲ設立シ大規模ノ農業ヲ實驗スル爲之ニ土地購入ノ權限(若シ議會ガ認メバ強  
制的買上ヲ以テ)ヲ與ヘ此所要經費ヲ壹百萬磅以內トスルコト
- (二) 農務大臣ハ同様土地ヲ取得シテ縱覽農場及開墾用ニ供シ次テ之ヲ貸付ケ又ハ轉賣スルヲ得但シ此  
經費ハ五百七十萬磅以內トスルコト
- (三) 農務大臣ハ土地ニ歸農ノ希望ヲ有スル失業者ニ農業ヲ實習セシメ且之ヲ保護スル爲各小農地毎ニ  
一千一百磅各割當地毎ニ六百四十磅ノ金融ヲ圖リ尙移民ノ必要トスル資本金ヲ貸付クルコト  
等デアアル

尤モ本法ニ依リ直ニ失業者歸農ノ大勢ヲ招來スベシト思フハ無理ナルモ右ハ現政府農業政策ノ一端ト  
シテ見ルベキモノデアラウ兎ニ角斯クノ如キ方法ヲ以テ小農地及割當地ノ附與ヲ實行スルハ極メテ健  
全ナル政策ト云フベク之レ議會ハ其ノ黨派ノ如何ニ拘ラズ此ノ法案ヲ是認スル所以デアアル  
土地會社ガ經營スル大農の農場ニ就テハ其ノ結果ヲ見タ上デナケレバ未ダ是非ノ判斷ヲ下シ難イガ經  
費ノ點ハ比較的ニ中庸ヲ得テアル今本法案ノ爲最モ重要トスル所ハ國家ガ此種ノ農業的活動ヲ援助ス  
ルニ際シ關稅其ノ他ノ方法ニ依リテ人爲的ニ價格ヲ調節スルノ弊ニ陥ルコトヲ避ケタ事實ニ存スルコ  
トデアアル

### 四 英國ニ於ケル下院提出當初ノ小麥法案

(小麥ノ割當納付金ニ關スル規定ニシテ小麥市場ヲ確保シ小麥ノ高値ヲ支持スル  
ヲ目的トスルモノ) 一九三二年二月二十五日發行ノロンドンタイムズニ依ル)

英國ニ於ケル最近ノ小麥法案ハ一九三二年二月二十三日サー、ジョン、ギルモア農務大臣ガ下院ニ提  
出セシモノナルガ其ノ賛成者ハ首相及ポールドウイン氏並ニ蘇蘭國務卿サー、シンクレアノ三氏デ  
アツテ法案ノ趣旨ハ左ノ如クデアアル

- 一 內國產製粉用小麥ノ栽培者ニ對シ其ノ標準價格及市場ノ確保ヲ圖ルコト
- 二 製粉業者及製粉輸入業者ニ對シ前記小麥ノ割當納付金ニ關シテ計算セル支拂ヲ爲スノ義務ヲ課シ  
且之ニ依リテ得タル金額ノ處分ニ關スル規定ヲ設クルコト
- 三 前記製粉業者ガ右小麥ノ不捌ケ在荷買取リノ要求ニ應ズベキ規定及前記諸事項ニ關スル目的ノ爲

ニスル規定ヲ設クルコト

本法案ハ十九條ヨリ成リ其ノ説明書ニ依レバ法案ノ目的ハ合衆王國ニ於ケル小麥栽培者ニ其ノ内國產製粉用小麥ニ對スル市場ノ確保ト價格ノ増加ヲ得シメ然カモ大藏省ノ補助金ナク又小麥ノ不適地ニ小麥作ノ擴張ヲ爲スコトナクシテ之ヲ行フノ規定ヲ設クルニ在ル

本法案ノ便益ハ一九三二年及以降ニ於ケル内國產製粉用ノ收穫小麥ニ及サントスルモノデア

不足額支給

第一條ハ製粉用ノ小麥栽培者ノ爲標準價格及其ノ市場ノ確保ヲ圖ルコトヲ規定スルモノデ

一 何レノ穀物年度ニ於テモ内國產製粉用小麥ノ査定平均價格ガ標準價格ヨリモ低キトキハ各登録栽培者ハ誰デモ本法及之ニ基ク諸規定ニ從ヒ當年度ニ於テ自ラ販賣セル同上ノ自作小麥（一九三二年以前ノ收穫ニアラザル）毎ハンドレット、ウエートニ付前記平均價格ト標準價格ノ差額（以下單ニ不足價格ト稱ス）ニ相當スル支給（以下單ニ不足額支給ト稱ス）ヲ受クルノ權利ヲ有スル但シ右ハ行政費ニ關シ本法ノ規定セル減額ヲ爲スヲ要スル尤モ何レノ穀物年度ニ於テモ總登錄栽培者ガ販賣セル自作ノ内國產製粉用小麥量ガ當該年度ニ於ケル同上小麥ノ豫想供給量ヲ超過スルトキハ右豫想供給量ガ其ノ年度ニ於テ總登錄栽培者ガ販賣シタル自作ノ内國產製粉用小麥量ニ對スルト同一割合ニ依リ各栽培者ハ其ノ年度ニ於ケル自作ノ同上小麥自己販賣量ニ對スル比例數量高ニ限リ當年度不足額ノ支給ヲ受クベキ權利ヲ有スルモノデア

二 本法ノ目的上登録栽培者ノ販賣セル小麥ガ其ノ販賣當時ニ於テ占有セル農圃ノ一部ヲ成ス土地デ

栽培サレタモノデアレバ之ヲ其ノ自作小麥ト認ムベク若シ又小麥委員會ノ規則ニ依ラズシテ其ノ小麥ガ販賣以前ニ於テ農圃カラ他ヘ移動サレタナラバ之ヲ其ノ自作小麥トハ認メラザルモノデア

三 一九三二年以降何レノ年ニテモ其ノ六月ニ於テ小麥委員ガ大臣ニ意見ヲ述ベテ當時收穫ノ内國產製粉用小麥（其ノ直前ノ穀物年度ニ附ケタル小麥）在荷ヲ製粉業者組合ニ於テ買取ルベシトスルナラバ大臣ハ命令ヲ發シ右命令ノ實行情ニ於テ命令中ニ掲ケタル登録栽培者ノ不捌ケ殘荷ヲ同栽培者ヨリ買取ルコトヲ該組合ニ要求スルコトガ出來ル尙右命令中ニハ其ノ小麥ヲ買取ルベキ期間ヲ掲グベキデア

尤モ何レノ穀物年度ニ於テモ小麥委員ノ意見ニ從ヒ本項ニ基キ發セル命令ヲ以テシテハ製粉業者組合ニ對シテ其ノ年度豫想供給量ノ一割二分五厘以上ヲ買取ルベキ要求ヲ爲スコトハ出來ヌ

中等平均品質

四 前項ノ命令ハ大臣ガ小麥委員會ニ諮問ノ上標準價格ヲ超過セザル豫定價格ヲ定ムベキデア同價格ハ命令ノ行ル地域及命令ノ施行セラレル時日ニ於テ中等平均品質ノ内國產製粉用小麥ガ任意ノ賣手ト任意ノ買手トノ間ニ取引セラレル價額カ又ハ可成之ニ接近セルモノデアラウ尙又同上命令ノ要件ニ從ヒ登録生産者ヨリ買取ル小麥ハ總テ命令中ニ掲ケタル價格ヲ參酌シ小麥委員會ノ規則ニ從ヒ其ノ品質ト市況トニ依リテ定マル様ナ價格ニテ買取ルベキデア

五 上記命令ノ要件ニ從ヒ登録生産者ヨリ買取リタル小麥ハ總テ本條前項ノ目的ノ爲小麥委員ガ意見

ヲ述ベタル穀物年度ニ於テ該栽培者が販賣シタルモノト認ムベキデアル

六 本條ニ基ク命令ニ依リ製粉業者組合ニ對シ小麥在荷ノ買取りヲ請求シタル登録栽培者が右小麥ノ品質ニ關シ左記三號ノ事實ヲ證明スルトキハ同栽培者ハ組合ヨリ債權トシテ其ノ賠償ヲ受クルノ權利ヲ有スルモノデ同賠償金ハ若シ前記ノ如ク定メラレタ價格ヲ買取ラレルナラバ其ノ數量ニ對シテ支拂フベキ金額ニ均シキモノデアル右賠償金額ヲ受領シタルトキ又ハ其ノ決定ヲ受ケタルトキハ之ニ關スル小麥ハ小麥委員ニ於テ之ヲ沒收ノ上任意ニ處分スルコトガ出來ル

(一) 命令ニ定メタル期間又ハ組合ノ申出ニ依リ大臣ノ許可セル猶豫期間内ニ於テ組合ガ該數量ノ買取上怠慢ノ行爲ガアツタコト

(二) 數量ニ對シ價格ガ小麥委員會ノ規則ニ從ヒテ定メラレ且栽培者が實際常ニ其ノ價格ニテ右數量ヲ販賣スルノ用意及好適ヲ持ツタコト

(三) 其ノ數量ガ實際常ニ上記ノ如ク價格決定ノ基礎トナツタ品質ノ内國產製粉用小麥ノ數量デアツタコト

小麥委員ハ其ノ適當ト認メル場合ニ於テハ本項ニ依リ登録栽培者ノ全部又ハ一部ノ爲此等栽培者ノ受取ルベキ賠償金額ニ付受託人トシテ其ノ手續ヲ取ルコトガ出來ル尙又他ノ賠償ヲ害セヌ様ニスレバ本項ニ依ル賠償金額ハ民事上ノ債務トシテ簡略ニ賠償ヲ得ルコトガ出來ル

七 製粉業者組合ハ前記ノ如キ命令ニ依リ組合ノ買取りヲ要求サレタ小麥ヲ自己ノ爲何人カニ買取ラセルノ約定ヲ爲スコトガ出來ルンシテ同上命令ノ要件ニ從ヒテ買取りタル小麥ハ組合ガ適當ト考フ

ル方法ニテ自ラ之ヲ販賣シ又ハ其ノ他處分ヲスルコトガ出來ル

毎ハンドレット、ウエイト十志

第二條ハ内國產製粉用小麥ノ査定平均價格標準價格及豫定供給ノ決定ニ關スルモノデ左ノ如ク述ベテ  
ヲル

一 一九三三年七月三十一日ニ終ル穀物年度以後及各後續穀物年度以後可成速カニ大臣ハ小麥委員ニ諮問ノ上命令ヲ以テ合衆王國中ノ登録栽培者ガ其ノ年ニ販賣セル自作ノ内國產製粉用小麥ニ付同栽培者ガ得タル平均價格タルベキモノヲ定ムベキデアル

本法中ノ査定價格トハ一穀物年度ニ就キ其ノ年ノ關係ニ於テ定メタル價格ヲ謂フモノデアル

二 本法中標準價格トハ毎ハンドレット、ウエイトニ付十志ノ價格ヲ謂フモノデアル

尤モ遅クモ一九三五年三月一日以前ニ於テ大臣ハ三名ノ委員ヨリ成ル委員會ヲ組織スベク同委員會ハ一般經濟情況及農產業ニ影響スル所ノ情況ヲ考慮ノ上標準價格ヲ變更スル希望ノ有無ニ關シ大臣ニ報告スベキデアル而シテ若シ同委員會ガ標準價格ヲ變更スベシトノ意見ヲ大臣ニ述ベタナラバ大臣ハ命令ニ依リ一九三五年八月一日ヨリ命令中ニ掲ゲタル價格ヲ以テ前記價格ニ代用スルコトガ出來ル但シ同命令ハ唯假命令デ議會ガ之ヲ認ムル迄ハ效力ヲ有セザルベキデアル

三 大臣ハ小麥委員會ニ諮問ノ上命令ヲ以テ各穀物年度ノ始メニ於テ又ハ可成速カニ其ノ年度内ニ登録栽培者ガ販賣スベシト豫想スル自作ノ内國產製粉用小麥ノ數量ヲ定ムベキデアル又一穀物年度ニ關シテ爲セル同上命令ハ其ノ穀物年度ノ一月末以前ニ於テ同様ノ方法ニテ爲セル次ノ命令ヲ以テ之

ヲ變更スルコトガ出來ル尙一穀物年度ニ對スル本法ノ豫想供給トハ後段ノ規定ニ從ヒ現ニ有效ナル命令ニ依リ其ノ年ニ對シテ豫定シタル數量ヲ謂フモノデアアル但シ右ニハ左記ノ條件ヲ附スル

(一) 一穀物年度ニ對シ本項ニ依リ豫定シタル内國產製粉用小麦ノ數量ガ二千七百萬ハンドレット、ウエートヲ超過スルトモ豫想供給ハ本法第一條第三項ノ條件ノ爲ニスルモノヲ除ケバ矢張二千七百萬ハンドレット、ウエートト見做スベキデアアル

(二) 一穀物年度ノ豫想供給ヲ定ムルニハ大臣ハ其ノ年度ニ於テ利用スベキ内國產製粉用小麦ノ七分五厘ヲ種子用トシテ控除シ登録栽培者ハ之ヲ販賣セヌデアラウ

#### 割當納付金ノ支拂

第三條ニハ製粉業者及輸入業者ノ割當納付金支拂ノコトヲ左ノ如ク取扱ツテラル

一 本法ニ依リ小麦委員會ノ支出スベキ經費ニ當ツル目的ヲ以テ各製粉業者及製粉輸入業者ハ其ノ製粉高毎ハンドレット、ウエートニ付小麦委員會ニ一定金額ノ支拂(爾後割當納付金支拂ト稱ス)ヲ爲スノ義務ヲ負フベキデアアル右ハ本條ノ規定ニ依リ算定セル金額ニシテ當穀物年度ニ於テ引渡シヲ爲セシ内國產製粉用小麦ノ豫想供給高ガ若シ其ノ年度ニ於ケル製粉見積供給高ヲ生産スル場合ニ毎ハンドレット、ウエート當リ一様ノ割合ヲ以テ使用サレタナラバ右數量ノ生産ニ使用サレタ等ノ同上小麦ノ割當納付金ニ關スル不足價格ニ均シキ金額ヲ表ハスモノ又ハ近似的ノモノデアアル

尤モ製粉業者ノ一穀物年度中ノ生産ガ粗製粉以外ノ小麦粉ヲ含マズ且其ノ全部ガ家畜又ハ家禽ノ飼料トシテ使用サレルコトニ付小麦委員ヲ満足セシムルナラバ同委員ハ委員會ノ規則ニ從ヒ右製粉業

者ニ其ノ年ノ同上製粉ニ關スル割當納付金ノ支拂ヲ爲スノ義務ヲ免除スル證明書(爾後製粉業者飼料證明書ト稱ス)ヲ付與スルコトガ出來ル但シ委員ガ何時ニテモ前記ノ満足ヲ爲サバルニ至ラバ右證明ヲ取消スコトガ出來ル

二 製粉業者又ハ製粉輸入業者ノ生産物若干ハンドレット、ウエートニ對シテ支拂フベキ割當納付金ノ支拂ハ同數量ヲ引渡シタ時ニ當然取立テ得ベキモノトナルデアラウ本條引渡シタトノ用說ハ製粉業者ノ生産物關係ニ於テハ販賣又ハ消費ノ爲若クハ自己又ハ第三者ガ使用スル爲自己ノ手デ引渡シタ意味デアリ又輸入業者ノ生産物關係ニ於テハ内國消費又ハ内國用ノ爲自己ノ手デ又ハ自己ノ爲輸入シタル意味デアアル

三 若シ小麦委員會ノ規則ニ從ヒ一ノ製粉量ニ對スル割當納付金ノ支拂ガ遲滯ナク爲サレタコト及其ノ製粉ガ貯藏用トシテ輸出又ハ積出サレタコトヲ小麦委員ノ満足スル様ニ證明シタナラバ小麦委員ハ輸出業者ニ對シテ拂戻ヲ許可スベキデアアルソシテ前記輸出又ハ積出ノ時日ニ於テ製粉量ニ對シテ爲セル又ハ許可セル拂戻額ハ其ノ時日ニ於テ引渡セル同様ノ數量ニ對シ支拂フベキ割當納付金ノ支拂額ト同額タルベキモノデアアル

#### 見積不足價格

四 小麦基金過不足ノ調節ニ關スル本法ノ規定ニ從ヒ本條ニ依リテ爲スベキ割當納付金ノ支拂ハ大臣ノ命令ヲ以テ定ムベキ金額タルベク又斯ク定メタル金額ヲ計算スル爲大臣ハ小麦委員會ニ諮問ノ上左ノ見積ヲ爲スベキデアアル

- (一) 右命令ノ行ハレル穀物年度ニ於テ登録栽培者ガ販賣シ又ハ販賣セントスル内國產製粉用小麥ニ對シ同栽培者ノ取得スベキ平均價格及右小麥毎ハンドレット、ウエートニ對スル不足價格
- (二) 其ノ年度ニ對スル製粉供給高即チ合衆王國ニ於テ消費又ハ使用ノ爲其ノ年ニ於テ引渡シ且保留セラルベシト大臣ニ於テ思考スル製粉總量尙又右金額ノ見積リ不足價格ニ對スル割合ハ其ノ年度ニ於ケル内國產製粉用小麥ノ豫想供給數量ノ同年度小麥粉見積供給高ニ對スルト同一割合ニ於ケル金額タルベキデアル
- 五 若シ一穀物年度ニ於テ隨時大臣ガ其ノ穀物年度内ニ當然支拂ヲ受クベキ割當納付金ノ支拂平均金額ガ本條第一項ニ掲ゲタル金額ヲ一層近ク表示スベキコトヲ確カムル爲適當ト思考スルトキハ大臣ハ小麥委員會ニ諮問ノ上新ニ命令ヲ以テ本條ニ依リ是迄有效ナル命令ニ代ハラシムルコトガ出來ル
- 六 本條ニ依リ發セラレタル命令ニハ見積不足價格内國產製粉用小麥ノ豫想高及命令ニ依リ定メラレタル數量ヲ算出セル基礎ニ於ケル製粉ノ見積リ供給高ヲ記載スベキデアル
- 七 本條ニ依リ效力ヲ有スル總テノ命令ハ新命令ガ之ニ代ハル迄ハ效力ヲ存スルソシテ本條ニ依リ爲セル割當納付金ノ各支拂金額ハ命令ガ發セラレタル穀物年度ノ終了ニ拘ラズ支拂期限ノ到達期ニ於テ尙有效ナル命令ヲ以テ定メラレタル金額タルベキデアル但シ各穀物年度ノ開始後ニ於テ又ハ可成速カニ新命令ヲ發スベキデアル
- 第四條ハ小麥委員會ノ規則ニ關スルモノデ同規則中ニハ他ノ規定ト共ニ總テ内國產製粉用小麥ノ栽培

者ガ其ノ目的トスル登録出願ノコト及出願ノ方法竝ニ其ノ出願者又ハ同上小麥栽培中止者ノ人名ヲ登録簿ヨリ削除スルコト等ヲ規定スル尙又規則ニ掲載セル事項ヨリ起ル爭議ノ仲裁ノ終審決定ニ關スルコトモ規定スル

製粉ノ輸入

第五條ハ輸入セル製粉ニ對スル割當納付金ノ支拂ヲ確實ナラシムルコト及輸出製粉ノ豫備登録ノコトヲ左ノ如ク規定シテラル

- 一 輸入製粉ニ對スル割當納付金ノ支拂ガ遲滯ナク支拂ハレタコトヲ確カムル爲合衆王國ニ輸入サレタ總テノ製粉ハ關稅支拂ノ義務ノ有無ニ拘ラズ關稅ヲ支拂フベキ物品ガ登録サレルト同様ノ方法ヲ登録サルヘク又内國消費若クハ内國使用ノ製粉ニ對シテ支拂フベキ割當納付金支拂ノ正式領收書ヲ稅關及稅務署ノ官吏ニ提出セザル限リ稅關及稅務署ハ其ノ登録ニ調印セヌデアラウ隨テ稅關ニ關スル法令中ノ關係事項ハ後段ノ規定ニ從ヒ恰モ割當納付金ヲ爲サシムル關係事項ヲ含ミ又割當納付金ハ恰モ關稅タルガ如ク本法ノ目的上カラ右稅關ノ法令ヲ茲ニ適用スベキデアル

- 但シ
  - (一) 割當納付金ノ支拂ハ稅關及稅務署ノ官吏ニ支拂フベキ性質ノモノデハナイガ前記領收書ヲ稅關及稅務署ノ當該官吏ニ提出スルコトハ前記法令ノ目的ヨリセバ是等ノ支拂ヲ爲シタコトノ確定的證據タルベキモノデアアル
  - (二) 前記ノ如ク提出ヲ爲サマリシ領收書面ノ製粉ガ官立倉庫ニ保管サレタ後又ハ前記法令ニ依リテ



沒收サレタ後は等法令ニ依リ税關又ハ稅務署委員ノ爲賣却サレタナラバ製粉買取人ハ本法ノ目的上其ノ輸入者ト見做サルベク又買取人ハ之ニ關スル割當納付金ノ支拂ヲ爲シ且右製粉ノ引渡シヲ受クル以前ニ於テ其ノ領收書ヲ提出スルノ義務ヲ負フベキデアル

(三) 課稅又ハ課稅取消ニ關スル契約ノ效果支拂フベキ稅率ニ關スル異議合衆王國ニ戻シ來レル英國品及チャンネル諸島竝メン島ヨリ來ル無稅輸入ニ關スル前記法令ノ規定ハ本法ノ目的ノ爲ニハ之ヲ適用セヌ

二 本法ノ目的ノ爲左ノ規定ハ一八七六年稅關整理法ノ適用ニ關シテハ同法百三十九條ニ代リテ效力ヲ有スル即チ

貯藏用トシテ輸出又ハ船積ヲ爲サントスル製粉ノ輸出者又ハ船積人ハ其ノ輸出又ハ船積以前ニ於テ遲滯ナク製粉ノ登錄ヲ爲スベキデアル若シ同人ガ同上登錄ヲ爲サズ又ハ之ヲ爲スヲ怠リタルトキ若クハ或事項ニ付虛偽ノ登錄ヲ爲シタルトキハ百磅ノ罰金ニ處セラレ製粉及表裝ハ沒收セラルベキデアル

#### 小麥基金

第六條ハ小麥委員監督管理ノ下ニ小麥基金ト稱スル基金ノ設定ヲ規定スル委員ノ收納スル總テノ金員ハ同基金ニ拂込ミ又委員ノ支出セル一切ノ經費ハ之カラ支辨スル

第七條ハ小麥基金過不足ノ調節ヲ取扱フ

第八條ハ製粉業者組合監督管理ノ下ニ製粉業者割當納付金基金ト稱スル基金ノ設定ヲ規定シ組合ノ

受領セル總テノ金員ハ之ニ拂込ミ又組合ノ支出セル一切ノ經費ハ之カラ支辨スル尙製粉業者組合ハ大臣ヨリノ買入命令ニ依リテ要求サレタ小麥在荷ヲ購入スル爲必要ナル金額ヲ借入レルノ權限ヲ有スルコト及右在荷ノ購入販賣又ハ處分ニ關シ製粉業者ノ割當納付金基金ニ拂込ミ又ハ之ヨリ引出セル總テノ金額ハ之ヲ別計算トシテ示スベキデアルト述ベテ居ル

第九條ハ行政費ノコトヲ規定スル

第十條ハ委員ガ報告ヲ徵スルノ權限ニ關スルモノデ委員ハ何人ニ對シテモ書面ヲ以テ小麥及製粉ヲ檢査報告セシメヌ何レノ運送人倉庫業者若クハ其ノ使傭人又ハ代理人ニ對シテモ委員ニ小麥及製粉所有者委託人若クハ受託人ノ氏名住所ノ報告ヲ求ムルノ權限ヲ有スル

#### 見本採取

尙委任ヲ受ケタルモノハ請求サレタナラバ其ノ委任狀ヲ示シタル上何レノ土地又ハ建物ニモ立入りテ同所ニ在ル小麥又ハ製粉ヨリ見本ヲ取ルコトガ出來ル又何人ニテモ本法ニ依リ執行ヲ委任サレタ職務執行ヲ妨害シ若クハ本法ニ依リ提出ヲ求メラレタ報告ノ提出又ハ計算帳簿其ノ他書類ノ提供ヲ拒絕シタル者ハ有罪即決ニ依リ第一犯ノ場合ハ二十磅以下二犯以上ノ場合ハ百磅以内ノ罰金又ハ三ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ又ハ兩者ヲ併課サレル

何人ト雖モ本法ニ依ル職務執行中自己ノ受ケタル報告ヲ合法的ニ之ヲ受クルノ權利ヲ有スル者以外ニ漏洩シタル者ハ起訴ニ依ル判決ヲ以テ二ヶ年以内ノ禁錮又ハ百磅以内ノ罰金ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併課サレ又ハ有罪即決ヲ以テ三ヶ月以内ノ禁錮若クハ五磅以内ノ罰金ニ處セラレ又ハ兩者ヲ併課サレ

第十一條ハ大臣ノ規定スル諸規則ニ關スルモノデ是等ノ内ニハ小麥ガ本法ノ目的ノ爲製粉用小麥タルベキ認定ヲ受クルニ付準據セネバナラヌ所ノ標準ヲ規定スル

刑 罰

第十四條ハ左ノ如ク刑罰ノコトヲ取扱ツテヲル

若シ何人ニテモ詐欺ノ意思ヲ以テ本法又ハ小麥委員會ノ規則ニ依リ發セラレタル證明書領收書其ノ他ノ書類ヲ偽造シ若クハ使用シ又ハ他人ニ貸與シ若クハ他人ノ使用ヲ許シ又ハ詐欺ト思惟サレル様ニ右證明書領收書其ノ他ノ書類ニ酷似スル書類ヲ作成シ若クハ所持シ又ハ本法又ハ小麥委員會ノ規則ニ依ル右證明書領收書其ノ他ノ書類若クハ支拂期限ニアル支拂書ヲ得ルノ目的ヲ以テ故意ニ虛偽ノ申立ヲ爲シ又ハ小麥委員ノ告示ニ依リ報告ノ提出ヲ求メラレタルトキ故意ニ虛偽ノ報告ヲ爲シ若クハ前記同様計算書帳簿其ノ他ノ書類ノ提出ヲ求メラレタルトキ故意ニ虛偽ノ計算書帳簿其ノ他ノ書類ヲ提出シタルトキハ其ノ事犯ニ付起訴サレザル限り有罪即決ヲ以テ百磅以内ノ罰金又ハ三ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併課サレル

若シ製粉業者又ハ製粉輸入業者ガ割當納付金ノ支拂ヲ避ケ若クハ其ノ他詐欺ノ意思ヲ以テ右支拂ヲ爲スノ時期又ハ方法ニ付小麥委員會ノ規則ニ違反シ若シクハ之ニ從ハナカツタナラバ其ノ事犯ノ罪ニ問ハレ有罪即決ヲ以テ事犯關係ノ製粉ニ付支拂フベキ割當納付金支拂金額ノ三倍以内ノ罰金又ハ三ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併課サレル

宜處分スル

何人ニテモ規則ニ依リ提出ヲ求メラレタ回答其ノ他ノ書類又ハ報告ノ提出ヲ怠リタルトキハ事犯ニ問ハレ有罪即決ヲ以テ五磅以内ノ罰金又二犯以上ハ五十磅以内ノ罰金ニ處セラル

第十五條ハ内國産小麥ノ市場販賣ヲ調節スル目的ヲ以テ一九三一年農産物市場販賣法ニ依リ何時ニテモ一局ガ設立サレ且大臣ガ小麥委員ニ諮問ノ上登録生産者ニ關スル委員ノ職務ガ英國又ハ其ノ一部ニ關シテハ同局ニ移轉スベシトノ意見ナルトキハ大臣ハ命令ヲ以テ是等職務ノ右移轉ヲ爲スコトガ出來ル

第十八條ニハ税關關係ノ法令中ニ如何様ナモノガアルトモ合衆王國ノ用語ハ本法ノ目的ノ爲ニスル諸規定ノ適用ニ就テハメン島ヲ含ムコト及本法ノ目的ノ爲メン島ヨリ又ハ同島ニ合衆王國ニ又ハ王國ヨリ移動スル小麥粉ハ其ノ場合ニ依リ輸入又ハ輸出サレタモノト見做サレルコトヲ述ベテヲル

小麥委員會ノ委員

第一ノ箇條書ニハ小麥委員會ノ構成及手續ヲ取扱ツテヲル曰ク委員會トハ小麥委員會ノ名稱ヲ有スル一團體デ共同ノ封印及永代所持ノ特許ナクシテ土地ヲ保有スルノ權利ヲ有スルモノデアル委員會ハ議長副議長及大臣ノ任命スル十二名ノ委員ヨリ成立スル議長及副議長以外ノ委員ハ内國産製粉用小麥栽培者ノ利益ヲ代表スルモノ四名製粉業者三名製粉輸入業者一名(同人ハ不在ノ場合代理人指定ノ權利ヲ有スル)内國産製粉用小麥販賣取扱人二名小麥粉消費者二名デアアル製粉消費者ノ利益ヲ代表スルモノヲ任命スル以前ニ於テ大臣ハ商務院ト協議スベク又前記他階級ノ人ヲ代表スル者ヲ任命スル以前ニ

於テ大臣ハ其ノ階級ヲ代表スルモノト思考スル團體ニ諮問スベキデアルト  
 第二ノ箇條書ニハ左ノ規定ヲ爲シテアル曰ク製粉業者組合トハ共同ノ封印及永代所持ノ特許ナクシテ  
 土地ヲ保有スルノ權利ヲ有スル一團體ニシテ箇條書ノ規定ニ依リ計畫ガ有效トナル迄ノ間ハ委員長ト  
 外ニ大臣ガ製粉業者ノ利益ヲ代表スルモノト思考スル團體ニ諮問ノ上任命スル四名ノ委員ヨリ成立ス  
 ル尙組合ハ本目的ノ爲申込ヲ爲ス總テノ製粉業者ノ登録及右申込ヲ爲スノ方法並其ノ申込者又ハ製粉  
 業中止者ノ氏名ヲ登録簿ヨリ削除スルコト等ニ關スル規約ヲ大臣ノ認可ヲ經テ作成スベキデアアル尙當  
 組合ハ本法施行後可成速カニ組合員ノ選舉ヲ規定スル草案ヲ準備シテ大臣ニ提出スベキデアルト附言  
 シテアル

上來所説ノ如ク英國小麥法案ハ内容ノ復雜字句ノ難解ナル他ニ多ク其ノ比ヲ見ザル所デアアルガ議會ニ  
 於テ審議ノ結果該法案ハ一大修正ヲ受ケ原條項ノ一部削除及新條項ノ追加等ヲ以テ遂ニ議會ヲ通過シ  
 一九三二年五月十二日愈法律トシテ公布セラル、ニ至ツタ  
 今左ニ掲グルモノハ右法律ノ全文デアル

### 五 小 麥 法

内國産製粉用小麥ノ栽培者ニ其ノ標準價格及市場ノ確保ヲ得シメ製粉業者並製粉  
 輸入業者ニ右小麥ノ割當納付金ニ關シ算出セル支拂ヲ爲スノ義務ヲ課スル規定及  
 之ニ依リ收納セル金員ノ處分ニ關スル規定ヲ設ケ且右製粉業者ニ前記小麥ノ不測  
 ケ在荷ヲ買取ルベキ要求ヲ爲スコトヲ規定スル法律 (一九三二年五月十二日)

製粉用小麥栽培者ニ對シ標準價格及其ノ市場ヲ確保スルノ規定

#### 第一條

一 何レノ穀物年度ニ於テモ内國産製粉用小麥ノ査定平均價格ガ標準價格ヨリモ低キトキハ各登録裁  
 培者ハ本法及之ニ基ク諸規定又ハ規約ニ從ヒ當年度ニ於テ自作販賣セル右小麥(一九三二年以前ノ  
 收穫ニアラザル)毎ハンドレット、ウエートニ付小麥委員會ヨリ前記平均價格ト標準價格ノ差額(以  
 下單ニ不足價格ト稱ス)ニ相當スル支給(以下單ニ不足額支給ト稱ス)ヲ受タルノ權利ヲ有ス尤モ右  
 支給ハ行政費ニ關スル本法規定ノ減額ヲ受クベキモノトス但シ何レノ穀物年度ニ於テモ總登録栽培  
 者ノ自作販賣セル内國産製粉用小麥ノ數量ガ其ノ年度ニ於ケル右小麥ノ豫想供給量ヲ超過スルトキ  
 ハ該豫想供給量ガ其ノ年度ニ於ケル總登録栽培者ノ自作販賣セル内國産製粉用小麥量ニ對スル比率  
 ト同一割合ニ依リ各栽培者ハ其ノ年度ニ於ケル自作販賣ノ右小麥量ニ對スル比例數量高ニ限リ其ノ  
 年度ノ不足額支給ヲ受クベキ權利ヲ有ス

二 本法ノ目的上登録栽培者ノ販賣セル小麥ガ其ノ販賣當時ニ於テ占有セル農圃ノ一部ヲ成ス土地ニ  
 於テ栽培セラレタルモノナルトキハ之ヲ其ノ自作小麥ト認ムベク若又其ノ小麥ガ小麥委員會ノ規約  
 ニ依ラズシテ販賣後引渡ノ爲輸送セラル、以前ニ於テ農圃ヨリ他ニ移動セラレタルモノナルトキハ  
 之ヲ其ノ自作小麥ト認メザルベシ

三 一九三二年以後何レノ年ト雖其ノ六月ニ於テ小麥委員會ガ大臣ニ意見ヲ述ベ當時收穫セル内國産  
 製粉用小麥(其ノ直前ノ穀物年度ニ蒔付ケタル小麥)ノ在荷ヲ製粉業者組合ニ於テ買取ルヲ便宜トス  
 ルトキハ大臣ハ右意見ヲ受ケタル穀物年度ノ終了以前ニ於テ發シタル命令ニ依リ右命令ニ掲ケタル

登録栽培者が命令ノ效力發生ノ際殘存セル不捌ケ在荷ヲ同栽培者ヨリ買取ルベキコトヲ該組合ニ要求スルコトヲ得但シ製粉業者組合ニ對シテハ何レノ穀物年度ニ於テモ本項ニ基キ發セル命令ヲ以テ其ノ年度豫想供給量ノ一割二分五厘以上ヲ買取ルベキ要求ヲ爲スコトヲ得ズ

四 前末項ニ基キ發セル命令ニハ大臣ガ小麥委員會ニ諮問ノ上標準價格ヲ超過セザル所ノ豫定價格ヲ定ムベシ同價格ハ命令ノ行ハル、地域及命令ノ效力發生ノ日時ニ於テ中等平均品質ノ内國產製粉用小麥ガ任意ノ賣買者ノ間ニ於テ取引セラルベキ價格ニ可成接近セルモノトシ且右命令ノ要件ニ從ヒ登錄生産者ヨリ買取ルベキ小麥ハ總テ命令中ニ掲ケタル價格ヲ參酌シ小麥委員會ノ規約ニ從ヒ其ノ品質及市場ノ情況ニ依リテ決定セラルベキ價格ヲ以テ之ヲ買取ルベシ

尙右命令ニハ製粉業者組合ガ命令中ニ記載セル小麥ヲ買取ルベキ期間ヲ掲ケベク又同組合ハ其ノ期間内ニ之ガ引渡ヲ受入ルベシ

五 本條ニ基キ發セル命令ニ依リ小麥ノ買取ヲ要スル期間内ニ於テ又ハ同期間中組合ノ申請ニ依リ小麥委員會ガ許可セル猶豫期限内ニ於テ小麥委員會ノ規約ニ定メタル方法ニ從ヒ製粉業者組合ヨリ又ハ組合ノ爲左記異議ノ申立アリタル場合ニ於テ右規約ニ從フ調停ニ依リ異議ノ申立ヲ受ケタル小麥ガ内國產製粉用小麥ニ非ザルモノト決定セラレタルトキハ本命令ハ同小麥ニ付テハ其ノ效力ヲ停止セラルベク若又異議ノ申立ヲ受ケタル小麥ガ内國產製粉用小麥ナルモ其ノ價格決定ノ基礎タリシ品質ヨリモ劣レル場合ニ於テ組合ガ調停者ノ承認シ得ルガ如キ低價ニ於テ之ヲ買取リタルモノナルトキハ同小麥ニ付テハ命令ノ要件ニ準據セルモノト認ムベシ

(一) 該小麥ノ全部又ハ一部ガ内國產ニ非ラズトスルコト

(二) 又ハ該小麥ノ全部又ハ一部ガ製粉用ニ非ラズトスルコト

(三) 若クハ該小麥ノ全部又ハ一部ガ前記價格決定ノ基礎タリシ品質ニ非ラズトスルコト

六 本條ニ基キ發セル命令ニ依リ製粉業者組合ニ對シ小麥在荷ノ買取ヲ請求シタル者が右小麥ノ數量ニ關シ左記ノ事實ヲ證明スルトキハ同請求者ハ組合ヨリ自己ニ對スル債務トシテ其ノ賠償ヲ受クルノ權利ヲ有ス同賠償金ハ若シ前記ノ如ク定メラレタル價格ヲ以テ買取ラレシナランニハ其ノ數量ニ對シテ支拂ハルベカリシ金額ニ相當スルモノトス右金額ガ賠償セラレタルトキ又ハ之ニ對シ判決ガ與ヘラレタルトキハ其ノ關係小麥ハ小麥委員會ニ於テ沒收ノ上任意處分スルコトヲ得

(一) 命令ニ掲ケタル期間内ニ於テ又ハ同期間中組合ノ申請ニ依リ大臣ノ許可セル猶豫期間内ニ於テ組合ガ該數量ノ買取及引取上怠慢ノ行爲アリタルコト

(二) 前末項ノ規定ニ依リ該數量ガ内國產製粉用小麥ノ數量ニ非ザルコトニ付異議ノ正式申立ナカリシカ又ハ該數量ガ同規定ニ依リ内國產製粉用小麥ノ數量ナリト決定セラレタルコト

(三) 該請求者が實際常ニ本條前項ノ規定ニ依リ決定セラレ又ハ承認セラレタル價格ヲ以テ該數量ヲ組合ニ販賣又ハ引渡スベキ準備及意思ヲ有セシコト

小麥委員會ハ其ノ適當ト認ムル場合ニ於テハ本項ニ依リ自己ニ歸スベキ金額ノ賠償ヲ求ムル爲手續ヲ取ル權利ヲ有スル者ノ全部又ハ一部ノ爲受託者トシテ其ノ手續ヲ取ルコトヲ得尙他ノ賠償ヲ妨ゲザル限り本項ニ依ル賠償金額ハ民事上ノ債務トシテ略式賠償ヲ請求スルコトヲ得

七 本條ニ基キ發セル命令ノ要件ニ從ヒ製粉業者組合ガ登録栽培者ヨリ買取リタル小麥又ハ前項ニ依リ委員會ニ沒收セラレタル小麥ハ本條第一項及第二項ノ目的ノ爲命令ノ效力發生ノ日時ニ於テ同栽培者ヨリ賣却セラレタルモノト見做ス

八 製粉業者組合ハ前記同様ノ如キ命令ニ依リ組合ガ買取ヲ要求セラレタル小麥ヲ自己ノ爲第三者ノ買取ニ關シ約定ヲ爲スコトヲ得尙右命令ノ要件ニ從ヒ買取リタル小麥ハ組合ガ適當ト思惟スルノ方法ヲ以テ自ラ之ヲ販賣シ又ハ其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

内國產製粉用小麥ニ關スル査定平均價格標準價格及豫想供給ノ決定

第二條

一 一九三三年七月三十一日ニ終ル穀物年度以後及各後續穀物年度以後ニ於テ大臣ハ可成速カニ小麥委員會ニ諮問ノ上命令ヲ以テ合衆王國內ノ登録栽培者ガ其年度ニ販賣スベキ自作ノ内國產製粉用小麥ニ付同栽培者ガ取得スベキ平均價格タルベキモノヲ定ムベシ本法中査定平均價格トハ一穀物年度ニ關シ其ノ年度ニ付前記ノ通り定メタル價格ヲ謂フ

二 尙一穀物年度ニ關シ前項ニ依リ發セラレタル命令中ニハ大臣ノ證明書事項ヲ含ムベシ右證明書ハ該年度ニ於テ登録栽培者ノ自作販賣セル内國產製粉用小麥ノ數量ヲ證明スルモノトス本法第一條第一項但書ノ目的ノ爲右證明書ハ前記數量ニ付テハ決定の證據タルベシ

三 本法中標準價格トハ毎ハンドレット、ウエートニ付十志ノ價格ヲ謂フ但シ遅クモ一九三五年三月一日以前ニ於テ大臣ハ三名ノ委員ヨリ成ル一ノ委員會ヲ組織スベシ同委員會ハ一般經濟情況及農産

業ニ影響ヲ及ボスベキ情況ヲ考慮ノ上標準價格ヲ變更スル希望ノ有無ニ關シ大臣ニ報告スベシ若シ同委員會ガ標準價格變更ノ意見ヲ大臣ニ述ベタルトキハ大臣ハ命令ニ依リ一九三五年八月一日ヨリ該命令ニ掲ケタル價格ヲ以テ前記價格ニ代用スルコトヲ得ルト雖同命令ハ唯假命令ニシテ議會ノ承認ヲ經ル迄ハ何等效力ヲ有セザルモノトス

四 大臣ハ小麥委員會ニ諮問ノ上命令ヲ以テ各穀物年度開始ノ際又ハ開始後可成速カニ登録栽培者ガ販賣スベシト豫想スル自作ノ内國產製粉用小麥ノ數量ヲ定ムベシ又一穀物年度ニ關シ發セル同上命令ハ其ノ穀物年度ノ一月末以前ニ於テ同様ノ方法ニ依リ發セル次ノ命令ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得尙以下規定ニ從ヒ一穀物年度ニ關シ本法ノ豫想供給トハ現ニ有效ナル命令ニ依リ其ノ年度ニ付定メタル數量ヲ謂フ

但シ

(一) 一穀物年度ニ關シ本項ニ基キ定メタル内國產製粉用小麥ノ數量ガ二千七百萬ハンドレット、ウエートヲ超過スルトキト雖其ノ豫想供給ハ本法第一條第三項但書ノ目的ノ爲ニスルモノヲ除キ尙之ヲ二千七百萬ハンドレット、ウエートト見做スベシ

(二) 一穀物年度ノ豫想供給ヲ定ムル際大臣ハ其ノ年度ニ於テ利用スベキ内國產製粉用小麥ノ七分五厘ヲ種子用トシテ控除スベク且登録栽培者ハ之ヲ販賣セザルモノト見做スベシ  
製粉業者及輸入業者ノ割當納付金ノ支拂

第三條

- 一 本注ニ依リ小麥委員會ノ支辨スベキ經費ニ充ツル目的ノ爲各製粉業者及各製粉輸入業者ハ小麥委員會ニ對シ其ノ製粉產物毎ハンドレット、ウエートニ付所定金額ノ支拂(以下割當納付金ノ支拂ト稱ス)ヲ爲スノ義務ヲ負フ右金額ハ本條ノ規定ニ依リ算定セラル、モノニシテ内國產製粉用小麥ノ割當納付金關係ニ於テ不足價格タルベキモノニ可成近キ金額ヲ表ハスモノトシ尙内國產製粉用小麥ノ數量ハ若シ其ノ豫想供給量ガ引渡サレシ當年度ニ於テ之ヲ以テ其ノ年度ノ製粉見積量ヲ生産スルトキニ右小麥ガ製粉毎ハンドレット、ウエートニ付一樣ノ割合ヲ以テ用ヒラレタランニハ前記製粉產物ノ數量ヲ生産スルニ使用セラルベカリシモノトス但シ製粉業者ニ於テ委員會ノ規約ニ依リ其ノ產物ノ全部又ハ一部ガ精製セラル、コトナク家畜又ハ家禽ノ飼料トシテ消費ノ爲自己ノ引渡セル粗粉ノミヲ含有スルコトヲ小麥委員會ノ満足スル様證明シタルトキ及製粉業者ノ一穀物年度中ノ產物ガ粗粉以外ノ製粉ヲ含有セズ且其ノ全部ガ精製セラル、コトナク家畜又ハ家禽ノ飼料トシテ消費セラハ、コトニ付小麥委員會ヲ満足セシムルトキハ委員會ハ其ノ規約ニ從ヒ製粉業者ニ證明書(以下飼料製粉業者ノ證明書ト稱ス)ヲ交付スルコトヲ得該證明書ハ該年度中製粉業者ノ右製粉產物ニ付テハ其ノ割當納付金支拂ノ義務ヲ免ゼラル、コトヲ證明スルモノトス尨モ何時ニテモ委員會ガ前記ノ満足ヲ爲サルニ至リタルトキハ同上證明書ノ取消ヲ爲スコトヲ得
- 二 製粉業者又ハ製粉輸入業者ノ產物若干ハンドレット、ウエートニ對スル割當納付金ノ支拂ニ付テハ該數量ガ引渡サレタル時ニ於テ支拂ヲ要スルニ至ルモノトス
- 三 本條ニ依リ爲スベキ割當納付金ノ支拂ニ付テハ大臣ノ命令ヲ以テ其ノ金額ヲ定ムベシ尙大臣ハ右

金額ヲ計算スル爲小麥委員會ニ諮問ノ上左記ノ見積ヲ爲スベシ

- (一) 命令ノ効力ガ發生スベキ穀物年度ニ於テ合衆王國內ノ登録栽培者ガ販賣又ハ販賣セントスル内國產製粉用小麥ニ對シ取得スベキ平均價格及右小麥毎ハンドレット、ウエートニ對スル不足價格
- (二) 該年度ニ對スル製粉供給量即チ製粉業者及製粉輸入業者ノ產物中精製スルコトナク家畜又ハ家禽ノ飼料トシテ消費セラルベキ粗粉ヲ除キ合衆王國內ニ於テ消費又ハ使用ノ爲其ノ年度ニ於テ引渡サレ且保留セラルベシト大臣ニ於テ思惟スル部分

尙(小麥基金ノ過不足調節ニ關スル本法ノ規定ニ從ヒ)右定ムベキ割當納付金額ノ見積不足價格ニ對スル割合ハ其ノ年度ニ於ケル内國產製粉用小麥ノ豫想供給量ガ同年度ノ製粉見積供給量ニ對スル割合ト同一ノモノタルベシ

- 四 若シ一穀物年度中隨時大臣ニ於テ其ノ年度内ニ支拂ヲ要スルニ至ルベキ割當納付金ノ平均支拂金額ガ本條第一項ニ掲ゲタル金額ヲ一層近ク表ハスベキコトヲ確カムル爲適當ト思惟スルトキハ大臣ハ小麥委員會ニ諮問ノ上次ノ命令ヲ以テ其ノ命令ノ日附ヨリ本條ニ依リ是迄有效ナル命令ニ代ハラシムルコトヲ得

- 五 本條ニ依リ發セラレタル命令ニハ右命令ニ依リ定メタル數量算出ノ基礎ニ於テ其ノ見積不足價格内國產製粉用小麥ノ豫想供給量及製粉見積供給量ヲ記載スベシ

- 六 本條ニ依リ効力ヲ有スル總テノ命令ハ次ノ命令ガ之ニ代ハル迄ハ其ノ効力ヲ存續スベク且本條ニ依リ爲サルベキ各割當納付金ノ支拂金額ハ命令ガ發セラレタル穀物年度ノ終了ニ拘ラズ支拂ヲ要ス

ルニ至リタルトキニ於テ有效ナル命令ニ依リ定メラレタル金額タルベシ尤モ各穀物年度開始ノ際又ハ開始後可成速カニ新命令ヲ發スベシ

貯藏品トシテ輸出又ハ積出セル製粉及輸出セルバンニ關スル拂戻

第四條

- 一 小麥委員會ノ規約ニ依リ製粉ニ關スル割當納付金ノ支拂ガ遲滯ナク爲サレタルコト及同製粉ガ貯藏品トシテ輸出又ハ積出サレタルコトヲ委員會ノ満足スル様證明セラレタルトキハ小麥委員會ハ該輸出者ニ對シ拂戻ヲ爲スカ又ハ拂戻ヲ承認スベク且製粉數量ニ關シ貯藏品トシテ輸出又ハ積出セル日時ニ於テ拂戻ヲ爲シ又ハ之ヲ承認スベキ金額ハ右日時ニ於テ引渡セル同様ノ數量ニ關シ支拂フベキ割當納付金額ニ均シキモノトス
- 二 若シバンニ關シ小麥委員會ノ規約ニ依リ該バンガ輸出セラレタルコト及該バンノ製造用粉全部ニ付割當納付金ノ支拂ガ遲滯ナク爲サレタルコトヲ委員會ノ満足スル様證明セラレタルトキハ委員會ハ輸出者ニ對シ拂戻ヲ爲スカ又ハ之ヲ承認スベク且同上バンニ關シ其ノ輸出セル日時ニ於テ拂戻ヲ爲シ又ハ之ヲ承認シタル金額ハバン毎三百七十六英斤ニ對シ同日時ニ於テ引渡セル製粉二百八十英斤ニ付支拂フベキ割當納付金ノ支拂金額ニ均シキ割合ヲ以テ之ヲ計算スベシ

小麥委員會ノ規約

第五條

- 一 小麥委員會ハ本法ノ規定ヲ執行スル爲規約ヲ設クルノ權限ヲ有ス但シ右規約ハ大臣ノ命令ニ依リ

認可セララル、迄ハ其ノ效力ヲ生セズ

- 二 本條ニ依リ設ケラレタル規約ニハ特ニ左記ニ關スル規定ヲ爲スベシ尤モ右ハ前項ニ依リ付與セラレタル一般權限ヲ妨ゲズ

- (一) 内國產製粉用小麥ノ各栽培者ガ爲セル登録申請ニ關スル登録事項  
右申請ヲ爲スノ方法

登録申請者又ハ内國產製粉用小麥ノ栽培ヲ中止スル者ノ氏名ヲ登録簿ヨリ削除スルノ件

- (二) 一穀物年度ニ於テ登録栽培ガ販賣セル小麥ニ關シ不足額支給ヲ支拂フ爲同年度内ニ於テ前拂ヲ得シムベキノ件

- (三) 各栽培者ノ販賣セル小麥ニ關シ不足額支給及其ノ前拂ノ請求ヲ爲スベキ方法並時期ニ關スル事項  
同上請求ハ總テ證明書(以下小麥證明書ト稱ス)ニ依リテ證明セララル、モノトス

右證明書ハ請求ニ係ル小麥毎ハンドレット、ウエートニ付左記ノ事項ヲ證明スルモノトス

- 一 該小麥ガ登録栽培者自作ノ内國產小麥ナリシコト
- 二 該小麥ガ製粉用小麥ナリシコト
- 三 該小麥ガ證明書記載ノ日時ニ於テ登録栽培者ノ販賣セル小麥ナリシコト
- 四 登録栽培者ガ販賣後引渡ノ爲發送セシ小麥ノ名宛人又ハ指圖人ノ氏名及宿所
- (四) 小麥證明書ノ様式及規約ニ依リ權限ヲ有スル者ノ證明書發行ニ關スル事項
- (五) 登録栽培者ノ小麥販賣ニ付テハ其ノ小麥ガ證明書記載セル者ニ引渡ノ爲又ハ其ノ指圖ニ依リ發

- 送セラル、迄ハ小麦證明書ヲ發行セザルベキコトヲ確實ニスルノ件
- (六) 右證明書ノ發行ヲ請求スル者ガ其ノ請求權ヲ有スルノ事實ヲ満足ニ證明シタル場合ニ限り小麦證明書ヲ發行スベキコトヲ確實ニスルノ件
- (七) 登録栽培者ノ占有地ニ蒔付ケタル小麦ノ全部又ハ一部ガ小麦販賣以前ニ於テ同登録栽培者死亡シ又ハ法律上無能力者トナリ若クハ債權者ト示談又ハ整理ノ約定ヲ爲シタルノ事由ニ依リ私人代表委員會受託者其ノ他ノ者ニ歸屬シ又ハ其ノ管理ニ附セラレタル場合ニ於テハ右私人代表委員會受託者其ノ他ノ者ハ規約ニ依リ登録ヲ受ケザルニ拘ラズ該小麦ニ付テハ登録栽培者トシテ取扱ヲ受ケ得ルコトヲ確實ニスルノ件
- (八) 登録栽培者ヲシテ記帳セシメ且必要ノ場合ハ其ノ賣買セル一切ノ小麦及其ノ賣買價格ニ關スル報告ヲ提供セシムルノ件
- (九) 總テ大臣ノ發セル命令ノ要件ニ從ヒ製粉業者組合ガ登録栽培者ヨリ買取りタル内國產製粉用小麦ノ價格ハ右命令ニ掲ケタル價格ヲ參酌シ其ノ品質及市場ノ情況ニ依リテ之ガ決定ヲ爲スベキノ方法
- (十) 割當納付金制ニ依リ製粉業者及製粉輸入業者ヨリ小麦委員會ニ納付スベキ金額ノ査定及支拂ノ各時期及方法
- 右支拂ニ對シ發行スベキ受領證ノ様式及該受領證ノ發行ニ關スル事項
- (十一) 貯藏品トシテ輸出又ハ積出セル製粉ニ對シ又ハ輸出セルパンニ對シ爲サルベキ拂戻ノ申請方法

及各時期ニ關スル事項

- (一) 飼料製粉業者ノ證明書申請ノ方法右證明書ノ様式及其ノ發行並附帶條件ニ關スル事項
- (二) 規約ニ掲ケタル各事項ニ付起リ得ベキ紛議ニ對シ調停ニ依ル最終決定ニ關スル事項但シ右規約ニハ割當納付金ノ支拂ニ關シ其ノ負擔タル金額ノ實際支拂前ニ於テ規定ノ條件ニ從ヒ受領證ノ發行ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得尤モ右規約ニハ受領證ノ様式ヲ定メ其ノ發行セラルベキ各場合ヲ舉グベシ
- 三 本條ニ設ケタル規約ニシテ割當納付金ノ支拂ニ依リ小麦委員會ニ歸スベキ金額ノ査定及支拂ノ各時期並方法ヲ規定スルモノニハ製粉業者組合ノ同意ヲ經テ其ノ組合ガ登録製粉者ノ爲右金額ノ支拂ヲ爲スベキ規定ヲ設クルコトヲ得尙何時ニテモ委員會ノ満足スベキ製粉輸入業者ノ組合アルトキハ其ノ組合ノ同意ヲ經テ該組合ガ製粉輸入業者ノ爲同上金額ノ支拂ヲ爲スコトニ關シ同様ノ規定ヲ設クルコトヲ得
- 四 本條前項ノ規定ニ基ク一般の規約ニシテ小麦證明書發行ノ權限ヲ有スル者ノ同證明書發行ノ件ヲ規定スルモノガ一地域ニ於テ右證明書ノ發行ヲ請求スル者ノ請求權ヲ有スル事實ヲ満足ニ證明シタル場合ニ限り之ガ發行ヲ爲スベキコトヲ確カムルニ不充分ナルトキハ委員會ハ其ノ地域ニ對スル地方的規約ヲ以テ右證明書ノ發行ニ關スル特別協定及該地域内ノ登録栽培者ニ對シ右協定ノ費用ヲ支辨スベキ要求ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得
- 前項ニ依ル地方的規約ニハ其ノ施行區域ヲ掲クベシ



五 本條ニ基ク一切ノ規約ハ小麥委員會ガ必要ト認ムル別箇ノ方法ニ於テロンドン、エンデンパロー及ベルファストノ各官報ニ掲載スベシ尙一八八二年文書證據法ヲ以テ改正セル一八六八年文書證據法ハ之ヲ小麥委員會ニ適用ス

輸入セル製粉ニ對スル割當納付金ノ支拂ヲ確實ニスルノ規定及

輸出製粉ノ豫備申告ニ關スル規定

### 第六條

一 輸入製粉ニ對スル割當納付金ノ支拂ガ遲滯ナク爲サレタコトヲ確實ニスル爲合衆王國內ニ輸入セラレタル總テノ製粉ハ其ノ關稅支拂義務ノ有無ニ拘ラズ關稅ヲ支拂フベキ貨物ガ關稅ニ申告セララル、ト同様ノ方法ニ於テ申告セラルベク又内國消費若クハ内國使用ノ製粉ニ付テハ之ニ對シテ支拂フベキ割當納付金額ヲ支拂ヒタル正式ノ受領證ヲ關稅及稅務署ノ官吏ニ提出スルニ非ザレバ關稅及稅務署ノ官吏ハ其ノ申告ニ對シ調印ヲ爲ササルベク從テ關稅ニ關スル法令中關稅支拂ノ關係事項ハ後段ノ規定ニ依リ恰モ割當納付金ノ支拂ヲ爲サシムベキ關係事項ヲ含メルガ如ク又割當納付金ハ恰モ關稅タルガ如ク本法ノ目的上右關稅ニ關スル法令ヲ茲ニ準用ス

但シ

(一) 割當納付金ノ支拂ハ關稅及稅務署ノ官吏ニ之ヲ爲サザルモノトス尤モ前記受領證ヲ關稅及稅務署ノ當該官吏ニ提出スルトキハ前記法令ノ目的上此等ノ支拂ガ爲サレタルコトノ決定的證據タルベキモノトス

(二) 前記受領證ノ提出ヲ爲ササル關係ニアル製粉ガ官立倉庫ニ保管セラレタル後又ハ前記法令ニ依リ沒收セラレタル後此等ノ法令ニ從ヒ關稅又ハ稅務署ノ委員ニ依リ賣却セラレタルトキハ製粉買取人ハ本法ノ目的上其ノ輸入者ト見做サルベク又右買取人ハ之ニ對スル割當納付金ノ支拂ヲ爲シ且此ノ製粉ノ引渡ヲ受クル以前ニ於テ右受領證ヲ提出スルノ義務ヲ負フ

(三) 關稅ノ賦課又ハ關稅ノ廢止ニ關スル契約ノ效果其ノ支拂フベキ稅率ニ關スル異議合衆王國ニ積戻セル英國貨物及チャンネル諸島並メン島ヨリ來ル貨物ノ無稅輸入ニ關スル前記法令ノ規定ハ本法ノ目的上茲ニ之ヲ適用セザルモノトス

二 一八七六年關稅整理法ノ適用ニ關シテハ本法ノ目的ノ爲左ノ規定ハ同法第三百三十九條ニ代リ其ノ效力ヲ有ス即チ

貯藏品トシテ輸出又ハ積出ヲ爲サントスル製粉ノ輸出者又ハ積出人ハ其ノ輸出又ハ積出以前ニ於テ遲滯ナク關稅ニ製粉ノ申告ヲ爲スベシ若シ同人ガ右申告ヲ爲サズ又ハ之ヲ爲スヲ怠リタルトキ若クハ或事項ニ付虛偽ノ申告ヲ爲シタルトキハ百磅ノ罰金ニ處セラレ其ノ製粉及之ヲ包含スル包裝ハ沒收セラルベシ

小麥基金ニ關スル規定

### 第七條

一 米麥委員會監督管理ノ下ニ小麥基金ト稱スル基金ヲ設定スベシ  
委員會ノ收納スル一切ノ金員ハ小麥基金ニ拂込ミ又委員會ノ支辨スル一切ノ經費ハ之ヨリ支出スベ

シ  
二 小麥基金ノ收入及支出其ノ他基金並基金ノ信用ニ屬スル金員(基金ノ臨時投資ヲ含ム)ニ關スル一切ノ事項ハ本法ニ依リ設ケラレタル規定ノ條項ニ從ヒ委員會ノ規約ニ依リ之ヲ爲シ且之ガ取締ヲ行フベシ

三 各穀物年度ノ終了後三箇月以内ニ於テ小麥委員會ハ其ノ年度ニ歸屬スベキ小麥基金ノ收入及支出ヲ示セル所定様式ノ計算書ヲ調製シ且之ヲ大臣ニ提出スベシ該計算書ハ其ノ關係穀物年度ノ終了後六箇月以内ニ於テ検査官及總會計検査官ニ回附セラルベク同官ハ之ヲ證明ノ上其ノ報告ヲ爲シ且該計算書及報告書ヲ議會ニ提出スバシ

小麥基金過不足ノ調節

### 第八條

直前穀物年度ノ計算書ニ於テ示セルガ如キ小麥基金ノ超過又ハ不足ノ事由又ハ内國産製粉用小麥ノ見積平均價格ガ標準價格以下ニ止マラザルニ至リタルノ事由ニ因リ本法第三條第三項ニ基キ大臣ノ定ムベキ割當納付金ノ支拂額ガ何レノ穀物年度ヲ開ハズ該超過額又ハ不足額ヲ差引キ尙且其ノ年度ニ歸スベキ小麥委員會ノ支出ニ當ツル目的ノ爲場合ニ依リ實際充分又ハ不充分ナルコトヲ大臣ニ於テ認メタルトキハ前項第三條ノ規定ニ依リ割當納付金ノ支拂額ヲ定ムルニ代ヘ大臣ハ命令ヲ以テ其ノ年度中右目的ノ爲適當ト思惟スル割當納付金ノ金額ヲ定ムルコトヲ得若又事情必要アリト認ムルトキハ大臣ハ命令ニ依リ既ニ支拂ヲ要スルニ至リシ以外ノ割當納付金支拂ヒノ義務ヲ次ノ命令アル

迄停止スベキヲ命ズルコトヲ得

製粉業者割當納付金基金ニ關スル規定

### 第九條

一 本法ノ目的ノ爲製粉業者組合監督管理ノ下ニ製粉業者ノ割當納付金基金ト稱スル基金ヲ設定スベシ組合ノ收納スル一切ノ金員ハ之ニ拂込ミ又組合ノ支辨スル一切ノ經費ハ之ヨリ支出スベシ

二 製粉業者ノ割當納付金基金勘定ハ所定ノ様式ニ於テ記帳スベク且大臣ノ證明セル監督官ニ依リ毎年其ノ監査ヲ受クベシ

三 製粉業者組合ハ大臣ノ命令ニ依リ要求セラレタル小麥在荷ヲ買取ル爲必要ノ金額ヲ借入ル、權限ヲ有ス右在荷ノ賣買又ハ處分ニ關シ製粉業者ノ割當納付金基金ニ拂込ミ又ハ之ヨリ支辨スル一切ノ金員(之ニ關シ組合ノ負擔セル行政費ヲ含メル)ハ本法ニ基キ大臣ノ設ケタル規定ニ依リ記帳スベキ別勘定ニ於テ之ヲ示スベシ

四 検査ヲ受ケタル製粉業者ノ割當納付金勘定中ニ示セル利益ニシテ前記命令ニ依リ買取リタル在荷ノ販賣又ハ處分ニ依リ擧ゲタルモノハ小麥委員會ノ任命シタル者(該組合ニ協議ノ上)ニ於テ製粉業者組合ノ爲之ヲ製粉業者間ニ分配スベシ右分配ノ割合ハ命令ノ發セラレタル穀物年度ニ於ケル各製粉業者ノ產物ガ該年度ニ於ケル總製粉業者ノ全產物ニ對スル割合ト同一ノモノタルベク又右勘定中ニ示セル損失ニシテ前記ノ販賣又ハ處分ヨリ起リタルモノナルトキハ小麥委員會ノ任命シタル者(該組合ニ協議ノ上)ニ於テ製粉業者組合ノ爲前同様ノ割合ニ依リ製粉業者間ヨリ之ガ補償ヲ爲サシ

五 前末項ノ目的ノ爲一穀物年度ニ於ケル各製粉業者ノ産物及該年度ニ於ケル總製粉業者ノ全産物ハ前末項ノ目的ノ爲小麥委員會ノ任命シタル者ニ對シ委員會ノ發行セル證明書ニ於テ其レ其レ掲ケタル産物額ト見做スベシ尙前末項ノ目的ノ爲各製粉業者ノ産物及總製粉業者ノ全産物ヲ計算スル場合ニハ家畜又ハ家禽ノ飼料トシテ精製スルコトナク消費ノ爲各製粉業者又ハ總製粉業者ヨリ引渡セル粗粉ハ之ヲ除外スベク又一期間中割當納付金ノ支拂ヲ爲スベキ義務ヲ免ゼラレタルコトヲ證明スル飼料製粉業者ノ證明書ヲ所持スル者ハ前末項ノ目的ノ爲該期間中ハ製粉業者ニ非ザルモノト見做サルベシ

六 前末項ニ依リ製粉業者ヨリ又ハ製粉業者ニ依リ若クハ製粉業者ノ爲補償ヲ得ベキ金額ハ他ノ賠償ヲ妨グルコトナク民法上ノ債務トシテ略式補償ヲ求ムルコトヲ得

行政費ニ關スル規定

第十條

一 本法ノ目的ノ爲製粉業者組合ガ負擔セル行政費及若シ小麥委員會ノ規約ニ於テ製粉輸入業者ノ爲右輸入業者等ヲ代表スル一ノ組合ガ割當納付金ノ支拂ヲ爲ス規定ヲ設ケタルトキハ該組合ガ負擔セル行政費ハ小麥委員會ニ於テ之ヲ支拂フモノトス  
但シ組合ガ大臣ノ命令ニ依リ買取要求ヲ受ケタル小麥在荷ノ賣買又ハ處分ニ關シ製粉業者組合ノ負擔セル行政費ハ小麥委員會ニ於テ之ヲ支拂ハザルモノトス

二 本條ニ依リ小麥委員會ヨリ其ノ行政費ノ支拂ヲ受クベキ製粉業者組合其ノ他ノ組合ハ各穀物年度ノ開始前遅クモ二箇月迄ニ本法ノ目的ノ爲前記ノ通り支拂ヲ受クベキ當該年度ノ各行政費豫算ヲ調製シ且委員會ノ認可ヲ受クル爲之ヲ委員會ノ要求スル様式ニ於テ提出スベシ尙之ニ次ギ同様ノ方法ニ依リ右經費ノ追加豫算ヲ調製提出スルコトヲ得ベク且同豫算ニ對シテハ委員會之ヲ修正シ又ハ修正セズシテ認可スルコトヲ得  
但シ組合ノ提出セル豫算ニ付委員會ノ提議セル修正ニ關シ右組合ト委員會トノ間ニ紛議ヲ生ズル場合ニ於テハ農漁大臣之ガ決定ヲ爲スベク委員會ハ右決定ニ從ヒテ其ノ認可ヲ與フベシ

三 左ノ費用ハ小麥委員會ノ行政費ノ一部ヲ爲スモノト見做スベシ

- (一) 本法ノ開始前又ハ開始後タルヲ問ハズ本法施行ノ爲負擔セルコトヲ大臣ノ證明シタル費用
- (二) 製粉業者組合其ノ他ノ組合ノ支拂フ行政費ニシテ本法ニ依リ合法的ニ委員會ノ負擔トナルベキ費用

(三) 本法ノ目的ノ爲官廳ノ負擔トナルコトヲ大臣ノ證明シタル費用及同官廳ガ大藏省ノ同意ヲ經テ爲セル業務ニ付大臣ノ證明シタル費用

(四) 本法第二條第三項ニ依リ任命セラレタル委員會ノ負擔シタルコトヲ大臣ノ證明シタル費用

四 小麥委員會ハ各穀物年度ノ開始前遅クモ一箇月迄ニ該年度行政費ノ豫算ヲ調製シ且大臣ノ認可ヲ得ル爲之ヲ大臣ノ要求セル様式ニ於テ提出スベシ  
委員會ハ之ニ次ギ同様ノ方法ヲ以テ該經費ノ追加豫算ヲ調製提出スルコトヲ得同豫算ハ大臣ニ於テ

之ヲ修正シ又ハ修正セズシテ認可スルコトヲ得豫メ大臣ノ認可セル該年度豫算ニ依ルノ外委員會ハ該年度ニ於テ何等行政費ノ負擔ヲ爲サザルベシ

五 小麥委員會ハ其ノ行政費ヲ支辨スルノ目的ヲ以テ必要ナル金額ヲ借入ル、ノ權限ヲ有ス尤モ委員會ハ大臣ノ同意ヲ經且大臣ノ課スル條件ニ從フニ非ラサレバ一穀物年度ノ負擔トナルベキ行政費ヲ支辨スル目的ヲ以テ何等ノ借入ヲ爲スコトヲ得ズ但シ該年度ノ經過以前ニ於テ其ノ一切ノ利子ト共ニ借入金ノ元本ヲ返還シ得ベキトキハ此ノ限ニ非ラズ

六 一穀物年度ニ對シ爲サルベキ不足額ノ支給金額ヲ計算スルノ際小麥委員會ハ其ノ支給額計算ノ基礎タル不足價格ヨリ登録栽培者ガ負擔スベキ委員會ノ行政費ヲ得ルニ足ルモノト決定スル所ノ金額ヲ差引クベシ

小麥委員會ガ報告ヲ徵スルノ權限

第十一條

- 一 本法ノ目的上必要ナル報告ヲ徵スル爲小麥委員會ハ左記ノ權限ヲ有ス
  - (一) 小麥製粉又ハ小麥殘屑ノ検査及報告方ニ付何人ニ對シテモ書面ニ依ル委任ヲ爲スコト及小麥製粉又ハ小麥殘屑ノ取扱業者運送人又ハ倉庫業者若クハ其ノ使傭人又ハ代理人ニ對シ小麥製粉又ハ小麥殘屑ノ所有者委託者又ハ受託者ノ氏名及住所ノ報告ヲ求ムルコト
  - (二) 何レノ登録栽培者本法ニ依リ職務ヲ行フ何レノ組合ノ吏員又ハ委員會ガ製粉業者若クハ製粉輸入業者又ハ小麥製粉若クハ小麥殘屑ノ取扱業者トシテ營業スルモノト信ズベキ事由アル何レノ者

ニ對シテモ書面通知ニ依リ右通知書ニ掲ケタル報告ノ提出ヲ求メ且委員會ノ任命セル監査官ヲシテ右報告ヲ對照セシムルニ必要トスル計算書帳簿其ノ他ノ書類ヲ同官宛提供方ヲ求ムルコト

二 何人ト雖前末項ニ依リ職務ヲ行フベキ委任ヲ受ケタル者ハ請求ヲ受ケ次第其ノ委任狀ヲ呈示ノ上總テ適當ノ時間内ニ於テ土地又ハ建物内ニ立入り其ノ内ニ在ル小麥製粉又ハ小麥殘屑ノ見本ヲ採取スルコトヲ得

何人ヲ問ハズ本法ニ依リ其ノ執行ヲ委任セラレタル者ノ職務執行ヲ妨害シ又ハ本條ニ依ル報告ノ提出若クハ自己ノ所有又ハ其ノ權内ニアル計算書帳簿其ノ他ノ書類ノ提供ヲ拒ミタル者ハ第一犯ノ場合ハ有罪即決ニ依リ廿磅以内ノ罰金ニ又再犯若クハ三犯以上ノ場合ハ百磅以内ノ罰金又ハ三箇月以内ノ禁錮ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併科セラルベシ

三 一九二五年農業報告法ノ規定ニ拘ラズ本法ニ依リ爲セル報告ハ本法ノ目的ノ爲農漁大臣及蘇蘭農務省之ヲ利用スルコトヲ得又北愛蘭農務省ノ蒐集セル年次農業統計ハ本法ノ目的ノ爲之ヲ利用スルコトヲ得ベク且右報告又ハ統計ハ小麥委員會ヲシテ本法ニ依ル職務ヲ執行セシムル爲同委員會ニ公表又ハ開示スルコトヲ得ベク尙又右ハ本法ニ依リ若クハ本法ト關聯シテ訴訟手續ヲ取ル所ノ裁判所ニ公表又ハ開示スルコトヲ得

四 本法ニ依リ職務ヲ執行スル者ガ其ノ接受シタル報告ヲ合法的ニ之ヲ受クルノ權利ヲ有スル者以外ニ開示シタルトキハ起訴ニ依ル有罪判決ヲ以テ二箇年以内ノ禁錮又ハ百磅以内ノ罰金若クハ兩者ノ併科又ハ有罪即決ヲ以テ三箇月以内ノ禁錮若クハ五十磅以内ノ罰金又ハ兩者ノ併科ニ處セラルベ

大臣ノ設クベキ規則

## 第十二條

- 一 大臣ハ小麥委員會ニ諮問ノ上本法ノ規定ヲ有效ナラシムル爲諸規則ヲ設クルコトヲ得右規則ニハ特ニ左記ノ規定ヲ爲スコトヲ得
- (一) 本法ノ目的上製粉用小麥トシテ認メラル、爲準據スベキ小麥ノ標準ヲ定ムルコト
- (二) 小麥委員會ヲシテ大臣ノ必要トスル記録ヲ保存セシメ且其ノ必要トスル報告其ノ他ノ書類ヲ大臣ニ提供セシムルコト
- (三) 組合提出ノ豫算ニ對スル委員會ノ改正案ニ關シ組合ト委員會トノ間ニ起ル紛議ヲ農漁大臣ニ上申スベキ期間及方法ヲ定ムルコト
- (四) 本法第九條第三項ニ掲ケタル別勘定ノ記帳ヲ爲スコト
- (五) 本法第二條第三項ニ依リ任命セラルベキ委員會ニ對シ一九二一年審査(證據)裁判所法ヲ準用スルコト該委員會ハ恰モ同裁判所法ニ定メタル方法ニ於テ設立セラレ且同法ハ恰モ其ノ規定ニ依リ並ニ適用セラレタルモノト見做スコト
- (六) 委員會ノ委員ニ支拂フベキ旅費其ノ他ノ給與(日時ノ損失ニ對スル補償ノ給與ヲ含メ)ノ標準ヲ定ムルコト
- 二 大藏省ノ認可セル規則ニハ本條ニ依リ大臣ニ於テ左記ノ規定ヲ爲スベシ

- (一) 小麥基金ノ一部ヲ爲ス一切ノ金員ヲ英蘭銀行ニ拂込マシムルコト及同上金員ノ投資ニ關スルコト
- (二) 小麥委員會ヨリ大臣ニ提出スベキ計算書ノ様式ヲ定ムルコト
- (三) 製粉業者ノ割當納付金基金勘定ノ様式ヲ定ムルコト
- 不足額支給ニ關スル追加規定

## 第十三條

- 一 登録栽培者自作ノ小麥ガ之ニ關スル支拂要求又ハ強制執行ニ依リ其ノ支拂要求若クハ差押物ヲ差押ヘルノ權利ヲ有スル者ノ爲賣却セラレタル場合ニ於テハ本法ノ目的上該小麥ヲ登録栽培者ノ賣却シタルモノト見做スベク又該登録栽培者ハ右權利者ヲ排除シテ之ニ關シ支給セラルベキ不足額ノ支給ヲ受領スルノ權利ヲ有スベシ
- 小麥ニ關シ本法ニ依リ支拂ハレタル不足額支給ハ一九二八年農業信用法第二篇ノ目的ノ爲該小麥ノ賣上所得ノ部分ヲ構成セザルモノト見做サルベシ
- 二 農圃ノ占有者他ニ移轉ノ際慣行又ハ契約ニ依リ其ノ圃上ニ自己刈取ノ小麥ヲ殘留シタルトキハ右移轉者ガ農圃ノ占有ヲ中止シタル後六箇月以内ニ於ケル該小麥ノ賣却ニ付テハ其ノ賣却當時移轉者ガ農圃ノ占有者ニ非ラザルニ拘ラズ該小麥ハ本法ノ目的上移轉者ノ栽培セルモノニシテ新占有者ノ栽培セルモノニ非ラズト認ム
- 三 土地ノ占有者他ニ移轉ノ際法律又ハ慣行ニ依リ地上ニ於テ現ニ栽培シ又ハ栽培セル小麥ニ付其ノ

地主若クハ新占有者ヨリ補償ヲ受クルノ權利ヲ有スル場合ニ於テ該小麥ノ關係上地主又ハ新占有者ニ支拂フベキ不足額支給金額ノ存スルトキハ右金額ハ前記補償ヲ支拂フベキ財産中ニ繰込ミ計算セラルベシ

四 賣却ノ小麥ニ對シ不足額ノ支給ガ爲サル、ニ至ル場合ニ於テ小麥賣却ノ日時ニ於テ若又右小麥ガ大臣ノ命令ニ依リ製粉業者組合ノ買取ヲ要求セラレタルモノナルトキハ其ノ命令ノ有効トナリタル日時ニ於テ本法前項ノ規定ニ依リ其ノ登録栽培者タリシモノト認メラレタル者ハ爾後登録栽培者タラザルニ至リタルトキト雖右不足額ノ支給ヲ請求且受領スルノ權利ヲ有ス

契約ニ關スル規定

第十四條

一 本法ニ基キ發セラレタル命令ノ效力發生ノ事由ニ依リ割當納付金ガ支拂ハルベキ場合又ハ割當納付金ノ支拂額ガ増加セラレタル場合ニ於テ割當納付金ノ支拂ヲ要スルニ至リタル製粉ノ全部又ハ一部ヨリ成リ若クハ同製粉ヨリ製造セラレタル物品ガ命令ノ效力發生ノ日時以前ニ於テ取結ベル契約ニ依リ命令ノ效力發生ノ日時又ハ其ノ日時後ニ於テ引渡サレタルトキハ該物品ノ販賣者ハ契約ニ反對ノ規定ナキ限り右製粉ニ關シ契約上ノ價格ニ加ヘ場合ニ依リ割當納付金ノ支拂額又ハ同支拂額ノ增加分ニ相當スル金額ノ賠償ヲ受クルコトヲ得

二 本法ニ基キ發セラレタル命令ノ效力發生ノ事由ニ依リ割當納付金ノ支拂額ガ減少セラレ又ハ其ノ支拂ガ中止セラレタル場合ニ於テ割當納付金ノ支拂ヲ要スルニ至リタル製粉ノ全部又ハ一部ヨリ成リ若クハ同製粉ヨリ製造セラレタル物品ガ命令ノ效力發生ノ日時以前ニ於テ取結ベル契約ニ依リ命令ノ效力發生ノ日時又ハ其ノ日時後ニ於テ引渡サレタルトキ及該物品ノ販賣者ガ右ニ關シ減少又ハ中止ノ利益ヲ受ケタルトキハ該物品ノ購入者ハ契約ニ反對ノ規定ナキ限り場合ニ依リ前記減少ノ金額又ハ中止ノ直前ニ有效ナル命令ニヨリ右製粉ニ關シ支拂フベキ割當納付金ニ均シキ金額ヲ契約上ノ價格ヨリ差引クコトヲ得

書類送付ノ事務及法定宣誓ヲ要求スルノ權

第十五條

本法ニ依リ又ハ本法ニ基キ要セラレタル通知又ハ其ノ他ノ書類ヲ其ノ通知又ハ送付ヲ受クベキ者ニ對シ同人ノ最近ニ知ラレタル營業地ニ於ケル同人宛書留書狀ニ依リ發送セラレタルトキハ同人ガ之ヲ受領セザル旨證明スルニ非ザレバ當然同人ニ到達セルモノト認ムベク又何人ヲ問ハズ總テ報告ノ提出ヲ求ムル通知ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ提供報告ノ事實ナルコトニ付法定ノ宣誓ヲ爲スベキコトヲ要求スルコトヲ得

刑 罰

第十六條

一 何人ヲ問ハズ詐欺ノ意思ヲ以テ左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ其ノ罪ニ依リ起訴セラル、ニ非レバ有罪即決ヲ以テ百磅以內ノ罰金又ハ三箇月以內ノ禁錮ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併科セラルベシ

- (一) 本法又ハ小麥委員會ノ規約ニ基キ發行セル證明書受領證其ノ他ノ書類ヲ偽造又ハ行使シ若クハ他人ニ貸與又ハ行使ヲ許シタルトキ
- (二) 同上證明書受領證其ノ他ノ書類ニ酷似スル書類ヲ詐欺ト思惟セラル、ガ如ク作成又ハ所持シタルトキ
- (三) 自己又ハ他人ノ爲同上證明書受領證其ノ他ノ書類又ハ本法若クハ小麥委員會ノ規約ニ基キ爲スベキ支拂ヲ得ントスルノ目的ヲ以テ故意ニ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ事實的報告ヲ抑留シタルトキ
- (四) 小麥委員會ノ送付セル通知ニ依リ報告ノ提出ヲ求メラレタル場合ニ於テ故意ニ虚偽ノ報告ヲ提出シ又前同様計算書帳簿其ノ他ノ書類ノ提供ヲ求メラレタル場合ニ於テ故意ニ虚偽ノ計算書帳簿其ノ他ノ書類ヲ提供シタルトキ
- 二 本條ニ於テ偽造トハ之ヲ英蘭及北愛蘭ニ適用スル場合ニ於テハ一九一三年偽造法中ノモノト同一ノ意義ヲ有ス
- 三 何レノ製粉業者又ハ製粉輸入業者ヲ問ハズ割當納付金ノ支拂ヲ回避シ其ノ他詐欺ノ意思ヲ以テ右支拂ノ時期及方法ニ關シ小麥委員會ノ規約ニ違反シ又ハ之ガ遵守ヲ怠リタルトキハ有罪ト認メラレ有罪即決ヲ以テ其ノ重キニ從ヒ百磅以內ノ罰金若クハ其ノ事犯ニ係ル製粉ニ對シ割當納付金トシテ支拂フベキ金額ノ三倍以內ノ罰金又ハ三箇月以內ノ禁錮ニ處セラレ若クハ兩者ヲ併科セラルベシ
- 小麥委員會ハ右製粉ヲ沒收ノ上其ノ適當ト認ムル方法ニ於テ之ヲ處分スベシ
- 四 何人ヲ問ハズ小麥委員會ノ規約ニ依リ提供ヲ求メラレタル回報其ノ他ノ書類又ハ報告ノ提出ヲ怠

リタルトキハ有罪ト認メラレ有罪即決ヲ以テ五磅以內ノ科料ニ處セラルベク又再犯若クハ三犯以上ノ場合ハ五十磅ノ罰金ニ處セラルベシ

五 本法ニ依ル罪ニシテ團體之ヲ犯シタル場合ニ於テ該團體ノ理事支配人參事其ノ他ノ職員又ハ該團體ノ計算ヲ調査スル監査役側ノ同意若クハ承諾ヲ以テ事犯ガ行ハレ又ハ其ノ懈怠ニ依リテ犯行ヲ容易ナラシメタルトキハ本人並該團體ハ有罪ト認メラレ起訴手續ニ依リ處斷セラルベシ

小麥委員會ノ一定職務ヲ農產物市場販賣局ニ移管スルノ權限

### 第十七條

- 一 内國產小麥ノ市場販賣ヲ調節スル目的ヲ以テ何レノ時ヲ問ハズ一九三一年農產物市場販賣法ニ依リ一局ガ設立セラレ且大臣ガ小麥委員會ニ諮問ノ上登録栽培者ニ關スル同委員會ノ職務中英國及其ノ部分ニ關スルモノニシテ同局ニ移管スベキモノアリトノ意見ヲ有スルトキハ大臣ハ命令ヲ以テ是等ノ職務ヲ同局ニ移管スルコトヲ得同上命令ニハ右移管ヲ有效ナラシムル爲必要ナル從屬的規定ヲ設クベシ
- 二 本條ニ基キ發セラレタル命令ハ同様ノ方法ニ依リ發セラレタル爾後ノ命令ヲ以テ之ガ變更又ハ廢止ヲ爲スコトヲ得

議會ニ提出スベキ命令規則及規約

### 第十八條

- 一 本法ニ基キ定メラルベキ總テノ命令規則及規約ハ其ノ定メラレタル後可成速カニ之ヲ議會ニ提出

スベシ右提出後兩院ノ執レカ開會ノ翌日ヨリ廿八日以内ニ於テ該命令規則又ハ規約ノ取消ヲ議決シタルトキハ再後之ヲ無効トス但シ右ハ之ニ基キ其ノ以前ニ於テ爲サレタル一切ノ事物ヲ妨グズ又新命令規則若クハ規約ノ作成ヲ妨グズ

二 本條ハ本法第二條第三項ニ基キ發セラレタル假命令ニハ之ヲ適用セズ

三 一八九三年規則發布法第一條(法定ノ規則制定案ニ付通知ヲ爲スヲ要スルノ件)ハ本法ニ基キ設ケラレタル命令規則又ハ規約ニハ之ヲ適用セズ

暫行規定

第十九條 本法ノ開始ニ始マリ千九百三十三年七月卅一日ニ終ハル期間(以下之ヲ第一會計期ト稱ス)ニ付テハ左ノ規定ハ其ノ效力ヲ有ス即チ

(一) 千九百三十二年八月一日ニ始マル穀物年度ノ内國產製粉用小麥ノ豫想供給量ヲ定ムル命令ハ本法開始ノ際又ハ開始後可成速カニ發布セラルベシ

(二) 割當納付金ノ支拂金額ヲ定ムル命令ガ千九百三十二年八月一日以前ノ日時ニ於テ有效トナリタルトキハ右命令ノ效力發生ノ日時ニ始マリ千九百三十三年七月卅一日ニ終ハル所ノ期間内ニ於テ支拂ヲ要スルニ至リタル割當納付金ハ其ノ期間ガ一箇年ヨリ長キ期間ナルノ事由ニ依リ比例的ニ減少セラルベキコトヲ確實ニスルノ目的ヲ以テ右支拂關係ニ於テハ本法第三條ノ規定ハ左ノ變更ニ從ヒ其ノ效力ヲ有ス即チ

一 本法第三條ニ依リ發セラレタル第一命令ガ效力ヲ生ジタル日時ト千九百三十二年八月一日ト

ノ間ニ於テ引渡サレタル一切ノ製粉ハ同條第一項ノ目的ノ爲右八月一日ニ始マル穀物年度ニ於テ引渡サレタルモノト見做スベシ

二 當年度ノ製粉見積供給量ヲ引用スルハ同條ニ依リ發セラレタル第一命令ガ效力ヲ生ジタル日時ニ始マリ千九百三十三年七月卅一日ニ終ハル期間ノ製粉見積供給量ヲ引用スルモノト解釋スベシ尙同期間内ニ支拂ヲ要スルニ至ルベキ割當納付金ノ支拂金額ハ本法開始後可成速カニ發セラレタル命令ニ依リ算出セラルベク又各穀物年度開始ノ際若クハ開始後可成速カニ新命令ノ發布ヲ要求スル同條第六項ノ規定ハ本法開始後ニ次ギ始マル穀物年度ニ付テハ之ヲ適用セザルベシ

(三) 本法第三條第一項ノ但書ニ於テ穀物年度ヲ引用スルハ第一會計期ヲ引用スルモノト解釋スベシ各穀物年度ノ終了後三箇月以内ニ於テ其ノ年度ニ歸屬スベキ小麥基金ノ收入及支出ヲ示ス所ノ計算書ヲ調製シ且之ヲ大臣ニ提出スルコトヲ小麥委員會ニ要求スル本法第七條第三項ノ規定ハ千九百三十二年七月卅一日ニ終ハル穀物年度ニ付テハ之ヲ適用セザルモノト千九百三十三年七月卅一日後三箇月以内ニ同様調製提出スベキ計算書ニ於テハ第一會計期ニ歸屬スベキ右基金ノ收入及支出ヲ示スベシ

(五) 本法第十條第二項及第四項ノ規定ニ依リ調製提出スベキ豫算ハ本法開始ノ際又ハ開始後成可速カニ之ヲ調製提出スベシ右豫算ハ第一會計期ノ支出ニ關スルモノトス

(六) 前記第十條第五項ニ於テ一穀物年度ヲ引用スルハ第一會計期ヲ引用スルモノト解釋スベシ



第二十條

一 本法ニ於ケル左記ノ用語ハ各其ノ特定ノ意義ヲ要ス

パントハ水食鹽酵母其ノ他ノ酸酵物以外ノ物質ヲ混ゼザルパン焼粉ヲ以テ製造シタル生産物ヲ謂フ  
但シ塊狀ヲ爲シ一塊ノ重量十四オンス以上ノモノニ非ザレバ之ヲパント認メザルベシ  
穀物年度トハ毎年八月一日ニ始マリ其ノ翌年七月三十一日ニ終ハル十二箇月ノ期間ヲ謂フ  
引渡サレタルトハ製粉業者ノ産物ニ付テハ製粉業者又ハ其ノ他ノ者ノ消費若クハ使用ノ爲販賣其ノ  
他ノ方法ニ於テ製粉業者ヨリ引渡サレタルヲ謂ヒ又輸入業者ノ産物ニ付テハ内國消費又ハ内國使用  
ノ爲輸入業者ヨリ又ハ輸入業者ノ爲税關ニ申告セラレタルヲ謂フ  
申告セラレタルトハ税關ニ關スル法令ニ從ヒ申告セラレタルヲ謂ヒ申告トハ之ニ對當スルモノヲ謂  
フ  
輸出業者中ニハ貯藏品トシテ積出セル製粉ノ關係ニ於テハ製粉ヲ貯藏品トシテ積出ノ爲税關ニ申告  
シタル當人又他ノ者ガ代ハリテ申告シタル場合ハ其ノ本人ヲ含ム  
製粉トハ小麥ノ製粉作業ニ依リ生ジタル生産物ヲ謂ヒ且之ニ製粉ノ際小麥殘屑トシテ分離セラレタ  
ル物質ヲ除ク外一切ノ生産物ヲ含ム尙(本條第二項ノ規定ニ從ヒ)前記生産物ガ他ノ物質ヲ以テ混合  
セラレタル場合ハ右物質ガ小麥製粉ノ際ニ生ジ又ハ生ゼザリシト若クハ小麥ト共ニ製粉セラレ又ハ  
其ノ後ニ混合セラレシト問ハズ該混合物ハ之ヲ製粉ト見做スベシ

製粉業者組合トハ本法第二附屬令ノ規定ニ依リ又ハ規定ニ從ヒ構成セラレタル團體ヲ謂フ  
職務ニハ權限及義務ヲ含ム

内國産トハ合衆王國ニ於テ登録栽培者ニ依リ栽培セラレタルヲ謂フ

輸入業者トハ製粉關係ニ於テハ内國消費又ハ内國使用ノ目的ヲ以テ製粉ノ税關申告ヲ爲シタル當人  
又他ノ者ガ代ハリテ申告ヲ爲シタル場合ハ其ノ本人ヲ謂フ

粗粉トハ單獨ト又ハ製粉ニ非ザル他ノ物質ヲ混ジタルト問ハズ一九二六年肥料及飼料原料法第四  
附屬令ニ其ノ意義ヲ定メタル粗粉ヲ謂フ

製粉用小麥トハ大臣ノ定メタル規則ニ規定セル標準ニ適合スル小麥ヲ謂フ

製粉業者中ニハ職業トシテ製粉ヲ生産スル目的ノ爲合衆王國內ニ於テ小麥ヲ製粉スル人々ヲ含ム

大臣トハ協同行爲ヲ行フ農漁大臣及蘇蘭並北愛蘭ニ於ケル各農業關係ノ國務卿ヲ謂フ但シ内國産  
製粉用小麥ノ査定平均價格右小麥ノ豫想供給量割當納付金ノ支拂額又ハ右支拂ノ中止等ヲ規定スル  
一切ノ命令ハ農漁大臣之ヲ定ムベシ

産物トハ(本條第二項及第三項ノ規定ニ從ヒ)製粉業者ニ付テハ合衆王國內ニ於テ當人ノ生産セル製  
粉ニシテ當人ノ引渡シタルモノ又輸入業者ニ付テハ當人ノ引渡シタル輸入セル製粉ヲ謂フ

定メタルトハ本法ニ基キ規定セル規則命令又ハ規約ニ依リ定メタルヲ謂フ

價格トハ小麥ニ付テハ總テ輸送上ノ費用ヲ除キ之ニ對シテ取得シ得ベキ又ハ取得セル價格ヲ謂フ

登録栽培者トハ本法ニ從ヒ小麥委員會ガ定メタル規約ニ依リ内國産製粉用小麥栽培者トシテ現ニ登

録セラレタル者ヲ謂フ

小麥委員會トハ本法第一附屬令ノ規定ニ依リ又ハ之ニ從ヒ構成シタル委員會ヲ謂フ

小麥殘屑トハ小麥製粉ノ過程ニ於テ胚芽又ハ家畜若クハ家禽ノ飼料トシテ之ヨリ摘出セラレタル殘留產出物ヲ謂フ

二 前末項ニ包含スル製粉ノ意義如何ニ拘ラズ左ノ取扱ヲ行フ

(一) 製粉ガ小麥ノ製粉作業ニ依リテ生産セザル物質ヲ含メル混合品ヨリ成ル場合ハ之ガ爲設ケラレタル小麥委員會ノ規約ニ依リ右混合品ニ付テハ此等ノ物質ハ該製粉ノ部分ヲ構成セザルモノト見做スベシ

(二) 小麥ノ製粉作業ニ依リ生産セル物質ヲ含メル包装品ニシテ小麥殘屑以外此等物質ノ重量ガ包装品ノ重量ノ七分五厘ヲ超過セザルトキハ該包装品ハ製粉ヲ含マザルモノト見做スベシ

三 製粉業者ノ製粉產物ヲ計算スルトキハ次ノ方法ニ依ル

(一) 製粉業者ガ單ニ他ノ製粉其ノ他ノ物質ヲ混合スル目的ノ爲自己ニ於テ其ノ製粉ヲ製粉作業ヲ爲セル建物ヨリ他ノ建物ニ引渡シ其ノ混合ヲ爲シタル後後者ノ建物ヨリ來レル自己ノ製粉產物中ニ包含セシメタル場合ニ於テ該混合品ガ全部製粉ナルトキハ右ハ單ニ前記混合ヲ行ヘル建物ヨリ引渡セルモノトシテ其ノ計算ヲ行フベシ若又該混合品ガ前末項ノ目的ノ爲設ケラレタル規約ニ從ヒ製粉ノ部分ヲ構成セザルモノト認メラレタルトキハ右ハ單ニ製粉ヲ爲セル建物ヨリ引渡セルモノトシテ其ノ計算ヲ行フベシ

(二) 若シ本項ノ規定ナカリセバ製粉業者ノ製粉產物タルベカリシ數量ヨリ他ノ製粉業者又ハ製粉輸入業者ノ製粉產物ノ部分ヲ構成シタルコトヲ小麥委員會ノ満足スル様製粉業者ニ於テ證明シタル數量ヲ差引クベシ右數量ハ本法ノ規定ニ依リ計算スルモノトス

四 税關ニ關スル法令ノ如何ニ拘ラズ本法ノ目的ノ爲此等法令ヲ適用スル場合ハ合衆王國ノ用語ニハメン島ヲ含マザルモノトス尙本法ノ目的ノ爲場合ニ依リメン島ヨリ合衆王國ニ又ハ合衆王國ヨリメン島ニ移入又ハ移出シタル製粉及バンハ輸入又ハ輸出セラレタルモノト見做スベシ

五 本法ノ目的ノ爲總テ物品ノ重量ハ小麥委員會ノ與フル指圖ニ從ヒ其ノ物品ヲ包含セル袋其ノ他ノ包装ト共ニ又ハ包装ナシニ之ヲ決定スルコトヲ得

六 本法ニ於テ他ノ法令ヲ引用スルハ前後字句ノ關係上別段必要トスルニ非ザレバ爾後ノ法令ニ依リ改正セラレタル法令ヲ引用スルモノト解釋スベシ

第二十一條

本法ハ一九三二年小麥法ト稱スルコトヲ得

(本法ハ第一附屬令及第二附屬令ヲ省略セリ)

### 六 附 錄

(一) 英國穀物法ノ沿革及効果

英國ニ於ケル穀物法ノ功罪ニ就テハ世人ハ其ノ政治的偏見ニ依テ之ヲ速斷スルノ傾向ガアル即チ或

一派ハ此ノ政策ヲ誤リトシテ非難シ他派ハ之ヲ正シトシテ是認スルガ其ノ孰モ之ヲ實際ノ効果カラ考慮シテ論定スルノ煩ヲ取ラヌサレドモ穀物法ノ行ハレタリシ一六八九年ヨリ一八一五年ニ至ル百二十五年間ニ亘リテ同法ガ穀價ニ及ボセル効果如何ヲ通觀スレバ則チ同法ノ與ヘタ効果ヨリモ年ノ豊凶ニ依ル影響ノ方ガ一層大ナル力ガアツタ様ニ見エル素ヨリ穀物法ノ全効果ガ果シテ農業ヲ進歩セシメタカ將又其ノ進歩ヲ阻止シタカラ決定スルノハ殆ンド出來難イコトデアアルガ孰レニモセヨ之ガ利害損益ヲ差引勘定シタナラバ蓋シ農業上ノ影響ハ輕微デアラウ尤モ同法ガ穀價ニ及ボセル影響如何ニ至テハ之ガ精査ニハ多少共詳細ナル計算ヲ要スルダラウシ且又其ノ計算前ニ於テ割引セネバナラヌコトハ價格ノ騰貴ニ對シテハ人口ノ増加ニ因ル需要ノ増進ト金銀ノ漸落ニ因ル物價ノ昂騰ノ二原因ト又價格ノ下落ニ對シテハ生産費ノ節約ト生産高ノ増加ヨリ來ル影響トノ事項デアアル尙英國ニ於ケル十七世紀中ノ小麥平均價格ヲバ十八世紀中ノ平均ニ比セバ一ブツシエルニ付僅々半片方ノ安値ナリシコトヤ又同期間ニ於テ財政制度ノ種々異レル歐洲ノ一般物價ガ其ノ實質ニ於テハ英國ト差異ナカリシコト等ニ就テモ亦相當説明ヲ要スル更ニ穀物法ノ諸法律ガ其ノ行ハレタリシ全期間中ニ於テ生産者側ト區別セル消費者側ニ對シ果シテ利益ヲ與ヘシヤ又ハ損害ヲ與ヘシヤヲ決定スルコトハ一層ノ難事デアラウ是ハ一方ニ害毒ヲ蒙ラシムレバ他方ニ於テ之ヲ償フノ作用ガアツタカラデアアル然シ此ノ立法ガ如何ナル結果ヲ與ヘタニセヨ其ノ全施行期間中ニ於テ最後ノ二三年間ヲ除ケバ同法ガ穀價ヲ安定セシメタト言フコトハ確カデアアルソシテ恐ク此ノ安定ナルモノハ消費者ニ取ツテハカノ極度ノ騰貴後ニ交替サレタ不意ノ安値ニ對スルト同様非常ナ難有味デアツタラウ事實英國

ガ一ニ内國產ノ供給ニノミ頼ツタ當時ニ於ケル穀物ノ價格ハ勿論收穫高ノ増減ニ對シテハ非常ニ鋭敏デアツタソシテ其ノ理由ハ明カデアアル當時ノ平年作ナラバ人口ニ對シテ充分ナルパンヲ與ヘ得タガ其レ以上ノ餘裕ヲ存セヌコトガ度々アツタ其故ニ一部地方ニ不作アルモ忽チ騰貴ヲ來シタソシテ奈翁戰爭中ノ様ニ穀物ノ缺乏久シキニ互レバ克己的制令ヲ以テ國內ノ消費高ヲ三分ノ一ニモ減少シタリ捏菓子ヲ製スルノニ食土ヲ幾分小麥粉ニ代用シタリ製造後二十四時間ヲ經タヌパンノ販賣ヲ禁ジタリ穀物ヲ澱粉ヤ酒精製造ニ供用スルノヲ禁ジタリシタ然シ穀物ノ如キ必需品ハ斯カル節約デハ其ノ不足ヲ補フコトガ出來ナカツタ爲ニ凶作ノ徵候ガ顯ハレルトキハ殊ニ爭奪ガ行ハレテ動モスレバ市場ハ混亂ノ状態ニ陥リ易カツタソコデ年産額ニ不足アレバ事實其ノ不足以上ニ穀價ガ奔騰シタス様ナ交互騰落ノ激シイ状態ハ立法ノ力デ之ヲ安定セシメ調節セシメナカツタナラバ消費者ニモ生産者ニモ共ニ慘害ヲ與ヘタデアラウ

元ト英國ノ穀物法ハ中世紀ノ初頭ニ始リテ一八六九年ニ至ル六世紀ノ長キニ互テ繼續シタ從來同法ニ對スル視聽ハ特ニ其ノ條項ノ一方ニノミ集リテ穀物ノ内國取引ヤ輸出制限ノ規定ノ如キハ殆ンド忘レラレカノ一八一五年乃至四十六年間ヲ除ケバ今日舊穀物法ノ要諦ト認ムル所ノ外國穀物ノ關稅ノ如キハ重要味ガ少ナカツタ穀物ニ關スル立法ヲ制定サセタリ改正サセタリシタ歷代ノ政府モ亦同時代ノ人民(其ノ人民ノ爲ニ法規ヲ通過セシメタノデアアルガ)ヨリハ別段ニ智慧ガアルノデハナカツタソシテ其ノ政策ハ終局ニ於テ時ニ議論ノ種トナツタリ又時ニ變更サレタリシタガ而モ時ヲ異ニスルト共ニ其ノ目的ガ著シク異ツテ來タ然シ穀物法ニ對シテハ土地所有者タル支配階級ノ貴族ヲバ

消費者ノ費用ヲ富マシムル爲利己のニ仕組ンダ制度トシテ之ヲ責ムルコトガ出來ヌノミカ若シ全體トシテ此ノ立法ヲ取扱フナラバソシテ又輸出及輸入ノ兩者ニ對スル制限ヲ同時ニ審査スルナラバ一八一五年迄ノ同法ニ於テハ消費者モ生産者モ將又國民モ皆全體トシテ繼續的ニ考慮セラレタルコトヲ發見スルデアラウ立法者ノ一般目的ハ(一)公平ナル且一樣ナル價格ヲ以テ潤澤ナ食糧供給ヲ維持セントスルコト(二)人民ノ大衆ガ生産者トシテ從事セル農産業(十八世紀ノ中頃迄ハ左様デアッタ)ヲ援助スルコト(三)農村地方ノ人口減少ヲ防ギ國民ノ通商權及海上權ヲ確立シ國民ヲ外國ノ食糧供給カラ獨立セシメ且幼稚ナル植民地ノ發達ヲ撫育スルコトデアッタ

中世紀ニ於ケル諸種ノ穀物法ハ宗教的ニ非ザル迄モ人道上ノ原理ニ基イタソシテ暴利ニ對抗スルノ法律ト同種類ノモノデアッタ元來生活必需ノ生産物ニ對シテ相當以上ノ利益ヲ強要シ人類ノ必需品ヲ餌トシ又ハ其ノ缺乏ヲ奇貨トスルガ如キ行爲ハ之ヲ不道德ト考ヘラレタ其故ニ立法ノ目的ハ穀物ノ正當ナル價格ヲ設定シ之ニ依テ消費者ノ利益ノ爲ニ取賣者ノ自由ヲ束縛スルコトニアッタ而シテ最初立法者ガ正當價格ヲ設定センガ爲ニ用ヒタ方法ハ種々アッタ彼等ハ其ノ目的ヲ達センガ爲ニソシテ之ニ由テ生産者等ニヨリ善イ利益ヲ得シメンガ爲ニ内國産穀物ヲ國內ニ保留シテ内國取引ヲ取締リ農民ト其ノ顧客間ニ仲介者ノ立入ルヲ罰シ狡猾ナ製パン業者ニ對シテ購買者ヲ保護シ且穀物ノ獨占及投機(運送上ノ困難ガ地方的供給ヲ養ハレタ狹隘ナ地域ニ於ケル競争ヲ制限シタ時代ニ於テハ此等ノ行爲ハ實ニ危險デアッタ)ヲ防止シタ此種ノ法律ニ屬スルモノハ穀物ノ國外販賣禁止法又ハ一地方ヨリ他地方ヘノ輸送禁止法穀物ノ獨占買占又ハ投賣ヲ行フ穀物商ノ取締ニ關スル諸法規ハ

ン量目取締法(ジョージ二世時代迄ハ材料ノ高下ニ依テ價格ヲ増減スル代リニ穀價ニ由テ實際パンノ大サヲ加減シタ)等デアッタ偶然ニモ此種ノ立法ハ其自身ノ目的ヲ減失セシメタ其レハ穀物ノ自然取引ヲ防害シ農民ノ資本ヲ閉鎖シテ耕作面積ヲ減少セシメタノデアアル然シ穀物取引上ノ國民的恐怖(多數ノ法律ニハ之ヲ表現シテアル)ハ魔術ニ對スル國民的恐怖ノミガ能ク之ト對比スベキモノデアツテ知識階級間ニハヨリ長ク存續シタ地方的獨占ニ就テハ内國ノ輸送設備ガ増加スルニ伴ヒテ其ノ機會ガ減少シタ又内國取引ヲ自由ニスルノ方策ニ就テハ繼續的手段ヲ取リ一五七一年ニハ一クオターニ付一志ノ許可稅ヲ支拂ヘバ穀物ヲ一地域ヨリ他ヘ輸送スルコトガ許可サレタ一六六三年ニハ穀價ガ一定ノ制限ヨリ下ルトキニハ轉賣ノ爲ニ穀物ヲ買入ル、ノ自由ガ讓歩サレタ但シ同一市場デハ三ヶ月以内ニ轉賣スルコトハ出來ナカツタ一七七二年ニハ穀物商ニ關スル法典中ノ刑罰條項ガ穀物ノ栽培ヲ萎縮シ穀價ヲ騰貴セシムルモノトシテ廢止サレタ一八二二年ニハパン量目取締法ヲ定ムルノ慣例ガ議會ノ制令ニ依テ倫敦ニ於テハ繼續セヌコトニナツタ一八三六年ニハ倫敦ノ場合ニ於ケルト同様ノ規定ヲ以テ地方ノ都會及郡村ニ於ケルパン量目取締法ガ廢止サレタ要スルニ穀物法ニ關スル近代ノ傾向ハカノ投機制限法ヲ増設シ若ハ穀價及パン價ノ取締ニ依リテ正當ノ價格ヲ確保セシコトヲ企圖スルニ代ヘ不正ノ量目及不良ノ加工ニ對シテ消費者ノ保護ヲ増加スルノ方法ニ依リテ正實ナル取引ヲ強制シ來ツタノデアアル

尙消費者ノ利益又間接ニハ生産者ノ利益ヲ圖リテ可成變動ナキ一樣ノ價格ヲ維持センガ爲ニ他ノ方法ヲモ採用サレタ斯クテ公設穀倉ノ建設(農民ガ次ノ凶年ニ備フル爲或年ノ過剩高ヲ貯ヘ得ル様)ガ

和蘭カラ其ノ例ヲ取り勅令ヲ以テ英國ニ強行サレタ一六二〇年ニハ樞密院ガ各郡ニ（或ハ云フ各市  
場都市ニモ）書翰ヲ送リテ穀倉又ハ倉庫ヲ設ケ穀物ヲ買入レ之ヲ貯藏シテ騰貴ノ年ニ備ヘシメタ之  
ニ次ギ一六六三年ニハ同様ノ目的デ保稅倉庫ノ制度ガ鼓吹サレタ其處ニハ外國ノ穀物モ消費ノ爲ニ  
出庫迄ハ無料デ保管サレル様ニナツタ内國產穀物ノ輸出制限ニ關スル取締方法モ亦過不足ノ行過ギ  
ヲ防ギンシテ國民ガ騰落間ノ激シキ動搖カラ苦シメラレヌ様國ノ弊害ヲ救フベキ同一ノ希望デ支配  
サレタ穀物ノ輸出補助金ニ就テモ是非ノ議論ガ多カッタガ結局同一ノ結果ヲ生ズル様計畫サレタソ  
シテ外國穀物ノ輸入規定デサヘモ其ノ一部ハ價格ノ一樣ナル平準ヲ得ントスル同一ノ希望ヲ以テ支  
配サレタノデアアル

初代ニ於ケル穀物ノ輸出禁止ハ國王ノ外敵ニ對スル報復デアルト云フ政治的理由ノ影響ヲ受ケタガ  
恰モ之ニ對スル輸出ノ許可ハ大藏省ノ必要トスル所ヲ考慮スルノ影響ヲ受ケタ尤モ國庫ノ收入ヲ圖  
ルコトガ決シテ穀物法ノ第一目的ニハアラザルモ中世紀時代及再ビステューアルド朝下ニ於テハ少  
クモ其ノ第二ノ目的デアツタ此ノ程度ニ於テハ管ニ消費者及生産者ノミナラズ亦國民ノ特殊利益ガ  
斯クノ如ク早イ頃カラ發顯シタノデアツタ元來穀物ハ國王ノ許可ヲ得タ者ソシテ過半ノ場合ハ其ノ  
許可ヲ買ツタ者ニ依テ輸出サレタ然シ許可ヲ與フル國王ノ特權行使ハ端ナクモ憲法上ノ爭議ヲ惹起  
シ遂ニ三世紀間ニ互リ種々ノ運命ヲ以テ戰ハレタ其ノ論争ノ根本ハ一切課稅上ニ於ケル議會ノ監督  
權ニアツタ一三九三年ニハ輸出ノ自由ハ國法デ許可サレタガ其ノ國法上ノ自由ハ國王ガ樞密院ノ諮  
詢ヲ經テ之ヲ無効ト爲シタ爾後七年（一四六三年）ニシテ輸出ノ禁止又ハ特許ヲ行フ國王ノ特權ガ  
取去ラレタガ國王ノ任意ニ依リ價格ノ基準ヲ定メ其ノ基準價格以下ニ於ケル穀物ノ取引ガ許可サレ

タ次ニ來タテューダー王朝ハ前王朝ヨリモ一層壓制的デ特許ヲ與フル王權ヲ再ビ取戻シタ蓋シ茲ニ  
ハ其ノ要求ト行使トヲ正當ナラシメタ様ナ特殊ノ事情ガアツタラウ之ヲ農業上ヨリ謂フトテューダ  
ー朝ノ目的トスル所ハ牧羊業ニ因ル人口減少ノ傾向ニ對抗スル爲ニ耕作ヲ獎勵スルニアツタ又之ヲ  
商業上ヨリ謂フト海上權ノ維持ヲ主トシテ外國貿易ヲ建設スルコトヲ希望シタノデアアル當時英國ノ  
穀物ハ外國ノ生産品ト交換スベキ商品ノ一ツデアツタ

此ノ二箇ノ事由ニ依テ同王朝ハ穀物輸出ノ商業ヲ支持シタ然シ全然國外ニ出ヅル穀物ノ自由運送ヲ  
制限セナカッタナラバ内國ノ供給ヲ不足ナラシメ爲ニ内國ノ價格ヲ引上ゲタカモ知レヌ其故ニテユ  
ダー王朝ノ政治家ニハ輸出禁止ノ王權ハ消費者ノ利益ノ爲ニ之ヲ復活セシムルコトガ必要ニ見ヘタ  
デアラウガ實ハ同王朝ノ財政窮乏ガ王朝ヲ驅リ此ノ穀物取引ノ管理ニ依テ獨立ノ財源ヲ發見セシメ  
タノデアツタ斯クテチアールズ一世ガ其ノ收入ヲ膨脹セシメンガ爲ニ王ノ特權ヲ行使シタコトガ同  
王ニ對スル不平ノ一ツトナリ遂ニ憲法上ノ原則ガ勝利ヲ占ムルニ至ツタノデアアル王政復古ヨリ一八  
一五年迄ハ内國產穀物ノ自由輸出ハ立法部ノ監督調節スル所トナリ其ノ方法ハ内國市場ノ時價ニ基  
イテ行ツタ之ト同時ニ穀物ノ輸出入ヲ調節スルノ法律ヲ停止スル國王ノ特權ハ其ノ行使ヲ保留サレ  
テ議會ガ之ニ承認ヲ與ヘタ

王政復古ニ際シ穀物ニ關スル英國ノ財政々策ハ從來ヨリモ具體的トナツタソシテ一六六〇年六三年  
及七〇年ニハ穀物ノ輸出及輸入ヲ規定スルノ法律ガ通過シタ

爾來此ノ兩規定ハ別々ニ考ヘラレナイデーハ他ノ補充法デアツタ一六六〇年ノ法律ハ内國產穀物ノ

積出港ニ於ケル價格ガ一クオーターニ付小麥四〇志ライ麥豌豆及豆二四志大麥及麥芽二〇志燕麥一六志以下ノ場合ニ於テ輸出ヲ許可シタノデアツタ

同法律ハ外國小麥ノ輸入ニ對シテハ內國小麥ガ一クオーターニ付四四志又ハ其レ以下ノ場合ニ於テハ輸入税トシテ一クオーターニ付二志ヲ徵收シ又四四志以上ノ場合ニハ之ヲ四斤ニ減少シタ其他ノ穀物ニ對シテハ內國市場ノ價格ニ從テ比例的ニ課税シタガ此ノ價格ト税率トハ一六六三年ノ法律デ改正サレタ右一六六〇年及一六六三年ノ法律ハ共ニ收入ヲ舉グルコトヲ以テ政府ノ目的トシタ様ニ見エル其レハ以前外國ヨリノ輸入ニ對スル課税率ハ著シク低カッタカラデアアル然シ一六七〇年ニハ此ノ政策ヲ變更シ同年ノ法律デハ耕作獎勵ノ爲ニ內國ノ價格ガ一六六三年ニ定メシ限度ヲ超ヘテモ尙穀物ノ輸出ガ出來タト同時ニ外國穀物ノ輸入ニ對シテハ禁止税ヲ課シタ一例ヲ舉グレバ小麥ガ一クオーター五三志四片以下ノ場合デモ外國穀物ノ課税ハ一クオーターニ付一六志デアツタツシテ內國價格ガ五三志四片乃至八〇志ノ場合ニハ關稅ヲ八志ニ減少シ又八〇志以上ニ騰貴シタトキハ四片ノ普通磅税(往時國王ヘノ補助金ニ充ツル爲輸出價ノ每磅ニ對シテ課セル税金)ニ限り課スルコトヲ得タ尙其他ノ外國穀物ニモ價格ニ比例シテ同様ノ税ヲ課シタ

ウイリアム及メリーノ治下ニ於テハ此ノ制度ニ付ケ加ヘテ內國ノ小麥價ガ一クオーターニ付四八志又ハ以下トナリシトキニハ內國產ノ輸出小麥毎クオーターニ付五志ノ補助金ヲ與ヘタ同様ノ補助金ガ他ノ穀物ノ輸出ニ對シテモ其ノ價格ニ比例シテ與ヘラレタ議會ニ於テ此ノ方法ガ討議サレタトキハ明カニ消費者ト生産者ノ利益ガ考慮サレタ此ノ方法ハ一方ニ於テハ疑ヒモナク生産者ノ在荷ノ集

積ヲ救ヒ之ニ依テ生産者ガ公共負擔ノ増加ニ堪ヘ得ル様其ノ利益ノ爲ニ案出サレタガ他方ニ於テハ補助金ノ刺戟ニ依リ土地ノ耕作面積ヲ増大シテ內國產穀物ノ數量増加ト生産ノ改良ヲ圖リ斯クシテ一様ノ價格トヨリ低イ平均値ニ於テ一層不變ナル穀物ノ供給ヲ爲スコトガ期待サレタ蓋シ十八世紀ノ上六十五年間ニ於ケル結果ハ此ノ論據ヲ正當ナラシムル様ニ見エタ然シ一七一五年乃至一七六五

年間ニ互リテ普遍セル穀價低落ノ範圍ガ其ノ何處迄ガ好天候ノ惠澤ニ因ルモノカ又何處迄ガ耕地面積ノ増加ニ對シ改善サレタ方法ヲ用ヒテ刺戟ヲ與ヘシ結果ニ因ルモノカ之ヲ決定スルコトハ困難デア

ル事實凶作ノ歲ニハ輸出補助金ノ直接效果ハ微弱デアツタ其レハ獨リ穀物ノ輸出獎勵及補助金ノ交附ガ差控ヘラレタノミデナク內國產穀物輸出ノ自由モ亦停止サレタカラデアアル然シ豐作ノ歲ニハ輸出補助金ガ穀物輸出ヲ刺戟シテ價格ノ自然下落ヲ阻止シタトモ言ヘル

今輸出補助金ノ制度ガ齎ラセシ利益ヲ列舉スレバ生産者ニ就テハ凶作ノ年ニ於テ度々輸出禁止カラ受ケタ損失ノ當然ノ補償デアアルコト價格ガ一様ニナツタコト穀物栽培面積ノ一部ヲ廢耕セシムル様

ナ激シキ下落ノナクナツタコト消費者側ニ就テハ當時國ガ唯一ノ頼リトセル穀物ノ內國供給ガ此ノ輸出補助金制ノ爲ニ著シク生産ヲ増加セル結果在荷ノ豊富トナリシコト輸出穀物ノ品質如何ニ拘ラズ補助金ヲ交附セシ爲ニ內國ノ消費穀物ニハ優良品質ノ保留ヲ爲シ得テ英國消費者ノ利益トナリシコト等ガ力説サレタ右ノ内消費者ノ受ケタ利益ハ恐ラク消費者ガ豐年ニ於ケル自然的安價ノ利益ニ干渉サレタ爲ニ蒙リシ損失ト差引勘定トナリ即チ消費者ハ一六九七年乃至一七六五年間ニ於テ生産者ガ支給ヲ受ケシ補助金ノ名義ニ於テ課税サレタル六百萬磅ノ損失ト相殺サレタコトヲ看出シタデアラウ

一六八九年ニ於テ時ノ政府ガ乘リ出シタ財政政策ハ實際一八一五年迄モ穀物取引ヲ支配シタ尤モ價格調節ノ基準ハ屢々改正サレタガ其ノ原則ハ依然トシテ同一デアツタ一方ニ於テ外國穀物ノ輸入ガ平年ニハ重税ノ爲事實禁止ノ状態ニアツタガ他方ニ於テハ人口維持ノ爲内國生産ガ普通ノ季節ニ於テ要セシ耕地面積ヨリモモット大ナル面積ガ穀物栽培ノ爲ニ維持セラルベキ必要カラ耕地擴張ニ人爲的ノ刺戟ガ與ヘラレタ

今此ノ制度ガ行ハレタ百二十五年間ハ之ヲ二期ニ分ツコトガ出來ル即チ第一期ハ一六八九年乃至一七六五年間第二期ハ一七六五年乃至一八一五年間ニ互ルモノデアル

右ノ内第一期間ニ於ケル政府ノ財政政策ノ結果ヲ考察スルニハ勢ヒ二組ノ法律ガ同時ニ施行サレタ事ヲ記憶セネバナラヌ即チ内國ノ價格ガ一定ノ平準ヨリ下リシトキハ外國産穀物ノ輸入ガ事實ニ於テ禁止サル、ト同時ニ内國産穀物ガ輸出ヲ許可セラレタツシテ生産數量ハ輸出補助金ノ爲ニ刺戟ヲ受ケタ然シ内國ノ價格ガ一定ノ平準以上ニ上リシトキハ輸出補助金ノ停止ト共ニ輸出ガ禁止セラレソシテ外國穀物ノ輸入ガ無税又ハ割引率デ許可サレタ其故ニ消費者ハ國內ニ穀物ヲ保留スルノ法律ニ依リテ利益ヲ得タカ又ハ國外ニ穀物ノ輸出ヲ許可シタ法律ニ依リテ損失ヲ受ケタカラ決定スルノハ容易ノコトデハナイ二十世紀ノ當代ニ於テ英國ト氣候其他ノ状態ヲ異ニスル所ニ生産スル穀物ノ大補給又ハ交互供給ガ行ハル、場合ニ若シ輸入ノ禁止アラバ之ニ依テ受クル損害ハ他ニ比スベキモノナキ程莫大ナルベキハ無論デアル然シ十七、八世紀ニ於ケル世界穀物市場ノ状態ハ今日トハ甚シク異ナリシ故ニ其ノ當時ニ於ケル政府ノ政策ハ無理デハナカツタカモ知レヌ當時英國ノ補充供給ハ

唯北歐洲ノミカラ得ラレタノデアツタ北佛和蘭丁抹北西獨逸及僅カナガラ北東獨逸及ポーランドナドハ英國ノ氣候状態ト似通ヒ居リ同様ニ天候ノ影響ヲ受ケタカラ氣候不順ノ季節ニ於テハ當時利用サレタ全穀物地帯ガ同時ニ不作ノ苦シミヲ受ケタ譯デアル一六八九年乃至一七六五年ノ第一期間ヲ一貫セル英國ノ小麥平均價格ハ大陸市場ノモノヨリモ一クオーターニ付僅々四片方安カツタノミト言ハレタ而シテ外國穀物ノ運賃諸掛リハ一クオーターニ付大體十二志モ要シタルヲ以テ假令輸入税ガ課セラレナカツタニセヨ英國ノ價格ヲ減少スルコトハ到底出來ナカツタノデアルサリトテ消費者ハ之ニ代ハルベキヨリ安イ供給カラ全ク遮斷サレタ譯デアナイ内國産穀物ニ拂ハレテ居ツタ價格ヨリモヨリ高價デナクテハ何分ニモ他國カラノ供給ガ利用スルコトガ出來ナカツタノデアル然レドモ他方ニ於テ消費者ハ英國ガ追從シタ財政政策ノ結果ニ依リテ著シキ利益ヲ得タ當時英國ハ平年ニ於テハ自國民ノ供給ニ充テ不足ナキノミカ過剩ノ輸出出來ル程ノ穀物ヲ産出シタツシテ其ノ供給ニ不足アリト思ハル、ノハ不作ノ年柄ノミデアツタサレバ政府ガ不作ヲ見越シタトキニハ先ヅ輸出港ガ閉鎖サレタシカモ尙供給ガ依然不足ナラバ輸入ノ爲ニ開港ヲ爲シタノデアアル斯クテ消費者ハ輸入ノ重税アルモ更ニ損害ヲ蒙ナカツタ若又被害アリトスルモ其ハ輕微ニ過ギナカツタノデアアル

第一期即チ一六八九年乃至一七六五年間ニ於テハ補助金制モ輸出自由モ輸入制限モ連續的ニハ行ハレナカツタ補助金停止ノ年數ハ前後九箇年デアツタ又之ト共ニ内國産穀物ノ輸出モ禁止サレタ此ノ臨機ノ處置ハ一般的ニ成功シタガ其ノ内三箇年ハ一步進ンダ方法ヲ取ツタ即チ一七四一年五七年及五八年ニハ外國穀物ガ無税デ輸入ヲ許可サレタノデアアル此ノ三箇年ニ於テ國內ニ輸入セル總數量ハ

一六九四五クオーターデアツタ此ノ例外ナ年間ニハ戦争ト戦時税或ハ通貨ノ恢復或ハ人口ノ漸進等ガ特ニ英國ノ價格ニ影響ヲ與ヘ又補助金ハ其ノ反對論者ガ斷定シタ通り價格ノ向上ヲ援助シタ然シ此等ノ諸因ガ結付イテモ割ニ大シタ事デハナカツタノデアアル歐洲市場ヲ一貫シテ穀物ノ過不足ト之ニ伴フ價格ノ騰落トハ主トシテ天候ノ如何ニ懸ツタツシテ其ハ一般同様ニ全穀作面積ニモ其ノ影響ヲ及ボシタ例ヘバ十七世紀末ノ七ケ年ハ蘇蘭デハ七凶年ト稱シテ記憶サレテ居ル程ノ天災デ英蘭デモ殆ンド之ト同様ノ災害ガアツタ一七〇八、九年及一七三九、四〇年ハ所謂三冬中ノ二ツ(第三冬ハ一七九四、五年)デアツテ其レハ永引ケル嚴冬トシテ十八世紀中著名ノモノデアアル此ノ兩者ハ勿論凶作ヲ伴ツタ又一七五六年ノ春夏秋ニ互ル濕潤ナル天候ノ爲ニ穀物ノ不足ヲ生ジ更ニ又一七五七年ノ大暑ハ前年ノ凶作ヲ補フ能ハザルノ不作ヲ起シタ然シ斯クノ如キ不順ノ季節ハ獨リ英國ノミノ特有デハナカツタ此等ノ天災時候ハ北歐洲一圓ニ瀰漫シソシテ一般ニ價格ノ騰貴ヲ促シタ然シ佛蘭西デハ早クモ政府ガ穀物ノ輸出ヲ差止メテ輸入ヲ獎勵シタガ其ノ災害程度ハ之ト反對ノ財政政策ヲ取ツタ英國ヨリモ一層急激デ且永ク繼續シタ換言スレバ英國デハ補助金制ニ依テ穀物ノ維持ヲ成シ大貯藏アリシ爲ニ此等穀物缺乏ノ年間ニ於テハ大ニ一般ヲ裨益シタノデアアル

此ノ時代ハ前記凶作ノ起リシ年間ヲ除ケバ英國ノ勞働階級ニ取テハ一般ニ繁榮時代デ物價平準ハ低ク且ツ一樣デアツタ今十八世紀ノ當初六十五年間ノ小麥價ヲ十七世紀ノ平均小麥價ニ比スレバ一割六分ノ下落ヲ示シ而モ此ノ割安ニ加ヘテ農業勞銀ガ同率ノ騰貴ヲ伴ツタノデアアルカラジョージ二世治下ノ勞働階級ハ極樂時代ニ最モ接近シタヤウニ見エル生活必需品ガ澤山アツテ安イノニ人口ハ急

激ナル増加ナク且ツ生活ノ基準ガ改進サレタノデアアル然ルニ他方農事經營者ノ側ニハ物價低廉ノ不平等ガ高マツタ當時小作人ハ其ノ地代ガ拂ヘズ地主ハ辛ウジテ其ノ家族ヲ養ヒ得タト云ハレタエデンガ其ノ勞働階級史ニ於テ引用セシ如ク一國ノ食糧ヲバ全然内國供給ニノミ頼リ而モ平生多量ノ穀物ヲ外國ニ輸出シソシテ十五箇年ノ内九箇年ノ間内外ノ戰爭ニ從事セル英國ニ取テハ一七四二年乃至一七五六年間ニ於ケル程度ノ穀價ノ値下ハ特ニ顯著ノ事柄ト謂フベキデアアル

實ニ左表ニ示スガ如ク引續ケル價格ノ低迷ハ著シク英國ノ穀物栽培面積ヲ驅逐シタコトハ當然デアラウシ且又價格ノ騰貴ハ供給ノ減少ニ因テ起サレタノデアアラウスノ如ク此ノ一世紀ヲ通ジテ廣大ナル穀作面積ガ放牧地ニ轉換サレツ、アツタトハ謂ヘ補助金ノ實際的効果ハ或程度迄ハ此ノ自然的傾向ヲ引止メタ様ニ見エルソシテ産穀ノ過剩分ハ貯藏セラレ之ニ依テ歐洲ガ凶作ナリシ年柄ニ於テモ克ク内國ノ穀價騰貴ヲ緩和シ得タノデアアル一七一五年乃至一七六五年ノ全期間ニ於ケル外國穀物ノ總輸入高ハ三十萬クオーターヲ超ヘザルニ内國産穀物ノ輸出高ハ一千二百二十五萬クオーターニ達シ尙一七五〇年ニハ從來一ケ年間ニ輸出セシ小麥ノ最高額ニ上リ九十五萬四百八十三クオーターノ數量ヲ示シタ

マークレン及ベリアキー兩市場ニ於ケル一七四二年乃至一七五六年間ニ於ケル各年一月中ノ穀價表

年	號	小	大	燕	麥
一七四二		二六〇	一五二〇	一一一	一一五
一七四三		二〇一	一五二〇	一三一	一一六



1744	1912	1113	912
1745	1810	1215	1216
1746	1614	1012	1214
1747	2730	812	619
1748	2618	1314	912
1749	2732	1718	1416
1750	2419	1417	1214
1751	2417	1417	1314
1752	3334	1719	1261
1753	2913	1718	1061
1754	2713	1719	1261
1755	2416	1214	1013
1756	2216	1415	1213

次ニ第二期タル一七六五年乃至一八一五年間ニ於テモ政府ハ第一期ト同様ニ輸出入双方ノ取締ト穀物ガ一定價格以下ニ低落セル場合ニ於テ輸出獎勵金ヲ交付スルノ同一財政政策ヲ支持シタガ其他ノ關係ニ於テハ前後兩期ノ相違ハ甚シキモノガアツタ第一期間ハ價格ノ低廉ト内國產穀物ノ大量輸出ト勞働階級ノ繁榮トデ特ニ目立ツタガ第二期間ハ價格ノ昂上ト外國產穀物ノ輸入増進ト賃銀ヲ稼グ人々ノ間ニ於ケル悲況ガ擴大シタノトデ同様ニ目立ツタ此等兩期ニ於ケル財政政策ハ實際ニ於テ變

リガナカッタノニ此ノ如キ相違ヲ生ジタ原因ハ仰モ何ニ歸因セネバナラヌノカ  
 一七六四年ニ至ル半世紀間ノ小麥平均價格ガ次ノ五十年間ニ於テハ事實三倍サレタコトハ左ニ示セル各十ヶ年毎ノ小麥平均値ヲ通觀スレバ其ノ傾向ガ窺ハレル

- 一七六五年—一七七四年 五一志
- 一七七五年—一七八四年 四三〃
- 一七八五年—一七九四年 四七〃
- 一七九五年—一八〇四年 七五〃
- 一八〇五年—一八一四年 九三〃
- 一八一五年—一八二四年 六八〃

斯クシテ茲ニ英國ハ穀物輸出國タルヲ止メテ外國穀物ノ買手タル輸入國トナツタノデアルンシテ一七六五年ハ實ニ此ノ英國ノ穀物取引ニ於ケル革命ノ第一期ヲ劃スルモノデアル尤モ或一、三年間ハ或ハ輸出超過ノ内ニ或ハ輸入超過ノ内ニ其ノ均勢ガ前後ニ動搖シタケレドモ一七九二年以降ハ斷然輸入超過ノ一方ニ傾キ爾後此ノ勢ハ漸次増大シタ此ノ變化ヲ見セテ全期間中ノ財政政策ハ屢々特ニ一七七三年—一七九一年ニ於テ變更サレタガ然シ其ノ原則ニ至テハ依然トシテ同一デアツタ實際一七六五年乃至一七七四年及更ニ再ビ一七九二年乃至一八一四年ノ間ニ於テハ穀物ノ自由輸出並ニ輸出獎勵金ハ殆ンド引續キ停止サレタソシテ外國穀物ノ輸入ガ關稅引下又ハ免稅ヲ得テ度々許可サレタ是ハ一七六五年—一七六六年—一八二八年—一七七二年—一七八三年—一七九〇年及事實佛國戰爭ノ開始ヨ

リ其ノ終局迄ノ間ハ左様デアツタ價格調節ニ至テハ數度ノ變更及停滯ガアツタケレドモ其以外ニ於テハ内國及外國カラノ供給ヲ増進センガ爲ニ大ナル勞力ガ拂ハサレタ斯クテ一七七二年ニハ賣崩買占獨占及轉賣等ノ爲ニスル大量買入者等ニ對スル刑罰ガ廢止セラレテ内國取引ヲバ多クノ制限カラ救ヒ出シタ一方穀作面積ヲ増加スル爲ニハ幾多ノ圍地法案ヲ通過シタ尙内國產ノ不足ヲ填補スル爲ニ議會ハ一般ニ對シテ節約ヲ強制シ之ガ爲ニ小麥其他ノ穀物ヲ澱粉製造又ハ釀造用ニ供スルコトハ再三禁止サレタソシテ外國產穀物ノ供給ヲ得ル爲ニハ更ニ格別ノ努力ガ爲サレタ政府ハボルテツク沿海地方ヨリノ買入ヲ行フ爲代理者ヲ使用シタガ是ハ海外ガ高値ノ爲商人共ガ支拂ヲ躊躇スルダラウコトヲ恐レタ爲デアアル尙中立國ノ船舶ニ積込デ外國ヘ向ケラレタ穀物ハ差押ヘ英國ニ送ラレタ穀物輸入補助金ハ一七七三年ニ倫敦市廳ガ一クオートー四志ノ割合デ與ヘタガ一七九五、六年及再ビ一八〇〇年以降ハ六志乃至二〇志ノ割合デ之ヲ政府ヨリ與ヘタ又常用穀物ノ代用品例ヘバ米玉蜀黍類ハ能ク買込マレタソシテ馬鈴薯ノ栽培ガ大ニ増加サレタ然シ此等ノ努力アリシニモ拘ハラズ食糧供給ノ豫想ガ實際失敗ニ終ルヤウニ思ハレタ程缺乏ガ連續シタソシテ一八一二年ニハ英國ハ眞ニ饑饉ノ境ニ瀕シタ是ハ奈翁戰爭ノミデナク亦亞米利加トノ戰爭ニ於テモ英國ハ大陸諸港カラ閉鎖サレ極メテ悲惨ナル窮迫狀態ニ陥ツテ其ノ情況ガ最モ惡イ時機デアツタ同年八月ニハマーケットレン市場ノ小麥平均値ガ實ニ毎クオートー一五五志迄奔騰シ其他ノ穀物モ肉類モ皆之ニ應ジテ昂騰シタ而モ十月末ニハ馬鈴薯作ガ二割五分ノ減收ヲ來セル有様ニテ實ニ同年ハ最モ惱メル年ノ一ツデアツタ然シ一八一三年ニ於テ豐作ノ救ヒガ來リ前ト反對ニ穀價ガ非常ナ勢デ下落シ其ノ十二月ニハ七三志六

片ニ下リソシテ一八一四年ニハ一六八九年以來間斷アリナガラモ繼續シ來タ財政制度ガ遂ニ廢止サル、ニ至ツタソコデ同年六月以降ハ穀類穀粉等ノ輸出ガ全ク無稅トナリ又補助金ヲ受ケズニ輸出スルコトヲ得タ爾後穀物法ハ唯輸入制限ノ一方ニ偏セル型態デ其ノ餘生ヲ保ツタノミデアツタ

此ノ第二期中(一七六五年—一八一五年)ニ流行セル穀物ノ高値ニ就テハ從來種々ノ方法デ説明サレテ居ル即チ穀物商等ノ惡イ習慣人口ノ増加農地ノ硬化(Consolidation of Holdings)及共同耕作農業(open-field farming)ノ減少通貨ノ下落時候ノ不順及戰爭ノ發生又ハ財政制度ノ變革等ニ其ノ原因ヲ歸シ來ツタ

此等諸種ノ原因ハ孰モ價格ノ向上ヲ助長シタモノト謂フベク就中穀價騰貴ノ最モ有力ナル原因ハ天氣ノ不順ト戰爭ノ發生トデアツテ此ノ二原因ノミニテモ穀物缺乏ノ繼續ヲ説明スルニ充分デアラウ若シ今日英國ガ當時ト同様依然内國及海外ニ於ケル限定サレタ面積カラ其ノ食糧補充ヲ仰グノデアツタナラバ假令英國ガ絶對ノ自由貿易制度下ニ在テモ右二原因ヨリ來ル結果ハ今日ト雖尙同一デアツタラウ尤モ人口ノ増加ガ問題ノ要項タルコトハ疑ヒナイ一六八九年乃至一八一五年間ノ人口増加ハ著シク一六九六年グレゴリ王ハ英蘭及威爾斯ノ人口ヲ五百五十萬ト概算シタガジョージ三世ノ即位(一七六〇年)當時ハ六七百萬ノ間ニ於テ増加シタト思ハレタソシテ同治下ニ於テハ年々加速デテ以テ増加シタ第一回ノ人口調査(一八〇一年)ハ八、八七二、九八〇人ヲ算シ其レガ一八一一年ニハ一〇、一五〇、六一五人ニ増加シタ此等ノ數字ニ依ルトキハ百二十五年間ニ於テ人口ハ二倍シタソシテ生活基準ノ改善ヲ計算外トシテ見積ルモ同期間ニ於ケル英國ノ食糧生産高ハ多分二倍ニ達シタ

デアラウ然シ此ノ二倍ニ増加セル人口ヲ養フニ要スル供給ノ増加ハ之ヲ海外カラ仰ガザリシコトハ確デアツタ當時食糧ノ輸入ハ其ノ最高高ニ於テサヘモ尙微々タル數量デアツテ即チ需要穀物ノ増加ニ對スル供給増加ガ内國ノ生産ニ依ツタモノデアアル

小麥ノ場合ニ於テ同様ノ生産増加ヲ證スルノハ六ヶ敷イガ豊作ノ歲ニハ安穩ニ國民ヲ養ヒ得テ其ノ價格モ安カッタラウ然シ平年ニハ餘裕少ナク又不作ノ歲ニハ確ニ不足ヲ生ジタデアラウ人口一人當リ小麥ノ消費量ガ六ブツセルカ八ブツセルカハ問題ナルガ今高イ消費率ニ依リソシテ全人口ガ小麥ヲ常食ニ用ヒタトスレバ一七六〇年ニハ小麥七百萬クオーター一八一一年ニハ一千萬クオーターヲ要シタデアラウ然ルニヤング氏ハ英蘭及威爾斯ニ於ケル一七七一年ノ小麥栽培面積ヲ二、七九五、八八英反同反當リ三クオーターノ收量トシテ八、三八七、四二四クオータート見積リコムバー氏ハ八三、一六〇、〇〇〇英反同反當リ同ジク三クオータートシテ九、四八〇、〇〇〇クオータート概算シタ換言セバ人口ハ三百萬ヲ増加シタガ小麥ハ一百萬クオーター丈ノ増加ニ過ギヌコト、ナル然シ之ハ改良ニ依ル地力ノ増加ヤ蘇蘭及愛蘭カラ來ル過剩高ヲ算入セヌノミカ一見圍地耕作ニ依リテ耕地ノ大増加ヲ來シタ事實カラ反對ヲ受ケルガ兎ニ角當時英蘭及威爾斯内デ栽培セル小麥ハ平年ニ於テハ能ク一千萬ノ人口ヲ養フニ充分ナリシモ過剩トテハ少ナカリシ故ニ一朝平作ヲ得ザル場合ハ不足見越ノ爲恐怖スベキ價格ニ國ヲ暴露セシムル程穀物ノ餘裕ガ少ナカッタト謂フテ差支ナイデアラウ此ノ結論ハ同期間ニ於ケル穀物ノ收穫高ヲ精査スレバ確メ得ラレル一七六五年乃至一八一五年間ノ季節ハ一七一五年乃至一七六四年間ヨリモ其ノ惠澤ハ遙ニ少ク前年ハ一般的ニ豊作ナリシモ後年ハ

一般的ニ不作デアツタ英國モ全歐洲モ共ニ一七六五年乃至六七年及一七七〇年乃至七四年間ノ收穫ハ遙ニ平均以下ニアツテ價格ハ上騰シ輸出ハ衰退シテ輸入ハ増加シタソシテ一七六五年乃至一七七四年ノ十年間ニ於ケル外國小麥ノ輸入數量ガ内國産穀ノ輸出數量ニ超過シタコトハ英國農業史上始メテノ事デアツタ而モ此ノ偏重ハ其後一向ニ消滅セナカッタ之ニ次グ十八箇年間(一七七五—一七九二年)ノ季節ハ區々デー七七九年ノ收穫ハ豊作ヲ以テ鳴リ響イタガ一七八二、三、四年間ハ極メテ不作デ冬ハ格別寒ク春ト夏ガ冷氣ノ爲穫ラヌ爲一般ニ食糧ノ缺乏ヲ來シ一七八二年ノ輸入小麥ハ此迄ニナイ大量(五八四、一八三クオーター)ニ達シ其後モ此ノ數量ヲ超過スルモノハ唯一七九六年ノ八七九、二〇〇クオーターアルノミデアツタ尙一七八九年モ不作ニシテ輸出ガ止メラレ自由輸入ガ許サレタ佛國ニ於テハ食糧缺乏ノ結果饑饉起リ政府ガ大量ノ小麥買入ヲ斷行シタ爲ニ歐洲ノ價格ハ遙カ英國以上ニ躍進シタ又一七九〇年及一七九二年モ不作デアツタガ是ハ漸ク一七九一年ノ豊作ニ依テ補ハレタ而カモ此ノ豊作ノ爲其ノ翌年ノ輸出ハ穀物史上ノ最後ヲ飾レル數量ニ達シタ以上カラ見ルト一七六五年乃至九二年ノ二十八年間ノ内十四ヶ年ノ生産高ハ平均以下ニ落テテ食糧ノ缺乏ヲ來シ其外數年モ亦不作ニ終リ豊作ハ唯二ヶ年ノミデアツタ然シ此ノ全期間ニ於ケル内國産穀ノ輸出ニ對スル外國小麥ノ輸入超過總量ハ僅々一、六六一、〇〇〇クオーターニ止リ其ノ年平均超過高ハ五九、〇〇〇クオーター餘ニ過ギナカッタ故ニ若シ英國ガ一七一五年乃至六四年間ノ如キ一般的佳作柄デアツタナラバ英國ハ低價ヲ以テ其ノ増加人口ヲ養ヒ得テ尙且穀物輸出トシテ存在シタデアラウ是ハ一面ニ於テ英國ガ農業上ノ進歩ヲ爲セル顯著ノ事實ヲ示スモノデアアルサレドモ若シ

英國が依然トシテ共同耕作法 (Open field system) ヲ支持シテ居タナラバ斯ノ如キ生産力ノ擴張ヲ爲シ得タリシヤ否ヤ其ハ全ク疑問デアアル

一七九三年二月英國ハ佛國ニ向テ宣戰ヲ布告シタ此ノ戰爭ハ一八一五年迄繼續シタガ其ノ戰線ハ次第二ニ擴マツテ遂ニ亞米利加ト歐洲トヲ包含スルニ至ツタソシテ諸強國間ニ於ケル海陸軍ノ交戰ヲ促シタノミカ更ニ又英國ニ對スル商業上ノ封鎖ヲモ敢行スル迄ニ進展シタ此ノ全期間ハ穀物法ハ事實上行ハレナカツタソシテ戰爭ノ進行ニ伴テ穀物供給ノ状態ガ前例ナキ穀價ノ暴騰ヲ現セル迄ニ逼迫シタガ更ニ此ノ事態ヲ重大ナラシメタモノハ不作ヲ持來シタ天候ノ異變デアツタ今一七九三年乃至一八一四年ノ二十二年間ニ互テ小麥ノ作柄ヲ類別スレバ其ノ十四ヶ年ハ不作(其ノ内七ヶ年ハ凶作)六ヶ年ハ平作デ一七九六年ト一八一三年ノ二ヶ年ノミガ豐作ニ過ギヌ有様ナリシカバ價格モ亦異常ナ状態ヲ呈シ當時ノ恐慌ニ至テハ今日ノ如ク遠ク海外ニ供給ヲ求メ得ル時代ノ人々ガ知ラヌ程非常ナモノデアツタ唯幸ニモ一八一八〇八年ト一八一九年トガ佛國及和蘭ニ豐作アリシ爲奈翁戰爭ノ最高潮ニ達セル時期ニ於テモ英國ハ能ク食糧ノ補充ヲ求メ得タソシテ其レハ實ニ佛國カラデアツタ

斯クノ如ク内國産食糧ノ不足ト缺乏ノ恐怖トガ當然穀價ヲ吊上ゲ而モ戰爭ノ進行ト商業封鎖ノ擴大ニ隨テ種々ノ方面迄上騰ノ氣勢ヲ増進シタ戰時ニ於ケル生産増加ノ努力ハ農業ノ改良進歩ヲ刺戟シタニモ拘ラズ當時ノ金利高増稅生産費高資金窮迫等ノ事實ガ海外産穀物ノ輸入ヲ他ヨリ奪ハントスル恐怖特性ニ手傳ハレテ一八一八〇〇年ノ穀價暴騰ヲ招來シタノデアアル即チ穀物ニ就テハ當ニ不作ヲ見越シ又ハ其ノ結果ニノミ依ラズシテ外國ヨリノ輸入供給ガ遮斷サレ恐怖カラ然ラシメタノデアアル露

國及丁抹ノ敵對行爲從テボルテツク沿海地方ヨリ英國ニ輸入スル穀物ガ封鎖サレル危險ニ對スル恐怖ト普國ガ總テノ穀物輸出ニ對シテ重稅ヲ課スルノ報道ガ小麥ヲ驅テ一躍一クオーター一二三〇志ニ沸騰セシメ其後ベルリン及ミランノ法令デ一切ノ外國供給ガ遮斷サレタ爲ニ食糧缺乏ノ恐怖カラ殆ンド混亂状態ニ陥リ遂ニ一八一二年ニハ一クオーター一五五志迄ニ至ツタ加之ニ種々ノ制限ト戰時危險ヨリ輸送費モ亦非常ニ暴騰シテ一クオーター五〇志ニ上ツタ故ニ當時英國ハ假令海外ヨリ穀物ノ補充ヲ得タトシテモ其レハ空前ノ高値デナケレバ輸入ガ出來ナカツタノデアアル

以上穀物法ニ關スル歴史ノ概要カラ觀察スルトキハ一八一五年迄ハ同法律ノ穀價ニ對スル影響ハ微弱又ハ皆無ナリトノ印象ヲ確カムルモノデアアル若シ果シテ然リトセバ十九世紀ノ最終二十五年間ニ現ハレタ地代大騰貴ノ原因モ亦茲ニハ存セナカツタト謂フベキデアアル是迄ノ所實際輸入ニ對スル制限ノ唯一ノ效果ハ輸出補助金ヲ得ルノ目的デ英國内ニ穀物ヲ持込ムコトヲ防イダノニアツタ元來平年ニ於テハ内國産穀ノ價格ヲ減少シ又ハ之ト競争スル様ナ價格デハ無稅デモ外國穀物ノ輸入ハ出來ナカツタ然ルニ凶作ノ年柄ニハ食糧ノ缺乏ガ歐洲一般ニ擴ガルノデ英國ハ外國ヨリノ供給ヲ得ルニ難ク又之ヲ得ルニシテモ其ノ價格ハ往々内國産ト同様高イモノデアツタ加之戰時中ハ屢々運送費ガ非常ニ高價ナ爲ニ前記ノ事態ガ重大化サレタノデアアル然シ以上ノ諸情況ヲ通觀スルトキハ當時英國ハ平時ニ於テハ克ク自國ノ人口ヲ養ヒ得タソシテ穀價ノ高低ハ國內ニ於ケル作柄ノ如何ニ懸ツタノデアアル消費者ハ穀物法ノ爲ニハ別ニ苦シメラレナカツタ其レハ内國ガ不作ノ場合ニハ代テ廣ク一般海外カラ多クハヨリ安イ供給ガ利用サレタカラデアアル

然ルニ一八二五年以降ハ此等ノ事情ガ大ニ變化シタ輸出補助金ガ廢止サレルト共ニ自由輸出ガ許可サレタソシテ結局海外ヘノ輸出ガ禁止サレテモ生産ノ餘分ハ差シテ國內ニ殘ラナカッタ爲ニ爾後自由輸出ハ一向ニ停止サレナカッタ茲ニ人口ハ生産ト均勢ヲ保チ始メタノデアッタ從來ノ如ク輸出特許ヲ停止セバ國內ニ保留シ得ベキ内國產穀ノ餘分ガ其レ丈残り來ツタ間ハ穀物法ハ價格ヲ一様ナラシメタケレドモ一旦缺乏ノ時來ラバ穀物法ハ他ヨリ之ニ代リ來ルベキ供給ノ途ヲ杜絶セシ爲ニ唯價格變動ノ範圍ヲ擴大ナラシメタノミデアッタ又關稅ハ禁止ノナ程高カッタガ然シ收入ハ穀物法ノ目的デハナカッタ元來穀物法ハ明ニ保護的ニシテ其ノ目的ハ外國穀物ノ輸入ヲ閉鎖シ以テ内國產穀ノ價格ヲ固有ノ平準上ニ維持セントスルニアッタ尤モ斯クスレバトテ必要ノ場合ハ他ヨリ補充的ナソシテヨリ安イ供給ガ得ラレナケレバナラスノデアアル蓋シ消費者ノ利益ハ必ズシモ生産者ノ利益ノ爲ニ犧牲トハナラヌデアラウ事實此ノ條件ハ今ヤ殆ンド連年ニ互リテ滿サレタ輸送費ハ平時ノ水準迄下落シ北歐洲ノ穀物ハ戰爭ノ恐レナク再ビ植付ラレ刈取ラレタソシテ大陸ノ價格ハ英國ノ價格以下ニ居据ツタ其ノ内ニ歐洲ト同様ナ天候ノ影響ヲ受ケナイ新世界カラノ供給ガ漸次増加シ來リテ爾後内國ガ不作ノ場合ハ運送諸費ヲ加算スル以外ニハ別ニ内國ノ穀價ヲ引上ゲズニ供給ヲ求メ得ベキ外界ノ資源ガ茲ニ存立シ來ツタ然シ若シモ此等運送諸費ノ外ニ重イ關稅ヲ加ヘタナラバ其レハ地主ト農民ノ利潤水準ヲ支持センガ爲ニ人爲的ニハンノ價格ヲ引上ゲタモノト謂ハレルヤモ知レヌノデアアル穀價ニ對スル來ルベキ鬭爭ニ於テ反對派ノ地位ニハ他ノ重要ナ變動ガ起ツタ其議論ノ焦點ガ最早抽象的道德ノ原理ヲ中心トハセナカッタコトデアアル其ハ商業ノ實際地域ニ移動シタノデアアル英國人ノ

先祖ハ正當ナル價格ヲ設定スル爲ニ法律ヲ通過シタガ其ノ子孫ハ相當ノ利益ヲ得ンガ爲ニ立法ヲ作ツタノデアアル此ノ變化ハ言葉ヨリモ思想ノ變化デアッタラウガ然シ無意義デハナカッタ十八世紀ノ半ニ至ル迄ハ國民ノ大半ハ共ニ穀物ノ生産者及消費者トシテ價格ノ點ニ興味ヲ持ツタガ今ヤ其ノ割合ガ全然異ツテ國民ノ過半ハ永久ニ變化シ其處ニハ製造業者ノ新階級ガ急速ニ成長シツ、アッタ是迄共同耕作ニ從事セシ農民大衆ガ農業労働者トナリソシテ其ノ實際ノ勞賃ハハンノ安イ時ニハ上リ高イ時ニハ下ツタ他方穀物栽培業者ノ利益ヲ代表スル者ハ割ニ小サソシテ衰微シタ地主階級ト農民トデアッタ而モ此ノ兩者ハ晚年非常ニ自分等ノ生活基準ヲ向上サセタノデアッタ數字上デハ小數ダガ政治上デハ尙有力ナ此ノ階級ニ取テ由々敷キ事柄ハ今ヤ穀物ハ其ノ戰時價格ノミガ唯彼等ニ相當利潤ヲ生ゼシムルコトガ實證サレタソシテ又人口ノ大多數ハ其ノ反對ニ在ルコトガ實證サレタノデアッタ

然シ晩年ニ於ケル穀物法ノ保護政策ハ利己心ニ支配サレタモノデ議會ノ多數派ニ依テ全然支持セラレタト説クノハ公平デハナカラウ然シ或點迄ハ土地利益ノ圈外ニ在リテアダムスミスノ流ヲ汲ム多數人士ニ依テ支持サレソシテ彼等ハ今後共英國ガ外國ノ食糧供給ニ頼リ得ルト云フ考ヘハ持タナカッタノミナラズ其ノ反對ニ凡ソ繁榮スベキ各國民ハ平時ニ於テハ自國ノ資源ニ生活ノ手段ヲ信賴セネバナラス且又人口ノ増加ニ應ジテ食糧供給ノ増加ヲ圖ラネバナラヌト謂フ強硬ナ意見ヲ有シタノデアアル此ノ原則ハ一般ニ承認サレタボーターハ進歩セル自由貿易業者デアッタケレドモ尙人口ノ大ニ且急速ニ増加スル各國ハ食糧ノ生産ニ於テモ亦同様ノ進歩ヲ爲サネバナラヌト論ジテ其ノ意見ヲ

支持スルノ例ニ英國ヲ舉ゲ且人口ノ増加ト之ニ對スル小麥ノ輸入數量ノ増加トヲ比較シテ農業ノ進歩ガ著シク英國必需品ノ増加ト其ノ步調ヲ保チ得タコトヲ稱揚シテ居ル即チ一八一一年英國ノ人口ガ一一、七六九、七二五人ナリシトキニ外國小麥ニ依テ養ハレタ人口ハ僅ニ六〇〇、九四六人ニ過ギナカツタ又次ノ十年間(一八一二—二〇年)ノ人口ガ一三、四九四、二一七人ナリシトキニ其ノ内四五八、五七六人ヲ除ケバ他ハ皆内國ノ供給デ充分デアツタ更ニ次ノ十年間(一八二一—三〇年)ノ人口ハ一五、四六五、四七四人デ其ノ内外國小麥ノ供給ニ依テ養ハレタ者ハ五三四、九九二人ノミデアツタ其後一八四一年ニハ人口一七、五三五、八二六人ニ上ツタガ内國產小麥ニ依テ養ハレナカツタ人口ハ九〇七、六三八人ニ過ギナカツタ換言セバ英國ノ小麥ハ一八一一年ニハ一一、一六八、七七九ノ人口ヲ一八四一年ニハ一六、六二八、一八八ノ人口ヲ養フニ充分デアツタ斯クテ三十年間ニ於ケル英國ノ耕地ハ其ノ生産力ノ増加實ニ小麥五百五十萬クオーターニ相當スルモノデアツタポーターハ此ノ進歩ノ割合ガ將來共ニ繼續スルコトヲ明ニ希望シタ彼ハ自ラ穀物法ノ廢止ヲ主張シタノデアアル然シ他ノ自由貿易論者中ニハ此ノ農業上ノ進歩ガ失望ニ終ツテ英國ガ其ノパンヲ主トシテ外國小麥ニ賴ルベキ恐レカラ穀物法ノ廢止迄ニ進ミ行クコトヲ躊躇シタ者ガアツタ

農業者モ亦次ノ如ク説キ且ツ疑モナク衷心カラ斯ク信ジタ其レハ若シ外國カラ幾何デモ穀物ガ入り來ルナラバ内國ノ價格ハ相當利益ヲ生ズルコトヲ止メルダラウト曰フコト農業土地ガ廢耕ヲ強ヒラハ、ダラウト曰フコト地代ヤ賃銀ガ下落スルダロウト曰フコト農村ノ勞働ガ減少スルダロウト曰フコト都會ニ人口ガ流入シ農村人口ノ減退ニ依テ國民ノ活動力ガ害サレルダラウト曰フコト是デアアル此等ノ議論ニ對シテハ議會ハ同情ノ耳ヲ籍シタソコデ内國價格ノ限度即チ之ヲ超過セバ穀物ノ輸入

ガ正規的關稅デ許可サルベキ限度ハ小麥ノ場合デハ一七七三年ノ四八志カラ一八一五年ノ八五志ニ引上ゲラレタ此ノ限度以内デハ關稅ガ事實禁止的ナ程高カツタソシテ此ノ重稅ハ輸入穀物及保税倉庫カラ消費ノ爲ニ引取ラレル穀物ニ對シテ課セラレタ一八二八年ニハ此ノ制限的立法ノ弊害ガ一見修正サレタ様デハアツタガ實際ハ内國產穀物ノ價格變動ニ伴ヒ變動スベキスライディングスケール式課稅制ヲ採用セシ爲ニ増加シ來ツテ穀物ノ輸入ハ一種ノ賭博トナリ外國穀物ノ輸入業者ハ割安ノ關稅ヲ支拂フ様ニ共同シテ内國價格ノ引上ヲ謀ツタ然シ此ノ經驗ニ拘ラズスライディングスケール制度ハ依然一八四二年及四五年ノ立法デ維持サレタノデアアル

然ルニ之ト前後シテ保護政策全體(穀物法ガ其ノ一部タルモノ)ガ漸次信賴サレナクナツテ來タ一八一五年ニハ貴族院ノ小數派ガ外國穀物ノ除外ニ對シテ強硬ナ抗議ヲ申込ダ一八二〇年ニハ商人共ガ有名ナ請願書(物價史ノ著者タルトーマストウツクノ起草セルモノ)ヲ提出シタソレカラ小冊子ノ宣傳戰ガ絶ヘズ猛烈ニ行ハレタソシテ特ニ植民地生産物ノ取扱ニ就テハ強硬ナル保護政策ヲ放棄スルノ徵候ガ見エタ既ニ一七六六年ニ於テ認メラレタ植民地ニ優越權ヲ與フルノ原則ガ一七九一年一八〇四年及一八一五年ニ於テ信賴的ニ實行サレタ英國ノ諸領土ヨリ來ル穀物ハ外國產穀ノ輸入ニ對シテ定メラレタ内國產穀ノ價格限度ヨリモ尙低イ所デ普通ノ關稅ニ依リ輸入スルコトヲ許可サレタ是ヨリ十年後ニハ北米ニ於ケル英國ノ領土ヨリ來ル穀物ハ内國ノ價格ニ拘泥セズ五志ノ定稅デ英國ノ諸港ニ輸入スルコトヲ許可サレタ一八四三年ニハ此ノ原則ガ更ニ其ノ實行範圍ヲ廣メ加奈陀ニ對シテ特別ノ讓歩ヲ爲シ乃チ加奈陀ヨリ英國ノ通商上ニ與ヘタ優越權ノ報償トシテ加奈陀ノ穀物

ハ英國内ノ價格如何ニ拘ラズ一志ノ普通稅ヲ輸入ヲ許可サレタ此等ノ讓歩ニ刺戟サレテ穀物法ニ對スル紛争ガ勢力ヲ集メ漸次其ノ峻酷ナル關稅ノ緩和要求カラ遂ニ穀物法ノ全廢ニ迄其ノ步調ヲ進メ來ツタノデアル尤モ此ノ壓迫力モ暫クハ一八三一年乃至三六六年間ノ好作柄ガ減少シ殊ニ一八三五年ノ如キハ小麥ガ三九志四片ニ下落シテ五四年振リノ最低賣値ヲ現ハシタ當時穀物ノ生産ヲ人口ノ増加ト同一ノ水準線ニ置カンガ爲農業ヲ改良進歩セシメントスルノ希望ガ復活シタノニ加ヘテ此等ノ豐産アリシ爲穀物法ハ暫時忘レラレタガ一八三七年―四一年間ノ循環的不況ガ起テ再ビ問題ヲ前方ニ押進メ一八三九年以降ニ於テハ非穀物法同盟ガ穀物法ノ全廢運動ノ爲ニ此ノ増進セル氣勢ヲ利用シ低廉ナル食糧ノ要求ガ勞働階級カラ益々固持サル、様ニナツタ製造家モ亦安イ食糧ガ生産費ノ低廉ナルコトヲ意味スルノト食糧ノ輸入ガ輸出サレタ製品デ價ハル、コトカラ之ニ共鳴シタ終ニ政府ハ一八四五年ノ大凶作ト馬鈴薯饑饉トガ起ツタ爲遂ニ穀物法廢止ノ議論ニ屈從スルノ餘儀ナキニ至ツタ所謂雨ガ穀物法ヲ洗ヒ去ツタノデアル乃チ一八四六年ニ於テ穀物法ノ廢止法案ガ議會ヲ通過シタノデアル是ニ於テ從來存在セル關稅ガ一八四九年迄ハ有効ニ繼續セラルベキ基礎ニ依テ改良サレタ其レ以來外國産ノ各種穀物ハ一クオ―ター一志ノ普通定率稅ヲ輸入ヲ許可サル、コトニナツタンシテ此ノ普通稅率モ亦逐ニ一八六九年ニ至テ廢止サレタノデアル

(二) 英國穀物生産法ノ制定事情

一九一四年歐洲大戰ノ勃發スルヤ英國政府ハ食糧政策上非常施設ヲ必要トシ當時ノ農漁院(後ノ農漁省)總裁ハ早クモ達識ノ農業者ヨリ成ル協議委員會ヲ設立シ其ノ意見ニ隨ヒ全國ノ農民ニ檄スル

ニ出來得ル限リ小麥作付面積ノ擴張ヲ圖ルコト及小麥不適地ニ燕麥大麥ライ麥等ヲ作ルコトヲ以テ第一ノ急務タルヲ力説シタ

次デ一九一五年ミルナー卿ヲ委員長トスル食糧生産委員會ガ組織セラレ同委員會ハ農民ガ戰前農作面積ノ二割増加ヲ爲スコト又ハ其ノ牧草地及一年生作物栽培地ノ二割以上ヲ小麥作地ニ使用スルコトヲ慫慂シ且是レヲ條件トシテ其ノ生産セル小麥ニ對シ今後四ヶ年間毎クオ―ター四五志ノ最低價格ヲ農民ニ保證スベキコトヲ政府ニ建議シタ然シ政府ハ當時濠洲及加奈陀ノ小麥生産ノ激増ニ信賴シ他面戰後財政ノ大緊縮ヲ來スベキヲ豫見シテ此ノ建議ノ實行ニ躊躇シタガ一九一五年春ヨリ開始サレタ獨逸潛航艇ノ襲撃ハ其ノ後益猛威ヲ振ヒ前途英國ノ海外食糧輸入ヲ急殆ナラシメ加フルニ一九一六年ノ小麥作ハ天候ノ不順戰時勞働ノ不足肥料ノ缺乏等ニ依リテ甚ダシク悲觀サレタ事情ガ主因トナリ政府ハ國內ノ生産ヲ激増スル爲一層ノ努力ヲ拂ヒ一九一七年一月農漁院内ニ食糧生産部ヲ設立シ同部ヲシテ食糧供給ノ増加ニ關スル諸種ノ問題ニ注意ヲ集中セシメ且政府ノ耕作政策ニ必要ナル諸施設ノ組立テニ著手セシメタ初メ食糧生産部ハ王國防禦法ニ基ク規定ニ從ヒ農産ノ獎勵勸誘ヲ爲スベキモノデアツタガ斯クテハ其ノ實效少キヲ慮リ新ニ同法ニ基ク強制的規定ヲ設ケ命令ヲ以テ農業地ノ耕作改良ヲ強行スルノ權限ヲ有スルニ至ツタ然シ農耕地ノ擴張穀物ノ増産ガ益進展スルニ伴ヒ多數農民ハ將來ノ收益上ニ不安ヲ感ジ曩ニ生産委員會ノ建議セシガ如ク政府ニ對シ穀物最低價格ノ保證ヲ懇望シ來リ政府亦漸ク之ヲ容レントスルノ決意ヲ示スニ至ツタ

右ニ關シ一九一七年二月時ノ首相ロイドジョーシ氏ハ下院ニ於テ演說ヲ爲シ政府ハ農民ノ實際的困

難ニ留意セル旨ヲ述ベ十九世紀末ニ於ケル農業上ノ若キ經驗（英國ニ於ケル農産物價格ノ慘落ニ依ル農民ノ困憊ヲ指ス）ガ如何ニ深ク農民ノ心理ニ印象サレ且如何ニ牧野ヲ耕地ニ再墾スルノ危険ナルヤニ想到シ結論トシテ次ノ對策ヲ述ベタ

其ノ故ニ農民側刻下ノ事業ヲ保證スル唯一ノ方法ハ一定ノ期間ニ互ル穀物價格ノ保證即チ最低價格ノ保證是レデアアル穀物ノ最低保證價格ハ小麥ニ付テハ本年ハ五百英斤ノ一クオター當リ六〇志一九一八年及一九年五五志一九二〇年二一年及二二年四五志ヲ以テ終ハリ又燕麥ニ付テハ本年ハ三三六英斤ノ一クオター當リ三八志六片一九一八年及一九年三二志一九二〇年二一年及二二年二四志ト爲サレタルモノデアアルト

斯クシテ穀物生産法ハ英國農業生産ノ促進ヲ目的トスル政府食糧政策ノ實現方法トシテ一九一七年四月五日議會ニ提出サレタノデアアル穀物最低價格ノ保證ヲ第一ノ目的トスル本法案ハ素ヨリ大多數農民ノ歡迎スル所デアツタガ其ノ價格ハ當時ノ市價トハ實際的關係ガ少ナカッタ例ヘバ一九一七年四月十六日ニ食糧管理官ノ定メタ最高價格ハ一九一六年度産ニ對シテハ小麥四八〇英斤當リ七八志大麥四〇〇英斤當リ六五志燕麥三一二英斤當リ五五志トシ尙其ノ後一九一七年十八年及一九年度産ニ對シ時々其ノ最高價格ヲ定メテ之ヲ發表シタガ市場ノ需給上農民ガ取得セル實際價格ハ恰モ前記食糧管理官ガ定メタ最高價格ト同一若クハ之ニ接近スルモノデアツタソシテ農民ハ市場ノ實況カラ見テ直接彼等ニ關スルモノハ最低價格ノ保證デハナクシテ最高價格ノ保證デアアルトサヘ考ヘツ、アツタ前ニモ述ベタ如ク食糧生産部ガ設立サレテ其ノ事業ヲ開始スルヤ王國防禦法ニ基ク規定カラ其ノ

權限ヲ得タノデアツタ而シテ一九一七年ノ穀物生産法ハ素ヨリ食糧生産運動ノ要求セシ結果ナリシモ其ノ目的トスル所ハ自ラ王國防禦法ト趣ヲ異ニシタ王國防禦法ハ食糧生産部ニ與フルニ可耕地ノ耕作擴張ヲ要求スルノ權限ヲ以テシ其ノ目的ハ國家食糧ノ保全ニアツタ故其ノ行動ハ社會全體ノ利益ヲ目的トスルモノデ自然勞働者ヤ農民ヤ地主ノ利益トハ抵觸スル所ガアツタソコデ政府ハ別ニ耕作ノ管理ト共ニ地主農民及農業勞働者ニ關シ特別保護ヲ加フルノ必要ヲ認メ茲ニ穀物生産法ヲ設ケ食糧生産部ヲシテ此ノ生産法ニ依リ王國防禦法ノ規定ト相待テ國內食糧ノ増産計畫ヲ確立セントシタ次第デアアル

蓋シ耕作面積ノ増加ハヨリ長イ勞働時間ヲ要シ從テ勞働者ヨリ一層ノ努力ヲ求ムルモノデアアル而シテ之ガ爲ニハ勿論勞賃ハ高クナルケレドモ其ノ割合ハ甚ダ區々ナルニ引換ヘ生活費ハ到所増加シ而モ勞賃ノ高クナル割合ヨリモ更ニ急速デアツタ故ニ當然農業勞働者ノ爲ニ立法ヲ要求セザル迄モ常識上彼等ノ爲相當ノ食糧供給ヲ圖リ且其ノ勞苦ヲ輕減スル保證方法ヲ必要トシタノデアアル尙又一九一七年春ニ於テ明瞭トナツタコトハ食糧生産部ノ行動ガ他日小作人及土地所有者ヲ財政的恐慌ニ暴露セントスルノ情勢ニアツタ而シテ農業者全體ハ若シ農業ガ尋常ノ職業的考慮ニ依ラズ主トシテ國民ノ必需ニ依リ指揮サルベキデアアルナラバ之ヨリ生産スル將來農業上ノ危険ハ國民之ヲ分擔スベキデアルトノ全ク合理的ナ態度ヲ取ツタ更ニ尙此ノ危険ヲ分擔スル者ハ納稅人ナルガ故ニ納稅人ノ代表者モ亦食糧生産事業ノ監督ニ參加スベキデアアル即チ右ニ關シテハ或形式ニ於テ公共ノ監督ヲ受ケザレバ公金ヲ支出シテハナラヌト曰ヒ尙納稅人代表者ノ主張ハ穀物ノ生産ヲ保證スル手段トシテ支出サ



レタ一切ノ金員ハ小作料ヲ増加スルノ結果ナルベキデナイト説イタ是ニ於テ穀物生産法ノ制定ニハ勞働者小作人土地所有者及納税人ノ利害關係等ヲモ參酌シテ法案ノ第一章ニハ穀物生産者ニ對スル最低價格ノ保證第二章ニハ農業勞働者ニ對スル最低賃銀ノ保證第三章ニハ地主ノ小作料非増加第四章ニハ社會ノ利益ノ爲ニスル耕作ノ管理ヲ規定シ此等ノ四大綱目ヲ以テ其ノ法案ヲ起草シタノデア  
ル穀物生産法ノ制定ニ當テハ議會ニ於テ種々議論ガ起リ就中本法ハ舊ニ戰時食糧生産ノ獎勵ノミデ  
ナク亦戰後農業ノ振興策トシテモ穀價ヲ保證スルコトガ必要デアルトノ見地カラモ議論セラレタソ  
シテ特ニ下院ハ價格保證ノ點ニ上院ハ耕作管理ノ點ニ各重キヲ置キ且兩院共戰後政策トシテモ尙之  
ヲ續行スベキヤ否ヤニ就テハ種々ノ反對モアツタガ結局原案ニ相當修正ヲ加ヘタ末本法案ハ一九一  
七年八月二十一日愈本文ニ掲グル所ノ法律トナツタ次第デア  
尙穀物生産法ニ就キ附記スベキコトハ同法第四章ノ耕作管理ノ方法ハ王國防禦法ニ依リ一層強調ス  
ベキモノトシテ一九一八年此ノ部分ノ改正ヲ見タルコトデア  
ル蓋シ同年ノ始ニ當リ食糧供給上ノ困  
難ハ益増加シテ極力國內生産ノ補給ヲ圖ルノ必要ガ起ツタノデア  
ル穀物生産法ハ一九二一年ノ同法  
廢止法ニ依リテ其ノ終リヲ告ゲタ同法ノ實際的效果ニ就テハ單獨ニ之ヲ見極メルコトハ容易デナイ  
ガ穀物生産部ガ英蘭及威爾斯ニ於テ食糧増産ノ爲ニ支出セル金額ハ八百萬磅ニ達シタ而シテ是レハ  
大戰ノ輓年及平和ノ初年ニ於ケル食糧不足ノ危險ニ對シテ支拂ハレタ保險料デアツテ獨リ穀物生産  
法ニ基ク負擔ノミナラズ王國防禦法ニ依ル生産増加ノ出資ヲ含ムモノデア  
ラウ農作物増産計畫ニ關  
スル食糧生産部ノ出費ハ前記ノ如ク甚ダ巨額ニ上リ就中牽引機及耕馬ト土地耕作軍ノ練習及儀裝ト

ニ費シタモノガ多イ然シ元來生産部ノ事業ハ內國産食糧ヲ最大限度ニ増加スルニアツテ其ノ有利ナ  
ル範圍ニ於テ最大量ヲ舉グルノデハナカツタ故此ノ巨費モ當然デア  
ルベキダ而カモ此ノ生産増加計  
畫ノ實行ニ依リテ一般納税人ハ相當ノ潤ヒヲ得タコトデア  
ルカラ實際ノ食糧危險負擔額ハ前記八百  
萬磅ヨリハ遙カニ減少スルモノデア  
ラウ

### (三) 英國穀物生産法(一九一七年八月二十七日裁可)概説

#### 第一章 小麥及燕麥ノ最低價格ニ關スル規定

穀物生産法ハ小麥及燕麥ノ生産ヲ獎勵スル爲千九百十七年ニ於テハ一クオーターニ付小麥ハ六十志  
燕麥ハ三十八志六片千九百二十二年ニ於テハ小麥ハ四十五志燕麥ハ二十四志トシ其ノ範圍内ニ於テ千  
九百十七年ヨリ千九百二十二年ニ至ル六年間ノ小麥及燕麥ノ最低價格ヲ規定シタ(第二條)而シテ右  
ノ期間内ニ於ケル或ル年ノ小麥又ハ燕麥ノ平均價格ニシテ其ノ最低價格ヨリ低キ場合ニ於テハ其ノ  
年ニ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル土地ノ九月一日ニ於ケル占有者ハ其ノ土地ノ所有者タルト又ハ小作  
人タルトヲ問ハス其ノ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタルコトヲ農務水産省ニ證明シタル土地ニ對スル各英  
克毎ニ其ノ小麥又ハ燕麥一クオーターノ本法ニ依リ定メラレタル平均價格ト最低價格トノ差額ノ小  
麥ニ在リテハ四倍燕麥ニ在リテハ五倍ノ金額ノ補償ヲ農務水産省ヨリ受クル權利ヲ有スル(第一條)  
然レドモ其ノ土地ノ耕作充分ナラザル場合ニ於テハ農務水産省ハ其ノ土地ノ占有者ニ對スル補償金  
額ノ全部ヲ停止シ又ハ減額スルコトヲ得ル(第一條ロ)尙穀物生産法ハ作付シタル日ヨリ收穫シタ  
ル日ニ至ル期間ニ於テ土地ノ占有ノ變更シタル場合ニ適用スベキ事項ヲ規定シ以テ作物ノ留置ニ關

シ前小作人ノ權利ヲ保護シ九月一日ニ於ケル土地ノ實際ノ占有者ガ其ノ小麥又ハ燕麥ニ對シテ該法ニ依リ補償金ヲ支拂フ受クベキ利益ヲ前小作人ニ附與スルコト、シタ(第三條(一)ノイ及ロ)

第二章 農業労働者ノ最低賃金ニ關スル規定

穀物生産法ハ雇主ガ其ノ農業ニ雇傭シタル労働者ニ對シテ該法ニ依リテ定メラレタル最低賃金率ヨリ少ナキ賃金ヲ支拂フコトハ之ヲ犯罪トシ即決裁判ニ依リテ三磅以下ノ罰金及判決後犯罪ノ繼續シタル日一日ニ付一磅以下ノ罰金ヲ科スルコトトシ(第四條(一))且雇主ニ對スル訴訟ヲ受理シタル裁判所ハ其ノ訴訟ノ判決アリタルト否トニ拘ラズ其ノ雇主ニ對シテ罰金ノ外最低賃金率ニ依リ計算シタル賃金ニシテ其ノ労働者ニ對シテ適當ト認ムル金額ノ支拂ヲ命ジ得ルコト、シタ(第四條(二))而シテ農業ニ雇傭セラル、労働者ニ對スル賃金ノ最低率ハ農務水産省ノ設置シタル農業賃金局ニ於テ之ヲ定メ其ノ最低賃金率ハ一人前労働者ノ時間仕事ニ對シテ少ナクトモ通常ノ日雇ニ對スル一週二十五志ノ率ニ依ル賃金ト同額デナケレバナラナイモノトシ(第五條第七項)例外トシテ賃金局ノ許可ヲ得タルトキハ小舎宅ノ貸與食料及薪炭ノ提供等ノ如キ法律ニ依リ禁止セラレナイ便益又ハ利益ノ供給ハ賃金ノ一部ト認メラル、コトヲ得ルモノトシタ(第五條(一)(二)(三))尙此ノ場合ニ於ケル一人前労働者トハ年齢精神其ノ他ニ因ル故障又ハ身體上ノ障害ニ因リ通常ノ能率ヲ有スル労働者ノ労働ヲ爲スコト能ハザル者ニ非ザル男子ノ労働者ヲ指稱(第五條(九))シタ

穀物生産法ハ右ノ賃金局ヲシテ最低賃金率決定ニ際シ其ノ最低賃金率ニ依リ一人前労働者ニ對シ其ノ能率ヲ増進セシメ且通常ノ場合ニ於テ本人及家族ガ其ノ職業ノ性質ニ應スル程度ノ愉快ヲ得ルニ充分ナリト認ムル賃金ヲ出來得ル限り獲得セシムルニ足ルモノタラシメザルベカラザルモノトシ(第五條(六))又一人前ニ非ザル労働者ノ場合即チ労働者ガ精神上其ノ他ノ故障又ハ身體上ノ障害ニ因リ其ノ最低賃金率ヲ收得シ得ザル場合ニ於テハ其ノ労働者ノ雇傭ヲ該法ノ規定ヨリ除外スベキ許可ヲ爲ス權限ヲ賃金局ニ附與シ其ノ許可ノ有効ナル期間内ニ於テハ其ノ許可ニ對シ賃金局ノ指定シタル條件ヲ遵守スル限り雇主ハ最低賃金率以下ノ賃金ヲ其ノ労働者ニ支拂フモ刑罰ニ處セラレザルモノトシタ(第五條(三))

農業賃金局ハ時間仕事ノ労働者ニ對シテハ其ノ最低賃金率ヲ定ムル義務アルモ請仕事ノ労働者ニ對シテハ之ヲ定ムルコトヲ任意ト爲シタルヲ以テ穀物生産法ハ請仕事ニ對スル最低賃金率ガ定メラレナカツタ場合ニ於テハ請仕事ニ依リ農業ニ雇傭セラレタル労働者又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ハ其ノ請仕事ニ對シテ支拂ヲ受ケタル賃金率ガ通常ノ労働者ニ依リ時間仕事トシテ其ノ仕事ガ爲サレタル場合ニ於ケル最低賃金率ヨリ低キコトヲ農業賃金局ニ出訴スルコトヲ得ルモノトシタ(第六條)尙農業ニ雇傭セラレタル労働者又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ハ最低賃金率ノ違反ニ對シ賃金局ニ出訴スルコトヲ得ベク賃金局ハ其ノ事件ヲ審理シ適當ナリト認ムルトキハ之ニ對スル手續ヲ行使スルコトヲ得ルモノトスル(第七條)

第三章 小作料引上ノ制限ニ關スル規定

穀物生産法ハ該法ニ依リ決定セラレタル小麥及燕麥ノ最低價格ニ依リ與ヘラレタル利益ガ小作人ニ歸セズシテ小作料引上ニ依リ地主ニ收得セラル、コトヲ防止センガ爲該法通過(千九百十七年八月

二十一日) 後締結シ又ハ變更シタル小作契約ニ依リ支拂フベキ小作料ハ穀物生産法第一章ガ其ノ効力ヲ發生セザリシ場合ニ得ベカリシ小作料ヲ超過スルコトヲ得ザルコト、シ此ノ規定ニ對スル違反ノ有無ニ關スル異議ハ千九百八年小作法ノ規定ニ依ル單獨仲裁裁判ニ提出セラルベキモノトシタ(第八條(一))但シ其ノ小作ヲ開始シ又ハ變更シタル時ヨリ一年内ニ其ノ異議ヲ仲裁裁判ニ申立ツベキコトヲ要求セル書面ノ通告ヲ地主ニ發スルニ非ザレバ其ノ小作料ガ許可セラレタル小作料ヲ超過シタルモノト見做サレザルモノトス(第八條(一))尙本條ノ規定ハ地主ニ於テ小作料ノ支拂ヲ強制スル手續ヲ開始スル前ニ其ノ小作料ガ許可セラレタル小作料ヲ超過シタルモノナルコトヲ決定セラレタル場合ヲ除クノ外其ノ地主ノ小作料回收ノ一般ノ手續ヲ阻止セズ許可セラレタル小作料ヲ超過シタル小作料ニシテ仲裁裁判ノ判定前ニ支拂ハレタル又ハ回收セラレタルモノハ小作人ニ於テ將來ノ小作料ヨリ控除スルコト其ノ他ノ方法ニ依リ地主ヨリ回收スベキモノトスル(第八條(三))

小作料引上ノ制限ニ關スル穀物生産法ノ規定ハ小麥及燕麥ノ價格ニ對スル國家ノ補償ニ依リ價值ヲ増加シ得タル場合ヲ除クノ外農地ニ對スル地主ノ小作料ノ引上ヲ阻止スルモノデナイコトハ注目スベキコトデアアル即チ地主ハ農産物ノ價格ノ自然的騰貴ニ因リ又ハ其ノ土地ガ價格ノ補償以外ノ原因ニ基キ從來支拂ハレタル小作料ニ比較シ價值ヲ増加シタル等正當ノ事由ニ因ル場合ニ於テハ其ノ小作料ヲ引上ルコトヲ得ルハ勿論デアアル

#### 第四章 適當ナル耕作強制ノ權限ニ關スル規定

農務水産省ハ穀物生産法ニ依リ(一)土地ガ善良ナル經營法ニ依リテ耕作セラレナイモノト認メタルト

キ又ハ(二)國民ノ利益ニ於テ食糧ノ生産ヲ増加スル爲或ル土地ノ耕作法ヲ變更スベキモノト認メタルトキノ二ノ場合ニ於テ廣汎ナル權限ヲ有スルニ至ツタ即チ農務水産省ハ右ノ何レノ場合ニ於テモ其ノ土地ノ占有者(其ノ土地ノ所有者タルト小作人ナルトヲ問ハス)ニ對シ善良ナル經營法ニ依リテ耕作セシメ又ハ耕作法若ハ土地ノ使用法ノ必要ナル變更ヲ爲サシムル爲ニ命ズル指定ニ從テ其ノ土地ヲ耕作スベキコトヲ要求シタル通告ヲ發スルコトヲ得而シテ其ノ指定ニ從フコトガ小作契約證書又ハ小作契約條件ノ破棄若ハ不履行トナルトキハ農務水産省ハ其ノ契約證書又ハ小作契約ノ條件ニシテ其ノ指定ニ從フコトニ依リ抵觸スル部分ノ停止ヲ命ズルコトヲ得ベク(第九條(一))且農務水産省ハ右ノ契約證書又ハ小作契約ノ條件ノ停止ニ依リ生ゼシメタル又ハ生ゼシメ得ベキ利益若ハ便益ニ對シ正當ト認メタル金額ノ支拂其ノ他ノ便益(若シアラバ)ヲ地主ニ獲得セシムルコトヲ得ルモノトスル

土地ノ占有者ニシテ農務水産省ノ爲シタル以上ノ指定ニ從ハナイトキハ農務水産省ハ其ノ占有者ガ小作人タリシ場合ニ於テハ其ノ地主ニ對シ小作契約ヲ停止スルノ權限ヲ附與シ又ハ地主及小作人ヲシテ相互ニ小作契約ヲ解消セシムルコトヲ得ベク土地ノ占有者ガ小作人デナイ場合ニ於テハ其ノ土地又ハ其ノ土地ノ一部分ヲ占有シ之ヲ耕作シ又ハ耕作ニ對スル改良上必要ナル一切ノ手段ヲ執ルコトヲ得ベク(第九條(三))且土地ヲ占有シタルトキハ農務水産省ハ所有者ノ同意ヲ得テ農務水産省ノ適當ト認ムル五年以内ノ期間條件及合理的ニ收得シ得ベキ最モ適當ナル小作料ヲ以テ其ノ土地又ハ其ノ土地ノ一部分ヲ貸貸スルコトヲ得ルモノトスル(第九條(五))

右ノ小作契約締結後其ノ土地ノ所有者ハ自ラ其ノ地主ノ地位ニ復スル爲何時タリトモ農務水産省ニ對シ其ノ小作ノ取消ヲ請求スルコトヲ得(第九條七)而シテ其ノ占有シタル土地ノ占有ヲ取消ス場合ニ於テハ農務水産省ハ其ノ取消ガ土地ノ所有者ニ依リテ請求セラレタル場合ヲ除クノ外取消ヲ爲ス時ヨリ少クトモ三月前ニ占有回收ノ權利ヲ有スル者ニ對シ農務水産省ニ於テ土地ノ占有ヲ取消ス旨ヲ記載シタル通告ヲ發スルコトヲ要シ其ノ通告ハ其ノ土地ノ所在地ノ慣習ニ從ヒ半年ノ日數ヲ經過スルトキハ其ノ効力ヲ失フモノトス尙農務水産省ノ設定シタル小作契約ノ取消期日到来シタルトキハ其ノ土地所有者ハ農務水産省ノ小作契約ガ締結セラレナカッタ場合ニ於テ其ノ土地ヲ占有スル權利ヲ有シタリシ者ニ依リ其ノ小作契約ガ締結セラレタルト同様ニ農務水産省ノ設定シタル小作契約ヲ繼續スルモノトスル

要之適當ナル耕作強制ニ關スル各種ノ規定ノ一般的效果ハ適當ニ耕作セザルカ又ハ農務水産省ノ指定ニ從フ耕作ヲ爲サル土地ノ所有者ニ對シ農務水産省ニ於テ其ノ土地ヲ占有シ之ヲ貸付シタル後農務水産省ノ定メタル小作契約ニ依リ其ノ選定シタル小作人ヲシテ占有セシメタル儘之ヲ其ノ所有者ニ返還スルニ在リト云フノデアアル(第九條ハ)

穀物生産法ハ又有害ノ鳥獸驅除ノ爲農務水産省ニ廣汎ナル權限ヲ附與シタ即チ或ル土地ノ占有者ガ其ノ土地ノ兎又ハ有害鳥獸ヲ充分ニ驅除シナカッタ爲其ノ作物立木又ハ牧草ガ毀損セラレタルトキハ農務水産省ハ其ノ占有者及所有者ニ兎又ハ有害鳥獸ヲ驅除スベキ適當ノ機會ヲ附與シタル後其ノ土地ニ立入り兎又ハ有害鳥獸ヲ捕殺シ且收去スベキ權限ヲ書面ヲ以テ或者ニ附與シ其ノ行爲ニ關シ

要シタル實費ヲ其ノ占有者ヨリ回收スルコトガ出來ル尙右ノ規定ニ依リテ兎又ハ有害鳥獸ヲ驅除セラルベキ土地ハ必ズシモ作物立木又ハ牧草ガ毀損セラレタル土地タルコトヲ要セス隣接地ノ所有者又ハ占有者ガ有害鳥獸若ハ兎ノ驅除ヲ怠リタル爲毀損セラル、コトアルベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ隣接地ノ驅除ヲ怠リタル所有者又ハ占有者ニ對シテモ土地ニ立入りテ驅除スル權利ヲ行使シ得ルモノトスル(第十條)

千九百十七年穀物生産法

穀物ノ生産獎勵及之ニ關聯シタル事項(農業賃銀及小作料ニ關スル事項ヲモ包含ス)ニ關スル千九

百十七年八月二十一日ノ法律

第一章 小麥及燕麥ノ最低價格

第一條 本法本章ノ規定ニ作リ最低價格ヲ定メタル年ノ小麥又ハ燕麥ノ平均價格ガ其ノ最低價格ヨリ低キトキハ其ノ年ニ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル土地ノ占有者ハ其ノ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタルコトヲ農務水産省ニ證明シタル土地ニ對シ各英克ニ付其ノ小麥又ハ燕麥一クオーターノ平均價格ト最低價格トノ差額ノ小麥ニ在リテハ四倍燕麥ニアリテハ五倍ノ金額ヲ農務水産省ヨリ補償セラル、權利ヲ有スル此ノ場合ニ於テ

- (イ) 小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル土地ガ他ノ作物ト混作セラレタリト認ムルトキハ其ノ土地ニ對シテ補償スベキ金額ハ農務水産省ノ適當ト認ムル方法ニ依リ更正セラレベキモノトス
- (ロ) 土地ノ耕作充分ナラザリシモノト認メタルトキハ農務水産省ハ其ノ土地ノ占有者ノ受クベキ補

小麥又ハ燕麥ノ平均價格  
格力最低價  
場合ニ於ル  
生産者ニ對  
スル補償

價ヲ停止シ又ハ事情ニ應ジ適當ナリト認ムル限度マデ其ノ補償スベキ金額ヲ削減スルコトヲ得<sup>(七)</sup>

〔註〕(一)小麥及燕麥ノ最低價格ハ第二條(一)ニ規定シ或ル年ニ於ケル小麥及燕麥ノ平均價格ヲ定ムル方法ハ第二條ノ(二)ニ規定セリ

(二)或ル年ニ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル土地ノ占有者ノ認定ニ付テハ第三條ノ(一)ニ規定セリ

(三)農務水産省ニ對スル證明ニ付テハ第三條(二)ヲ参照スベシ

(四)平均價格ト最低價格トノ差額ノ補償ハ「各英克ニ付」支拂ハルルモノナルヲ以テ一英克ニ達セサル部分ニ付テモ尙其ノ小麥又ハ燕麥ノ平均價格ト最低價格トノ差額ヲ支拂フヲ當然トスベキガ如シト雖モ純粹ナル法文上ノ解釋トシテハ疑義ノ餘地アリ但シ小麥及燕麥ノ生産面積ハ如何ナル場合ニ於テモ夫々之ヲ合計スベキモノト考ヘラレルヲ以テ或ル生産者ノ耕地全部ニ於ケル各作物ニ付テハ右ノ如キ端數ハ夫々一以上ヲ生スルコトナシ尙本章ヲ適用スベキ耕地ノ面積ニ付テハ何等ノ制限ナキモ耕作スル農地ノ全面積ガ一英克ニ達セザルモノハ請求ノ權利ナキモノト認ムベキナリ

(五)本條ニ於テ補償金額ヲ小麥ニ在リテハ一クオーターノ平均價格ト最低價格トノ差額ノ四倍燕麥ニ在リテハ五倍ト爲シタルハ明ニ一英克ニ付小麥ニ在リテハ四クオーターノ平均價格ト最低價格トノ差額ノ四倍燕麥ニ在リテハ五クオーターヲ以テ推定平均生産額ト假定シテ規定シタルモノナリ即計算ノ簡略ヲ期スル爲メ簡單ニシテ而モ合理的ナル概數ヲ採用シタルモノニ外ナラズ而シテ差額ノ支拂ヲ受クル權利ハ實際收量ノ多寡又ハ穀物ノ品質ノ優劣等トハ全然無關係ニシテ生産シタル實際ノ收量ガ其ノ假定收獲標準量ニ比シ多量ナルカ又ハ少量ナルカ若ハ其ノ穀物ノ價格ガ平均價格ニ比シテ高キカ又ハ低キカヲ論ズルコトナシ故ニ品質ノ優良ナルモノヲ生産シタルモノノ平均價格以上ノ價格ヲ取得スベキニ拘ラズ尙平均價格ト最低價格トノ差額ノ全額ヲ請求スル權利ナリ又生産者ニシテ平均生産額ニ達セザル生産者ヲ舉ゲタルモノモ同様ノ差額ヲ小麥ニ付テハ四倍燕麥ニ付テハ五倍ヲ受クルモノナリ但シ本條ハ小麥又ハ燕麥ガ生産セラレタル場合ニノミ適用セララルルモノナルヲ以テ小麥又ハ燕麥ノ作物ガ幾分ナリトモ成長シタルコトヲ要スルモノノ如シ即チ播種シタル小麥又ハ燕麥ガ全部失敗ニ終リタル場合ニ於テハ之ヲ播種シタル農業者ハ支拂ヲ受クル權利ヲ有セザルモノトス又本條ニハ平均價格ト最低價格トノ差額トアルヲ以テ單ニ文字通ノ解釋トシテハ最低價格ガ平均價格ヨリモ低キ場合ナモ包含スベキガ如キモ實際平均價格ガ最低價格ヨリモ低キ場合ノミニ適用セララルベキハ勿論ナリ

(六)本條(イ)ノ規定ハ最初ニ播種セル作物ト其ノ部分的失敗ヲ補ハシガ爲又ハ其ノ事由ニ依リ後ニ播種セルモノトナセ七二種以上ノ作物ガ同一ノ土地ニ成長セル場合ヲ規定シタルモノナリ而シテ此ノ場合ニ於ケル支拂金額ハ農務水産省ノ適當ト認メタル方法ニ依リ農務水産省ニ於テ更正スベキモノニシテ其ノ方法ハ作物ノ割合ニ依ルベキモノトス即チ小麥ト大麥トガ同一ノ土地ニ於テ等分ニ付ラレタル場合ニハ其ノ栽培者ハ小麥一クオーターノ最低價格ガ其ノ平均價格ヲ超過シタル差額ノ二倍(四倍ニ非ズ)ノ支拂ヲ受ケ大麥ニ對シテハ支拂ヲ受ケルコトナシ尙本項ハ小麥又ハ燕麥ガ他ノ作物即チ大麥「ライ」麥豆類等ト混作セラレタル場合ニ對シ規定シタルモノニシテ小麥ト燕麥トヲ混作シタル場合ヲ規定シタルモノニ非ラザルコト明ナリ又通常ノ農業ニ於テ行ハルル方法ニ依リ穀物ト牧草ト種子トヲ混播シタル場合ニモ本項ノ規定ハ之ヲ適用スルモノニ非サザルベシ蓋シ有ノ牧草ハ穀物栽培ノ間作ノ一種ニ外ナラズ之ヲ他ノ作物ト認ムルハ他作物ノ字句ヲ敷衍シ置キタルモノト云フベク且立法ノ精神ハ有益便宜ナル規定ヲシテ適當ニシテ推奨スベキ農法ノ實行ヲ阻害スルニ至ラシムルガ如キコトナカルベシ

(七)本條(ロ)ノ規定ハ生産獎勵ノ爲耕作ヲ怠リタルモノニ對シ國家ノ與フル恩惠ヲ阻止スル權限ヲ農務水産省ニ附與シタルモノニシテ農業者ガ自己ノ不注意又ハ怠慢ニ因リ貧弱ナル作物ヲ生産シタルトキハ當然受クベカリシ補償ノ全部又ハ一部ヲ受ケ得ザルモノトス此ノ場合ニ於テ農務水産省ハ其ノ検査官ノ復命ニ依リ不充分ナル耕作ニ對スル補償ノ停止及取消ニ關スル諸問題ヲ專決スベキ權限ヲ有シ其ノ決定ニ對シテハ生産者ハ訴訟ヲ提起スルコト能ハザルナリ併シ如何ナル標準ヲ以テ耕作ガ充分ナルカ又ハ不充分ナルカ判定スベキカ場合ニ依リテハ收穫高ノ検査ヲ行フコトアルモノ之レノミヲ以テ判定スベキニ非ズ土地ノ高低天候等ヲモ考慮セザル可ラズ然ラバ充分ナラザル耕作トハ何チ意味スルモノナリヤ耕作業ニノミ限ラレルモノナリ又ハ施肥播種等ヲモ含ムモノナリヤ此ノ點ニ關シ法律ノ規定ハ明瞭ヲ缺ケルモノト云フベシ但シ農務水産省ノ判定ハ再審セララルコトナク又其ノ判定ノ基礎ヲ閱示スルノ責任ヲ有セズ單ニ其ノ認メタル所ニ依リテ之ヲ判定スレハ足ルモノトセリ

最低價格及平均價格 第二條

(一)左ノ年ノ小麥及燕麥ノ最低價格ヲ左ノ通定ム

收穫年次 小麥一クオーターノ價格 燕麥一クオーターノ價格

千九百十七年  
 千九百十八年  
 千九百十九年  
 千九百二十年  
 千九百二十一年  
 千九百二十二年

六〇・〇志片  
 二八・六志片

五五・〇  
 三二・〇

四五・〇  
 二四・〇

(二) 或ル年ノ本法本章ノ規定ニ依ル小麥又ハ燕麥ノ平均價格ハ其ノ年九月一日以後七月間ノ每一週平均價格ノ合計ヲ其ノ期間内ノ週數ニテ除シタルモノトス  
 本項中ノ每一週ノ平均價格ハ千八百八十二年穀物報告法ニ依リテ定メタル小麥又ハ燕麥一クオーターノ一週ノ平均價格トス

(三) 農務水産省ハ本條ノ規定ニ依リ毎年三月末日後遲滯ナク前年ノ小麥及燕麥ノ平均價格ヲ定メ之ヲロンドンガゼットニ公告スベシ

〔註〕(一)本條ノ規定ニ依ルトキハ燕麥ノ最低價格ハ小麥ノ最低價格ヨリ低シ此ノ如キハ土壤氣候等ガ小麥栽培ニ適セザルガ爲其ノ栽培少キ地方ノ生産者例ヘバ蘇格蘭等ノ農業者ニ對シテハ不利益ナリ但シ小麥ヲ生産スルコト多キ英格蘭ノ農業者ノミニ特殊ノ利益ヲ與フル意思ヲ有セルモノトハ解釋スルコト能ハザルベシ如何トナレバ英吉利ニ於テハ食糧ノ増殖上燕麥ヨリモ小麥ヲ必要トスルコト大ナルノ事情アレバナリ

(二)本法中ニ規定セル小麥一クオーターハ四百八十帝國封度燕麥一クオーターハ三百十二帝國封度ナリ之ニ付テハ第十七條(一)ノ(ホ)ニ規定セリ

(三)千八百八十二年穀物報告法ハ勅令ヲ以テ定マル百五十以上二百以下ノ町ニ於テ購買セラレタル英國産穀類ノ購買週報ヲ徵シ其ノ週報ニ依リテ英國産穀類ノ平均價格ヲ定ムベキコトヲ規定セリ而シテ該法第四條及第五條ニハ穀物ヲ購買シタルモノハ其ノ購買ニ關シ毎週報告スルノ義務ヲ有スルコト第七條ニハ農務水産省ハ右ノ報告ヲ一週毎ニ取廻ムベキコト第八條ニハ一週毎ニ取廻ムベキ報告ノ計算ハ帝國アツセルニ依リ小麥ニ在リテハ六十封度大麥ニ在リテハ五十封度燕麥ニ在リテハ三十九封度チアツセルトナスコト及第九條ニハ報告ヲ徵シタル各町ニ於ケル各種英國産穀類ノ最近一週間ノ平均價格ノ計算書ヲ毎週作成シ之ヲロンドンガゼットニ公示スベキコトヲ規定セリ尙該法ニ依ルトキハ或ル種ノ英國産穀類ノ週平均價格ハ其ノ週間ニ於テ穀類報告監督官ヨリ提出シタル報告書ニ記載セラレタル其ノ種ノ穀類ノ數量及價額ヲ合算シテ得タル價額ノ合計ヲ數量ノ合計ヲ以テ除シタルモノノ季節又ハ年平均價格ハ其ノ季節又ハ年ニ包含セラレタル各週ノ平均價格ヲ加算シ之ヲ其ノ週數ニテ除シタルモノトシ七年毎ノ平均價格モ之ト同様ノ方法ニ依リテ作成セラレベキモノトセリ而シテ該法第十條ニ於テハ七年毎ノ平均價格ヲ毎年十分ノ一稅ノ代リニ納付スベキ決定金額ノ法定標準トシ尙第十八條ニ於テハ英國産穀類トハ英吉利(合洲全國)海峽殖民地又ハアイルオアマニニ於テ生産シタル小麥大麥及燕麥ヲ指稱スルモノナルコトヲ規定セリ

補償ヲ受クル權利ヲ有スル占有者

第三條 (一)小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル年ノ九月一日ニ於テ其ノ土地ノ占有者タリシ者ハ本法本章ノ規定ニ依リ補償ヲ受クル權利ヲ有スル占有者ト看做ス此ノ場合ニ於テ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル土地ノ占有ニ變更アリタルトキハ

(イ) 舊小作人ガ慣習其ノ他ニ依リ其ノ土地ニ生産シタル小麥又ハ燕麥ヲ取得スル權利ヲ有スルトキハ其ノ小作人ハ新小作人又ハ地主ニ代リテ其ノ小麥又ハ燕麥ニ付本法本章ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ヲ有ス且

(ロ) 舊小作人ガ慣習其ノ他ニ依リ地主又ハ新小作人ヨリ小麥又ハ燕麥ニ付留置シタル作物其ノ他ニ對スル賠償ヲ受クル權利ヲ有スルトキハ地主又ハ新小作人ノ其ノ小麥又ハ燕麥ニ付本法本章ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ヲ有ス且

定ニ依リ補償ヲ受クル權利ハ之ヲ舊小作人へ支拂フベキ賠償ノ評價ニ加算スベキモノトス<sup>(四)</sup>

(二) 本法本章ノ補償ニ對スル一切ノ申請ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ從ヒ農務水産省ニ對シテ之ヲ爲シ農務水産省ニ於テ之ヲ決定シ其ノ決定ハ一切ノ目的ニ對シ最終ニシテ且確定シタルモノトス<sup>(六)</sup> 虛偽ノ供述又ハ表示ニ依リ補償若ハ適當ノ金額ヲ超過シタル補償ヲ受ケタルコトヲ知リタルトキハ其ノ補償ヲ受ケタル者ハ其ノ虛偽ノ供述又ハ表示ニ對スル刑事上ノ責任ヲ負ハサルモ其ノ補償又ハ超過シタル金額ハ之ヲ農務水産省ニ支拂フコトヲ要ス

右ノ支拂ハ刑事上ノ債務トシテ回收セラル、コトナク農務水産省ニ依リ即決裁判ヲ以テ民事上ノ債務トシテ回收セラルヘキモノトス<sup>(七)</sup>

(三) 自己ノ爲ニ爲シタルト又ハ他人ノ爲ニ爲シタルトヲ問ハズ本法本章ノ補償ヲ受クル目的ヲ以テ虛偽ノ供述又ハ表示ヲ爲シタル者ハ其ノ供述又ハ表示ノ虛偽ナリシコトヲ知ラザリシコト及適當ナル注意ヲ爲シタルモ其ノ虛偽ナルコトヲ確ムルコト能ハザリシ旨ヲ證明スルニ非レバ即決裁判ニ依リ六月以下ノ懲役又ハ禁錮若ハ五十磅以下ノ罰金ニ處ス

「註」(一) 本條ノ規定ハ第一條ニ規定シタル補償ノ支拂ヲ受クル權利ヲ有スル者ヲ確定シ且請求シ得ルトキニ於テ現ニ土地ヲ占有スルト否トニ拘ラス其ノ生産者ニ補償ヲ得シムルコトヲ明示セル者ナリ即本法ニ依リ補償ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ原則トシテ小麥又ハ蕎麥ヲ生産シタル年ノ九月一日ニ於テ其ノ土地ヲ占有シタル者トシテ舊小作人ガ其ノ留置シタル作物ニ對シ權利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ舊小作人モ補償ヲ受クル權利ヲ有スルコトトモ尙占有者ノ補償ヲ受クル權利ハ其ノ補償ノ請求ヲ爲ス穀類ガ占有者ニ依リ九月一日迄ニ賣却セラレタリヤ否ヤニ關スルモノニ非ザルハ明ナリ

(二) 本項ノ後段以下ハ作物ヲ仕付シタル日ヨリ次ノ九月一日迄ノ間ニ生ズベキ土地ノ占有ノ變更ニ關シ舊小作人ノ權利ヲ規定シタルモノナリ

(三) 本項(一)ニ依ルトキハ地方ノ慣習又ハ小作契約ノ條項ニ依リ作物ヲ仕付シタル後其ノ成熟セザル前ニ小作人ヲ終了シタル舊小作人ガ其ノ土地ニ立入り留置シタル作物ヲ取得シ得ル場合ニ於テハ其ノ小作人ハ九月一日ニ於テ其土地ヲ占有セザリシト雖留置シタル作物ヲ仕付シタル土地ニ對シ本法ニ依リ請求スベキ補償ヲ受クル權利ヲ有スルモノトス若シ舊小作人ガ作物ヲ取得スル權利ヲ有セザルトキハ新小作人ガ當然補償ノ支拂ヲ受クベキモノナルモ尙此ノ場合ニ於テハ(ロ)ノ規定ニ依リ別ニ舊小作人ノ權利ヲ保護スルコトトセリ

(四) 本項(ロ)ハ地方ノ慣習又ハ小作契約ノ條項ニ依リ作物ヲ仕付シタル後其ノ成熟セザル前ニ小作ヲ終了シタル舊小作人ガ其ノ留置シタル作物ヲ取得スルコト能ハズシテ地主又ハ新小作人ヨリ其ノ留置シタル作物ニ對シ一定ノ金額又ハ其ノ他ノ賠償ヲ受クル權利ノミチ有スル場合ニ於ケル舊小作人ノ補償ヲ受クル權利ヲ規定セシモノナリ此ノ如キ賠償支拂ハ普通行ハレル所ナルモ地方ニ依リ又ハ慣習ニ依リ一様ナラズ普通ハ藁ヲ含ミ又ハ含マザル作物ノ全部若ハ一部ヲ評價シタルモノヲ基礎トシ之ヲ作物ヲ仕付シタル土地ノ小作料ヨリ控除スルノ條件ヲ以テ行フモノトス而シテ小作人ガ此種ノ權利ヲ有スル場合ニ於テ其ノ作物中ニ小麥又ハ蕎麥ヲ含ムトキハ右ノ評價ニ際シ作物ノ實際ノ市場價格ニ本法ノ規定ニ依リ次ノ九月一日ニ於ケル占有者ガ其ノ成熟シタル作物ニ付補償ヲ受クベキ利益ヲモ加算シ以テ舊小作人ノ利益ヲ夫レ丈ケ增加スベキモノトス換言スレバ評價ヲ爲ス者ガ適當ナリト認メタル範圍内ニ於テ支拂フベキ金額中ニ本法ノ規定ニ依リ補償セラルベキ金額ヲ加ヘテ舊小作人ニ交付スベキモノトス尙此ノ場合ニ於ケル評價ノ方法ニハ種々アリ即右ノ方法ニ依リ舊小作人ニ支拂フベキ金額ヲ査定スルニ當リ翌年ノ三月三十一日以後ニ至ル迄地主又ハ新小作人ニ對シテ補償ヲ受クベキ權利發生セザル事實ヲ考慮シ以テ相當ニ酌量ヲ加フルカ如キハ其ノ一ナリ此ノ種ノ方法ハ價額ヲ査定スル一般的方法ト云フヲ得ベク嚴密ナル意味ニ於テモ此種ノ方法ハ最も適當ナリトスベシ次ニ仲裁裁判人ニ於テ第二條(三)ノ規定ニ從ヒ本法ニ依ル平均價額ガ公示セラルル迄評價ヲ延期スルヲ得ル事アリ是レ方法ノ二ナリ又貸借ノ普通ノ形式ニ從ヒ先ヅ小麥及蕎麥ニ適當ノ價格ヲ付シ之ニ地主又ハ新小作人ガ生産者ニ代リテ受取ルベキ金額ヲ加算スル場合アリ是レ方法ノ三ナリ此ノ如ク評價ノ方法諸種アリト雖モ評價人ハ其ノ評價ニ當リ何レノ方法ヲ採用スルモ自由ナルノミナラズ新小作人ニ對シ補償金ノ支拂ガ實際ニ行ハレタル事ヲ必要トセズ單ニ本法ニ基ク

ル新小作人ノ支拂ヲ受クベキ權利ヲ考慮シテ決スレバ足り且評價スベキ小麥若ハ燕麥ノ生産額ガ一英克ニ付小麥ニ在リテハ四クオーター燕麥ニ於テハ五クオーターヨリ少ナキ場合ト雖新小作人ハ平均價格ト最低價格トノ差額ノ四倍及五倍ヲ補償セラレル權利ヲ有スルモノトス

(五)本法ニ基キテ發スル命令ノ範圍ニ付テハ第十二條(一)(イ)ニ規定セリ

(六)本項ハ第一條ノ規定中農務水産省ニ證明シタルノ意義ヲ補足シ且農務水産省ノ權限ヲ明確ニシタルモノナリ

(七)本項ノ規定ハ善意ヲ以テ爲シタルト惡意ヲ以テ爲シタルトナ問ハズ虛偽ノ供述又ハ表示ニ基キ支拂ヒタル金額ヲ回收スル權限ヲ農務水産省ニ附與シタルモノナリ尙農務水産省ハ右ノ外附款第十七條(二)ノ規定ニ依リ起訴ノ權限ヲ有スル官吏ヲ任命スルコトヲ得ルモノトス

第二章 農業労働者(最低賃金)

第四條

農業賃金最低率

(一)農業ノ爲ニ労働者ヲ雇傭シタル者ハ其ノ労働者ニ對シ本法ニ依リ定メタル最低賃金率ニシテ其ノ場合ニ適用スベキモノヨリ少ナカラザル賃金ヲ支拂フコトヲ要ス

右ノ規定ニ違反シタル者ハ即決裁判ニ依リ各犯罪毎ニ二十磅以下ノ罰金及其ノ判決後犯罪ノ繼續シタル日一日ニ付一磅以下ノ罰金ニ處ス但シ其ノ支拂ヒタル賃金ガ本法ノ規定ニ依リ要求セラレタル賃金ヨリ少ナキコトヲ知ラザリシコト及相當ノ注意ヲ爲シタルモ之ヲ確ムルコト能ハザリシ旨ヲ證明シタルトキハ此ノ限リニ在ラズ

(二)本條ニ依ル雇主ニ對スル訴訟ニ付判決アリタルト否トニ拘ラズ裁判所ハ雇主ニ對シ罰金ノ外最低賃金率ニ依リ計算シタル賃金ニシテ裁判所ガ其ノ労働者ニ對シ適當ト認ムル金額ノ支拂ヲ命ズルコトヲ得但シ本項ニ依ル賃金ノ支拂ヲ命ズル權限ハ労働者ノ他ノ手續ニ依ル賃金回收ノ權利ヲ阻止セス

(三)本條ニ違反スル賃金ノ支拂又ハ本條ニ依ル賃金ノ支拂ヲ強制スル權限ノ行使ヲ阻止スル契約ハ之ヲ無効トス

(四)最低賃金率ニ依ル賃金ノ支拂ニ關スル本條ノ規定ハ最低賃金率ガ定メラレザリシ場合ト雖一人前労働者ニ對シ本法ノ効力發生ノ日ヨリ其ノ効力ヲ發生ス

一人前労働者ニ對スル最低賃金率定メラレタルトキハ労働者ハ其ノ定メラレタル日以後三月以内ニ本條ノ規定ニ依リ時間仕事ノ賃金ニ付一人前労働者ニ支拂フベキ金額ヲ其ノ雇主ヨリ回收スルコトヲ得ル權利ノミヲ有ス但シ其ノ支拂ハレタル賃金ガ裁判所ニ於テ一週二十五志ノ率ニテ支拂フベキ通常ノ日雇賃金ニ相當セザルモノト認メタル場合及限度ニ非ザレバ本條ノ規定ニ依ル金額ノ回收ヲ爲スコトヲ得ズ

「註(一)農業ハ其ノ意義廣凡ニシテ土地ヲ秣場草刈場牧場果樹園柵園樹林地蔬菜園又ハ苗床園トシテ使用スル場合ヲモ包含ス農業ノ定義ニ付テハ第十七條(一)(ロ)ニ規定セリ尙此點ニ關シ或レ裁判所判事ハ個人ノ庭園ニ從事スル労働者ハ其ノ庭園ガ假令樹林地牧場又ハ果樹園ヲ含ム場合ト雖本法ノ規定ノ範圍外ヘ屬スル旨ノ意見ヲ發表セリ而シテ通常ノ場合ニ於テハ本法本章ノ規定ハ雇傭契約又ハ徒弟契約ニ依リ

(イ) 通常ノ農業

(ロ) 果樹園又ハ柵柳園

(ハ) 樹林地

(ニ) 蔬菜園

(ホ) 苗床園

ニ從事スル男女ノ労働者ニ通用スルモノト解釋スベキモノナリ但シ其ノ仕事ハ實際的意義ニ於テ農業的養樹的又ハ園藝的ノ性質ヲ有スルコトヲ要ス土地差配人ハ苗床園ノ事務室ニ雇傭セラレル事務員ノ如キハ此適用ヲ受ケサルモノト



ス併シ巡廻脱穀機及其ノ發動機發動車及トラクター等ニ從事スル労働者ニシテ各地ノ農場ヲ移動スル者ハ本法ノ適用ヲ受クルニ關シ疑義ヲ生スベシ是等ハ多少定職ナキノ親アルモ之ニ依リ本法ノ適用ノ範圍ヨリ除外セラルベキ者トスルニハ其ノ理由不充分ナリト云フベシ

(二)「労働者」ノ中ニハ男子ノ外男兒女子及女兒ヲ含ミ雇傭ノ中ニハ徒弟契約ニ依ル者ヲモ包含ス(第十七條(一)(二)(三)尙第五條(一)ニ於テハ農業労働賃金局ハ時間労働ニ依リ農業ニ雇傭セラルル労働者ニ對スル最低賃金率ヲ定ムベキコト及必要又ハ便宜ナリト認ムルトキハ請仕事ニ依リ農業ニ雇傭セラルル者ニ對シテモ最低賃銀ヲ定ムベキコトヲ規定セルヲ以テ本法ノ労働者ニハ時間仕事ノ者及請仕事ノ者ノ何レヲモ包含スルモノトス

(三)労働者ヲ雇傭シタル者ハ即雇主ナリ尙之ニ付テハ第十七條(一)(二)ニ規定セリ  
(四)最低賃金ハ一人前労働者ニ在リテハ金錢以外ノ利益又ハ便益ヲ含ミ一週二十五志以上タルコトヲ要ス一人前労働者以外ニ對シテハ一週二十五志以下トスルコトヲ得ベシ之ニ付テハ第五條ニ規定セリ

(五)賃金局ハ第五條(四)ニ依リ其ノ定メタル最低賃金率ヲ關係者ニ知ラシムル爲公示スベキ義務ヲ有シ各雇主ハ法律ニ違反セザルガ爲公定ノ最低賃金率ニ對シ適當ナル注意ヲ爲スベキモノトスサレバ雇主ガ單ニ其ノ場合ニ適用スベキ最低賃金率ヲ知ラザリシコトヲ陳述スルモ抗辯ノ理由トシテ之ヲ受理セラルルコトナシ併シ雇主ハ適當ナル率ヲ知りタルモ率ノ中ニ包含セラレタル便益又ハ利益ニ對スル評價ニ關シテハ抗辯ヲ爲スコトヲ得ルモノナラン例ヘバ雇主ガ雇人ニ占有セシメタル家屋ノ一年ノ代價ヲ過大ニ見積ルコトアルベシ右ハ惡意ヲ以テセザル場合ニモ有り得ベキコトナリ其ノ代價ガ第十二條(一)(ロ)ニ依リ定メラレザル場合ニ於テ特ニ然リ而シテ労働者ノ賃金請求ニ關スル訴訟ノ提起ハ第七條ニ依リ之ヲ爲スベキモノナルモ此場合ニ於ケル犯罪ノ告發ハ労働者又ハ農務水産省ニ依リテ任命セラレタル官吏ノ何レカ之ヲ爲シ得ルモノナリナリニ付テハ疑義ナキニ非ズ本法ハ兩者ノ何レニモ告發ノ權限ヲ附與セザルヲ以テ少ナクトモ労働者ハ犯罪ノ告發ヲ爲スコト能ハザルベシ併シ附則第一ニハ農務水産省ニ依リテ任命セラレタル官吏ハ英克蘭ニ於テハ本法ニ關スル訴訟ヲ提起スル權限ヲ認メラレタルヲ以テ告發ヲ爲シ得ルモノト解釋シ得ザルニ非ザルモ蘇格蘭ニ對シテハ其ノ規定ナシ之レ法律ノ不備ト云フベキカ或ハ他ノ一般法ノ規定ニ依リ別ニ告發シ得ルモノナルカ  
(六)一人前労働者ノ定義ニ付テハ第五條(九)ニ規定セリ  
(七)本法ノ効力發生ノ日(千九百十七年八月二十一日)以後ニ支拂ハレタル實際ノ賃金ト其ノ最低賃金率ニ依ル賃金トノ差

額ヲ回收スルノ權利ハ一人前労働者ノミ之ヲ有シ且其ノ最低賃金率ノ決定後三月以内ニ於テノミ之ヲ回收スル事ヲ得ルモノトス尙茲ニ最低賃金率決定ノ日時ニ關スル疑義ヲ生ズ即チ附則第六條ニハ蘇格蘭ニ於テハ地方賃金委員會ガ最低賃金率ノ決定案ヲ作成シタルトキハ之ヲ中央委員會ニ報告スベキコトヲ規定シ且中央委員會ガ農務省ノ規定シタル期限内ニ之ニ不認可ヲ與ヘザルトキハ右ノ決定案ハ本法ニ依リ決定セラレタル賃金率ト認定セラル、モノトス從テ右ノ地方委員會ノ決定シタル日ヲ以テ最低賃金率ノ決定セラレタル日ト爲スベキカ又ハ農務省ガ中央委員會ノ不認可ニ對シ規定シタル日時ヲ以テスベキカノ問題ヲ生ズ併シ嚴密ニハ不認可日時ノ經過迄ハ單ニ一時的ニ決定セラレタルモノト見做スベキモノトナルベシ

(八)本項ノ但書ニ依ルトキハ雇主ヨリ支拂ハレタル賃金(現金ヲ以テ支拂フ賃金ノ代リニ給付セラルル労働者ノ住居スベキ小舎宅其ノ他利益又ハ便益ヲ含ム)カ一週二十五志ノ率ニテ支拂フベキ通常ノ日當賃金ニ相當スル場合ニ於テハ本法ノ効力發生ノ日以後最低賃金率決定ノ日迄ノ間ニ於ケル賃金ノ差額ノ回收ヲ爲ス權利ヲ有セサルモノトス而シテ右ニ關スル訴訟ハ之ヲ民事區裁判所ニ於テ受理スベキモノトシ且區裁判所ニ於テハ労働者ガ一人前労働者ナリヤ否ヤ且雇主ガ其ノ賃金ヲ二十五志ニ達セシムル爲賃金ノ一部トシテ給與シ得ベキ利益又ハ便益ノ價格如何ヲ判定シ得ルノミナリ尙千八百八十七年現物賃金制度改正法第四章ニ於テハ農僕ニ對シ現金ヲ以テスル賃金ノ外ニ食物可醉性ニ非ラサル飲料小舎宅其ノ他ノ便益又ハ特權ヲ給與スルノ契約ハ違法ニ非サルコトヲ規定セルヲ以テ此ノ規定ニ依リ右ノ如キ利益便益等ハ賃金ガ一週二十五志ニ相當セルヤ否ヤヲ判定スル場合ニ其ノ計算中ニ加算スルコトヲ得

農業賃金局ノ設置

第五條

- (一)農務水産省ハ労働大臣ト協議シ遲滞ナク農業賃金局ヲ設置スベシ此場合ニ於テ本法附則第一ニ掲グル千九百十九年商務省法(改正法)ハ本法本章ニ包含セラレタルモノト看做ス
- (二)農業賃金局ハ時間仕事ニ依リ農業ニ雇傭セラル、労働者ニ對スル最低賃金率ヲ定ムベシ必要又ハ便宜ナリト認ムルトキハ農業賃金局ハ請仕事ニ依リ農業ニ雇傭セラル、労働者ニ對スル最低賃金率ヲ定ムルコトヲ得
- (三)前項ノ最低賃金率ハ農業ニ雇傭セラル、一般労働者又ハ特定ノ階級特定ノ場所若ハ其ノ特定ノ

- 場所ニ於ケル特定ノ階級ニ對シ其ノ各場合ニ於ケル特別ノ性質ニ應ジ農業貸金局ノ定ムル例外ノ規定ニ從ヒテ適用セラレベキモノトシテ之ヲ定メ且日雇週雇月雇其ノ他ノ期間雇又ハ労働ノ時間數若ハ雇傭ノ條件ニ依リテ之ヲ變更シ若ハ時間外労働ニ對シテ特別賃金率ヲ定ムルコトヲ得<sup>(七)</sup>
- 農業貸金局ニ於テ最低賃金率ヲ適用スベキ時間仕事ニ雇傭セラレ又ハ雇傭セラレ、コトヲ希望シタル労働者ニシテ精神上其ノ他ノ故障若ハ身體上ノ故障ヲ生ジ其ノ最低賃金率ヲ收得スルコト能ハザルニ至リタルモノト認ムルトキハ農業貸金局ハ其ノ労働者ニ對シ其ノ雇傭ヲ農業貸金局ノ指定スル條件ニ從ヒ最低賃金率ヨリ少ナカラザル賃金支拂ヲ要求セル本法ノ規定ヨリ除外スベキ旨ノ許可ヲ與フルコトヲ得<sup>(八)</sup>
- 右ノ許可ノ有効ナル期間内ハ其ノ許可ニ對シテ貸金局ノ指定シタル條件ヲ遵守スル限り雇主ハ最低賃金率以下ノ賃金ヲ其ノ労働者ニ支拂フコトニ依リ刑罰ニ處セラル、コトナシ
- (四) 最低賃金率ヲ定メントスルトキハ農業貸金局ハ豫メ其ノ定メントスル最低賃金率ヲ告示シ其ノ賃金率ニ對シ一箇月以内ニ申出ヅベキ異議ヲ斟酌スベシ
- 農業貸金局ニ於テ定メタル最低賃金率ハ出來得ル限り關係者ニ知ラシムル爲適當ナリト認ムル方法ニ依リ之ヲ告示スベシ
- (五) 農業貸金局ハ時宜ニ適スルモノト認ムルトキハ其ノ定メタル最低賃金率ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得
- 農務水産省ニ於テ最低賃金率ノ再調査ヲ命ジタルトキハ其ノ最低賃金率ヲ適用シタルト否トニ拘

ラズ其ノ再調査ヲ爲スベシ

告示ニ關スル本條ノ規定ハ最低賃金率ヲ定メタル場合ニ適用シタルト同一ノ形式ニ依リ最低賃金率ヲ取消シ又ハ變更スル場合ニ之ヲ適用ス

- (六) 農業貸金局ハ其ノ出來得ル範圍ニ於テ本條ニ依ル最低賃金率ノ決定ニ依リ一人前労働者ヲシテ其ノ能率ヲ増進セシメ且通常ノ場合ニ於テ本人及其ノ家族ヲシテ職業ノ性質ニ應ズル程度ノ愉快ヲ得シムルニ充分ナリト認ムル賃金ヲ獲得セシムルコトヲ要ス<sup>(九)</sup>
- (七) 農業貸金局ハ本條ニ依ル時間仕事ニ對スル最低賃金率ノ決定ニ依リ一人前労働者ヲシテ一週少ナクトモ二十五志ノ率ニ依ル通常ノ日雇賃金ト同一ナリト認ムル賃金ヲ獲得セシムルコトヲ要ス<sup>(十)</sup>
- (八) 本法本章ノ規定ハ本法本章ニ依リ決定シタル最低賃金率ヨリ高キ率ノ賃金ヲ支拂フベキ契約又ハ慣習ニシテ本法通過前ニ締結シ又ハ存在シタルモノ、効力ヲ侵害スルコトナシ
- (九) 本法本章ニ規定シタル一人前労働者トハ年齢精神其ノ他ニ因ル故障又ハ身體上ノ障害ニ因リ通常ノ能率ヲ有スル労働者ノ労働ヲ爲スコト能ハザル者ニ非ザル男子ノ労働者ヲ謂フ

〔註〕(一)本項ノ規定ハ蘇格蘭ニハ之ヲ適用セズ但シ之ニ代フルニ附款第二ノ規定ヲ以テセリ(第十八章(一)(イ))

(二)最低賃金率ノ決定ニ關シテハ本法附款第一ニ更ニ詳細ニ規定セリ而シテ時間仕事及請仕事(希望スル場合ニハ)ニ對スル最低賃金率ノ決定ハ其ノ地方ノ狀況ニ應スルコトニ注意ヲ拂フ爲ニ其ノ地方ニ關スル事項ニ付中央ノ農業貸金局ニ意見ヲ提出スベキ地方労働賃金委員會ニ於テ之ヲ行フモノトセリ地方労働賃金委員會ノ設置ニ關シテハ附款第一第十二條ニ規定セリ尙賃金局ハ第十七條(一)(イ)ニ規定シタル廣凡ナル農業ノ凡テノ雇傭ニ對シ權利及義務ヲ有スルモノトス

(三)特定階級ハ左ノ如ク分類スルコトヲ得ベシ

- (イ) 普通農業ノ作業ニ従事スル者
  - (ロ) 樹林地ノ作業ニ従事スル者
  - (ハ) 蔬菜園ノ作業ニ従事スル者
  - (ニ) 苗床園ノ作業ニ従事スル者
- 尙右ノ各種ヲ更ニ細別スルコトヲ得ベシ例ハバ普通農業ノ作業ニ在リテハ

- (イ) 農 夫
- (ロ) 牧 夫
- (ハ) 酪 農 者

ニ分類スルコトヲ得ルガ如キ之ナリ併シ階級ノ數ハ出來得ル限り少ナキヲ便トス而シテ本法ハ廣義ノ農業ニ従事スル總テノ一人前労働者ノ場合ニ一週二十五志ノ最低率ヲ強制スルノミナルヲ以テ賃金局ハ一人前労働者ト一人前ニ非ザル労働者トヲ區別スルコトナク一般ノ農業ニ従事スル労働者ニ適用スベキ最低率ヲ定ムル權限ヲ有ス從テ農場夫ト蔬菜園及苗床園ノ作業ニ従事スル農夫トノ賃金ハ其ノ額ニ於テ大差ナシトセバ是等ノ労働者ニ一般ニ適用スベキ一ノ最低賃金率ヲ定メ單ニ男子女子及女兒ニ對シテ異ナリタル最低賃金率ヲ定ムルニ於テハ何等ノ異議ナカルベシ又一般ニ一人前労働者ニ對シテハ特殊ノ階級ヲ設ケズ唯十八歳以上又ハ二十一歳以上ノ總テノ男子ノ労働者ニ適用スル一ノ最低率ヲ定ムルヲ最モ安全ナル方法トス其レヨリ以下ノ者ニ對シテ十八歳以上二十一歳以下ノ總テノ男子労働者ニ適用スルモノ及十八歳以下ノ男子労働者(男兒ヲ含ム)ニ適用スル一層低キ最低賃金率ヲ定ムルモ可ナルベク又更ニ特殊階級ノ女子及女兒ニ對シテモ特殊ノ最低賃金率ヲ定ムルヲ可トスベシ

雇傭中ハ徒弟契約ニ基ク雇傭ヲモ包含スル(第十七條(一)(二)ヲ以テ階級ヲ年齡ニ關シテ區別スル方法ト經營ニ基キテ區別スル方法トノ何レヲ妥當トスルカニ付テハ議論アルベシ併シ年齡ニ基キテ區別スルヲ以テ最モ安全ト見做スヲ得シカ未婚ノ男子ノ階級ヲ設ケルヲ否ヤニ付テモ疑義アリ

(四) 特定ノ場所トハ例ハバ公共工事ノ如キ高キ賃金ノ雇傭ト農業上ノ雇傭ト競争スルガ如キ地方ニ於テ高キ最低賃金率ヲ定ムル必要アルガ如キ場合ナ云フ併シ或ル地方ノ一部ニ於ケル賃金ガ他部分ヨリモ僅カニ數志高キガ爲最低賃金率ニ等差ヲ設ケルガ如キハ全ク其ノ必要ナシ

(五) 特定ノ性質ノ雇傭トハ一時的ノ仕事ニ雇傭セラレ、モノヲ云フ例ハバ家婢又ハ男子労働者ノ妻等ガ時々搾乳ニ従事シ

又ハ女兒ガ配乳ヲ爲シ若ハ農學生ガ其ノ下宿料ト交換的ニ農業ノ労働者ヲ爲スガ如キハ其ノ適例ナリ

(六) 雇傭ノ條件トハ例ハバ少年労働者ガ業務ノ見習中ニ在リテハ見習ヲ爲スガ爲一般ノ賃金ヨリモ低キ賃金ヲ以テ雇傭セラル、ガ如キ場合ヲ謂フ此ノ如キ場合ニ於ケル最低賃金率ハ一般ノ最低賃金率ヨリ低ク之ヲ定メザルヲ得ザルナリ

(七) 特別賃金率ハ技能ナル労働者取者荷車挽又ハ牧夫ノ如キ特殊ノ労働者ヲシテ通常ノ労働者ヨリモ高率ナル賃金ヲ請求シ得ル權利ヲ與フルヲ決定セザルベカラズ又時間外労働ニ付テモ最低率ヲ定ムルヲ妥當トス其ノ他收穫又種付ノ如キ特別ノ労働ニ對スル特別ノ賃金ハ年傭ヲ以テ定メタル最低賃金率ニハ當然之ヲ加算スベキモノナルモ日傭傭又ハ月傭ノ場合ニハ最低賃金率ノ計算中ニ加算セズ最低賃金以外別ニ支拂フベキモノナルベシ

(八) 雇主ハ精神又ハ身體ノ缺陷ニ依リ其ノ労働者ニ適用スベキ最低賃金率ノ支拂ニ相當スル労働者ヲ爲シ能ハザル労働者(男子女子男兒及女兒ヲ含ム)ヲ雇傭シタル場合ト雖モ農業賃金局ノ指定ニ從フコトヲ條件トシテ右ノ雇傭ニ對シ賃金局ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ最低賃金率ヨリ少ナキ賃金ヲ支拂フコトヲ得ズ若シ許可ナクシテ雇主ガ賃金ノ最低率ヨリ低キ支拂ヲ爲ストキハ第四條(一)ニ依リ刑罰ニ處セラルベキモノトス而シテ本規定ノ目的ハ最低賃金ニ相當スル賃金ヲ儲ケ得ザル者ノ失業ヲ防止スルニ在ルコト明ナリ労働者ニシテ單ニ怠惰ニ依リ最低賃金ニ相當スル賃金ヲ儲ケ得ザル者ニ對シテハ右ノ許可ヲ與ヘザルハ勿論ナルモ此ノ如クスルトキハ雇主ハ怠惰ナル者ヲ解雇セザルベカラザルニ至リ最低賃金率ノ強制ニ依リ怠惰ナル労働者ノ失業ヲ惹起スルニ至ルヲ以テ最低賃金率決定上特ニ考慮セザルベカラザルモノナルベシ

(九) 本項ハ實行シ得ル範圍ニ於テ及通常ノ場合ナル形容ヲ以テ其ノ責任ヲ限定シタリト雖賃金局ニ重大ノ責任ヲ負擔セシメタルモノト云フベシ労働者ノ能率ヲ増進セシメ且本人及其ノ家族ヲシテ適當ナル程度ノ愉快ヲ得シムルニ適當ナル金額ヲ定ムルハ甚ダ困難ニシテ各自ノ思想労働者ノ家族ノ數及年齡並地方ノ状態ヲ異ニスルニ從ヒテ其ノ金額ハ等シカラザルベシ從テ本項ハ單ニ賃金局ニ概念ヲ與フル爲ニ規定シタルモノニ過ギズシテ賃金ヲ正確ニ且法律ノ規定スル程度ニ調整シ得ルコトヲ豫期スルモノニ非ザルベシ併シ之ニ依リ法律ハ生活維持ニ充分ナル金額ヨリ以上ノ何物カヲ要求セシコトヲ推定シ得ベシ而シテ本條ハ家族ナル文字ヨリ推定シテ一人前ノ既婚労働者級ノミニ關スル規定ナリヤ否ヤノ疑問起ルモ法律ノ主旨ヨリ考察スルトキハ最低率ニ關シテハ一人前未婚労働者ハ一人前既婚労働者ト同一ノ立場ニ立タシムルコトヲ求メタルガ如ク見ユ之一人前未婚労働者ト雖其ノ父母ヲ扶養スベキモノタルコトヲ推定シ得ル

バナリ併シ本法ハ此ノ點ニ關係ナク家族ハ妻子ヲ指稱スルモノトシテ金額ノ計算ヲ爲スベキモノニシテ實際其ノ金額ガ父母ノ扶養ニ充當セラル、ヤ又ハ妻子ノ扶養ニ充當セラル、ヤハ問フ所ニ非ザルベシ小舎薪炭又ハ食料ノ使用若ハ給付ノ如キ労働者ニ對スル利益又ハ便益ハ千八百三十一年物品賃金制禁止法及千八百八十七年物品賃金制改良法ニ於テ禁止シタル可醉性飲料等ノ如キ法律ニテ禁止シタルモノヲ除キ農業賃金局ニ於テ決定シタル價格ニ依リ其ノ賃金中ニ勘定セラレ又ハ其ノ勘定ハ賃金局ニ於テ禁止又ハ制限セラレベキモノトス(第十二條(一)(ロ))

(十)一人前労働者ニ對スル一週二十五志ノ金額ハ最低賃金ノ最低標準タルベキモノニシテ賃金局ガ適當ト認ムルトキハ之ヨリモ高ク定ムルコトヲ得ベシ

最低賃金率ノ定ナキ請仕事ノ時間トシテ同一割合ノ支拂ヲ爲スベキ出訴

第六條 最低賃金率ノ定ナキ請仕事ニ依リ農業ニ雇傭セラレタル労働者又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ハ其ノ請仕事ニ對シ支拂ヲ受ケタル賃金率ガ通常ノ労働者ノ時間仕事トシテ爲シタル場合ニ於ケル最低賃金率ヨリ少ナキコトヲ農業賃金局ニ出訴スルコトヲ得

右ノ出訴ヲ受理シタルトキハ農業賃金局ハ其ノ出訴前十四日以内又ハ出訴後賃金局ノ定ムル日迄ノ間ニ爲シタル請仕事ニ對シ賃金局ニ於テ其ノ仕事ガ通常ノ労働者ノ時間仕事トシテ爲サレタル場合ニ最低賃金率ニ依リ支拂フベキモノト認メタル金額ト出訴シタル労働者ガ現ニ受取リタル金額トノ差額ニ該當スベキ追加金額ヲ其ノ雇主ニ於テ労働者ニ支拂フベキコトヲ命ズルコトヲ得

右ノ支拂ヲ命ゼラレタル金額ハ労働者ニ於テ即決裁判ニ依リ民事上ノ債權トシテ雇主ヨリ之ヲ回收スルコトヲ得

〔註〕(一)通常ノ労働者ハ通常ノ一人前労働者ニ非ズ

(二)本條ハ最低賃金率ノ定メナキ場合ノ請仕事ニ對スル最低賃金ノ請求ニ關スル事項ヲ規定セルモノナリ此ノ種ノ最低賃金ノ決定ニ付テハ第五條(二)ノ規定セルモ其ノ決定ハ任意的ナルヲ以テ賃金局ハ其ノ最低率ヲ定メザルコトアルベシ併シ

請仕事ハ時間仕事ト異ナリ通常其ノ賃金支拂ヲ雇主労働者間ノ合意ノ決定ニ委ス方可ナリトシテ而カモ一方ニ於テハ時間仕事ニ依リ最低賃金ヨリ少ナキトキハ出訴ヲ許ス事トセルヲ以テ請仕事ニ依リ労働者ニ對スル賃金時間仕事ニ依リ通常ノ賃金ニ比シ高クナラザルベシ而シテ右ノ出訴ハ最低賃金率ヲ定メザリシ請仕事ニ對シ支拂ハレタル賃金ニ不足ニシテ且通常ノ労働者ノ場合ニ時間仕事ニテ受ケベキ最低賃金率ニ比シ低率ナリト認メタル場合ニ於テ其ノ賃金ヲ受ケタル労働者又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ガ賃金局ニ對シテ爲スモノトス其ノ出訴アリタルトキハ賃金局ハ其ノ雇主ニ對シ其ノ出訴前十四日以内又ハ出訴後二行ハレタル請仕事ニ對シ其ノ仕事ガ通常ノ労働者ニ依リ時間仕事ニテ行ハレタル場合ニ其ノ仕事ノ最低賃金率ニテ支拂ハルベキ金額ト出訴シタル労働者ノ實際受取リタル金額トノ差額ニ相當スル追加金額ノ支拂ヲ命ズルコトヲ得茲ニ注意スベキハ出訴前十四日以前二行ハレタル請仕事ニ對シテハ右ノ特別金額ヲ受ケザルコト及本條ハ其ノ仕事ノ最低賃金率ガ時間仕事ニ對シテ定メラレタル場合又ハ定メラレタル後ニ非ザレバ適用スルコトヲ得ザルコト之レナリ尙本條ノ規定ニ依ルトキハ怠慢又ハ無能ナル労働者ノ行ヒタル或ル請仕事ノ賃金率ガ通常ノ労働者ニ依リ時間仕事ニテ行ハレタルトキハ最低賃金率ニ比シ低キコトヲ示シタルトキト雖モ本項ニ依リ其ノ労働者ガ當然受ケベキ金額ヨリ多額ノ支拂ヲ受ケ得ルガ如何トナレバ出訴シタル労働者ノ實際受取金額ハ其ノ怠慢又ハ無能ナル爲通常ノ労働者ノ得ベキ金額ヨリ當然少額ナルベキニ拘ラズ其ノ労働者ハ通常ノ労働者ニ對スル最低時間賃金率ニ依ル金額ト其ノ行ヒタル請仕事ニ對スル實際受取金額トノ差額ヲ受ケベクレバナリ

最低賃金ノ違反ニ對スル出訴

第七條 農業ノ爲ニ雇傭セラレタル労働者又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ハ雇主ノ其ノ労働者ニ支拂ヒタル賃金ガ其ノ場合ニ適用スベキ最低賃金率ヨリ少ナキトキハ其ノ旨ヲ農業賃金局ニ出訴スルコトヲ得

農業賃金局ハ右ノ出訴ヲ審理スルコトヲ要シ且適當ナリト認ムルトキハ其ノ労働者ノ爲ニ本法ニ依ル手續ヲ行使スルコトヲ得

〔註〕(一)本條ハ労働者又ハ労働者ニ依リ委任セラレタル者ガ雇主ニ對スル手續ノ行使ニ關シ自ラ爲ス代リニ賃金局ノ援助ヲ請求スルコトヲ得シメタルモノニシテ本條及前條ノ又ハ其ノ労働者ニ依リ委任セラレタル者ナル語ハ賃金局ニ對シ労働組合

第三章 小作料引上ノ制限

小作料引上ノ制限

第八條

(一)或ル小作地ニ對シ本法通過後締結シ又ハ變更シタル小作契約ニ依リ支拂フベキ小作料ハ其ノ契約ニ如何ナル約款アリト雖本法第一章ノ規定ガ其ノ效力ヲ發生セザリシ場合ニ受クルコトヲ得ベカリシ小作料ヲ超過スルコトヲ得ズ<sup>(五)</sup>

右ノ契約ニ依ル小作料ガ本條ノ規定ニ依リテ許可セラレタル小作料ヲ超過シタルヤ否ヤ又ハ其ノ超過シタル額ニ關スル異議ハ千九百八年小作法附款第二ノ規定ニ依ル單獨仲裁裁判ニ於テ之ヲ決スベシ但シ其ノ小作ノ開始又ハ變更アリタル時ヨリ一年內ニ其ノ異議ヲ仲裁裁判所ニ申立ツベキコトヲ要求セル書面ニ依ル通告ヲ地主ニ發スルニ非ザレバ其ノ小作契約ニ依リ支拂フベキ小作料ガ本條ニ依リ許可セラレタル小作料ヲ超過シタルモノト看做スコトヲ得ズ<sup>(七)</sup>

(二) 仲裁裁判ニ於テ小作契約ニ依リ支拂フベキ小作料ガ本條ノ規定ニ依リ許可セラレタル額ヲ超過シタルモノト決定セラレタルトキハ其ノ小作契約ハ小作ノ開始又ハ變更アリタル時ヨリ其ノ契約ニ依リテ支拂フベキ小作料ガ其ノ超過シタル額ヲ控除セラレタルモノトシテ效力ヲ有ス

(三) 地主ノ小作料回收ノ強制手續開始前ニ其ノ小作料ガ本條ノ規定ニ依リ許可セラレタル小作料ノ額ヲ超過シタルコトヲ本章ニ定メタル方法ニ依リ決定セラレタル場合ヲ除クノ外本條ノ規定ハ其ノ地主ノ強制手續ヲ阻止セザルモノトス<sup>(八)</sup>

本條ノ規定ニ依リ許可セラレタル小作料ノ額ヲ超過シタル小作料ニシテ仲裁裁判ノ判定前ニ支拂

ヒ又ハ回收セラレタルモノハ小作人ニ於テ將來ノ小作料ヨリ控除スルコト其ノ他ノ方法ニ依リ地主ヨリ回收スベキモノトス

(四) 本條ノ用語ハ千九百八年小作法ニ於ケルモノト同一ノ意義ヲ有ス<sup>(九)</sup>

「註」(一)小作地トハ小作人ニ依リテ占有セラレタル土地ニシテ全部農地ナルカ全部牧畜地ナルカ一部分農地ニシテ殘部ガ牧畜地ナルカ又ハ全部若ハ一部分ガ蔬菜園トシテ耕作セラレツ、アルモノヲ指稱シ且其ノ土地ハ地主ニ雇傭セラレ又ハ地主ノ事務員ニ任命セラレタル場合ニ其ノ關係ニ於テ小作ニ附セラレタルモノニ非ザル事ヲ要ス尙詳細ニ付テハ註(九)ニ説明セリ

(二)本條ノ規定ハ小作地ニ於テ本法通過後新ニ締結シ又ハ變更シタル小作契約ニ之ヲ適用スベキモノナルモ小作料引上ガザル場合ハ全ク關係ナキモノトス從テ小作契約ノ變更ハ小作料ノ引上又ハ地主若ハ小作人ノ義務ノ變更等ニ依リテ發生スルモノナルモ本條ニ關係アルモノハ小作料ノ引上ニ關スル場合ノミナリ

(三)本條ノ小作契約中ニハ數年間ノ小作及一年限ノ小作ハ勿論一季間ノ小作ヲモ包含ス然ラバ一季節限ノ牧草地ノ小作ハ本條ノ適用ヲ受クルモノトセザルベカラズ草地ニシテ穀作ヲ行ハザルモノハ小麦及燕麥ノ最低價格ヲ補償セル本法第一章ノ規定ガ效力ヲ生ズル事實ヨリ直接ニ影響ヲ受クルモノニ非ザルコトヲ推測シ得ルモ一面本法第一章補償ノ結果草地ノ開墾セラル、モノ多ク隨テ草地ノ面積ヲ減シ之ヲ小作スルニ競争ヲ生ジ其ノ地代ヲ騰貴セシムルコトヲ想像シ得ベシ併シ實際上草地ハ特ニ乳牛ノ牧場トシテ高キ小作料ヲ得ツ、アリ斯ノ如キハ濃厚飼料ノ缺乏ト其ノ騰貴ニ因ルコト多ク單ニ本法ノ補償ガ直接原因ナリト認メ難シ要之ニ本條ハ單ニ小作料ガ第一章ノ獎勵的規定ニ關聯シテ直接ニ引上ゲラル、コトヲ阻止スルヲ目的トセリ又ハ上述ノ草地ノ例ノ如ク間接ノ場合ヲモ含ムモノナリヤハ法文上明瞭ヲ缺ケリ

(四)效力ヲ發生セザリシ場合ハ第一章ノ規定ニ依リ請求セラレベキ條件ノ生ゼザリシコトヲ意味スルモノニ非ズ本法ノ效力ノ發生(但シ第四章ヲ除ク)即チ本法通過ノ日(千九百十七年八月二十一日)以前ヲ意味ス

(五)穀類ノ平均價格ガ第二條(一)ニ依リ決定セラレタル最低價格ヲ超過シタルトキハ地主ハ當然小作料引上ノ要求ヲ爲シ得ルモノナリ從テ此ノ場合ニ於テハ本條ヲ適用セズ然レドモ此ノ問題ヲ受理シタル仲裁裁判ニ依リ現在ノ價值ノミニ因ラズシテ將來ニ於ケル最低價格ノ補償アルガ爲ニ引上ヲ要求シタルモノト認メラル、トキハ本章ヲ適用スベキモノニシテ

此ノ場合ニ於ケル其ノ引上ハ違法タルベシ

又本條ノ規定ハ地主ガ其ノ費用ニ依リ行ヒタル改良又ハ時代ノ推移ニ依リ當然行フベキ小作料ノ引上ヲ爲スコトヲ阻止スルノ意ニ非ザルコトハ特ニ注意スベキ事項ナリ地主ハ社會ノ他ノ階級ト等シク土地ノ狀態及時價ノ一段的向上ニ伴フ地代ノ昇騰ニ因リ其ノ明ニ本法第一章ノ影響ニ因ラザルモノニ付テハ其ノ利益ニ與カルノ權利ナ有スルハ當然ナリトス

(六)小作料ノ引上ノ全部又ハ一部ガ法律違反トナリ爲ニ本項ノ規定ヲ適用スベキヤ否ヤニ關スル問題ハ千九百八年小作料法附款第二ノ規定ニ依リ單獨仲裁裁判人ニ於テ審理決定スベキモノトス而シテ其ノ單獨仲裁裁判人ハ當事者ノ合意ニ依リ定メタルモノナルカ又ハ合意有ラザルトキハ農務水産省ニ依リ任命セラレタル者タルヲ要ス仲裁裁判人ハ其ノ任命セラレタル後二十八日以内又ハ農務水産省ノ命シタル期間内ニ其ノ判定ヲ作製シ之ニ署名セザルベカラズ仲裁裁判人ハ其ノ仲裁裁判ノ經過中ニ起ルベキ法律上ノ問題ニ付州裁判所ノ審理ヲ受クルヲ至當ト認メタルトキハ其ノ問題ヲ州裁判所ニ陳述スルコトヲ得千九百八年ノ法律ハ其ノ第十三條(三)ニ依リ州裁判所ノ判決ニ對シ大審院ニ上告スルノ權利ヲ與ヘタリ然レドモ本法ハ出訴ニ關シ千八百八年ノ法律附款第二ノ規定ノミニ關係セルモノナルヲ以テ右ノ上告ノ權利ハ本法ノ仲裁裁判ニ適用セラレザルモノトス尙仲裁裁判人ハ要求セラレタル小作料ノ引上額ガ本法第一章ノ效力ヲ發生セザリシ場合ニ得ベカリシ額ヲ超過スル額ノミヲ定メ且引上金額ハ其ノ一部分ノミニ不法ニシテ他ハ合法ナルカ又ハ全部不合法ナルカヲ定ムレバ足ルモノトス

(七)小作人ガ小作料ノ引上ニ對シ審理ヲ受クル權利ヲ適用センニハ其ノ小作人ハ本條ノ適用ナキ場合ニハ支拂ハザルベカラザル引上小作料ヲ規定セル小作契約ヲ締結シ又ハ變更シタル後一年内ニ其ノ事件ヲ仲裁裁判ニ申立ツルコトヲ要求セル書面ニ依リ通告ヲ發セザルベカラズ併シ實際ニ於テハ地主ノ要求スル小作料ノ引上ガ本法ニ依リ許可セラレタル小作料ナリヤ否ヤニ關スル異議ガ起リタルトキハ其ノ當事者間ニ於テ本法ニ依リ仲裁裁判ニ申立ツルコトヲ條件トシテ小作料ノ引上ニ對シ先ヅ一時的ニ合意ヲナシ農業ノ進行ヲ圖ルヲ便利ナリトス然ラザレバ小作人ハ作付スルコト能ハズ徒ニ時日ヲ經過シ地主小作人兩者共不利益ヲ被ムルニ至ルベシ

(八)仲裁裁判ノ判定アル迄ハ地主ハ通常ノ方法殊ニ訴訟又ハ差押等通常ノ手段ニ依リ其ノ小作料ノ支拂ヲ強制スルコトヲ得ベシ然レドモ其ノ小作料ガ本法ニ依リ許可セラレタル額ヲ超過シタルコトヲ判決セラレ且其ノ小作料ガ既ニ支拂濟ナルトキハ小作人ハ將來支拂フベキ小作料ヨリ其ノ超過額ヲ控除スルコト又ハ訴訟ニ依リ強制シテ別ニ返還セシムル等ノ方

法ニ依リ之ヲ回收スベキモノトス

(九)本條ニ用ヒタル用語ハ千九百八年小作料法ノ用語ト同一ノ意義ヲ有スルモノトセリ而シテ同法ニ依ルトキハ小作契約トハ確定期限終身期限又ハ不確定期限ヲ以テスル土地ノ賃貸借又ハ其ノ契約地主トハ一定ノ期間小作料其ノ他ノ利益ヲ享有スル者小作人トハ小作契約ニ基キテ土地ヲ占有スル者又ハ其ノ遺言ノ執行者相續財產處分者後見人小作權ノ讓受人破産管理人其ノ他小作人ヨリ權限ヲ附與セラレタル者ヲ指稱ス尙千九百八年小作料法中ニハ小作地トシテ第四十八條一項ニ小作人ニ依リテ占有セラレタル土地ニシテ其ノ全部ガ農業若ハ牧畜其ノ一部ガ農業殘部カ牧畜又ハ其ノ全部若ハ一部ガ園藝ニ使用セラレ且小作期間小作人ガ地主ニ雇傭セラレザル者ヲ指稱スルモノトセリ併シ本法第十七條(一)ニハ農業ノ定義ヲ頗ル廣凡ニ定メタルヲ以テ右ノ小作ノ定義ト本法ノ農業ノ定義トヲ合セ本法ニ依リ小作地トナストキハ本法ノ趣旨ニ適スル解釋トナル

### 第四章 適當ナル耕作強制ノ權限

#### 第九條

適當ナル耕作強制スル權限

(一)農務水産省ニ於テ  
 (イ)或ル土地ガ善良ナル經營法ニ依リテ耕作セラレザルカ又ハ  
 (ロ)國民ノ利益ニ於テ食糧ノ生産ヲ増加スル爲或ル土地ノ耕作法又ハ用途ヲ變更スベキモノト認メタルトキハ

(三)農務水産省ハ其ノ土地ヲ善良ナル方法ニ依リテ耕作セシメ又ハ其ノ土地ノ耕作法若ハ用途ノ必要ナル變更ヲ爲サシムル爲ニ其ノ土地ノ占有者ニ對シ農務水産省ノ命ズル指定ニ從ヒテ其ノ土地ヲ耕作スベキコトヲ要求セル通告ヲ發スルコトヲ得

右ノ土地ガ小作人ノ占有ニ屬スル場合ニ於テ右ノ指定ニ從フコトガ小作契約ノ條件又ハ小作契約證書ノ規定ノ破棄若ハ不履行トナルトキハ農務水産省ハ右ノ通告又ハ追加通告ヲ以テ其ノ契約證

書又ハ小作契約ノ條件ニシテ右ノ指定ニ從フコトニ依リ抵觸スル部分ヲ停止スルコトヲ得<sup>(六)</sup>  
農務水産省ハ右ノ契約證書又ハ小作契約ノ條件ノ停止ニ依リ小作人ニ生ゼシメタル又ハ生ゼシメ  
得ベキ利益若ハ便益ニ應ジ正當ト認ムル金額又ハ便益ヲ地主ニ獲得セシムルコトヲ得此ノ場合ニ  
於テ其通告ノ規定ハ小作契約ノ中ニ包含セラレタルト同一ノ効力ヲ有ス<sup>(七)</sup>

本條ノ規定ニ依リテ通告ヲ發セラレタル者ニシテ其ノ通告ニ依リ支障ヲ生ズベキ場合ニ於テハ別  
ニ定ムル期限内ニ於テ其ノ土地ガ善良ナル方法ニ依リテ耕作セラレタル又ハ食糧生産ノ爲ニ其ノ  
通告ニ記載セラレタル土地ノ如何ナル部分ニモ變更ヲ加フベキコトヲ不適當ト認ムル旨ノ異議ヲ  
本法本章ノ規定ニ依ル仲裁裁判ニ申立ツベキ請求ヲ爲スコトヲ得<sup>(八)</sup>

右ノ仲裁裁判ニ異議ヲ申立タルトキハ其ノ申立ガ決定セラル、迄又ハ仲裁裁判ノ決定スル條件ニ  
依ル場合ヲ除クノ外農務水産省ニ於テ命ジタル指定ヲ強制スル爲ニ如何ナル行爲ヲモ爲スコトヲ  
得ズ通告ヲ發セラレタル者ガ小作人ナル場合ニ於テハ地主ハ小作人ガ仲裁裁判ニ異議ヲ申立ツベ  
キ請求ヲ爲シ得ルト同一ノ權利ヲ有ス<sup>(九)</sup>

(二) 通告ヲ小作人ニ發シタルトキハ同時ニ通告ノ謄本ヲ地主ニ發スルコトヲ要ス<sup>(六)</sup>

(三) 或ル土地ノ占有者ガ農務水産省ノ命令シタル指定ニ從ヒテ其ノ土地ヲ耕作セザリシモノト認  
メタルトキハ農務水産省ハ別ニ定ムル通告ヲ發シタル後土地ノ占有者ガ小作人ナル場合ニ於テハ  
事情ニ應ジテ地主ニ小作ヲ停止スルノ權限ヲ附與シ又ハ小作ヲ停止セシムル命令ヲ發スルコトヲ  
得土地ノ占有者ガ小作人ナラザル場合ニ於テハ其ノ土地ヲ耕作シ又ハ其ノ土地ヲ小作ニ附スル爲

必要ナル期間農務水産省又ハ農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル者ニ於テ其ノ土地又ハ其  
ノ土地ノ一部分ヲ占有シ之ヲ耕作シ又ハ耕作ニ對スル改良ヲ爲スニ必要ナル一切ノ手段ヲ執ルコ  
トヲ得<sup>(十)</sup>

右ノ命令ハ小作ガ停止セラレタル場合ニ於テ地主及小作人ノ關係ヲ整理スル爲ニ必要ナル規定ヲ  
包含セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ規定ハ小作契約ノ中ニ包含セラレタルト同一ノ効力ヲ  
有ス<sup>(十一)</sup>

(四) 農務水産省ガ或土地ヲ占有シタル後三月内ニ其ノ占有ノ時ニ於テ現ニ其ノ土地ヲ占有シタル者  
ヨリ其ノ土地ノ建物垣通路排水渠溝渠及耕作ノ狀況ニ關スル記録ヲ作製スベキ旨ノ請求アリタル  
トキハ其ノ請求アリタル時ヨリ三月内ニ合意ニ依リテ指定セラレタル者又ハ合意有ラザル場合ニ  
於テハ土地調査局總裁ノ指定シタル者ヲシテ之ヲ作製セシムベシ

右ノ合意有ラザル場合ニ於テ其ノ記録ノ作製ニ要シタル經費ハ農務水産省及土地ヲ占有シタル者  
等分シテ之ヲ支辨ス<sup>(十二)</sup>

(五) 本條ノ規定ニ依リ土地ヲ占有シタルトキハ農務水産省ハ別ニ定ムル通告ヲ發シタル後地主ノ同  
意ヲ得テ農務水産省ノ適當ト認ムル條件五年ヲ超エザル適當ナル期間及其ノ條件並期間ニ應ジ合  
理的ニ收得シ得ベキ最モ適當ナル小作料ヲ以テ其ノ土地又ハ其ノ土地ノ一部分ヲ貸附スルコトヲ  
得此ノ場合ニ於テ<sup>(十三)</sup>

(イ) 農務水産省ハ本條ノ規定ニ依リ小作契約ヲ締結スル前ニ其ノ契約書案ヲ地主ニ送附シ其ノ小

作契約ノ規定ニ對スル異議ヲ申立ツベキ適當ノ機會ヲ與フルコトヲ要ス且(十四)

(ロ) 其ノ小作契約ヲ締結シタルトキハ遲滯ナク其ノ贖本ヲ地主ニ送附スルコトヲ要ス

(六) 本條ノ規定ニ依リ小作契約證書又ハ小作契約ノ條件ヲ停止セシムル爲ニ農務水産省ノ交付シタル通告ハ之ニ依リテ破棄又ハ不履行ガ有効トナリタル範圍内ニ於テ其ノ小作契約證書又ハ小作契約ノ條件ノ破棄若ハ不履行ニ對スル取消ノ訴其ノ他ノ訴訟ニ對シ充分ナル抗辯タリ得ベシ(十五)

(七) 或ル土地ノ小作ガ農務水産省ニ依リテ設定セラレタル後其ノ地主ガ農務水産省ニ對シ其ノ小作ノ取消ヲ請求シタルトキハ農務水産省ハ遲滯ナク之ヲ取消スコトヲ要ス(十六)

(八) 農務水産省ニ於テ本條ニ依リ占有シタル土地ノ占有ヲ取消ス場合ニ於テハ

(イ) 農務水産省ハ其ノ取消ヲ爲ス時ヨリ少ナクトモ三月前ニ(取消ガ地主ニ依リ請求セラレタル場合ハ之ヲ除ク)其ノ占有回收ノ權利ヲ有スル者ニ對シ農務水産省ノ計畫ヲ記載シタル別ニ定ムル通告ヲ發スルコトヲ要ス

右ノ通告ハ其ノ地方ノ慣習ニ從ヒ半年ノ日數ヲ經過スルトキハ其ノ効力ヲ失フ

(ロ) 農務水産省ハ其ノ施行シタル耕作又ハ耕作改良ノ一切ノ行爲ニシテ占有回收ノ權利ヲ有スル者ニ對シ値スベキ金額ヲ其ノ占有回收ノ權利ヲ有スル者ヨリ回收スルコトヲ得(十七)

(ハ) 占有ノ取消ヲ爲シタル土地ハ小作ガナカリシモノト假定スルトキハ占有回收ノ權利ヲ有セシ者ニ依リ新ニ小作ヲ設定セラレタルト同一ニ農務水産省ニ依リテ新ニ設定セラレタル小作ニ從フベキモノトス(十八)

〔註〕(一)本法ハ第十一條(三)ニ於テ國民食糧ヲ維持スル目的ヲ有スル國防法ガ現在有スル效力ヲ失フ迄本章ノ實施ヲ延期スル旨ヲ規定セリ

(九) 本條ノ規定ニ依リテ通告又ハ命令ヲ發セラレ若ハ占有セラレタル土地ニ關シ利害關係ヲ有スル者及本條ノ規定ニ依リ附與セラレタル權限ノ行使ニ因リテ損害ヲ受ケタル者ハ其ノ權限ヲ行使セラレタル後一年内別ニ農務水産省ノ定ムル期間經過前ニ農務水産省ニ請求シ其ノ損失ニ相當スベキ金額ヲ年金其ノ他ニ依リ農務水産省ヨリ受クルコトヲ得(十九)

(十) 本條第八項又ハ第九項ノ規定ニ依リテ農務水産省ヨリ支拂ヲ受ケ又ハ回收スベキ金額ニ付合意有ラザル場合ニ於テハ本法本章ノ規定ニ依ル仲裁裁判ニ依リテ之ヲ決定スベキモノトス

(二)本條ノ規定ニ依ル農務水産省ノ適當ナル耕作強制ノ權限ハ左ノ二ノ場合ニ之ヲ適用スベキモノトス

(イ)或ル土地ガ善良ナル經營法ニ依リテ耕作セラレザルトキ

(ロ)或ル土地ガ善良ナル經營法ニ依リテ耕作セラレト否トニ拘ラズ國民ノ利益ニ於テ食糧供給ヲ増加スル爲從來牧場又ハ農業ニ非ザル目的ニ使用セラレタル土地ヲ耕作シ之ニ穀類ノ作物ヲ爲シ小麥馬鈴薯若ハ甘蔗等ノ特殊ノ作物ノ生産ヲ増加スルノ目的ヲ以テ作物ノ輪作ヲ變更シ又ハ其ノ土地ノ耕作法又ハ使用法ヲ變更スベキモノト認メタルトキ

右ノ二ノ場合ニ於テ農務水産省ハ本章ノ規定ニ依リ食糧生産ノ爲ニ或ル土地ヲ如何ニ利用スベキカヲ命スルコトヲ得ルモノニシテ其ノ權限ハ食糧用ノ穀類及馬鈴薯ノ生産ヲ増加スル目的ヲ以テ永久牧草地又ハ輪作草地ノ耕起ヲ行ハシムル爲ニ行使セラレハ普通トスベシ併シ凡テノ輪作草地ヲ耕起スベキモノニ非ズ或ハ國民食糧増殖上草地ヲ耕起スルコトヲ適法ニ阻止スルガ如キ場合存スヘシ乳牛飼養ノ爲ニ要スル牧草地保存ノ必要等即チ其ノ適例ナリ又耕作強制ノ權限ノ行使ニ依リ永久牧草地ヲ耕作地ト爲ス爲ニ家畜ノ頭數ヲ減少セシムルガ如キハ全然必要ナキコトニシテ本法ハ此ノ如キ主旨ヲ有スルモノニ非ザルベシ蓋シ英國ニ於テハ他國ニ比シ家畜一頭當リ牧草地ノ面積甚大ナルヲ以テナリ尙耕作面積ノ擴張ハ之ヲ別トスルモ人造肥料ノ増施及其ノ適當ナル施用ニ依リテ食糧生産ノ増加ヲ期スルコトヲ得ベシ本條ノ規定ニ依ル農務水産省ノ命令ハ施肥ニ關スルモノヲモ充分包含スルモノト云フベシ



- (三)土地ノ耕作ト土地ヲ林場草場又ハ牧場トシテ使用スル場合ヲモ包含ス(第十七條(一))
- (四)土地ノ使用ヲ變更シ得ル權限ハ農業ノ目的ニ使用スル土地ノミニ限定セラレズ運動場トシテ放置セラレタル土地又ハ單ニ休閑地トセル土地ニ對シテモ及ボスコトヲ得ルモノトス
- (五)土地ノ占有者トハ實際耕作スルニ足ル占有者ヲ意味スルモノニシテ土地ガ單ニ狩獵ノ爲ニ占有セシメタルトキハ本法本章ノ目的ニ對シテハ寧ロ所有者ヲ占有者ト看做スベキモノトス
- (六)停止スル通告ハ小作契約ノ條件又ハ小作契約證書ノ規定ノ破棄又ハ不履行ヲ爲ス部分及ビ範圍ヲ明記スルヲ要ス小作契約ノ約款即チ條件又ハ規定ハ之ヲ嚴密ニ解釋スルトキハ小作契約證書ニ署名シテ同意シタル條件ノミナルモ廣ク一般ノ用語トシテハ署名セザル小作契約ニ依リテ同意セル條件ヲモ包含ス本條ノ主旨ハ廣ク解釋シ兩者ヲ包含スベキモノナリ法律ガ特ニ小作契約ノ條件又ハ小作契約證書ノ規定ト云ヘルハ之ガ爲ニ外ナラズ而シテ本條ノ規定ニ依リテ停止セラレタル條件又ハ規定ハ何時迄其ノ停止ガ繼續セラレベキモノナルヤ本法第十九條(二)ノ規定ニ依リテ千九百二十二年ノ末日ニ廢止セラレ、ヲ以テ右ノ停止モ本法ト同時ニ效力ヲ失フベキカ此ノ點ニ關シテハ多少疑義ナキニ非ザルモ本法ノ主旨ハ右ノ停止ハ(本法ガ更ニ繼續セラレザルモノトスルモ)本法ト共ニ消滅セシムルモノニ非ザルベシ蓋シ若シ本法ト共ニ消滅スルモノナリトセバ其ノ土地ハ本法ノ目的タル食糧生産上充分ノ效果ヲ舉ゲ得ザルベシ第九條(二)ノ規定ハ當ニ此ノ主旨ヲ包含スルモノト云フベシ次ニ作付輪作ヲ許可スル期間ハ五年以内ヲ以テ制限セラレベシ此ノ如キハ農務水産省ノ土地貸付期限ヲ五年ニ制限セルト一致スルヲ要スベキモノナレバナリ尙本法ノ廢止前ニ於テ農務水産省ニ依リ許可セラレタル小作契約ノ諸權利ハ之ガ五年以上ニ亘ラザル範圍ニ於テ本法ノ廢止セラレタル後ニ於テモ第十九條(二)ニ依リ其ノ效力ヲ有スルモノトセリ此ノ如キハ本法ノ目的タル國民食糧増殖ノ效果ヲ充分完フセシメシメガ爲ナリ且右ノ規定ハ永久牧畜地ニ付テ適用セラレ、ヲ普通トシ其ノ他ノ土地ニ付テハ其ノ適用ナカレベシ又右ノ小作ノ停止ヲ建物殊ニ住宅ヲ建築スルコトヲ條件トシテ貸貸セル土地ニ適用シ建物ノ建築ヲ中止シ園藝地ト爲スコトヲ得ルヤ否ヤニ付テハ疑義アリ併シ此ノ如キ停止ヲ惹起セシムルガ如キ農務水産省ノ命令ヲ發セザル標注意スルヲ策ノ得タルモノト爲スベシ
- (七)適當ナル耕作強制ニ關スル本條ノ規定ニ依ルトキハ所有者タルト小作人タルトヲ問ハズ其ノ土地ノ占有者ニ對シ善良ナル經營法ニ依リテ耕作スベキカ又ハ農務水産省ノ指定ニ依リ耕作ヲ變更ヲ爲スベキカヲ命ズルモノナルモ占有者ガ小作人ナル場合ニ於テハ農務水産省ノ指定ニ從フコトヲ阻止スベキカ小作契約又ハ其ノ約款ニ關シ小作人ヲ匡救スル爲ニ小作契約ノ條件又ハ約款ヲ停止スルモノトス而シテ此ノ場合ニ於テ農務水産省ハ小作約款ノ停止ニ依リ小作人ニ於テ收得セラレ又ハ收得セラレ得ベキ利益又ハ便益ニ相當セリト認ムル金額ノ支拂其ノ他ノ便益ヲ地主ニ獲得セシムルヲ得ルモノトス例ヘバ牧草地ヲ耕地ニ變換シタルガ爲小作人ガ其ノ土地ノ耕作ニ依リ草地トシテ放置セラレタルトキハ利用シ得ラザリシ土地ノ堆積肥料ヲ利用シ得タルガ爲確實ナル收益ノ増加ヲ收メ得タル場合等ニ於テハ小作料ノ引上ヲ爲サシムルコトヲ得ルガ如キ其ノ適例ナリ
- (八)仲裁裁判人ハ農務水産省ノ命令ヲ發シ又ハ命令ヲ適用スベキ土地ノ範圍ヲ制限シ得ル事明ナリ併シ農務水産省ノ命令ガ其ノ效力ヲ生ズル日ヲ決定スル事ヲ得ル者ノ如キモ此ノ點ニ關シテハ疑義ナキニ非ズ仲裁裁判ニ付テハ第十一條ニ規定セリ
- (九)本規定ニ依リ農務水産省ノ發スル通告ノ要求ニ對シ地主小作人又ハ土地ノ占有者爲ス所有者ノ何レモ仲裁裁判ニ出訴スル權利ヲ有セシメ以テ各其ノ權利ノ保護ヲ主張シ得ルコトトセリ
- (十)本規定ハ耕作ニ關スル本條ニ依ル通告ニ從ハザル場合ニ於ケル處分ノ方法ヲ定メタルモノナリ即チ(イ)通告ヲ發シタル占有者ガ小作人ナル場合ニハ農務水産省ノ命令ニ依リ同意セザル小作人ノ小作契約ヲ停止スルノ權限ヲ地主ニ附與シ又ハ農務水産省ノ命令ニ依リ小作契約ヲ停止ス(ロ)占有地ガ小作人ニ非ザル場合ニハ農務水産省ガ其ノ土地又ハ其ノ一部分ヲ爲ス土地ニ立入り之ヲ占有スルモノトス此ノ如クシテ農務水産省ガ土地ヲ占有シタルトキハ農務水産省又ハ農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル者ハ其ノ土地ヲ耕作シ又ハ其ノ耕作ノ改良ヲ爲スコトヲ得ベク且農務水産省ハ五年ヲ超エザル期間ニテ之ヲ貸付スルコトヲ得ベシ又土地ノ小作契約ガ地主又ハ農務水産省ニ依リテ停止セラレタルトキハ地主ハ其ノ土地ヲ再貸シ又ハ其ノ土地ヲ占有シ自ラ之ヲ耕作スベキモノトス併シ地主ニ於テ此ノ如クセザルトキハ農務水産省之ヲ占有シ之ヲ耕作シ又ハ其ノ土地ノ耕作ニ對シ改良ヲ爲シ且再貸ヲ爲スコトヲ得本項ハ農務水産省ノ占有ノ期間ニ付テ規定セズ農務水産省ノ自由意志ニ一任セラレタルモ五年以上ニ亘ルコト能ハザルベシ此ノ場合ニ於ケル耕作及耕作ニ對スル改良ハ廣キ意義ニ用ヒラレタルコト明ニシテ排水垣ノ築造其ノ他農務水産省ノ便宜ナリト認ムル凡テノ行爲ニシテ耕作ト關聯シタルモノヲ包含スルモノナリ
- (十一)小作契約ノ停止ノ權限ヲ附與スルコトニ依リ又ハ小作契約ヲ停止スル命令ニ依リ調整セラレ得ベキ地主及小作人ノ關係トハ改良ニ對スル賠償及肥料又ハ生育セル作物等ニ對スル支拂ヲ指稱セルモノナルベシ

爲ニ小作契約ノ條件又ハ約款ヲ停止スルモノトス而シテ此ノ場合ニ於テ農務水産省ハ小作約款ノ停止ニ依リ小作人ニ於テ收得セラレ又ハ收得セラレ得ベキ利益又ハ便益ニ相當セリト認ムル金額ノ支拂其ノ他ノ便益ヲ地主ニ獲得セシムルヲ得ルモノトス例ヘバ牧草地ヲ耕地ニ變換シタルガ爲小作人ガ其ノ土地ノ耕作ニ依リ草地トシテ放置セラレタルトキハ利用シ得ラザリシ土地ノ堆積肥料ヲ利用シ得タルガ爲確實ナル收益ノ増加ヲ收メ得タル場合等ニ於テハ小作料ノ引上ヲ爲サシムルコトヲ得ルガ如キ其ノ適例ナリ

(八)仲裁裁判人ハ農務水産省ノ命令ヲ發シ又ハ命令ヲ適用スベキ土地ノ範圍ヲ制限シ得ル事明ナリ併シ農務水産省ノ命令ガ其ノ效力ヲ生ズル日ヲ決定スル事ヲ得ル者ノ如キモ此ノ點ニ關シテハ疑義ナキニ非ズ仲裁裁判ニ付テハ第十一條ニ規定セリ

(九)本規定ニ依リ農務水産省ノ發スル通告ノ要求ニ對シ地主小作人又ハ土地ノ占有者爲ス所有者ノ何レモ仲裁裁判ニ出訴スル權利ヲ有セシメ以テ各其ノ權利ノ保護ヲ主張シ得ルコトトセリ

(十)本規定ハ耕作ニ關スル本條ニ依ル通告ニ從ハザル場合ニ於ケル處分ノ方法ヲ定メタルモノナリ即チ(イ)通告ヲ發シタル占有者ガ小作人ナル場合ニハ農務水産省ノ命令ニ依リ同意セザル小作人ノ小作契約ヲ停止スルノ權限ヲ地主ニ附與シ又ハ農務水産省ノ命令ニ依リ小作契約ヲ停止ス(ロ)占有地ガ小作人ニ非ザル場合ニハ農務水産省ガ其ノ土地又ハ其ノ一部分ヲ爲ス土地ニ立入り之ヲ占有スルモノトス此ノ如クシテ農務水産省ガ土地ヲ占有シタルトキハ農務水産省又ハ農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル者ハ其ノ土地ヲ耕作シ又ハ其ノ耕作ノ改良ヲ爲スコトヲ得ベク且農務水産省ハ五年ヲ超エザル期間ニテ之ヲ貸付スルコトヲ得ベシ又土地ノ小作契約ガ地主又ハ農務水産省ニ依リテ停止セラレタルトキハ地主ハ其ノ土地ヲ再貸シ又ハ其ノ土地ヲ占有シ自ラ之ヲ耕作スベキモノトス併シ地主ニ於テ此ノ如クセザルトキハ農務水産省之ヲ占有シ之ヲ耕作シ又ハ其ノ土地ノ耕作ニ對シ改良ヲ爲シ且再貸ヲ爲スコトヲ得本項ハ農務水産省ノ占有ノ期間ニ付テ規定セズ農務水産省ノ自由意志ニ一任セラレタルモ五年以上ニ亘ルコト能ハザルベシ此ノ場合ニ於ケル耕作及耕作ニ對スル改良ハ廣キ意義ニ用ヒラレタルコト明ニシテ排水垣ノ築造其ノ他農務水産省ノ便宜ナリト認ムル凡テノ行爲ニシテ耕作ト關聯シタルモノヲ包含スルモノナリ

(十一)小作契約ノ停止ノ權限ヲ附與スルコトニ依リ又ハ小作契約ヲ停止スル命令ニ依リ調整セラレ得ベキ地主及小作人ノ關係トハ改良ニ對スル賠償及肥料又ハ生育セル作物等ニ對スル支拂ヲ指稱セルモノナルベシ

(十二)本項ハ同意セザリシ占有者ガ小作人ニ非ザル場合即農務水産省ガ其ノ土地ヲ占有スル權限ヲ有スル場合ノミニ適用スルモノニシテ占有者ハ此ノ場合ニ建物垣其ノ他ノ狀況ノ記録ヲ求ムルノ權利ヲ有シ其ノ經費ハ合意有ラザル場合ニハ農務水産省及占有者ニシテ等分シテ支辨ス而シテ此ノ記録ハ建物等ノ破損又ハ第九項ニ依ル耕作ニ對スル評價ニ對シ賠償ヲ求ムル爲ニ用ヒラルベキモノトス

(十三)農務水産省ハ所有者ノ承諾ヲ得タルトキハ五年ヲ超エザル期間及合理的ニ取得シ得ベキ最モ適當ナル小作料ヲ以テ其ノ占有シタル土地又ハ其ノ一部分ニ貸附スルノ權限ヲ有ス此ノ場合ニ於ケル合理的ナル語ハ農務水産省ニ最高小作料ヨリモ低キ申込ヲ受理スル餘地ヲ與フルヲ目的トセルモノノ如シ右ノ如ク最高ノ小作料ヨリモ低キ申込ヲ受理スルコトハ農務水産省ガ食糧生産ノ爲ニ最善ナ期スル場合ニ於テ必要ナルコトニシテ相當資本ヲ有スル善良ナル經驗アル農業者ニ對シテハ他ノ善良ナラザル農業者ヨリ得ル小作料ヨリモ少キ小作料ヲ以テ貸附スル方法ノ目的ニ副フ場合アルベシ農務水産省ハ小作地ノ貸附ヲ公告シテ志望者ヲ募集シ食糧増殖及地主ノ利益ノ兩者ヲ考慮シテ貸附スベキ者ヲ選定スルノ義務ヲ有ス而シテ其ノ小作料ハ農務水産省ガ占有スル間ハ農務水産省ニ支拂ヒ農務水産省ヨリ地主ニ支拂フモノトス併シ此ノ場合ニ小作料ヲ以テ土地負擔ヲ勘定スルハ農務水産省ノ義務ナリヤ否ヤ法律ニ明文ナキモ本法律案ノ議會ニ於テ討議セラレタル際貴族院議員ミルナー男爵ノ政府ノ爲ニ説明セラレタル所ニ依レバ地主ハ租稅保險料其ノ他ノ負擔ヲ控除シ一年ニ於ケル殘餘額ノ支拂ヲ受クベキモノナリト即チ農務水産省ハ其ノ取立テタル小作料ヨリ地主ニ代リテ諸負擔ヲ勘定シ其ノ一年ノ殘餘額ヲ地主ニ支拂フモノト解釋スベキモノナルベシ

(十四)右ノ貸附ニ於テ農務水産省ハ實際小作契約ヲ締結スル前ニ其ノ下書ヲ所有者ニ送付シ以テ所有者ガ必要アリト認ムルニ於テハ其ノ約款ニ對シ異議ヲ申立テシムルコトトセリ而シテ所有者ニ有利ナル本項ノ規定ヲ明ニ次ノ如キ事由ニ基クモノナルベシ即チ本條(七)及(八)ノ規定ニ依リ農務水産省ガ其ノ占有ヲ取消シタルトキ(農務水産省ハ何時ニテモ其ノ占有ヲ取消スコトヲ得)土地所有者ハ舊ノ如ク地主トナリ且農務水産省ノ締結シタル小作契約ハ地主自ラ締結シタルモノトシテ將來其ノ小作契約ニ拘束セラルルヲ以テ豫メ土地所有者ヲシテ其ノ土地ニ影響スベキ小作契約ノ約款ヲ考慮スルノ機會ヲ得シムベキハ當然ナルベシ地主ニ異議アルトキハ再考セラレルハ勿論ナルモ併シ農務水産省ハ必ズシモ之ヲ容ルルヲ要セザルモノノ如シ尙異議ヲ申立ツベキ適當機會ハ耕作上季節ヲ急ク等特ニ緊急ノ事由アルニ非ザレバ一月以内ナルベシ

(十五)國防法令ニ關スル千九百十七年裁判所法(緊急事項ニ關スル權限ヲ規定シタルモノ)中ニ本項中ノ規定ト同様ノ規定ヲ有ス

(十六)所有者ハ農務水産省ニ對シ其ノ占有シタル土地ノ小作契約設立後其ノ小作契約ノ取消ヲ要求スル權利ヲ有ス農務水産省ガ適當ナル期間内ニ右ノ要求ニ應ゼザルトキハ所有者ハ除權訴訟其ノ他ノ方法ニ依リ其ノ權利ヲ主張スルコトヲ得ベシ

(十七)本規定ハ農務水産省ガ占有後其ノ土地ヲ貸付セズ農務水産省自ラ耕作シ又ハ耕作ニ對スル改良ヲ爲シタル場合ニ適用スルモノトス而シテ此ノ場合ニ占有ヲ取消サントスルトキハ農務水産省ハ土地ノ占有回收權利ヲ有スル者(即チ所有者占有者抵當權者其ノ他占有者ノ權利ヲ有スル者)ヨリ農務水産省ノ施行シタル耕作又ハ耕作ニ對スル改良ノ行爲ニシテ占有回收ノ權利ヲ有スル者ニ對シ値スベキ金額ヲ回收スルコトヲ得ルモノトス

(十八)本規定ノ效果トシテ農務水産省ニ依リテ土地ヲ貸付セラレタルトキハ農務水産省ガ其ノ占有ヲ停止スルト共ニ舊ノ所有者ガ其ノ地主ノ地位ニ復シ農務水産省ノ締結シタル小作契約ノ一切ノ約款及條件ハ其ノ儘其ノ地主ガ締結シタルモノト同様ニ効力ヲ發生シ地主ハ之ニ依リテ利益ヲ取得スルノ權利ヲ附與セララルト同時ニ之ニ對スル義務ヲ負擔スベク強制セララルモノトス

(十九)本項ノ規定ハ本條ノ規定ニ依リ占有セラレ又ハ小作ヲ停止セラレ若ハ耕作法ノ改良變更等ヲ強制セラレタルガ爲其ノ土地ノ所有者小作人其ノ他利害關係者有スル者ノ蒙レル損失ヲ農務水産省ヨリ回收スルコトヲ得シメタルモノナリ而シテ利害關係者有スル者トハ地主ノ小作人ハ勿論擔保權者其ノ他ノ權利ヲ有スル者ヲモ包含スルモノナルベシ今地主及小作人ニ付テ之ヲ例示センニ自ラ其ノ土地ヲ占有セザリシ所有者ハ牧草地ヲ耕起シ又ハ從來ノ輪作以外ノ耕作ノ作付ヲ爲ス等農務水産省ノ指定ニ從ヒタル爲又ハ農務水産省自ラノ行爲ニ依リ其ノ土地ニ損害ヲ蒙リタルモノニ付キテ賠償ヲ請求スルコトヲ得ベシ此ノ場合ニ所有者ハ其ノ損失ハ事實上其ノ指定ニ從ヒタル結果ナルコト又ハ土地ノ小作契約ガ農務水産省ニ依リテ停止セラレタルトキハ之ニ依リ作料ノ損失來シタルコトヲ農務水産省ニ示スコトヲ要ス次ニ土地ヲ占有シタル者(所有者タルト小作人タルトナ間ハズ)ハ農務水産省ノ指定ニ依ル土地ノ耕作又ハ使用ニ因ル利益ノ喪失農務水産省ニ依リ其ノ占有ヲ停止セラレタル場合ニ於テ其ノ行ヒタル耕作物ノ收穫前ノモノハ又ハ生育中ノ作物ニ對スル價格小作人ガ通常ノ方法ニテ期限ニ達シタルトキニ地主ヨリ賠償ヲ受クベキ權利ヲ有スル改良又ハ

其ノ占有ガ停止セラレザリシナラバ得ベカリシ將來ノ利益ニ對スル損失等ニ對シ損害ノ賠償ヲ爲スベキモノナリ右ノ金額ハ小作料ノ損失ニ對スル賠償ノ場合ト同様ニ年金ニ依リテ支拂ハルベキモノトス茲ニ注意スベキハ此ノ請求ハ其ノ權限ヲ行使セラレタル後一年內ニ於テ農務水産省指定シタル期限内ニ之ヲ爲スベキコト之ナリ而シテ其ノ權限ヲ行使シタル後一年ハ何時ヨリ計算スベキカ耕作強制ノ通告又ハ命令ヲ發シタル日ナルカ又ハ其ノ通告又ハ命令ノ效果ヲ發生シタル日ナルカ疑義アリ併シ損害ヲ生ズルハ其ノ強制ガ實際施行セラレタル日以後ナルヲ以テ本規定ノ權限行使ノ日モ同様ニ解釋スベキモノナリ

第十條

作物其ノ他  
ニ對スル  
損又ハ有害  
ノ因ル毀  
除

- (一) 或土地ノ占有者ガ其土地ノ兔又ハ有害鳥獸ヲ充分ニ驅除セザリシガ爲其ノ作物立木牧草ガ毀損セラレタリト認メタルトキハ農務水産省ハ其ノ土地占有者ニ兔又ハ有害鳥獸ノ驅除ヲ爲スベキ適當ナル機會ヲ與ヘタル後其ノ土地ニ立入り兔又ハ有害鳥獸ヲ捕殺シ且收去スベキ權限ヲ書面ヲ以テ或ル者ニ附與スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ農務水産省ハ農務水産省ノ爲シタル行爲ニ關シ要シタル實費ヲ民事上ノ債權トシテ即決裁判ニ依リ土地ノ占有者ヨリ回收スルコトヲ得
- (二) 本條ノ規定ニ依リ農務水産省ヨリ附與セラレタル權限ニ基キテ行爲ヲ爲ス者ハ請求アリタルトキハ其ノ權限ヲ示ス證據ヲ呈示スルコトヲ要ス
- 右ノ權限ヲ附與セラレタル者ノ本條ノ規定ニ依リ附與セラレタル權利又ハ義務ノ行使ヲ妨害シタル者ハ即決裁判ニ依リ二十磅以下ノ罰金ニ處ス
- (三) 共有地ニ於テ兔又ハ有害鳥獸ヲ驅除スル權限ヲ附與セラレタル者ハ本條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ占有者ト看做ス

〔註〕(一) 或ル土地ノ占有者中ニハ土地所有者ニシテ占有者タルモノ及小作人ノ兩者ヲ包含ス  
 (二) 兔又ハ有害鳥獸ニ對スル定義ハ本法中ニ存在セザルモ兔ハ農業ニ對スル有害動物ナル點ニ關シテハ一般ニ地主及小作人間ニ其ノ見解一致セリ又兔ハ獵銃免許法中ノ有害動物ニハ非ザルモ千八百八十年狩獵法ニ於テハ狩獵動物中ニ編入セラル併シ兔ハ農業關係ニ於テハ小作人ハ其ノ作物ノ保護ニ必要ナル限リ普通法ニ依リテ之ヲ驅除スル權利ヲ有スルモノトス有害鳥獸ハ本法本章ノ主タル目的タル國家ノ利益ニ於ケル食糧生産ニ關聯シタル意義ヲ附與セラレベキモノナリ故ニ鼠野鼠其他狩獵鳥獸ニ非ル凡テノ野生鳥獸ニシテ耕作其他ノ農業生産ニ有害無益ナルモノヲ一切含ムコト明ナリ即チ有害鳥獸中ニハ狐斑鳩白嘴鴉雀金翅雀等ヲ包含セシムベキモノナリ

(三) 千八百八十年狩獵法ニ依リ土地ノ占有者ハ其土地ノ占有ニ從屬シ不可分ナルモノトシテ其ノ土地ニテ野生鳥獸ヲ捕殺收去スル權利ヲ有スルモノトセルモ本條ノ規定ニ於テハ更ニ進ンテ有害鳥獸ヲ驅除スベキコトヲ土地ノ占有者ノ義務トナシタルノミナラズ作物樹木又ハ枝葉ガ其隣接地ノ占有者ノ意慢ニ因リ隣接地ニ存在シタル兔又ハ有害鳥獸ニ因リ毀損セラレタル場合ニモ農務水産省ニ依リ權限ヲ附與セラレタルトキハ隣接地ニ立入り有害鳥獸ヲ驅除シ得ルモノトセリ勿論本條ノ規定ニ依ルトキハ最後ノ場合ニ於テハ農務水産省ハ隣接地ノ占有者以外ノ第三者ニ驅除ヲ命ズルコトヲ得ルモノトス假ヘバ甲ノ作物ガ乙ノ所有シ占有スル隣接地ニ隣接セル森林ヨリ來レル兔ニ依リ毀損セラレルトキハ農務水産省ハ此ノ事項ニ關シ乙ニ注意ヲ與ヘ且兔ノ驅除ニ適當ナル機會ヲ與ヘタル後其ノ合意ナルトキハ甲又ハ丙ヲシテ乙ノ森林ニ立入り森林中ノ兔ヲ捕殺收去スルノ權限ヲ與ヘ甲又ハ丙ノ行ヒタル仕事ニ對スル賃金ハ農務水産省ニ於テ之ヲ乙ヨリ回收スルコトヲ得ベシ但シ此場合ニ於テ隣接地ニ立入り權利ハ隣接地ノ占有者ガ明カニ兔又ハ有害鳥獸ヲ驅除スルコトヲ怠リタル事實アルニ非ザレバ附與セラレザルモノトス而シテ捕殺收去セラレタル兔又ハ其ノ他ノ動物ガ何人ノ所有ニ屬スルカニ付テハ何等明文ノ規定ナシト雖收去ナル語ヨリ解釋スルトキハ捕殺者ニ屬スルモノナルベシ又通常ノ場合ニ於テ兔其ノ他ノ野獸ガ現ニ捕殺驅除ヲ爲シ得ル權利ヲ有スル土地ヨリ逃去シ他ノ或ル土地ニ於テ他ノ或ル者ニ依リ不法ニ捕殺セラレタルトキハ其ノ兔其ノ他ノ野獸ハ其ノ上ニ於テ捕殺セラレタル土地ノ所有者所有ニ屬スルモノニシテ捕殺及收去ガ一ノ連續セル行爲ナルトキト雖捕殺セルモノノ所有ニ非ルナリ

本條ノ規定ニ依リ農務水産省ハ一人以上ノ者ガ土地ニ立入り權限ヲ附與スルコトヲ得ベシ右ハ狩獵法ニ於ケル規定ト異ナレリ該法ニ於テハ一人ノミニ限リタリ尙農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル者ハ兔ノ捕殺ニ付千八百八十年狩獵法第六條ノ規定ヲ遵守スルヲ要ス如何トナレバ同法第六條ニハ同法及其他ノ法律ニ依ル場合ヲ廣ク規定シ本法ニハ其ノ例外ナル旨ノ規定ナケレバナリ該法第六條ノ規定ヲ示セバ左ノ如シ

本法其ノ他ニ依リ狩獵鳥獸ヲ捕殺スル權利ヲ有スル者ハ日没一時間後日出一時間前ノ間ニ於テ狩獵鳥獸ヲ捕殺スル爲ニ銃器ヲ使用スルコトヲ得ズ且右ノ者ハ狩獵鳥獸ヲ捕殺スル爲ニ兎穴ヲ除クノ外彈キ農又ハ毒ヲ使用スルコトヲ得ズ有害鳥獸ニ付テハ農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル者ハ右ノ場合ヲ除キ毒ヲ使用スルコトヲ禁止セラルルノミナリ但シ鳥ノ捕殺ニ付テハ千八百八十年及千八百八十一年野生鳥類保護法ノ規定ニ依リテ拘束サルルモノトス即チ同法ニ依ルトキハ土地ノ占有者ガ禁止セラレザル鳥類ヲ捕殺シ得ル例外ノ場合ヲ除キ一般ニ三月一日ヨリ八月一日迄ノ間ニ於テハ野生鳥類ヲ捕獲スルコトヲ得ザルモノトス

(四)農務水産省ガ土地ノ占有者ヨリ回收スベキ金額ハ實費ニ相當スベキモノニシテ捕殺シタル兎等ノ價額ハ捕殺費中ヨリ控除スベキモノナリ

第四章ニ適用スベキ一般の規定

第十一條 (一)本法本章ノ仲裁裁判ハ千九百八年小作法附款第二ノ規定ニ依ル單獨仲裁裁判人ニ於テ之ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テ仲裁裁判人ノ選定ニ關シ合意有ラザルトキハ仲裁裁判人ハ土地調査局總裁之ヲ指定ス

(二)農務水産省ハ一又ハ一以上ノ縣若ハ府ニ互ル地域ニ付別ニ定ムル方法ニ依リ組織セラレタル團體ニ對シ農務水産省ニ對スル別ニ定ムル訴ヲ條件トシテ本法本章ノ規定ニ依ル農務水産省ノ權限ヲ農務水産省ノ爲ニ行使スベキ權限ヲ附與シ農務水産省ニ於テ適當ト認メタルトキハ其ノ團體ニ於テ發セラルベキ告知又ハ其ノ他ノ手續及效力ヲ規定スルコトヲ得

右ノ團體ニ關スル規定ハ其ノ設立セラレベキ團體ガ最初ニ於テハ本法本章ノ施行前縣又ハ府ニ互ル地域ノ爲ニ國防法ノ規定ニ依リテ設立セラレタル戰時農業實行委員會ノ會員ヲ以テ組織セラレ又ハ之ヲ包含スベキコトヲ定ムルコトヲ要ス

(三)食糧品ノ供給ニ關シ國防法ニ依リ農務水産省ニ附與シタル權限ニシテ本法本章ノ規定ニ依リ行

使スルコト、ナリタルモノハ本法通過後一年ヲ經過シタル時又ハ現在ノ戰爭終止シタル時ノ内其ノ早キ日ニ於テ國防法ニ依ル行使ハ本法本章ノ規定ニ依リ之ヲ行使スベキモノトス

(四)本法本章ノ規定中別ニ定ムルトハ農務水産省令ヲ以テ定ムル場合ヲ謂フ

〔註〕(一)本法本條ニ關シテ起ルベキ異議ハ農務水産省ト他ノ者トノ間ニ關スルモノナルヲ以テ合意有ラザルトキハ仲裁裁判人ハ

農務水産省ニ於テ任命セラレズシテ土地調査局總裁之ヲ指定スルモノトセリ

(二)本項ノ規定ハ國防法ニ依リ組織セラレタル戰時農業委員會ト同種ノ團體組織セシメ本法施行ノ補助機關ト爲サムトスルニ在リ而シテ戰時農業委員會ハ戰時食糧増殖上重大ナル働ヲ爲シタルノミナラズ尙左ノ如キ各種ノ事業ヲ爲セリ

(イ)土地ノ耕作者ガ軍隊ニ徵集セラレタルトキハ又ハ軍隊ヨリ農地ニ歸還シタルトキハ其ノ報告ヲ爲スコト

(ロ)或ル農地ニ勞力不足セルトキハ直ニ之ヲ國民勞務局ニ報告シテ其ノ必要ナル勞力ヲ得ルコト

(ハ)馬其ノ他ノ家畜賣却ノ許可ヲ爲スコト

(ニ)農業ノ爲ニ必要ナル石油其ノ他動力油ニ對スル許可ヲ爲スコト

(三)國民ノ食糧供給ヲ増加スル目的ヲ以テ國防法ニ依リ農務水産省ニ附與シタル權限ハ同法第二條(チ)及第三條(ツ)ニ規定セリ今其ノ内容ヲ示セバ左ノ如シ

(イ)農務水産省ハ食糧管理官ト協議シタル後國民食糧供給増加ノ爲國防法ニ依リ附與セラレタル權限ヲ行使スルヲ便宜ナリト認ムルトキハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

(1)或ル土地ガ國民ノ食糧供給ヲ出來得ル限リ増加セシムル様耕作セラレザリシモノト認メタルトキハ其ノ土地ニ立入り之ヲ占有シ且占有シタル後其ノ土地ノ耕作又ハ耕作ノ改良ニ關シ必要又ハ便宜ナリト認ムル一切ノ行爲ヲ爲スノ外其ノ目的若ハ其ノ目的ヲ達スル爲其ノ土地ノ建物ニ立入り且之ヲ占有スルコト右ノ占有シタル土地ヲ耕作セシムル爲小作契約其ノ他ノ方法ニ依リ或ル者ニ之ヲ貸附スルコト

(2)農業用器具器械又ハ設備(商業者又ハ工業者ノ占有又ハ支配ニ屬スル器具器械又ハ設備ハ之ヲ除ク)若ハ農產物家畜又ハ動物ニシテ農務水産省ガ土地ノ耕作又ハ國民食糧供給増加ノ爲必要ナリト認ムルモノヲ占有スルコト

(3)國民食糧供給増加ノ爲水利又ハ動力ヲ利用スルコト

- (4) 或ル土地ノ占有者ニ對シ國民ノ食糧供給増加ノ爲必要且便宜ナリト認メタル方法ニ依リ其ノ土地ヲ耕作スベキコトヲ要求セル通告ヲ發スルコト
- (5) 或ル土地ノ占有者ニ對シ通告ヲ發シ其ノ通告中ノ條件ニ從ヒテ垣塙ヲ修繕シ除去シ又ハ自然若ハ人工ノ溝渠又ハ排水渠ヲ浚渫シ修繕シテ其ノ土地ノ排水ヲ良好ニシ以テ其ノ土地ノ耕作ノ改良ヲ爲スコトヲ要求スルコト
- (6) 一般ニ又ハ特定ノ土地ニ對シ通告ヲ發シ其ノ通告中ニ特定セル作物ノ耕作ニ付土地ノ使用ヲ禁止シ又ハ制限シ又ハ一定ノ期間内ニ其ノ土地ヲ耕起スルコトヲ要求スルコト
- (7) 或ル土地又ハ其ノ土地ノ一部分ガ國民ノ食糧供給ヲ出來得ル限り増加セシムル様耕作セラレザリシモノト認メタルトキハ其ノ土地ノ小作人ニ通告ヲ發シ其ノ通告中ニ特定シタル日ニ其ノ小作契約ヲ停止シ又ハ地主ノ申請ニ依リ地主ニ對シ命令ヲ發シ其ノ命令中ノ條件ニ從ヒテ小作契約ヲ停止スルノ權限ヲ附與スルコト
- (8) 土地ノ占有者又ハ其ノ耕作ノ經營ヲ爲ス者ニ通告ヲ發シ其ノ通告中ニ指定シタル時期方法ニ依リ且指定シタル者ニ對シ其ノ土地ノ耕作作物又ハ家畜其ノ他農務水産省ノ要求スル事項ニ付報告ヲ爲スコトヲ要求スルコト但シ其ノ報告又ハ報告ノ一部分ハ國防法ニ依リ訴訟ノ爲ニスル外ハ之ヲ公表又ハ開示セザルコト
- (ロ) 農務水産省ハ地方官ニ對シ或ル土地ニ關シ國防法ニ依リ權限ヲ農務水産省ニ代リテ行使スルノ權限ヲ附與スルコトヲ得
- (ハ) 或ル土地ノ占有者ハ國民食糧供給増加ノ爲土地ノ小作契約ト抵觸セザル方法ニ依リ其ノ土地ノ耕作計畫ヲ定メ之ヲ農務水産省ニ提出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ農務水産省ハ其ノ計畫ノ採用ガ食糧供給増加ノ爲必要且便宜ナリト認ムルトキハ之ニ適當ト認ムル修正ヲ加ヘタル後其ノ計畫ニ依リ耕作ヲ其ノ小作人ニ命ズルコトヲ得
- (ニ) 國防法ニ依リ官吏ノ權限ノ行使ニ反對シ干渉シ又ハ之ヲ妨害シタル者國防法ノ規定ニ違反シ報告ノ全部又ハ其ノ一部ヲ開示シ又ハ公表シタル者土地又ハ建物ニシテ農務水産省ノ占有ヲ要求シタルモノニ對シ法律上ノ根據ナクシテ其ノ占有若ハ其ノ引渡ヲ拒ミタル者國防法ニ依リ或ル行爲ヲ要求シタルモノニシテ懈怠又ハ惡意ニ依リ其ノ通告ノ要求ニ從ハザル者又ハ報告ヲ爲スベキコトヲ要求シタル通告ニ對シ眞實ニ非ザル報告ヲ爲シタル者ハ即決裁判ニ依リ犯罪トシテ處罰セラレベキモノトス
- (ホ) 農務水産省ガ國防法ニ依リ占有シタル土坑ノ占有ヲ停止シタルトキハ農務水産省ハ其ノ土地ノ所有者小作人等其ノ

土地ニ付テ利益ヲ受クベキ者ヨリ農務水産省ノ行ヒタル耕作又ハ耕作ノ改良ニ對スル一切ノ行爲ガ其ノ者ニ對シ價スル金額ヲ回收スルコトヲ得此ノ金額ニ付合意有ラザルトキハ千九百八年小作法附款第二ノ規定ニ依リ單獨仲裁裁判人ニ之ヲ決定ス

- (ハ) 農務水産省ニ依リ權限ヲ附與セラレタル者ハ其ノ權限ノ範圍内ニ於テ國防法ノ目的ノ爲土地又ハ建物ニ立入り之ヲ調査シ之ニ附屬スル農業用器具器械家畜又ハ生産物ヲ調査スルコトヲ得
- (ト) 農務水産省ハ或ル土地又ハ或ル地方ノ土地ニ對シ國防法ニ依リ農務水産省ノ權限ヲ農務水産省ニ代リテ行使セシムル爲個人又ハ農務水産省ノ組織セル團體ニ權限ニ委任シ且其ノ團體ノ手續又ハ委任セラレタル團體又ハ個人ノ發スル通告又ハ書類ノ認證ニ關シ規定スルコトヲ得
- (チ) 土地ノ占有ヲ停止シタルトキハ農務水産省ハ國防法ニ依リ其ノ權限ヲ行使シタル爲損害ヲ受ケタル者ニ對シ賠償ヲ爲スコトヲ要ス右ノ賠償金額ニ付合意有ラザルトキハ千九百八年小作法附款第二ノ規定ニ依リ單獨仲裁裁判人ニ之ヲ決定ス
- (四) 國防法ニ基ク農務水産省ノ權限ハ千九百十八年八月二十一日又ハ現在ノ戰爭終了ノ日ノ内其ノ早キ日ニ於テ其ノ效力ヲ失フベク之ト同時ニ本法第四條ハ其ノ效力ヲ發生スルモノトス

第五章 總 則

第十二條 (一) 農務水産省ハ本法ニ依リテ附與セラレタル命令制定ノ特別ノ權限外本法施行ノ爲一般ニ

命令ヲ制定シ且特ニ

- (イ) 本法第一章ニ依ル補償金支拂請求ノ形式及其ノ請求ヲ辨護スルニ必要ナル證據ニ關スル規定及
- (ロ) 現金ヲ以テ支拂フベキ賃金ニ代ヘテ勘定スベキ利益又ハ便益(法律ヲ以テ禁止セラレタル利益又ハ便益ハ之ヲ除ク)及其ノ勘定ヲ爲スベキ價格ヲ確定スベキ農業賃金局ニ對スル請求現金ヲ以テ支拂フ賃金ニ代ヘテ勘定スル利益又ハ便益ノ制限又ハ禁止ヲ爲スベキ農業賃金局ノ權限附與並

雇主又ハ労働者ノ請求ニ依リ右ノ利益又ハ便益ノ價格若ハ一般的雇傭契約ニ關シテ生ズベキ爭議ニシテ本法規定ヲ適用スベキモノヲ決定スベキ農業貸金局ノ權限附與ニ關スル規定及

(ハ) 時間外勤務トシテ取扱フベキ雇傭ノ時間外勤務ニ對スル特別貸金率ヲ決定スベキ農業貸金局ニ對スル請求ニ關スル規定ヲ制定スルコトヲ得

(ニ) 本法ニ基キテ制定シタル命令ハ遲滞ナク議會ニ之ヲ提出スベシ其ノ提出アリタル後兩院ノ一ヨリ其ノ院ニ於テ其ノ命令ヲ廢止セラルベキ旨ノ上奏ヲ議決シタル日ヨリ後ノ二十八日內ニ其ノ命令ヲ廢止セラルベキ旨ヲ陛下ニ上奏シタルトキハ陛下ハ其ノ命令ヲ廢止シ其ノ命令ハ將來ニ向テ效力ヲ失フ但シ其ノ命令ニ依リ既ニ行使シタルモノ、效力ハ之ヲ侵害セズ

〔註〕(一)本條ハ第一現金ノ代リニ貸金ノ一部トシテ労働者ニ給付スル便益又ハ利益ノ算定ニ關スル問題ヲ規定セリ

土地ニ立入  
リテ調査ヲ  
爲ス權限

第十三條 農務水産省又ハ其ノ權限ヲ行使スル團體ニ依リ農務水産省ノ有スル權限ヲ附與セラレタル者ハ本法施行ノ爲(若シ要求アリタルトキハ)其ノ權限ヲ示スベキ證據ヲ呈示シテ或ル土地ニ立入り且其ノ土地ヲ調査スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ調査ヲ爲スベキ日ヲ豫メ其ノ土地ノ占有者ニ通告スルコトヲ要ス

本條ニ依リ權限ヲ附與セラレタル者ノ本法施行ノ爲或ル土地ニ立入ルコトヲ妨害シタル者ハ即決裁判ニ依リ二十磅以下ノ罰金ニ處ス

官吏ノ任命  
及其ノ權限

第十四條 (一)農務水産省ハ苦情ノ調査其ノ他本法第二章ノ規定ノ適當ナル適用ヲ確保スルガ爲必要ト認ムル官吏ヲ任命スルコトヲ得

農務水産省ニ於テ定メタルトキハ右ノ任命セラレタル官吏ハ農業貸金局ノ指揮ニ從テ執務スルコトヲ要ス

(二) 前項ニ依リ任命セラレタル官吏ハ

(イ) 農業ニ雇傭セラレタル労働者ニ支拂ヒタル賃金表其ノ他賃金ニ關スル記録ノ呈示ヲ命ジ之ヲ検査シ且其ノ謄本ヲ作成スルコトヲ得

(ロ) 農業ニ雇傭セラレタル労働者ノ雇主ヲシテ其可能ナル範圍內ニ於テ労働者ノ雇傭又ハ之ニ支拂ヒタル賃金ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

(三) 本條ノ規定ニ依リ或ル官吏ノ請求シタル書類ヲ呈示スルコト及其ノ請求シタル報告ヲ爲スコトヲ拒ミタル者又ハ本條ニ依リテ附與セラレタル權限ヲ行使スル官吏ニ對シ虚偽ナルコトヲ知りテ報告ヲ爲シ若ハ記録ヲ呈示シタル者ハ即決裁判ニ依リ十磅以下ノ罰金又ハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

農事ニ關ス  
ル報告ヲ徵  
スル權限

第十五條 (一)農務水産省ハ命令ニ依リ或土地ノ占有者又ハ其ノ管理者ニ對シ其ノ定ムル期限及形式ニ依リ且其ノ定ムル者ニ對シ其ノ土地ノ耕作其ノ土地ニ存在スル作物及家畜並其ノ土地ノ所有者ヲ書面ニ記載シテ申告スベキコトヲ要求セル通告ヲ發シテ本法ニ依ル權限ヲ適當ニ行使スル爲ニ必要ナル報告ヲ徵スルコトヲ得

(二) 本條ノ規定ニ依ル各報告又ハ其ノ一部分ハ本法ニ依ル起訴其ノ他ノ訴訟ノ目的ノ場合ヲ除ク外之ヲ公表又ハ開示スルコトヲ得ズ

(三) 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ即決裁判ニ依リ二十磅以下ノ罰金又ハ裁判ニ於テ故意ヲ以テ犯罪ヲ犯シタルモノト認メタルトキハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮ニ處ス

(イ) 本條ノ規定ニ依ル報告ヲ其ノ知り且信ズル範圍内ニ於テ最モ善良ニ爲スコトヲ拒ミ又ハ法律上ノ事由ナクシテ之ヲ怠リタル者

(ロ) 如何ナル場合ニ於テモ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者

(ハ) 本條ノ規定ニ違反シテ各報告又ハ其ノ一部ヲ開示シ若ハ公表シタル者

經費ニ關スル規定

第十六條 本法ニ依リテ支拂フべき農務水産省ノ經費及本法ノ規定又ハ本法ノ效力ニ依リ權利又ハ義務ヲ附與セラレタル農務水産省又ハ他ノ省若ハ團體ノ經費並農業貸金局又ハ其ノ地方委員會ノ經費ニシテ其ノ職員ガ其ノ職務ヲ行フカ爲ニ農務水産省ノ許可ヲ得テ支出シタルモノ及其ノ職員ノ時間ノ消費ニ對スル賠償トシテ農務水産省ノ許可ヲ得テ支拂ヒタル金額ヲモ含ムモノハ何レモ大藏省ノ承認シタル範圍内ニ於テ議會ニ於テ準備シタル金額ノ中ヨリ之ヲ支出スベシ

定義等

第十七條 (一) 本法ニ於テ

(イ) 農業中ニハ土地ヲ秣場草刈場牧場果樹園柵柳園樹林地蔬菜園又ハ苗床園ニ使用スルコトヲモ包含シ農業ヲ營ムハ之ニ準ジテ解釋スベシ且

(ロ) 耕作中ニハ土地ヲ秣場草刈場又ハ牧場ニ使用スルコトヲモ包含シ耕作スルハ之ニ準ジテ解釋スベシ且

(ハ) 労働者中ニハ男兒女子及女兒ヲモ含ム且

(ニ) 雇傭トハ勞務又ハ徒弟ノ契約ニ依リテ雇傭セラル、ヲ謂ヒ雇主及雇人ハ之ニ準ジテ解釋スベシ且

(ホ) クオーターハ小麥ノ場合ニ於テハ四百八十帝國封度トシ燕麥ノ場合ニ於テハ三百十二帝國封度トス

(二) 本法ニ依ル通告ハ本人ニ之ヲ手渡スルカ又ハ書留郵便ヲ以テ本人ニ之ヲ送附スルコトヲ要ス

第十八條 (一) 本法ハ左ノ變更ヲ加ヘテ之ヲ蘇格蘭ニ適用ス

蘇格蘭及愛蘭ニ對スル本法ノ適用

(イ) 蘇格蘭農務水産省ヲ農務水産省ニ代フ

(ロ) 農業貸金局ノ設置ニ關スル本法第五條(一)ノ規定ハ蘇格蘭ニ之ヲ適用セズ本法附則第二ニ掲グル規定ハ本法第二章ニ包含セラレタルモノト看做ス

(ハ) 千九百八年小作(蘇格蘭)法ヲ千九百八年小作法ニ代フ

(ニ) 蘇格蘭農務省ガ本法ニ依ル仲裁裁判ノ當事者ノ一方タル場合ニ於テハ侵害セラレタル土地ノ存在スル執行官ノ主席執行官ヲ最初掲ゲタル法律ノ附則第二ノ規定中ノ農務省ニ代フ

(イ) 侵害セラレタル土地ノ存在スル執行官ノ主席執行官ヲ土地調査局總裁ニ代フ農業執行委員會及其ノ地方委員會ヲ夫々國防法ニ依リ組織セラレタル戰時農事執行委員會及縣又ハ府ニ代フ

(ホ) エジンバラガゼットヲロンドンガゼットニ代フ

(ハ) 本法第三章ノ規定ハ例外ナク千八百八十六年乃至千九百十一年小農(蘇格蘭)法ノ規定ニ基キテ其ノ效力ヲ發生シ且小作地ノ小作料決定ニ關シ蘇格蘭土地裁判所ハ本法第一章又ハ第二章ノ

規定ノ適用ヲ考慮スルコトヲ要セズ

(ト) 小作ノ停止ニ關スル本法第四章ノ規定ハ千八百八十六年乃至千九百十一年小農(蘇格蘭)法ニ依ル小作人又ハ正規ノ小作人ノ占有スル土地ニ付テハ之ヲ適用セズ但シ本法ニ依リ土地ヲ占有シ耕作シ又ハ耕作ニ對スル改良ヲ爲ス權限ハ本法第四章ニ如何ナル規定アルニ拘ラズ左ノ占有地ニ關シ之ヲ行使スルコトヲ得且

(チ) 狩獵地ノ小作人ガ土地ノ單獨小作人ナルカ又ハ本法第四條ノ規定ニ依リ單獨小作人ト爲リタル場合ニ於テ蘇格蘭農務省ガ其ノ省令ヲ以テ定ムルトキハ其ノ土地ノ所有者ハ本法第四章ノ目的ノ爲ニ其ノ土地ノ占有者ト看做サルベシ此場合ニ於テ小作契約證書又ハ小作契約ノ條件ヲ停止スル農務省ノ權限ハ其ノ契約證書又ハ條件ヲ停止スル權限ノ外地主及小作人間ノ關係ヲ整理スルガ爲農務省ニ於テ適當ト認ムル規定ヲ設クル權限ヲモ包含スルモノト看做ス

(二) 本法ハ左ノ變更ヲ加ヘテ愛爾蘭ニ之ヲ適用ス

(イ) 愛爾蘭農務專門農務局ヲ農務水産省ニ代フ  
(ロ) 獨立ノ農業貸金局ヲ愛爾蘭ニ設置スベシ且其ノ設置セラレタル獨立ノ貸金局ヲ農業貸金局ニ代フ

最低率ガ一週二十五志タルベキ農業貸金ニ關スル規定及一人前ノ勞働者ニ對スル貸金ノ最低率ノ遡及力ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ但シ愛爾蘭農業貸金局ニ於テ一人前ノ勞働者ニ對スル貸金ノ最低率ヲ定ムル場合ニ於テ適當ト認ムルトキハ其定メタル最低貸金率ヲ本法通過ノ日以前

ニ遡ラザル別ニ愛爾蘭農業貸金局ノ定ムル日迄遡及セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ右ノ遡及ニ關スル規定ハ農業貸金局ノ定メタル最低貸金率ニ關シ其ノ定メタル日ニ關スルモノヲ本法ノ施行ノ日ニ關スルモノニ代ヘテ之ヲ適用ス

(ハ) 占有者ニ非ザル者ニシテ小麥又ハ燕麥ヲ生産シタル年ノ十月一日ニ其ノ生産シタル土地ノ使用權ヲ契約ニ依リテ獲得シタルトキハ本法第一章ノ規定ニ依ル小麥又ハ燕麥ニ對スル補償金ノ支拂ニ關シテハ其ノ者ヲ占有者ニ代フ

(ニ) 本法第三章及第四章ノ規定ニ依リテ審判セララル、目的ヲ以テ請求スル異議及金額ハ利害關係ヲ有スル者ノ出訴ニ依リ愛爾蘭土地委員會ニ於テ仲裁裁判ニ代リ之ヲ判決スベキモノトス  
土地(愛爾蘭)法ノ規定ニ依ル出訴ニ關シ土地委員會ニ於テ行使シ得ベキ權限及判決權ハ本條ノ規定ニ依ル出訴ニ關シ土地委員會ニ於テ之ヲ行使スルコトヲ得

(ホ) 本法第三章ノ規定ヲ愛爾蘭ニ適用スル場合ニ於テハ別ニ例外ナク土地(愛爾蘭)法ノ規定ニ基キテ其ノ效力ヲ發生ス此ノ場合ニ於テ本法通過後農地ノ法定小作料ノ決定ニ付裁判所ハ小作人又ハ小作人ニ關シ本法第一章又ハ第二章ノ規定ノ適用ヲ考慮スルヲ要セズ  
小作料滞納ニ對スル訴訟ハ本法第三章ノ意義ノ範圍内ニ於ケル小作料支拂ノ強制ニ對スル訟訴ト看做ス

(ヘ) 本法第四章ヲ愛爾蘭ニ適用スル場合ニ於テハ更ニ左ノ變更ヲ加フ

(1) 土地ヲ占有シ且之ヲ耕作シ又ハ其ノ他ノ處置ヲ爲ス權限ハ土地ノ占有者ノ小作人ナル場合



- 又ハ小作人ナラザル場合ニ於テモ之ヲ適用スルコトヲ得
- (2) 第十一條(三)規定ハ之ヲ適用セズ
- (3) 小作ノ停止ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ

適當ナル耕作ヲ愛爾蘭ノ土地ニ強制スル爲ニ規定セル本法附則第三ノ追加規定ハ本法第四章ニ包含セラレタルト同一ノ效力ヲ有ス

(ト) ダブリンガゼットヲロンドンガゼットニ代フ

本法ノ略稱  
及繼續期間

第十九條 (一) 本法ハ千九百十七年穀物生産法ト稱ス

(二) 本法ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外本法通過ノ日ニ於テ其ノ效力ヲ發生シ千九百二十二年迄繼續シ議會ニ於テ更ニ之ヲ繼續セシムルガ爲ニ規定ヲ制定スルニ非ザレバ其ノ以後ハ繼續セズ但シ其ノ廢止ノ年又ハ廢止ノ年以前ノ小麥又ハ燕麥ニ對スル本法第一章ノ規定ニ依ル補償ニ關スル權利ニ關シ本法ニ依リ發生シタル罰金科料及體刑及本法廢止ノ日前タルト又ハ後タルトヲ問ハズ本法ニ依ル訴訟ニ關シテ爲シタル供述並表示ニ對シテハ本法廢止ノ效力ヲ及ボサザルモノトス

附款第一(穀物生産法第五條(一))

〔本則ハ英克蘭ノミニ限定ス〕

千九百十九年商務省法第十一條乃至第十三條及第十七條

農業貸金局ノ組織手續等

第十一條 (一) 農務水産省ハ雇主ヲ代表スル議員及之ト同一割合ノ労働者ヲ代表スル議員(本法ニ於テハ代表議員ト稱ス)並任命ニ依ル議員ヲ以テ組織スベキ農業貸金局ノ組織ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

- (二) 女子モ男子ト等シク農業貸金局ノ議員トシテ選舉セラレ、コトヲ得
- (三) 代表議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ選出シ又ハ農務水産省若ハ其ノ他ノ者ニ於テ指定シ又ハ其ノ一部ヲ選出シ一部分ヲ指定スルモノトス

(四) 農業貸金局ノ議長ハ農務水産省ノ任命シタル議員中ヨリ之ヲ選出シ書記官ハ農務水産省之ヲ任命ス

(五) 農業貸金局ノ議事ハ其ノ議員ノ缺員又ハ其ノ任命選舉名稱ノ缺陷ニ依リテ之ヲ妨ゲラレタルモノトス

(六) 農業貸金局ノ會議ハ代表議員ノ少クトモ三分ノ一以上任命議員ノ少クトモ一人以上ノ出席ヲ要ス

(七) 農務水産省ハ農業貸金局ノ會議及議事ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得且其ノ規定中ニハ投票方法ヲモ包含セシムルコトヲ得  
農業貸金局ハ本法ニ從ヒ其ノ適當ト認ムル方法ニ依リ其ノ議事ニ關スル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十二條 (一) 農業貸金局ハ以下定ムル規定ニ從ヒ農業ニ從事スル雇主及労働者ヲ代表スル者ヨリ成ル  
 地方貸金委員會ヲ組織スルコトヲ得若シ農務水産省ノ請求アルトキハ之ヲ組織スルコトヲ要ス  
 右ノ地方貸金委員會ハ農務水産省ノ定ムル所ニ從ヒテ組織セラレ且農業貸金局ノ定ムル地域内ニ於  
 テ活動スベキモノトス

(二) 農業貸金局ハ各地方貸金委員會ノ議員中少ナクトモ一人ハ農業貸金局ノ議員又ハ農務水産省ノ  
 任命シタル者タルベキコト及委員會ニ於テハ其ノ地方ノ雇主及労働者ノ代表議員ヲ同一ノ割合ニ  
 スベキコトヲ命令ヲ以テ定ムルコトヲ要ス

(三) 農業貸金局ハ便宜ナリト認ムルトキハ其ノ報告及勸告ヲ受理スルコトヲ地方労働賃金委員會ニ  
 委任スルコトヲ得

農業貸金局ニ於テ適當ト認ムルトキハ本法ニ依リ權限及義務ニシテ最低賃金ノ決定以外ノ事項ヲ  
 地方労働賃金委員會ニ委任セシメ又ハ農務水産省ノ定ムル所ニ從ヒ地方委員會ヲシテ之ニ對シ委  
 任シタル權限ヲ更ニ下級委員會ニ委任セシムルコトヲ得

(四) 或ル地方ニ對シ地方貸金委員會設置セラレタルトキハ其ノ委員會ハ其ノ地方ニ適用スベキ最低  
 賃金率ヲ農業貸金局ニ申告スベキ義務ヲ有ス

本法ニ依リテ決定シタル最低賃金率及其ノ變更並取消ハ地方委員會ニ於テ其ノ變更又ハ取消ヲ申  
 告スルカ又ハ其ノ委員會ヲシテ農業貸金局ニ報告セシムルノ機會ヲ與ヘ農業貸金局ニ於テ其ノ報

告ニ付考慮シタル場合ヲ除クノ外其ノ地方ニ對シテハ其ノ效力ヲ及ボサルモノトス

第十三條 (一) 農務水産省ハ適當ト認ムル員數ノ農業貸金局議員及地方労働賃金委員(共ニ女子ヲ含ム)  
 ヲ任命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ任命セラレタル議員又ハ委員ノ員數ハ農業貸金局議員又ハ  
 地方貸金委員ノ委員總數ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十七條 (一) 本法ニ依リ農務水産省ニ於テ任命セラレタル官吏及臨時本法ノ施行ヲ助成スル他ノ省ノ  
 官吏ハ農務水産省ノ特定又ハ一般的ノ指揮ニ從ヒ本法ニ基ク事務ヲ執ル權限ヲ有ス

農業貸金局ハ本法ニ依リ臨時農務水産省ノ指揮ニ從ヒテ活動スル爲ニ農務水産省ニ依リテ任命セラ  
 レタル官吏又ハ農業貸金局書記官若ハ其ノ他農務水産省ニ依リテ權限ヲ附與セラレタル官吏ヲシテ  
 其ノ名ニ於テ其ノ事務ヲ行ハシムルコトヲ得

(二) 本法ニ依リ農務水産省ヨリ任命セラレタル官吏臨時本法ノ施行ヲ助成スベキ他ノ省ノ官吏農業  
 貸金局書記官其ノ他特ニ權限ヲ附與セラレタル官吏ハ訴訟代理人訟師又ハ法律顧問ニ非ザル場合  
 ト雖即決裁判ニ於テ本法ニ基キテ發生スベキ訴訟ヲ起訴シ又ハ處理スルコトヲ得

本附則ヲ愛爾蘭ニ適用スル場合ニ於テハ農務水産省ニ關スルモノハ之ヲ愛爾蘭農務專門學務局ニ關  
 スルモノト解釋シ農業貸金局ニ關スルモノハ之ヲ愛爾蘭農業貸金局ニ關スルモノト解釋スベシ

附款第二(第十八條(一))

蘇格蘭ニ於ケル農業貸金委員會ノ組織

第一條 蘇格蘭農務省(以下單ニ農務省ト稱ス)ハ蘇格蘭ヲ各地方及地方ノ聯合ニ分チ且其ノ地方及地方ノ聯合ヲ本附則ノ地方及聯合地方ト爲スコトヲ得

第二條 農務省ノ定メタル聯合地方ニ於テ農務省ノ承認シタル場所及期間ニ依リ農業労働者ノ最低賃金ヲ定ムル等ノ目的ノ爲ニ所長並農業労働者及其ノ雇主ヨリ同數ノ割合ヲ以テ選出シタル代表者ヲ包含スベキ聯合代表委員會組織セラレタルトキハ農務省ハ之ヲ其ノ聯合地方ニ對スル地方貸金委員會ト認定スルコトヲ得

第三條 或ル地方ニ於テ農務省ノ指定シタル日以後前條地方貸金委員會ノ設立ナキモノト認メタルトキハ農務省ハ其ノ地方ニ對スル前掲ノ聯合委員會ヲ指定スル手續ヲ爲スコトヲ得

右ニ依リ指定セラレタル委員會ハ農務省ニ依リ其ノ地方ニ對スル地方貸金委員會ト認定セラルベキモノトス此ノ場合ニ於テ前條ノ條件ニ依リ其ノ地方ニ聯合代表委員會設立セラレタリト認ムルトキハ農務省ハ何時ニテモ其ノ指定セル委員會ニ對シ其ノ職務ヲ辭スベキコトヲ要求スルコトヲ得

第四條 農務省ハ蘇格蘭中央農業貸金委員會(以下中央委員會ト稱ス)ヲ組織スル爲各地方ヲ聯合セシメテ五聯合地方ヲ組織セシムベシ

右ノ各聯合地方ノ地方貸金委員會ヨリ農務省ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ他方貸金委員中ヨリ雇主又ハ労働者ノ各一方ヲ代表スベキ二種ノ地方代表委員ヲ選出セシムベシ

農務省ハ中央委員會ノ總裁及書記官ヲ任命スベシ且二人ノ女子ヲ其ノ副委員ニ任命スルコトヲ得右ノ方法ニ依リ選出セラレタル委員十名ニ總裁及若干ノ副委員ヲ加ヘテ中央委員會ヲ組織スルモノトス

第五條 地方貸金委員會ハ以下定ムル所ニ從ヒ其ノ地方ニ於テ本法ニ依リ附與シタル農業貸金局ノ權利及義務ヲ有ス但シ農務省ニ於テ其ノ命令ヲ以テ留保シタルモノ及中央委員會ニ附與セラレ若ハ負擔セシメラレタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

本法中農業貸金局ニ關スル者ハ地方貸金委員會又ハ中央委員會ニ關スル者ト解釋スベキ者トス

第六條 最低賃金ヲ定ムル爲地方貸金委員會ニ於テ決定シタル事項ハ中央委員會及農務省ニ報告スベシ此ノ場合ニ於テ中央委員會ガ農務省ノ定ムル期限内ニ其ノ最低賃金ヲ否定セザルトキハ其ノ最低賃金ハ本法ニ依リテ決定セラレタル最低賃金ト看做ス

第七條 地方貸金委員會ニ於テ農務省ノ定メタル期限内ニ其ノ地方ニ於ケル時間労働ニ對スル最低賃金率ヲ決定セザリシ場合ニ於テハ農務省ハ中央委員會ニ對シ其ノ賃金率ノ決定ニ關スル事項ヲ委任スベシ此ノ場合ニ於テ地方貸金委員會ノ最低賃金ノ決定ノ權利義務ハ最低賃金決定ニ關スル範圍内ニ於テ中央委員會ニ移轉スルモノトス且其ノ委任ニ依リ中央委員會ニ於テ定メタル最低賃金率ハ之ヲ地方貸金委員會ニ協議シタル上之ヲ本法ニ依リ決定シタル最低賃金ト看做ス

第八條 地方貸金委員會ノ範圍内ニ於ケル本法ニ依ル異議ニシテ其ノ地方貸金委員會ニ於テ承諾セラレザル場合ニ於テ其ノ委員會ノ雇主又ハ労働代表者ノ議員ヨリ書面ヲ以テ請求シタルトキハ其ノ異

議ヲ地方貸金委員會ヨリ中央委員會ニ委付セラルベシ其ノ委付ニ對シ中央委員會ニ依リテ決定セラレタルモノハ之ヲ農務省ニ報告スルヲ要シ其ノ決定ハ地方貸金委員會ノ決定ト同一ノ效力ヲ有ス

第九條 農務省ハ命令ヲ以テ本法ノ目的ノ爲ニ保證セラレタル範圍内ニ於テ地方貸金委員會ノ事務及官吏ノ在職中央委員會及其ノ總裁並官吏ニ關シ規定シ其ノ他地方貸金委員會ノ事務ノ有效ナル管理ノ爲ニ必要ナル規定ニシテ下級委員會ニ關スル規定ヲ含ムモノ及委員會ニ依リテ夫々發セラルベキ通告ノ認證決定其ノ他ノ手續ノ爲ニ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

附款第三(穀物生産法第十八條(二)(へ))

愛爾蘭ニ於ケル土地ノ適當ナル耕作強制ニ關スル追加規定

第一條 可耕地ノ占有者ハ其ノ占有スル可耕地(本附則ニ於テハ占有地ト稱ス)ノ本則ニ依リテ制定シ且當分ノ内占有地ニ適用スベキ愛爾蘭農務専門學務局令ヲ以テ定ムル最低耕作率ヨリ少ナカラザル面積ヲ耕作シ且耕作ヲ繼續スベキ義務ヲ有ス但シ如何ナル占有者モ右ノ命令ニ依リ其ノ占有地ノ面積ノ二分ノ一以上ヲ耕作スベキコトヲ要求セラル、コトナシ

第二條 愛爾蘭農務専門學務局(本附則ニ於テハ局ト稱ス)ハ占有地ノ最低耕作率ヲ定ムル爲ニ命令ヲ制定シ其ノ命令ヲ愛爾蘭内ノ總占有地命令ニ特定シタル地方ノ總占有地愛爾蘭又ハ命令ニ特定シタル地方ノ命令ヲ以テ定メタル占有地ノ一階級若ハ一以上ノ階級特定ノ一占有地又ハ一以上ノ占有地ニ適用スルモノト爲スコトヲ得

第三條 或ル年ニ於テ占有者ガ占有地ノ最低耕作率ヲ耕作セザリシトキハ局ハ本法ニ依ル命令ヲ以テ

規定シタル方法ニ依リ聞知シ得ベキ機會ヲ與ヘタル後耕作上正當ナル事由ナクシテ最低耕作率ヲ耕作セザリシ程度ヲ確メ且本附則第四條ノ規定ニ從ヒ其ノ署名セル承認證ニ其ノ耕作セザリシ面積及其ノ耕作セザリシコトニ對スル罰金ノ形式ニ於テ支拂フベキ金額ニシテ其ノ面積ノ一英克毎ニ五磅ヲ超過セザルモノ及英克ノ端數ニ對スル右ノ割合ノ金額ヲ超エザルモノヲ記載スルコトヲ要ス承認證ヲ作成セラレタルトキハ占有者ハ其ノ承認證ニ記載セラレタル金額ヲ局ノ要求ニ從ヒ局ニ支拂フコトヲ要ス且其ノ承認證ハ其ノ負債ノ決定的證據タルベシ或ル年ノ内ニ占有者ニ變更アリタルトキハ其ノ金額ハ其ノ年ノ終ニ於テ占有者タリシ者之ニ支拂フベシ

第四條 局ハ前條ノ承認證ヲ作成スル前ニ豫メ其ノ草案ヲ占有者ニ送附シ其ノ占有者ガ別ニ定ムル期間内ニ別ニ定ムル方法ニ依リ其ノ草案ニ對シテ異議ヲ申立テタルトキハ局ハ承認證ノ作成又ハ承認證ノ草案ノ各記載事項ニ對シテ申立テタル異議ヲ本法ニ依リ設置シタル又ハ指定シタル裁判所ニ提出スベシ

局ハ右ノ裁判ニ際シ適當ナル方法ニ依リ其ノ草案ノ作成ヲ停止シ延期シ變更スル權限ヲ包含スル決定及傍聽ニ對スル規定並異議ニ對スル訴訟ニ關スル規定ヲ本法ノ規定ニ從テ制定スベシ承認證ハ其ノ草案ニ對スル異議ガ裁判ニ提出セラレタル間ハ之ヲ作成スルコトヲ得ズ

草案ガ裁判ニ於テ變更セラレタル場合ニ於テ其ノ承認證ガ局ニ於テ作成セラレタルモノナルトキハ局ハ其ノ變更ニ從ヒ變更スルコトヲ要シ他ノ變更ヲ許サレズ

第五條 本附則ニ依リ局ニ支拂フベキ金額ハ其ノ金額ノ多少ニ拘ラズ其ノ占有地又ハ占有地ノ一部分ノ存在スル州裁判ニ依リ通常ノ民法上ノ債權トシテ回收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ裁判ノ決定ハ最終ノモノトス

局ニ支拂ハレタル又ハ回收セラレタル金額ハ其ノ占有地ノ存在スル州ニ關係アル農業及其ノ他ノ農業的産業ノ爲ニ使用セラレベキモノトス

第六條 本附則ニ基ク局ノ權限ハ本法ニ依リ適當ナル耕作ヲ強制スル他ノ權限ニ附加スベキモノニシテ之ニ代フルベキモノニ非ズ且右ノ權限ハ之ヲ併セテ行使スルコトヲ得

第七條 本附則ノ要求ニ應ズル爲ニ必要ナル耕作ニ關スル小作契約ニ於テ小作料ヲ引上グルコト其ノ他ノ方法ニ依リ小作人ニ罰ヲ課スルコトヲ得ズ

第八條 別ニ定ムルモノヲ除クノ外本附則中

(イ) 耕作ハ土地ヲ耕スノ意義ヲ有シ耕作スルハ之レニ準ジテ解釋スベシ此ノ場合ニ於テ或ル年ニ現ニ土地ヲ牧場秣場草刈場ニ使用シツ、アルモノト雖其ノ年ノ直ク前ニ引續キ二年間耕作セルモノニ限リ耕作シツ、アルモノト看做ス

(ロ) 別ニ定ムルトハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ規定セララル、モノヲ謂フ  
(ハ) 可耕地トハ耕作シ得ベキ土地ヲ謂フ

千九百十七年穀物生産法ニ依リ公布セラレタル命令

一 千九百十七年穀物生産法ニ依リ農務水産省ノ制定シタル農業貸金局(英克蘭及ウエールス)ノ組

織及手續ニ關スル千九百十七年十一月八日ノ命令

第一條 農業貸金局ハ英克蘭及ウエールスニ對シテ之ヲ設立シ七人ノ任命議員及三十二人ノ代表議員ヲ以テ組織スベシ

代表議員ノ數ハ雇主ヲ代表スル者ト労働者ヲ代表スル者ト同一割合タルコトヲ要ス

第二條 議長及副議長ハ貸金局ノ議員中ヨリ農務水産省ニ於テ之ヲ任命シ且兩者共貸金局ノ議員トシテ繼續スル限リ農務水産省ノ定ムル期間其ノ職務ヲ執ルヲ要ス

第三條 任命議員ハ貸金局ニ於テ職務セシムル爲農務水産省ニ依リ選定セラレタル者タルコトヲ要シ其ノ内少ナクトモ一人ハ女子タルコトヲ要ス

第四條 代表議員ノ選定ハ本令第五條ノ規定ニ從ヒ左ノ如クスベシ

(一) 雇主ヲ代表スル議員ノ内八人ハ左ノ如ク選定スルコト

(イ) 英克蘭帝國農業協會ニ依リ二人

(ロ) 農民同盟ノ總實行委員會ニ依リ二人

(ハ) 中央及聯合農業會議所評議員ニ依リ二人

(ニ) ウエールス農業評議員會ニ依リ二人

雇主ヲ代表スル右ノ八人ノ議員ハ農業協會又ハ其ノ他ニ依リテ提出セラレタル氏名ニ就キ豫メ適當ナル審議ヲ爲シ且農務水産大臣ガ適當ト認ムル地方的調査ヲ爲シタル後農務水産省ニ於テ指令ヲ發スベシ

(二) 労働者ヲ代表スル八人ノ議員ハ左ノ如ク選定スルコト

(イ) 國民農業労働者同盟及農村労働者同盟ノ實行委員會ニ依リ六人  
(ロ) 労働者同盟會ノ總實行委員會ニ依リ二人

労働者ヲ代表スル右ノ八人ノ議員ハ労働者ト協定シ且労働者及其ノ代表者ヨリ提出セラレタル氏名ニ就キ適當ノ審議ヲ爲シタル後農務水産省ニ於テ之ニ指令ヲ發スベシ

第五條 代表議員ノ選定及指令ニ付テハ貸金局ニ於テ農業ノ各階級及全國ニ於ケル農業労働雇傭ノ各種ノ條件ヲ適當ニ代表セシムル爲出來得ル限り注意ヲ爲スベシ

前條ノ規定ニ基キテ施行シタル選定ノ結果ニシテ前項ノ規定ニ依ル適當ナル代表ヲ爲サシムルコト能ハズト認メタルトキハ農務水産省ハ第四條ニ依リテ指令シタル者ノ外更ニ第四條ノ選定ヲ定ケタル者ニ代フベキ代表議員ヲ任命スルコトヲ得

第六條 農務水産省ハ第一條ノ規定ニ拘ラズ雇主又ハ労働者ノ或ル階級ヲ適當ニ代表セシムル爲必要アリト認ムルトキハ貸金局ニ通知シタル後三年以内別ニ農務水産省ノ定ムル期間在任スベキ貸金局ノ附加議員ヲ任命スルコトヲ得

右ノ附加議員ハ常ニ總數ニ於テ四人ヲ超エザル偶數ニシテ其ノ半數ハ雇主ヲ代表スル者他ノ半數ハ労働者ヲ代表スル者タルコトヲ要ス

第七條 雇主ヲ代表スル議員ニシテ農業労働者ト爲リタルトキハ其ノ議席ヲ失フ  
労働者ヲ代表スル議員ニシテ農業ノ雇主トナリタルトキハ其ノ議席ヲ失フ

右ノ事實ニ關スル異議ハ各場合ニ於テ農務水産省之ヲ決定ス

第八條 農務水産省ニ於テ或ル代表議員ガ正當ノ事由ナクシテ曆年ニ於ケル全會議ノ二分ノ一以上出席セザリシモノト認メタルトキハ其ノ議席ヲ失フ

第九條 或ル代表議員ガ貸金局ノ議員トシテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハズト認メタルトキハ農務水産省ハ其ノ指令ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ議員ハ議席ヲ失フ

第十條 貸金局設立ノ日以後一年ノ終リノ日ニ於テ雇主ヲ代表スル議員ノ内ヨリ抽籤ニ依リテ選定セラレタル代表議員五人及労働者ヲ代表スル議員ノ内ヨリ抽籤ニ依リテ選定セラレタル代表議員五人  
(各場合ニ於テ本令第六條ニ依リ任命セラレタル附加代表議員ヲ除ク)ハ貸金局ヨリ脱退ス

第十一條 貸金局設立ノ日以後二年ノ終ノ日ニ於テ雇主ヲ代表スル議員ノ内ヨリ抽籤ニ依リテ選定セラレタル代表議員五人(各場合ニ於テ本令第六條ニ依リテ任命セラレタル附加代表議員及第十條ノ適用ニ依リテ生ジタル缺員ヲ充タス議員ヲ除ク)ハ貸金局ヨリ脱退ス

第十二條 任命議員ノ任期ハ二年トシテ第六條乃至第十一條ノ規定ニ從フモノトス  
代表議員ノ任期ハ三年トシ左ノ條件ニ從フモノトス

(イ) 偶然ノ缺員ヲ充タス爲ニ任命セラレタル議員ノ任期ハ前任者ノ任期ノ殘餘期間トス  
(ロ) 任期滿了ニ因リテ缺員ヲ生ジタル場合ニ於テ其ノ缺員ヲ充タスニ遲延アリタルトキハ後任者ノ任命アル迄其ノ脱退議員臨時其ノ議席ヲ充タスモノトス

第十三條 第九條ヲ除クノ外前條其ノ他ノ事由ニ依リテ議席ヲ失ヒタル者ハ貸金局ノ議員トシテ更ニ

任命セラルベキ被選資格ヲ有ス

第十四條 代用議員ノ缺員ハ最初缺員ニ對シ指令シタルト同一ノ方法ニ依リテ補充スベシ

第十五條 貸金局ノ議員ハ一箇ノ投票權ヲ有ス

貸金局ノ會議ニ於テ雇主及労働者ヲ夫々代表スル出席議員ノ員數相等シカラザルトキハ其ノ員數ヲ相等シカラシムル爲多數ヲ有スル議員ノ内一人以上ノ投票ヲ禁ズルコトヲ協定シテ其ノ會議ヲ開クベシ

右ノ協定調ハザル場合ニ於テハ議長ハ議長缺席ノ場合ニ於テハ副議長ハ適當ト認ムルトキハ貸金局ノ次ノ會議マデ議事ニ關スル票決ヲ延期スルコトヲ得

投票ニシテ可否同數ナルトキハ議長ハ(議長缺席ノ場合ニ於テハ副議長ハ)二回ノ投票ヲ爲シ又ハ棄權スルコトヲ要ス

第十六條 本令中農業及労働者ハ千九百十七年穀物生産法第十七條第一項ニ規定シタルト同一ノ意義ヲ有ス

第十七條 貸金局ハ農業貸金局(英克蘭及ウエールス)ノ名稱ヲ冠セラレタルモノト解釋スベシ

第十八條 本令ノ解釋ニ關スル異議ニ就キ爭議ヲ生ジタルトキハ其ノ決定ヲ農務水産省ニ申請スベシ

二 地方貸金委員會ノ設立  
組織及下級委員會ニ對スル權限附與ニ關シ千九百十七年穀物生産法附款第一第十二條ニ依リ農務水産省ノ制定シタル千九百十八年一月一日ノ地方貸金委員會ニ關スル命令

第一條 農業貸金局ハ遲滞ナク英克蘭及ウエールス全部ニ對スル地方貸金委員會ヲ設立スベシ

委員會ハ貸金局ノ定ムル區域内ニ於テ其ノ權限ヲ行使シ且左ノ通り組織スベシ

(一) 農業ニ従事スル雇主及労働者ノ同一割合ノ代表者以下單ニ代表委員ト稱ス

(二) 委員會ノ總委員數ノ四分ノ一ヲ超エザル附加委員以下單ニ任命委員ト稱ス

各地方貸金委員會ノ委員ハ少ナクトモ一人ハ女子タルコトヲ要ス

第二條 貸金局ノ任命委員ハ地方貸金委員會ノ會議ニ出席シ議事ニ參與スルノ權利ヲ有ス但シ其ノ貸金委員會ノ委員ニ非ザレバ投票權ヲ有セズ

第三條 地方貸金委員會ヲ設立スベキ區域ヲ定メタルトキハ貸金局ハ其ノ區域ノ決定並貸金局ニ於テ其ノ委員會ヲ組織セシメムトスル代表委員及任命委員ノ員數ニ關スル報告書ヲ農務水産省ニ提出スベシ

第四條 農務水産省ハ貸金局ヨリ提出セラレタル報告書ヲ審査シ地方貸金委員會ヲ組織スベキ代表委員及任命委員ノ數ヲ決定スベシ(本令第七條ニ依リテ任命セラレタル附加代表委員ヲ除ク)

代表委員ハ貸金局之ニ指令ヲ發シ任命委員ハ農務水産省之ヲ任命ス

第五條 各地方貸金委員會ノ議長及副議長ハ委員會ノ命令委員中ヨリ農務水産省之ヲ任命スベシ

第六條 地方貸金委員會ノ書記官ハ農務水産省之ヲ任命スベシ

第七條 地方貸金委員會ニ於テ雇主又ハ労働者ノ或ル階級ヲ適當ニ代表セシムル爲必要若ハ適當ト認ムルトキハ貸金局ハ委員會ニ通知シタル後二年以内ノ別ニ貸金局ノ定ムル期間職務ヲ執ラシムベキ

農業ニ従事スル地方雇主又ハ労働者ノ同一割合ノ附加代表委員ヲ任命スルコトヲ得  
右ノ附加代表委員ノ總數ハ四人ヲ超ユルコトヲ得ズ

第八條 雇主又ハ労働者ヲ代表スル委員ニシテ職業ノ變更其ノ他ノ事由ニ依リ貸金局ニ於テ夫々雇主  
又ハ労働者ヲ代表セザルモノト認メタル場合ニ於テ貸金局ヨリ請求アリタルトキ其ノ議席ヲ失フ

第九條 貸金局ニ於テ或ル代表委員ガ正當ノ事由ナクシテ一曆年ノ全會議ノ二分ノ一以上出席セザリ  
シモノト認メタルトキハ其ノ委員ハ其ノ議席ヲ失フ

第十條 農務水産省ハ正當ニシテ且充分ナル事由アリト認ムルトキハ地方貸金委員會ノ任命委員ヲ停  
止スルコトヲ得

貸金局ハ正當ニシテ充分ナル事由アリト認ムルトキハ地方貸金委員會ノ代表委員ノ指令ヲ停止スル  
コトヲ得

第十一條 地方貸金委員會ノ委員ノ任期ハ本令ノ規定ニ從ヒ二年トシ且左ノ條件ニ從フモノトス

- (一) 委員ハ委員會ノ書記官ニ書面ヲ以テ通告ヲ發シテ脱退スルコトヲ得
- (二) 偶然ノ缺員ヲ充タス爲指定セラレタル委員ノ任期ハ前任者ノ任期ノ殘餘期間トス
- (三) 任期滿了ノ委員ハ後任者ノ指定セララル、迄委員トシテ其ノ職務ヲ行フベキモノトス

第十二條 地方貸金委員會ノ議席ヲ失ヒタル者ハ委員會ノ委員トシテ特定セララルベキ被選資格ヲ有ス

第十三條 地方貸金委員會ノ代表委員ハ貸金局ニ於テ其ノ場合ニ應ジ農業ニ従事スル雇主ノ代  
表者又ハ農業ニ従事スル労働者ノ代表者ヲ任命シテ之ニ充ツ

地方貸金委員會ノ任命委員ハ農務水産省ニ於テ任命シテ之ニ充ツ

第十四條 地方貸金委員會ノ各委員ハ一個ノ投票權ヲ有ス

委員會ノ會議ニ於テ雇主ノ代表委員及労働者ノ代表委員ノ出席數相等シカラザルトキハ其ノ數ヲ相  
等シカラシムル爲多數ノモノ、委員ノ一人以上ノ投票ヲ禁止スルコトヲ協定シテ其ノ會議ヲ開クベ  
シ

右ノ協定調ハザル場合ニ於テハ會議ノ議長ハ必要ト認ムルトキ其ノ議事ニ關スル投票ヲ次ノ會議迄  
延期スルコトヲ得

第十五條 地方貸金委員會ノ組織ヲ組織セシムル爲議長又ハ副議長若ハ會議ヲ司會スベク議長ヨリ文  
書ヲ以テ選定セラレタル選任委員ハ其ノ會議ニ出席スルヲ要ス且其ノ出席委員數ハ少クとも總委員  
數ノ三分ノ一タルコトヲ要ス

第十六條 貸金局ニ於テ地方貸金委員會ニ對シ其ノ地方貸金委員及指定スベキ下級貸金委員會ニ或ル  
權限ヲ委任スル權限ヲ附與シタルトキハ地方貸金委員會ハ貸金委員會ニ於ケル同一ノ割合ノ雇主又  
ハ労働者ノ代表者ノ一人又ハ一人以上及貸金委員會ニ於テ指定スベキ貸金委員會ノ任命委員ノ一人  
又ハ一人以上ヲ以テ其ノ下級委員會ヲ組織スベシ

下級委員會ノ任期ハ一年以内ニシテ別ニ貸金委員會ノ定ムル期間トス

第十七條 貸金局ノ任命議員ハ地方貸金委員會ノ下級委員會ノ會議ニ出席シテ議事ニ參與スルノ權限  
ヲ有ス但シ下級委員會ノ委員ニ非ザレバ投票權ヲ有セズ



第十八條 地方貸金委員會ガ其ノ權限ノ一部ヲ下級委員會ニ委任シタルトキハ地方貸金委員會ハ下級委員會ノ決定其ノ他ニ對スル訴ニ關スル權限ノ行使ニ對シ地方貸金委員會ガ必要ト認ムル條件ニ從ハシムベキ指揮ヲ爲スコトヲ得且貸金局ノ承諾ヲ得テ地方貸金委員會ガ下級委員會ニ委任シタルトキハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ下級委員會ニ依ル決定ハ遲滯ナク其ノ決定ノ變更又ハ取消ヲ爲シ得ベキ地方貸金委員會ニ報告スベシ但シ其ノ決定ヲ變更又ハ取消サレバ間ハ下級委員會ノ決定ニ依リ又ハ其ノ決定ノ事由ニ依リテ行使シタルモノ又ハ受ケタル負擔ハ何等效力ヲ失フコトナキモノトス

第十九條 地方貸金委員會又ハ下級委員會又ハ下級委員會ノ議事ハ委員ノ缺員又ハ委員ノ任命ノ缺陷ニ因リテ無効ト爲ルコトナシ

第二十條 本令中ノ農業及労働者ハ千九百十七年穀物生産法第十七條第一項ニ規定シタルモノト同一ノ意義ヲ有ス

第二十一條 本令ノ解釋ニ關スル異議ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ其ノ決定ヲ農務水産省ニ申請スベシ

第二十二條 本令ハ千九百十八年地方貸金委員會令ト稱ス

三 千九百十七年穀物生産法第十二條(一)ノ(ロ)及(ハ)ニ基キ農務水産省ノ制定シタル命令

第一條 農務水産省ニ於テ農業貸金局ノ請求ニ依リ一般的又ハ特定の若ハ其ノ他ニ依リテ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外農業貸金局ハ命令ニ依リ

(一) 千九百十七年穀物生産法ニ依リテ決定シタル貸金ノ最低率ノ爲ニスル金銭支拂ニ代ヘテ貸金ノ支拂トシテ算定スベキ利益又ハ便益(法律ニ依リテ禁止セラレタル利益及便益ヲ含マズ)及價值ヲ定ムルコトヲ得及

(二) 同法ニ依リテ定メラレタル時間外労働ニ對スル貸金ノ差額歩合ノ適用ノ爲ニ時間外雇傭トシテ取扱ハルベキ雇傭ヲ定ムルコトヲ得

第二條 農業貸金局ハ千九百十七年穀物生産法ニ基キテ決定シタル貸金ノ最低率ニ對スル金銭支拂ニ代ヘ貸金ノ支拂トシテ利益又ハ便益ヲ算定スルコトヲ命令ニ依リ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第三條 以上ノ規定ニ基ク命令ハ農業ニ雇傭セラレタル労働者ノ全體ノ其ノ特定ノ階級特定ノ区域内又ハ特定ノ区域内ニ於ケル特定ノ階級ニ適用スベキ様ニ定ムルコトヲ得且其ノ各場合ニ於テ命令ニ基キテ定メラレタル例外ニ從フコトヲ條件トス

第四條 (一)命令ヲ制定スル前ニ農業貸金局ハ其ノ制定セムトスル命令ヲ告示スベシ且其ノ告示シタル命令ニ對シ一月以内ニ農業貸金局ニ申告シタル異議ヲ審議スルコトヲ要ス

農務水産省ハ其ノ公布シタル命令ノ制限セラレタル適用ニ付農業貸金局ノ請求アルトキハ其ノ命令ヲ除外スルコトヲ得且命令ヲ公布シタル日以後七日以内ニ貸金局ヲシテ其ノ命令ニ依リ損害ヲ受ケタル者ニ對シ別ニ命令ヲ發セシムルコトヲ得

(二) 制定セムトスル命令及制定シタル命令ノ公布ハ貸金局ニ於テ其ノ命令ニ依リ損害ヲ受クベキ者ニ出來得ル限り充分知ラシムル爲適當ト認ムル方法ニ依リテ之ヲ爲スベシ

第五條 農業貸金局ハ便宜ナリト認ムルトキハ其ノ制定シタル命令ヲ取消シ又變更スルコトヲ得且農

務水産省ニ於テ命ズルトキハ其ノ命令ヲ再調スルコトヲ要ス公布ニ關スル本會ノ規定ハ命令制定ノ場合ニ農業貸金局ニ適用スルト同一ノ方法ニ依リ命令ノ取消又ハ變更ノ場合ニ之ヲ適用ス

第六條 農業貸金局ハ雇主又ハ労働者ノ請求ニ依リ左ノ事項ニ關シテ生スベキ爭議ヲ決定スルコトヲ得

(イ) 千九百十七年穀物生産法ニ基キテ決定シタル貸金ノ最低率ニ對スル現金支拂ニ代ヘ貸金ノ支拂トシテ算定スベキ利益又便益ノ價值

(ロ) 千九百十七年穀物生産法ノ規定セル訴訟ノ關係スル範圍内ニ於ケル雇傭契約

第七條 本令中農業及労働者並雇傭ハ千九百十七年穀物生産法第十七ニ規定シタルト同一ノ意義ヲ有ス

本令ニ依リ或ル者ニ發スベキ通告ハ本人ノ最後ノ住所ニ就キ本人ニ手渡シタルカ又ハ其ノ住所ヲ宛名トシテ書留郵便ヲ以テ送附スベシ

團體又ハ組合ニ對シ通告ノ發スル場合ニ於テハ其ノ團體又ハ組合ノ書記其ノ他ノ役員ニ交付スルコトヲ得

第八條 本令ノ解釋ニ關スル異議ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ其ノ決定ヲ農務水産省ニ申請スベシ

第九條 本令ハ千九百十八年農業貸金令ト稱ス

千九百十八年小作法附款第二仲裁裁判ニ關スル規則

第一章 仲裁裁判人ノ任命

第一條 仲裁裁判人ハ當事者間ノ合意ニ依リ之ヲ定ムルモノトス合意有ラザル場合ニ於テ當事者ヨリ

書面ニ依リ請求スルトキハ農務水産省之ヲ任命ス

第二條 仲裁裁判人ニ任命セラレタル者ガ死亡シタルトキ又ハ裁判ヲ爲スコト能ハザルトキ若ハ當事者ヨリ裁判ヲ爲スコトヲ請求シタル通告ヲ受領シタル後七日以内ニ之ヲ爲サマリシトキハ其ノ仲裁裁判人ハ任命有ラザリシモノト看做シテ別ニ仲裁裁判人ヲ任命スルコトヲ得

第三條 當事者ノ一方ハ其ノ相手方ノ同意無クシテ其ノ仲裁裁判人ノ任命ヲ取消スコトヲ得ズ

第四條 本則本章ノ規定ニ基ク一切ノ任命通告取消及同意ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 仲裁裁判人ニ任命セラレタル者ハ其ノ任命アリタル後二十八日以内ニ又ハ農務水産省ニ依リ其レヨリ長キ期間命ゼラレタルトキハ其ノ期間内(判定ヲ爲スベキ期間ガ終了シタルト否トニ拘ラズ)ニ判定ヲ爲シ之ニ署名スルコトヲ要ス

第二章 仲裁裁判人ノ罷免

第六條 仲裁裁判人自ラ不法行爲ヲ爲シタルトキハ州裁判所ハ之ヲ罷免スルコトヲ得

第三章 證據

第七條 仲裁裁判ノ當事者及其ノ當事者ヲ通ジテ夫々主張ヲ爲ス者ハ法律ニ抵觸セザル限り其ノ係爭事件ニ關シ宣誓シ又ハ確信ヲ以テ仲裁裁判人ノ取調ヲ受ケ仲裁裁判人ノ要求又ハ命令アリタルトキハ自己ノ所有又ハ支配ニ屬スル一切ノ見本書籍證書書類計算書及證據物件ヲ夫々呈示シ其ノ他仲裁裁判ノ進行中仲裁裁判人ノ要求スル一切ノ事項ヲ行フコトヲ要ス

第八條 仲裁裁判人ハ宣誓ヲ爲サシメ又當事者若ハ證人ヲシテ證言ヲ爲サシムルコトヲ得且仲裁裁判人ガ適當ト認メタルトキハ證人ハ宣誓シ又ハ確信ヲ以テ其ノ取調ヲ受クルコトヲ要ス

第四章 判 定

第九條 仲裁裁判人ハ仲裁裁判ノ經過中何時タリトモ州裁判所ノ意見ヲ徵スル爲別ノ形式ニ依リ其ノ仲裁裁判ノ經過中ニ生ジタル法律上ノ問題ヲ州裁判所ニ供述スルコトヲ得ベシ若シ州裁判所ノ命令アルトキハ(州裁判所ハ當事者ヨリ請求アルトキハ右ノ命令ヲ發スルコトヲ得)之ヲ爲スコトヲ要ス  
第十條 仲裁裁判人ハ當事者ヨリ請求アリタルトキハ判定ノ目的タル或ル特別ノ改良又ハ事件ニ關シ判定シタル金額ヲ別々ニ指示シ賠償金諸費用其ノ他判定ニ基ク金額ノ支拂日ハ判定ヲ爲シタル後一月後二月内ノ日ニ之ヲ指定スルコトヲ要シ且農務水産省ノ規定スル様式ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 仲裁裁判人ノ爲シタル判定ハ當事者及其ノ當事者ヲ通ジテ夫々主張ヲ爲ス者ニ對シ最終ニシテ且拘束力ヲ有スルモノトス

第十二條 偶然ノ過失又ハ遺脱ニ困リ記録上ノ誤謬ヲ生ジタルトキハ仲裁裁判人ハ之ヲ訂正スルコトヲ得

第十三條 仲裁裁判人自ラ不法行爲ヲ爲シ又ハ不當ナル判定ヲ爲シタルトキハ州裁判所ハ其ノ判定ノ無效ヲ宣告スルコトヲ得

第五章 費 用

第十四條 仲裁裁判並其ノ判定ニ關スル費用及附帶費ハ仲裁裁判人之ヲ定ムベキモノトス

仲裁裁判人ハ是等ノ費用又ハ其ノ一部支拂ニ付其ノ支拂者及支拂方法ヲ指定スルコトヲ得

當事者ノ請求アリタルトキハ右ノ費用ハ州裁判所ノ書記ヲシテ評價セシムルコトヲ要ス但シ其ノ書記ノ評價ハ州裁判所ノ判事ノ再調ニ附スベキモノトス

第十五條 仲裁裁判人ハ前條ノ費用ノ計算ニ付金額其ノ他ニ關スル當事者ノ要求ノ當否金額ノ細目ニ關スル當事者ノ不當ノ要求又ハ細目ニ對スル支出ノ不當ナル拒絕ノ有無其ノ他一般ニ繫争事件ニ關スル一切ノ事情ヲ考慮スルコトヲ要ス且仲裁裁判人ニ於テ必要ナシト認メタル證人其ノ他ニ關スル費用ヲ認可セザルコトヲ得

第六章 様 式

第十六條 本法ノ規定ニ依ル仲裁裁判ニ關スル手續ノ様式ハ農務水産省ニ於テ一切之ヲ定ムルコトヲ得

(四) 英國ニ於ケル小麥輸入局ノ設立ニ關スル所説

(英國ノ雜誌十九世紀一九三〇年六月號所載ノ代議士エー、エフ、ワイズ氏ノ所説)

世界ヲ貫ク急激ナル商業上ノ不景氣ガ英國ノ産業界ニ直面シ來リ今ヤ困難ノ絶頂ニ達シタノデ英國ニ於ケル失業者ノ數ハ前例ナキ高サニ上リ同時ニ大部分ノ農産物ノ價格ハ絶對ニ收支相償ハザルノ水準迄下落シタ而シテ之ヲ統計的ニ見レバ此ノ恐慌ハ工業製品價格ノ相當下落ヲ惹キ起サズニ一路直ニ各種原料生産物ノ價格ノ天災的暴落ヲ伴ヒ來ツタモノデアル輓近エコノミスト社調査ノ卸賣物

價指數(主トシテ基本的原料及食糧ヲ含メル)ハ一九一三年ノ平準ニ比シテ高シト雖モ尙二割ヲ出  
 デザルニ勞働省ノ小賣價格調査ノ結果ニ依レバ一九一四年七月ノ平準ヨリモ遙カニ上リテ六割以上  
 ノ高値ニアル然ルニ多數ノ原料品例ヘバ或種ノ穀物製油用種子及羊毛類ノ如キハ戰前ノ價格ヨリモ  
 更ニ下値ニアル此ノ農業的及工業的價格ノ一般平準間ニ於テ斯クモ區々且ツ不當ノ懸隔ヲ生ゼルコ  
 トハ此ノ不景氣ヲシテ一層重大ナラシムルモノデアアル何トナレバ農産物ノ下落ハ世界無數ノ小農及  
 農業人口ノ支拂能力ガ過少トナリ隨テ其ノ工業製品ニ對スル購買力ガ著シク切詰メラレタコトヲ意  
 味スルカラデアアル尤モ戰後數年間ハ農産物ノ價格ト工業製品ノ價格トノ間ニ於ケル差異ハ依然トシ  
 テ存續シタガ最近數箇月間ハ特ニ其ノ差異ガ甚シクナツタ其レハ今日商業界及工業界ニ於テ不整理  
 及無秩序ノ狀態ガ普及シテ居ル病的徵候デアツテ戰前數年多少共繁榮セシ經濟組織モ今ヤ其ノ根底  
 ニ於テ動搖ヲ來セル明白ナ證據デアアル故ニ是レハ間モナク過ギ去ルベキ戰時事情ノ單純ナ臨時的結  
 果トシテ看過スル譯ニハ行カヌ何トナレバ休戰條約ハ殆ンド十二年以前ニ調査セラレタガ今以テ誰  
 シモ多少共確信ヲ以テ戰前狀態ノ恢復近キニ在リトハ豫言シ得ヌノミカ最早表面的ノ緩和劑ガ事態  
 ヲ調整スルモノト考フルコトモ出來ヌカラデアアル若シ英國及他ノ諸國ヲシテ新ナル繁榮ノ道ニ進マ  
 シムベキ眞ノ解決策ガ發見サレ得ベシトスルモ其レニハ何ヨリ先ヅ其ノ潜在セル病源ヲ深ク切り取  
 ルコトガ必要デアアル

今ヤ英國ハ斯ル事態ニ依テ直接ニ二ツノ方面ニ於テ影響ヲ蒙ル第一ハ英國ノ農業ガ從來輸入供給  
 品ノ低廉ナル競争ニ依テ其ノ多數重要産物ノ價格ヲバ全ク無利潤ノ水準迄下落セシメタコトデアアル  
 英國ノ自由輸入制度(之ヲ消費者ノ立場カラ見テ如何ナル利益アリト主張スルニモセヨ)ハ確ニ英  
 國ノ農業ヲシテ殆ンド全ク一般的世界情勢ノ支配下ニ委セシムルモノデアアル今日ハ何處ニ於ケル價  
 格ノ下落モ又ハ供給ノ手控ヘモ直ニ英國ノ事態ニ影響スル加之英國ノ農業者自身ハ彼ノ小農ガ主ト  
 シテ自分ノ食糧ヲ自分ノ畑ヤ家畜ニ求メ又時ニハ其ノ被服サヘモ之ニ求ムルモノニ比シテ自家ノ生  
 産物ヲ消費スルノ割合ガ遙ニ少イ小農以上ノ農業者ハ其ノ他ノ農村人口ヨリモ價格下落ノ打撃ヲ受  
 クルコト甚ダシイデアアルサリトテ農業者ハ其ノ使用人ノ賃錢ヲ引下ゲテ自分ノ損失ヲ埋合ハスコト  
 モ出來ヌノデアアル農業労働者ノ所得ヲ工業人口ノ所得ニ比セバ既ニ相當以下ニ低落シ居リ最早ヤ少  
 シデモ之ヨリ減少セバ確ニ彼等ヲ生活水準以下ニ引入ルルコトトナルダラウカラデアアル  
 第二ハ英國ノ製造業者ガ内外ニ於ケル農業人口ノ購買力ノ減少ニ依テ痛ク打撃ヲ受ケテ居ルコトデ  
 アル此ノ新ナル恐慌ガ來ル以前ヨリ英國ノ工業ハ既ニ其ノ戰後ノ困難ニ就キ重苦シキ天候ニ遭遇シ  
 ツ、アツタ多數諸國ニ於ケル新工業ガ發達シタルコト(此等諸國ニ對シテハ英國ハ戰前迄其ノ製品  
 ノ供給ヲ爲シ來ツタノデアアル)及戰爭以來新規ノ機械ト組織トヲ備ヘ來ツタ新工業諸國ノ競争ガ激  
 甚ヲ加ヘタルコトガ英國ノ輸出ニ對シテ重大ナル影響ヲ與ヘツ、アツタモノデアアル現在ノ恐慌ハ更  
 ニ輸出不振ニ依テ一層英國ノ困難ヲ増大ナラシメタ其ハ英國ノ最良顧客ノ多數ガ急ニ其ノ必要品ヲ  
 購入スル能力ヲ失ツタ爲デアアル例セバ濠洲ニ於テハ羊毛價ノ下落ノミニテモ本年ノ海外購買力ハ一  
 千萬磅ノ差響キデアアル又加奈陀ノ輸入力モ輸出穀物ノ受取勘定ガヨリ少イ爲ニ同様ノ減少ヲ蒙ルノ  
 デアラウ本文ノ目的トスル所ハ世界的ノ經濟不況ガ英國ノ農業特ニ小麥栽培業ニ及ボス結果ヲ究メ